

令和 5 年度決算における

主要な施策の成果に関する説明書

安曇野市

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 233 条第 5 項の規定により、令和 5 年度決算における主要な施策の成果に関する説明書を次のとおり提出します。

令和 6 年 9 月 3 日

安曇野市長 太田 寛

令和5年度決算における主要な施策の成果に関する説明書目次

令和5年度決算の概要	…… 4	福祉部	
1 各会計予算額の推移		福祉課	……140
2 補正予算の内容（一般会計）		高齢者介護課	……156
3 各会計別予算と決算の状況		障がい者支援課	……165
4 重点事業		保健医療部	
		健康推進課	……174
		国保年金課	……197
一般会計	……11	農林部	
1 一般会計決算の前年度との比較		農政課	……202
2 地方債現在高の状況（一般会計）		耕地林務課	……222
3 基金残高の状況（特会含む）		農業委員会事務局	……244
4 財政健全化判断比率の状況		商工観光スポーツ部	
5 年度別市税の状況		商工労政課	……246
		観光課	……258
部・課別の成果と評価		スポーツ推進課	……275
議会事務局	……24	都市建設部	
危機管理課	……28	建設整備課	……288
総務部		維持管理課	……301
総務課	……34	都市計画課	……314
職員課	……41	建築住宅課	……324
財政課	……45	上下水道部	
税務課	……50	経営管理課	……330
収納課	……54	教育委員会 教育部	
財産管理課	……56	学校教育課	……334
契約検査課	……63	学校給食課	……370
選挙管理委員会事務局	……68	生涯学習課	……376
監査委員事務局	……72	文化課	……391
公平委員会事務局	……74	子ども家庭支援課	……403
会計課	……76	こども園幼稚園課	……423
政策部			
政策経営課	……78	特別会計	
秘書広報課	……91	部・課別の成果と評価	
行革デジタル推進課	……95	国民健康保険特別会計	……436
人権共生課	……98	後期高齢者医療特別会計	……482
市民生活部		介護保険特別会	……492
地域づくり課	……102	山林財産区特別会計	……531
市民課	……115	産業団地造成事業特別会計	……543
環境課	……117	有明荘特別会計	……547
移住定住推進課	……134		

令和 5 年度決算の概要

1 各会計予算額の推移

(単位：千円)

会計名	当初予算	①補正予算 (3月議会提案)	②補正予算 (6月議会報告)	③補正予算 (6月議会提案)	④補正予算 (6月議会提案)	⑤補正予算 (7月臨時議会提案)	⑥補正予算 (9月議会提案)
一般会計	45,650,000	566,000	96,000	554,000	191,000	162,000	1,170,000
国民健康保険特別会計	9,646,062						16,553
後期高齢者医療特別会計	1,428,502						34,882
介護保険特別会計	10,471,769						232,260
上川手山林財産区特別会計	1,770						
北の沢山林財産区特別会計	900						
有明山林財産区特別会計	695						
富士尾沢山林財産区特別会計	660						
穂高山林財産区特別会計	720						
産業団地造成事業特別会計	2,975						
有明荘特別会計	11,628						1,417
合計	67,215,681	566,000	96,000	554,000	191,000	162,000	1,455,112

会計名	⑦補正予算 (9月議会提案)	⑧補正予算 (10月臨時議会提案)	⑨補正予算 (12月議会提案)	⑩補正予算 (12月議会提案)	⑪補正予算 (3月議会提案)	⑫補正予算 (6月議会報告)	最終予算額
一般会計	118,000	14,000	776,000	1,341,000	△ 219,000	△ 832,000	49,587,000
国民健康保険特別会計			11		70,788	△ 189,317	9,544,097
後期高齢者医療特別会計			10,980		△ 6,857	△ 4,394	1,452,133
介護保険特別会計					7,330	△ 607,635	10,114,704
上川手山林財産区特別会計					910		2,680
北の沢山林財産区特別会計					△ 53		847
有明山林財産区特別会計					156		851
富士尾沢山林財産区特別会計					217		877
穂高山林財産区特別会計					181		901
産業団地造成事業特別会計			759			△ 920	2,814
有明荘特別会計						△ 1,873	11,172
合計	118,000	14,000	787,750	1,341,000	△ 146,328	△ 1,636,139	70,718,076

2 補正予算の内容（一般会計）

補正予算	主な内容
①補正予算（補正第1号）	新型コロナウイルスワクチン特例臨時接種期間が延長されたことによる経費及びマイナポイント取得対策としてマイナポイント申込期限の延長されたことによる取得支援に係る経費の増額補正
②補正予算（専決第1号）	物価高騰に対する生活支援として国が行う、低所得の子育て世帯に対する「子育て世帯生活支援特別給付金」を速やかに給付するための経費の増額補正
③補正予算（補正第2号）	国の電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用し、物価高騰の影響を受けている生活者支援、事業者支援に係る経費及び令和5年5月7日大雨警報（土砂災害）により罹災した市道等の災害復旧費の補正
④補正予算（補正第3号）	市民の安全確保や利便性確保のため緊急を要するものや早期着手が必要な案件に係る部分の増額補正
⑤補正予算（補正第4号）	国の電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用し、物価高騰の影響を受けている生活者支援、事業者支援に係る経費及び災害復旧費に係る経費について追加予算計上
⑥補正予算（補正第5号）	事業実施に関する諸条件が整ったことによる事業化の見通しがたったもので、緊急を要し年度途中で事業実施に踏み込む正当な事由がある事業等の増額補正
⑦補正予算（補正第6号）	災害復旧工事に係る費用及び予備費の増額補正
⑧補正予算（補正第7号）	原油価格や物価高騰の影響が大きい住民税非課税世帯への支援に係る増額補正 (新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用)
⑨補正予算（補正第8号）	本年度の予算執行段階において見直し等を決定したものの増減、国の物価高騰対策など、年度途中の実施に正当な事由がある事業等の補正
⑩補正予算（補正第9号）	物価高騰の影響を受けている生活者支援（低所得者への給付金、障がい者福祉施設・高齢者施設等の事業者・給食食材高騰分の支援）、事業者支援（プレミアム商品券の発行）に係る経費の増額補正
⑪補正予算（補正第10号）	明らかに不用となる予算の減額補正、国の補正予算を伴うものや翌年度当初からの事業実施のため必要となる経費の増額補正
⑫補正予算（専決第2号）	決算を踏まえた歳入の整理及び歳出不執行額の整理にかかる補正

3 各会計別予算と決算の状況

(単位：千円)

会計名	最終予算額	決算時の 予算現額	決算額		予算現額に 対する増減
一般会計	49,587,000	51,697,793	歳入	50,444,794	△ 1,252,999
			歳出	49,287,216	2,410,577
国民健康保険特別会計	9,544,097	9,544,097	歳入	9,593,903	49,806
			歳出	9,537,680	6,417
後期高齢者医療特別会計	1,452,133	1,452,133	歳入	1,454,453	2,320
			歳出	1,420,789	31,344
介護保険特別会計	10,114,704	10,114,704	歳入	10,121,514	6,810
			歳出	9,831,042	283,662
上川手山林財産区特別会計	2,680	2,680	歳入	2,679	△ 1
			歳出	1,601	1,079
北の沢山林財産区特別会計	847	847	歳入	848	1
			歳出	270	577
有明山林財産区特別会計	851	851	歳入	854	3
			歳出	480	371
富士尾沢山林財産区特別会計	877	877	歳入	878	1
			歳出	512	365
穂高山林財産区特別会計	901	901	歳入	902	1
			歳出	418	483
産業団地造成事業特別会計	2,814	2,814	歳入	2,814	0
			歳出	2,753	61
有明荘特別会計	11,172	11,172	歳入	11,172	0
			歳出	11,166	6
合計	70,718,076	72,828,869	歳入	71,634,811	△ 1,194,058
			歳出	70,093,927	2,734,942

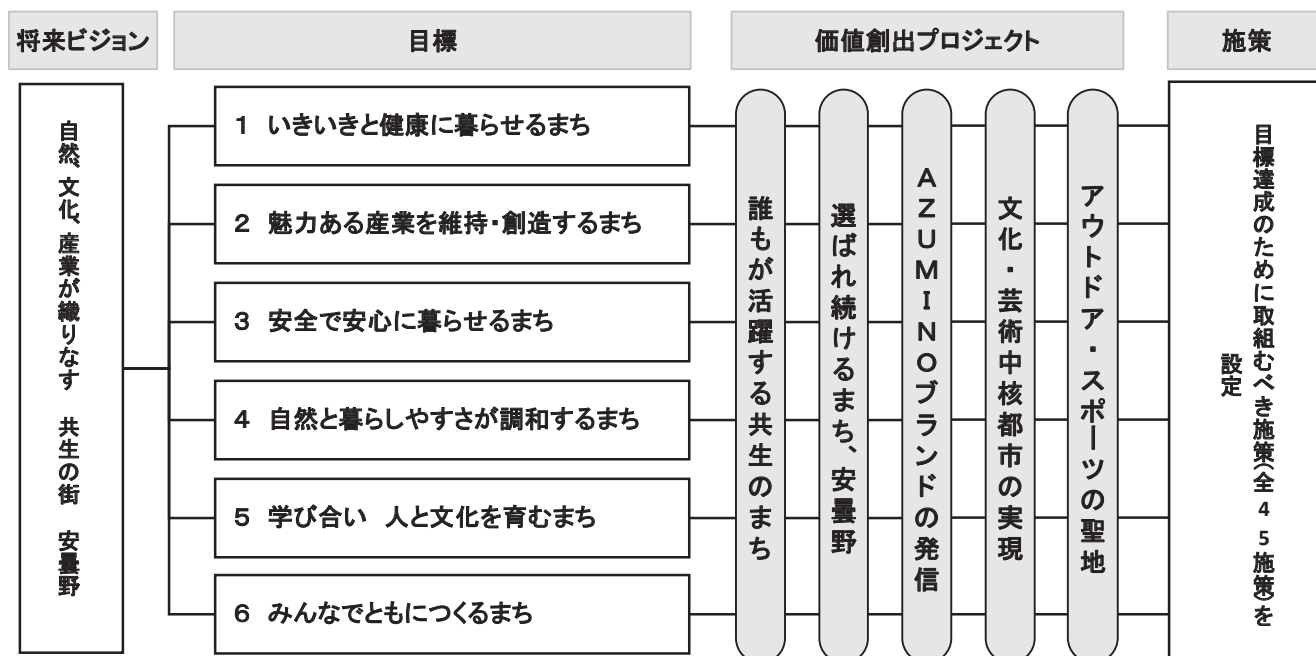
※決算額については、単位未満四捨五入しています。

※決算時の予算現額とは、当該年度の予算に前年度からの繰越明許費繰越額及び
事故繰越し繰越額を加えたものになります。

4 重点事業

市では、総合計画に掲げた将来ビジョンの実現に向け、施策横断的に取組むこととしている「価値創出プロジェクト」に紐づく事業、および地域課題の解決や市民サービスの向上のための主要な取組を令和5年度の重点事業として取組みました。

総合計画後期基本計画 施策体系（概略）



価値創出プロジェクトとは

総合計画後期基本計画に掲げた将来ビジョン達成のため、組織横断的に注力する施策で、以下の5つのテーマを「価値創出プロジェクト」として設定しています。

誰もが活躍する共生のまち

- 互いの違いを認め合い、様々な人が活躍することのできるまちを目指す
- 「誰一人取り残さない」という理念のもとプロジェクトを推進する

選ばれ続けるまち、安曇野

- 地方共通の課題である、人口減少、少子高齢化への対策を講じる
- 関連施策が多岐にわたるため、優先度の高い事項に財源と人的資源を集中投下

AZUMINOブランドの発信

- 各部門が有する安曇野の価値を「戦略をもって」国内外へ売り込む

文化・芸術中核都市の実現

- 安曇野が誇る歴史文化、芸術を生かし、文化・芸術の「拠点」を目指す

アウトドア・スポーツの聖地

- 豊かな自然環境を活用した各種スポーツを推進
- 多様なジャンルを組み合わせ発信、様々な層に安曇野の魅力を伝える

総合計画後期基本計画の目標ごとの重点事業

将来ビジョン

自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野

1

いきいきと健康に暮らせるまち

事業	決算額
〔価〕子どもの居場所づくり支援事業 (子ども食堂等の開設・運営に対する補助)	135万4千円
〔価〕生活保護世帯学習支援事業 (生活保護世帯の子どもに対する塾などに係る費用補助)	171万円
〔価〕母子・子育て支援事業 (産後ケア事業／新生児聴覚検査費用助成 ほか)	8,225万5千円
出産・子育て応援給付金事業	6,811万1千円
がん患者アピアランスケア支援事業	82万2千円
豊科保健センター施設改修事業	2億4,178万円
子ども・子育て支援事業計画策定事業	463万8千円
〔価〕あづみの自然保育ブランディング事業	769万7千円
黒沢洞合自然公園整備事業	4,473万5千円
三郷西部認定こども園建設事業 (園舎建設工事)	5億64万8千円
三郷東部認定こども園建設事業 (用地造成・園舎建設工事)	5億7,908万2千円
上川手認定こども園改修事業 (大規模改修工事)	1億1,671万円
西穂高認定こども園改修事業 (大規模改修工事)	4億3,454万8千円
〔価〕豊科北小児童クラブ整備事業	2,158万4千円
〔価〕穂高西小児童クラブ整備事業	2,503万円
〔価〕三郷小児童クラブ整備事業	119万5千円
〔価〕堀金小児童クラブ整備事業	1億261万4千円
〔価〕明科児童クラブ整備事業	2,795万7千円

	事業	決算額
価	工業振興総務費 (新たな産業用地確保可能性調査業務委託 ほか)	660万2千円
価	観光プロモーション事業 (メタバース活用/ロケ支援作品観光情報発信 ほか)	4,533万円
価	観光推進組織支援等事業 (リゾートテレワーク推進支援業務委託 ほか)	7,839万6千円
価	かじかの里公園改修事業 (かじか橋長寿命化改修、トイレ改修 ほか)	7,655万3千円
価	ハーフマラソン事業	3,130万6千円
価	マウンテンバイクコース管理費	2,400万2千円
価	農業・農村計画事業 (安曇野フルコース(中華等)考案 ほか)	727万3千円
価	農産物等販路拡大事業 (銀座NAGANO販路拡大/シンガポール販売促進 ほか)	2,264万9千円
	有害鳥獣駆除対策事業	3,986万円
	里山再生計画推進事業	550万円

	事業	決算額
	防災啓発事業 (防災用品購入補助金)	630万9千円
	非常備消防運営事業 (動画やキャラクター等による消防団PR事業 ほか)	1億2,566万9千円
	消防団詰所更新・統廃合事業	4,802万2千円
	内水対策事業 (万水川下流域バイパス排水路整備)	3,440万5千円
	市道新設改良事業(松糸道路関連)	893万8千円

	事業	決算額
価	公共交通事業 (運行時間延長実証 ほか)	1億4,325万9千円
	地球温暖化対策事業 (太陽光発電システム設置補助/定置型蓄電システム設置補助 ほか)	2,455万3千円
価	移住定住推進事業	870万2千円
価	結婚応援事業 (結婚新生活支援事業補助金/結婚支援業務 ほか)	1,154万2千円
	空家等対策事業	3,167万円

	事業	決算額
価	過疎対策推進事業	1,566万3千円
価	小説「安曇野」による地域振興事業 (大河ドラマ化機運醸成のためのパンフレット・HP作成 ほか)	276万1千円
価	豊科南部総合公園管理運営事業 (スケートボード場遊具設備設置工事 ほか)	1億2,062万9千円
	穂高西小学校施設改修事業 (トイレ改修)	436万7千円
	三郷中学校施設改修事業 (トイレ改修)	299万2千円
	地域部活動推進事業	467万5千円
	堀金給食センター設備更新事業	1億4,315万5千円
	給食センター総務費 (物価高騰による学校給食食材費の増額への対応)	6億6,218万7千円
価	芸術教育普及事業 (アーティストレジデンス (AIR) ほか)	1,030万7千円
価	文化団体補助事業	2,098万1千円
価	穂高鐘の鳴る丘集会所施設整備事業	598万4千円

	事業	決算額
	国際友好交流事業 (クラムザッハ訪日団受入及びクラムザッハ訪問)	1,200万円
	D X推進事業 (子育てDX小児予防接種サービス導入／BPR研修 ほか)	2,645万2千円
価	人権啓発費 (外国籍市民相談窓口開設 ほか)	1,675万6千円

一 般 会 計

1 一般会計決算の前年度との比較

令和5年度一般会計歳入決算額は、前年度対比4.8%増の504億4,479万円、歳出決算額は前年度対比5.7%増の492億8,721万円で、形式収支は11億5,757万円となりました。翌年度に繰り越すべき財源81,754万円を除いた実質収支は、10億7,582万円の黒字となりました。

(1) 歳入

各歳入項目の主な増減は次のとおりです。

市税 … 固定資産税 (+1億8,500万円)、個人市民税 (+1億4,300万円)

地方交付税…○普通交付税 114億4845万5千円 (△3億9,700万円)

基準財政需要額23,923,643千円 (下水道費△1億1,000万円、公債費△3億3,000万円)

基準財政収入額12,509,638千円 (固定資産税+1億7,000万円、地方消費税交付金+2億2,000万円)

○特別交付税 7億3,400万3千円 (+4,900万円)

国県支出金… 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 (+6億4,000万円)

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 (△2億3,000万円)

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業補助金 (△4億円)

市債 … 臨時財政対策債 (△2億7,000万円)、保育所建設事業 (+12億8,000万円)、
【明許】学校施設整備事業 (+6億円)

諸収入等 … 市制度資金貸付金元金収入 (△2億円)

歳入

(単位：円)

項目	令和5年度	令和4年度	増減	前年度比(%)
市税	12,726,895,156	12,371,384,639	355,510,517	102.87%
地方譲与税	505,275,000	501,259,001	4,015,999	100.80%
利子割交付金	3,821,000	4,740,000	△919,000	80.61%
配当割交付金	70,079,000	57,272,000	12,807,000	122.36%
株式等譲渡所得割交付金	69,814,000	41,358,000	28,456,000	168.80%
法人事業税交付金	192,268,000	202,084,000	△9,816,000	95.14%
地方消費税交付金	2,397,756,000	2,405,075,000	△7,319,000	99.70%
ゴルフ場利用税交付金	37,585,750	37,718,794	△133,044	99.65%
環境性能割交付金	43,124,000	34,347,000	8,777,000	125.55%
地方特例交付金	119,044,000	117,869,000	1,175,000	101.00%
地方交付税	12,182,458,000	12,530,742,000	△348,284,000	97.22%
交通安全対策特別交付金	11,451,000	12,962,000	△1,511,000	88.34%
分担金及び負担金	464,370,459	494,183,420	△29,812,961	93.97%
使用料及び手数料	305,465,507	309,975,263	△4,509,756	98.55%
国庫支出金	6,284,047,623	6,492,363,822	△208,316,199	96.79%
県支出金	2,810,002,281	2,876,215,771	△66,213,490	97.70%
財産収入	60,502,224	78,484,653	△17,982,429	77.09%
寄附金	600,525,770	641,803,900	△41,278,130	93.57%
繰入金	1,632,590,760	1,866,360,200	△233,769,440	87.47%
繰越金	1,497,482,156	1,194,836,871	302,645,285	125.33%
諸収入	3,078,725,250	3,291,412,857	△212,687,607	93.54%
市債	5,351,512,000	2,574,800,000	2,776,712,000	207.84%
合計	50,444,794,936	48,137,248,191	2,307,546,745	104.79%

※款別で集計しています。

(2) 歳出

目的別歳出の主な増減は次のとおりです。

- 総務費… 寄附採納事務（+2,000万円）、財政4基金積立金（△3億9,000万円）
【事故】自転車活用推進事業（+2,600万円）
- 民生費… 三郷東部認定こども園建設事業（+5億6,000万円）、西穂高認定子ども園改修事業（+4億3,000万円）、三郷西部認定こども園建設事業（+2億7,000万円）、物価高騰家計支援給付金追加給付事業（非課税世帯分）（+5億6,000万円）
- 衛生費… 豊科保健センター施設改修事業（+2億4,000万円）、新型コロナウイルスワクチン接種対策事業（△1億9,000万円）、地域脱炭素化推進事業（△1億円）
- 農林水産業費… 長峰山森林体験交流センター事業（+3,200万円）、有害鳥獣駆除対策事業（+2,100万円）、ほりでーゆ〜改修事業（+2,100万円）
- 商工費… 制度資金貸付事業（△2億8,000万円）、アフターコロナ対策事業（△1億1,200万円）、プレミアム付商品券（△1億6,000万円）、企業助成事業（△4,700万円）
- 土木費… 【明許】都市再生整備計画事業（明科駅周辺）（+3億7,000万円）、県営新設改良事業負担金（+2億6,300万円）、公営住宅整備事業（△9,400万円）
- 消防費… 防災行政無線維持整備事業（+2,700万円）、非常備消防運営事業（+1,100万円）、消防団詰所更新・統廃合事業（△2,600万円）
- 教育費… 【明許】三郷小学校施設改修事業（+6億7,000万円）、三郷体育館耐震補強工事（+2億3,000万円）

歳出（目的別）

（単位：円）

項目	令和5年度	令和4年度	増減	前年度比(%)
議会費	223,448,697	231,072,230	△7,623,533	96.70%
総務費	6,509,000,586	6,864,355,472	△355,354,886	94.82%
民生費	16,910,958,542	14,493,837,084	2,417,121,458	116.68%
衛生費	2,936,369,384	2,989,302,519	△52,933,135	98.23%
労働費	59,181,651	59,278,104	△96,453	99.84%
農林水産業費	1,577,211,896	1,459,839,876	117,372,020	108.04%
商工費	3,256,806,802	4,031,748,229	△774,941,427	80.78%
土木費	5,225,919,095	4,759,341,455	466,577,640	109.80%
消防費	1,443,980,393	1,429,147,853	14,832,540	101.04%
教育費	4,950,562,336	4,377,724,028	572,838,308	113.09%
災害復旧費	455,596,900	453,460,769	2,136,131	100.47%
公債費	5,738,179,958	5,490,658,416	247,521,542	104.51%
予備費	0	0	0	-
合計	49,287,216,240	46,639,766,035	2,647,450,205	105.68%

※款別で集計しています。

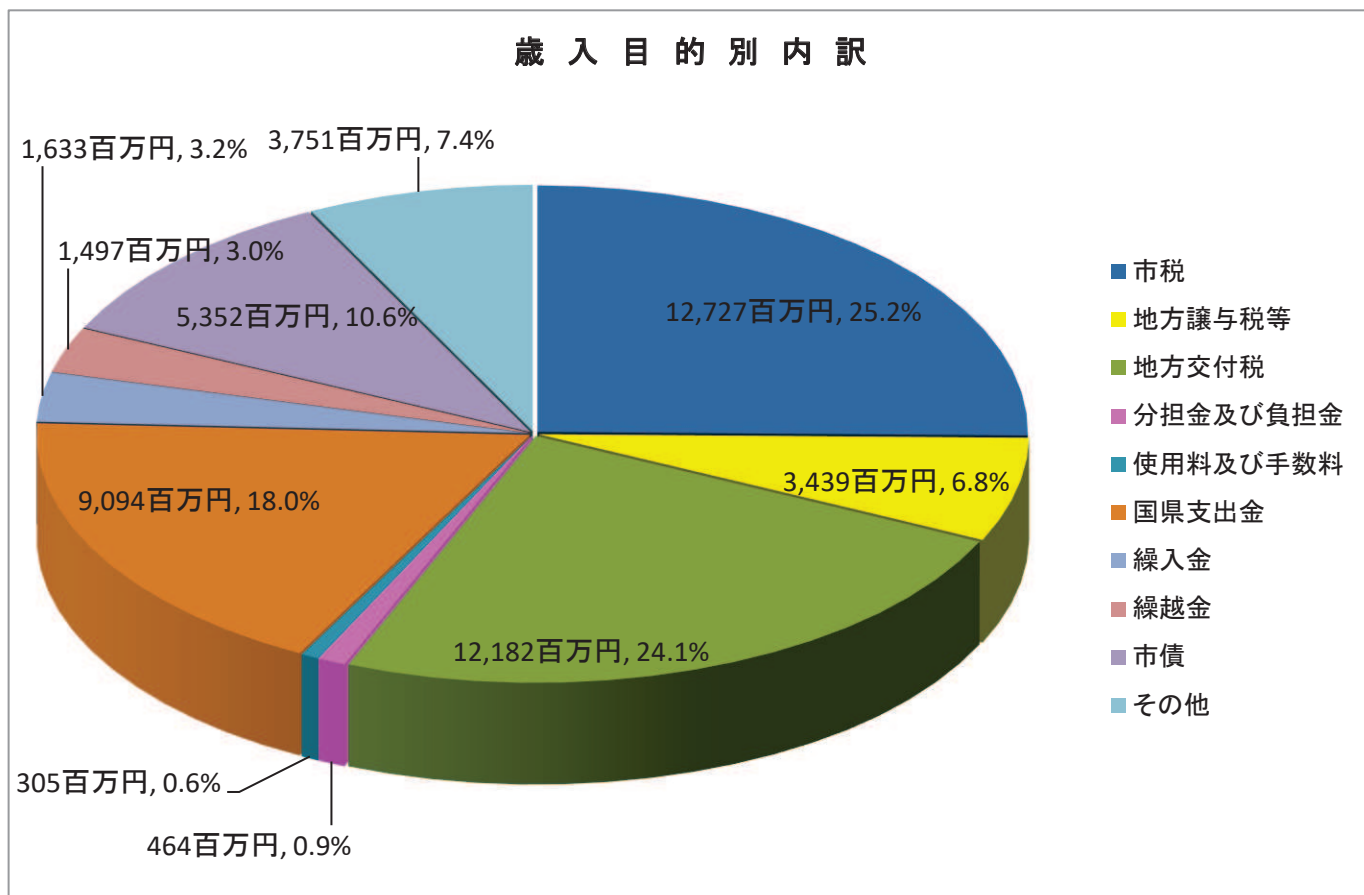
歳出（性質別）

（単位：千円）

項目	令和5年度	令和4年度	増減	前年度比(%)
人件費	6,926,456	6,812,099	114,357	101.68%
物件費	7,013,938	7,309,377	△295,439	95.96%
維持補修費	148,022	139,805	8,217	105.88%
扶助費	6,908,801	6,265,787	643,014	110.26%
補助費	6,867,499	6,846,195	21,304	100.31%
普通建設事業費	6,782,988	4,438,808	2,344,180	152.81%
うち補助事業	2,453,453	2,427,761	25,692	101.06%
うち単独事業	4,329,535	2,011,047	2,318,488	215.29%
災害復旧事業費	455,597	453,461	2,136	100.47%
公債費	5,738,180	5,490,658	247,522	104.51%
積立金	2,431,673	2,870,439	△438,766	84.71%
投資及び出資金・貸付金	2,293,464	2,460,244	△166,780	93.22%
繰出金	3,720,599	3,552,893	167,706	104.72%
合計	49,287,217	46,639,766	2,647,451	105.68%

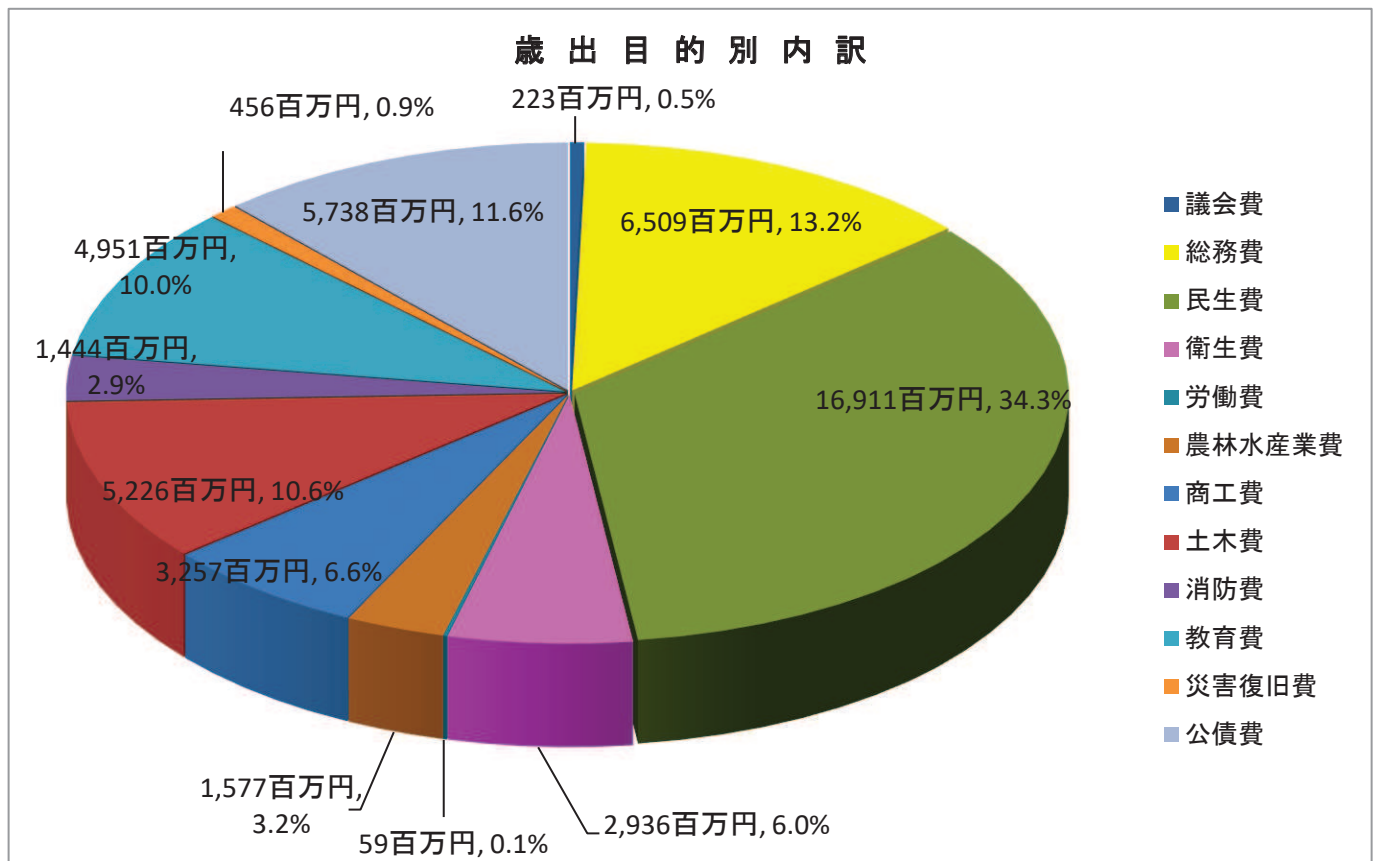
※上記の性質別決算額については、地方財政状況調査に準じて集計したものです。

単位は「千円」で、千円未満四捨五入しています。

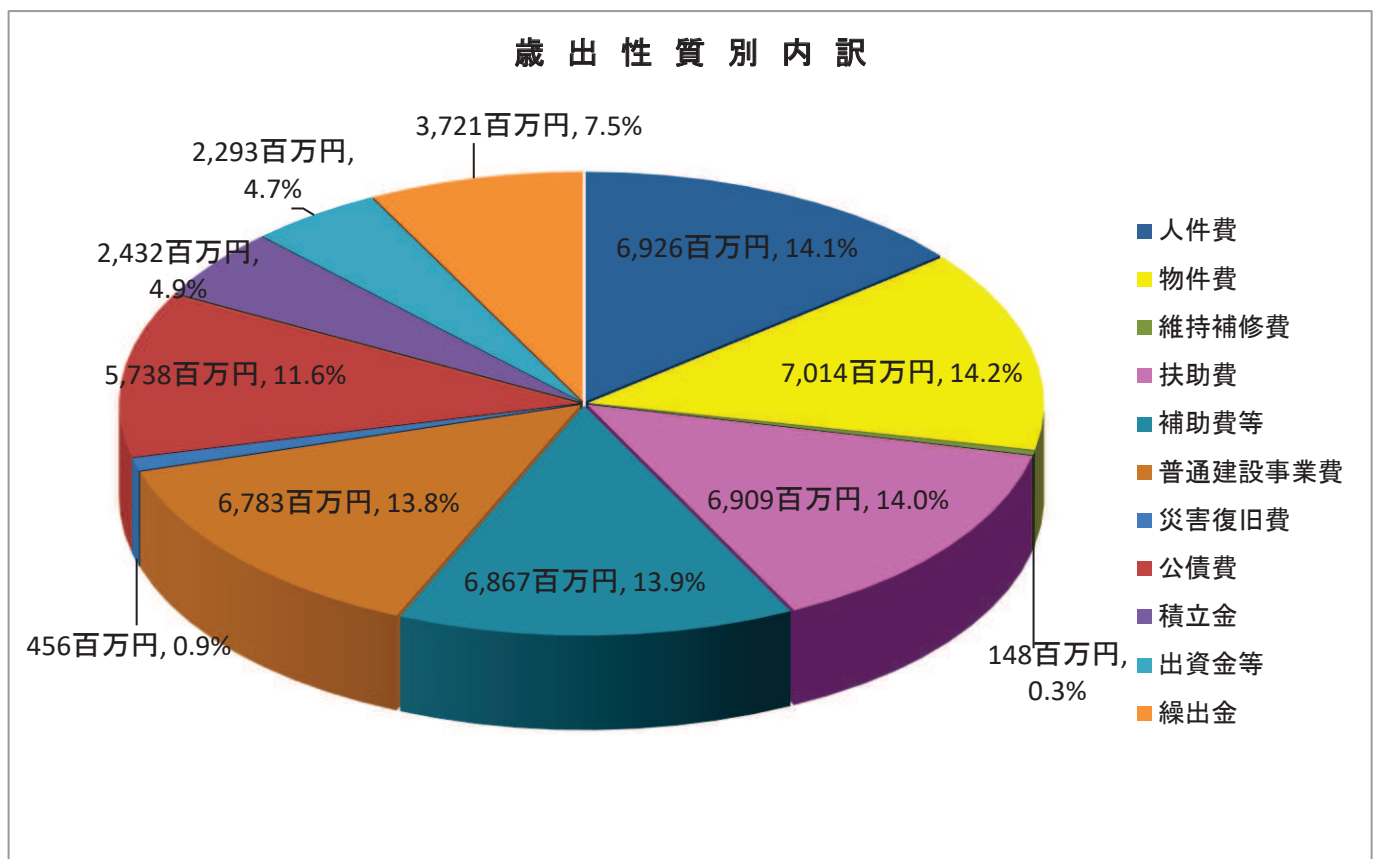


※百万円未満四捨五入により、合計額は一致しません。

※構成比については、単位未満四捨五入により100%になりません。



※構成比については、単位未満四捨五入により100%になりません。



※構成比については、単位未満四捨五入により100%になりません。

2 地方債現在高の状況（一般会計）

（1）借入目的別

（単位：円）

区 分	令和4年度 末現在高A	令和5年度 発行額 B	令和5年度元利償還額			差引現在高 A+B-C E
			元 金 C	利 子	計 D	
1 公共事業等債	1,383,817,693	198,300,000	245,471,613	2,378,271	247,849,884	1,336,646,080
うち財源対策債等	14,015,792	0	6,772,170	198,978	6,971,148	7,243,622
2 防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債	1,063,577,887	0	74,181,739	1,949,891	76,131,630	989,396,148
3 公営住宅建設事業債	214,030,126	39,800,000	23,886,994	2,571,452	26,458,446	229,943,132
4 災害復旧事業債	3,000,000	59,500,000	294,635	10,898	305,533	62,205,365
（1）単独災害復旧事業債	1,200,000	55,800,000	117,854	4,359	122,213	56,882,146
（2）補助災害復旧事業債	1,800,000	3,700,000	176,781	6,539	183,320	5,323,219
5 （旧）緊急防災・減災事業債						
6 全国防災事業債務	62,355,630	0	18,533,272	35,776	18,569,048	43,822,358
7 教育・福祉施設等整備事業債	2,002,136,936	781,500,000	336,002,773	12,772,565	348,775,338	2,447,634,163
（1）学校教育施設等	878,921,936	112,500,000	202,292,773	9,923,183	212,215,956	789,129,163
（2）社会福祉施設等						
（3）一般廃棄物処理						
（4）一般補助施設整備等						
うち転貸債						
（5）施設整備事業	1,123,215,000	669,000,000	133,710,000	2,849,382	136,559,382	1,658,505,000
8 一般単独事業債	16,369,352,801	2,990,400,000	2,607,726,013	43,623,941	2,651,349,954	16,752,026,788
うち 防災対策事業債	72,580,000	50,400,000	21,160,000	177,018	21,337,018	101,820,000
うち 旧合併特例事業債	15,754,012,500	2,862,900,000	2,468,655,000	38,838,817	2,507,493,817	16,148,257,500
（1）旧市町村合併特例事業	17,185,627,500	1,470,100,000	2,901,715,000	40,451,848	2,942,166,848	15,754,012,500
（2）旧市町村合併推進事業						
うち 地方道路等整備事業債	226,550,301	0	72,271,013	3,792,947	76,063,960	154,279,288
うち 一般事業債（河川分）						
うち （新）緊急防災・減災事業債	19,580,000	2,900,000	10,040,000	52,718	10,092,718	12,440,000
うち 公共施設等適正管理推進事業債	219,900,000	0	27,770,000	541,475	28,311,475	192,130,000
（1）集約化・複合化事業分						
（2）長寿命化（公共用建物）事業分						
（3）長寿命化（社会基盤施設）事業分	219,900,000	0	27,770,000	541,475	28,311,475	192,130,000
うち緊急自然災害防止対策事業債	52,730,000	74,200,000	5,330,000	142,413	5,472,413	121,600,000
うち緊急浸透推進事業債	24,000,000	0	2,500,000	78,553	2,578,553	21,500,000
9 辺地対策事業債						
10 過疎対策事業債		118,900,000				118,900,000
11 公共用地先行取得等事業						
12 行政改革推進債						
13 厚生福祉施設整備事業債						
14 地域財政特例対策費						
15 退職手当債（～平成17年度）						
16 退職手当債（平成18年度～）						
17 国の予算貸付	490,128	0	347,514	17,150	364,664	142,614
うち 転貸によるもの						
18 地域改善対策特定事業債						
うち 法第5条によるもの						
19 財 源 対 策 債	186,405,367	53,900,000	52,982,332	3,213,634	56,195,966	187,323,035
20 減収補てん債(S61・H5～7・9～30・R1～2年度分)	113,991,484	0	6,305,985	56,207	6,362,192	107,685,499
うち令和2年度追加税目分	113,991,484	0	6,305,985	56,207	6,362,192	107,685,499
21 臨時財政特例債						
22 公共事業等臨時特例債						
23 減税補填債	50,271,975	0	24,396,327	74,348	24,470,675	25,875,648
24 臨時税収補填債						
25 臨時財政対策債	15,016,809,126	949,312,000	2,257,936,686	19,198,056	2,277,134,742	13,708,184,440
26 調整債（昭和60～63年度分）						
27 調整債（令和1～2年度分）						
28 減収補てん債特例分(H14・19～30・R1～2年度分)						
29 都道府県貸付金						
うち 予算貸付によるもの						
30 猶予特例債						
31 特別減収対策債						
32 そ の 他	10,445,748	159,900,000	3,381,690	236,610	3,618,300	166,964,058
小 計（1～28）	36,476,684,901	5,351,512,000	5,651,447,573	86,138,799	5,737,586,372	36,176,749,328
うち 財源対策債等	200,421,159	53,900,000	59,754,502	3,412,612	63,167,114	194,566,657
うち 減収補填債	113,991,484	0	6,305,985	56,207	6,362,192	107,685,499
合 計	36,476,684,901	5,351,512,000	5,651,447,573	86,138,799	5,737,586,372	36,176,749,328

(2) 借入利率別

(単位：円)

借入先	令和5年度 末現在高	現在高の内訳					
		0.5%以下	1.0%以下	1.5%以下	2.0%以下	2.5%以下	3.0%以下
政府資金	11,418,435,790	9,649,322,863	1,143,220,129	66,902,219	354,759,369	202,314,246	1,916,964
(1)財政融資資金	10,866,618,845	9,623,447,215	1,058,966,799	49,711,974	132,575,893		1,916,964
うち旧資金運用	2,850,605				933,641		1,916,964
うち旧還元融資							
(2)旧郵政公社資金	551,816,945	25,875,648	84,253,330	17,190,245	222,183,476	202,314,246	
(7)旧郵便貯金資金							
(4)旧簡易生命保険資金	551,816,945	25,875,648	84,253,330	17,190,245	222,183,476	202,314,246	
地方公共団体金融機構	3,747,588,424	3,514,289,692	50,500,000	12,269,574	157,271,844	12,202,445	1,054,869
国の予算貸付等	142,614						
市中銀行	14,667,882,500	11,936,152,500	2,731,730,000				
その他の金融機関	6,342,700,000	4,649,600,000	1,693,100,000				
保険会社等							
交付公債							
市場公募債							
共済等							
政府保証付外債							
その他							
計	36,176,749,328	29,749,365,055	5,618,550,129	79,171,793	512,031,213	214,516,691	2,971,833

(つづき)

(単位：円)

借入先	現在高の内訳						
	3.5%以下	4.0%以下	4.5%以下	5.0%以下	6.0%以下	7.0%以下	7.0%超
政府資金							
(1)財政融資資金							
うち旧資金運用							
うち旧還元融資							
(2)旧郵政公社資金							
(7)旧郵便貯金資金							
(4)旧簡易生命保険資金							
地方公共団体金融機構							
国の予算貸付等	142,614						
市中銀行							
その他の金融機関							
保険会社等							
交付公債							
市場公募債							
共済等							
政府保証付外債							
その他							
計	142,614						

3 基金残高の状況（特会含む）

（単位：円）

区 分		令和4年度	令和5年度				
		年度末 現在高	積立額	積立利子	積立額計	繰入額	年度末 現在高
一 般	財政調整基金	5,361,426,364	667,000,000	9,550,084	676,550,084	669,530,000	5,368,446,448
	減債基金	3,123,608,602	123,952,000	5,246,682	129,198,682	158,000,000	3,094,807,284
	公共施設整備基金	4,393,193,102	960,000,000	7,379,186	967,379,186		5,360,572,288
	地域振興基金	2,404,585,505		4,038,949	4,038,949	128,500,000	2,280,124,454
	分収造林事業基金	4,296,652		7,217	7,217		4,303,869
	旧穂高町外1ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金	99,822,012	59,814	167,669	227,483	1,666,000	98,383,495
	旧穂高町外1ヶ町浅川山林組合に関する基金	5,414,742	7,150	9,095	16,245		5,430,987
	国際交流基金	16,222,704		27,249	27,249	432,876	15,817,077
	福祉基金	288,626,693		484,802	484,802	7,502,000	281,609,495
	ふるさと水と土保全基金	41,592,500			0		41,592,500
	豊科安曇野の里基金	987	610,000	1	610,001	610,000	988
	天蚕振興基金	3,838,875		6,448	6,448		3,845,323
	三郷農林漁業体験実習館基金	296			0		296
	堀金産地形成促進施設基金	7,300,963	2,340,000	12,263	2,352,263	1,859,000	7,794,226
	堀金観光開発基金	81,580,407		137,029	137,029	47,115,044	34,602,392
	安曇野市森林環境贈与税基金	55,256,220	23,218,000	92,813	23,310,813	3,333,200	75,233,833
	安曇野市山岳環境整備基金	39,366,606		66,123	66,123	4,598,000	34,834,729
	青少年育成基金	37,109		62	62		37,171
	青少年交流事業支援基金	6,480,471		10,885	10,885		6,491,356
	文化振興基金	26,455,148	14,000,000	44,436	14,044,436	7,119,140	33,380,444
	名誉市民田淵行男顕彰基金	1,727,063		2,900	2,900		1,729,963
	入学準備金貸付基金	92,663,524	2,391,000	155,645	2,546,645	1,500,000	93,710,169
	公式スポーツ施設整備基金	273,604,891		459,570	459,570		274,064,461
	ちくに生きものみらい基金	50,164,882		84,261	84,261	986,000	49,263,143
	霊園施設整備基金	133,995,106	14,397,000	225,069	14,622,069	8,237,000	140,380,175
	ふるさと寄附基金	2,466,066,382	591,347,000	4,142,218	595,489,218	590,000,000	2,471,555,600
土 地	土地開発基金	253,205,700		336,436	336,436		253,542,136
	(うち現金)	200,297,139		336,436	336,436		200,633,575
	(うち土地)	52,908,561			0		52,908,561
国	国民健康保険支払準備基金	543,874,783	10,000,000	913,539	10,913,539	150,000,000	404,788,322
財 産 区	上川手財産区基金	13,749,010	1,356,000	23,094	1,379,094		15,128,104
	北の沢山林財産区基金	11,367,242	123,000	19,093	142,093		11,509,335
	有明山林財産区基金	33,794,923	340,000	56,764	396,764		34,191,687
	富士尾沢山林財産区基金	3,827,010	416,000	6,428	422,428		4,249,438
	穂高山林財産区基金	3,093,405	330,000	5,195	335,195		3,428,600
介	介護保険支払準備基金	1,003,514,636	136,347,000	1,685,589	138,032,589		1,141,547,225
基 金 合 計		20,843,754,515	2,548,233,964	35,396,794	2,583,630,758	1,780,988,260	21,646,397,013

（注） 会計年度を基準とした基金の状況です。

4 財政健全化判断比率の状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が平成19年度に成立し、以来毎年前年度決算に基づいて算出した数値を公表しています。

公表内容は「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」です。企業会計については「資金不足比率」も公表します。

令和5年度については以下のとおりです。

令和5年度決算における安曇野市健全化判断比率（暫定値）

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— (11.94)	— (16.94)	8.3 (25.0)	— (350.0)

備考

- 1 実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債費比率又は将来負担比率が算定されない場合は「—」を記載しています。
- 2 早期健全化基準は括弧内に記載しています。

5 年度別市税状況

令和5年度は、エネルギー・原材料価格高騰等の影響により依然として厳しい状況が続くものの、国内の個人消費などが持ち直しつつあります。

その結果、個人市民税は給与所得納税者の増加により調定額が約1億4,946万円増額となりました。法人市民税は中国経済の減速の影響等により一部の製造業において落ち込みがありましたが、全体的に緩やかな回復がみられ368万円増額し、市民税調定額は約1億5,314万円の増額となりました。また、純固定資産税は、大型の工場や商業施設の増加等により約1億8,745万円増額、軽自動車税は課税対象台数の増加により約1,131万円が増額となりました。

区 分		調 定 額			収 入 済 額		
		現年分	滞繰分	計	現年分	滞繰分	計
個人市民税	5年度	4,971,415,700	73,346,913	5,044,762,613	4,935,738,287	24,777,978	4,960,516,265
	4年度	4,821,959,400	75,550,796	4,897,510,196	4,796,033,108	21,869,190	4,817,902,298
	3年度	4,712,247,180	91,918,559	4,804,165,739	4,692,746,464	32,006,599	4,724,753,063
法人市民税	5年度	934,558,200	1,532,197	936,090,397	931,338,600	709,370	932,047,970
	4年度	930,872,900	1,203,319	932,076,219	930,023,700	264,300	930,288,000
	3年度	735,259,800	5,137,663	740,397,463	734,795,500	4,223,644	739,019,144
純固定資産税	5年度	5,730,977,900	131,693,293	5,862,671,193	5,681,416,194	40,442,113	5,721,858,307
	4年度	5,543,524,700	134,629,997	5,678,154,697	5,500,022,057	38,458,588	5,538,480,645
	3年度	5,309,763,000	172,980,222	5,482,743,222	5,283,847,082	56,057,753	5,339,904,835
国有資産等所在 市町村交付金	5年度	31,085,900	0	31,085,900	31,085,900	0	31,085,900
	4年度	29,661,000	0	29,661,000	29,661,000	0	29,661,000
	3年度	28,066,800	0	28,066,800	28,066,800	0	28,066,800
軽自動車税 (種別割)	5年度	378,555,000	6,160,509	384,715,509	376,250,300	1,443,941	377,694,241
	4年度	367,173,700	6,080,005	373,253,705	365,150,410	1,352,311	366,502,721
	3年度	355,487,300	6,052,795	361,540,095	353,446,764	1,672,735	355,119,499
軽自動車税 環境性能割	5年度	26,152,200	0	26,152,200	26,152,200	0	26,152,200
	4年度	26,220,500	0	26,220,500	26,220,500	0	26,220,500
	3年度	16,613,300	0	16,613,300	16,613,300	0	16,613,300
市たばこ税	5年度	618,588,173	0	618,588,173	618,588,173	0	618,588,173
	4年度	607,510,875	0	607,510,875	607,510,875	0	607,510,875
	3年度	572,954,742	0	572,954,742	572,954,742	0	572,954,742
入湯税	5年度	59,498,100	0	59,498,100	58,952,100	0	58,952,100
	4年度	54,818,600	0	54,818,600	54,818,600	0	54,818,600
	3年度	41,612,150	0	41,612,150	41,612,150	0	41,612,150
合 計	5年度	12,750,831,173	212,732,912	12,963,564,085	12,659,521,754	67,373,402	12,726,895,156
	4年度	12,381,741,675	217,464,117	12,599,205,792	12,309,440,250	61,944,389	12,371,384,639
	3年度	11,772,004,272	276,089,239	12,048,093,511	11,724,082,802	93,960,731	11,818,043,533

たばこ税は、販売本数の増加等により前年度比約1,107万円の増額、入湯税は、観光客やインバウンドの回復により約467万円の増額となりました。

滞納繰越分を含めた市税全体の歳入決算額は、127億2,689万5千円で、前年比較で3億5,551万円の増額となりましたが、収納率は98.17%で前年比0.02ポイント下がりました。今後も原材料価格上昇による物価への影響や個人消費の動向など引き続き社会経済情勢に注視して参ります。

不 納 欠 損 額			収入未済額			収 納 率 (%)		
現年分	滞繰分	計	現年分	滞繰分	計	現年分	滞繰分	計
0	6,688,463	6,688,463	35,677,413	41,880,472	77,557,885	99.28	33.78	98.33
0	6,050,641	6,050,641	25,926,292	47,630,965	73,557,257	99.46	28.95	98.37
0	3,609,441	3,609,441	19,500,716	56,302,519	75,803,235	99.59	34.82	98.35
0	86,904	86,904	3,219,600	735,923	3,955,523	99.66	46.30	99.57
0	256,022	256,022	849,200	682,997	1,532,197	99.91	21.96	99.81
0	175,000	175,000	464,300	739,019	1,203,319	99.94	82.21	99.81
0	5,022,572	5,022,572	49,561,706	86,228,608	135,790,314	99.14	30.71	97.60
0	7,955,947	7,955,947	43,502,643	88,215,462	131,718,105	99.22	28.57	97.54
0	5,081,890	5,081,890	25,915,918	111,840,579	137,756,497	99.51	32.41	97.39
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	649,400	649,400	2,304,700	4,067,168	6,371,868	99.39	23.44	98.17
12,900	548,075	560,975	2,010,390	4,179,619	6,190,009	99.45	22.24	98.19
12,900	225,391	238,291	2,027,636	4,154,669	6,182,305	99.43	27.64	98.22
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	546,000	0	546,000	99.08	—	99.08
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	12,447,339	12,447,339	91,309,419	132,912,171	224,221,590	99.28	31.67	98.17
12,900	14,810,685	14,823,585	72,288,525	140,709,043	212,997,568	99.42	28.48	98.19
12,900	9,091,722	9,104,622	47,908,570	173,036,786	220,945,356	99.59	34.03	98.09

部・課別の成果と評価

議会事務局

予算	款	1	議会費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	議会費		基本方針	みんなでとにもつくるまち
	目	1	議会費			
	事業	0101010	議会費		基本施策	デジタル技術を活用した行政変革

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（4）請願・陳情

区 分	受 理 数	審 査 結 果					備 考
		採 択	不採択	継続審査	審査未了	その他	
請 願	3	3					
陳 情	11	6（1）	4		（1）		1

（注） 表中の括弧書きは、令和4年中に継続審査としたものを審査した件数

（5）常任委員会等

ア 総務環境委員会	開催：13回	議案：22件	陳情：3件
イ 福祉教育委員会	開催：12回	議案：53件	請願：3件 陳情：4件
ウ 経済建設委員会	開催：13回	議案：68件	陳情：2件
エ 議会運営委員会	開催：35回	陳情：1件	
オ 議会広報特別委員会	開催：20回		
・議会だより（年度）	4回発行	[印刷製本費、事務事業委託料：4,847,040円]	
カ 議会全員協議会	開催：21回		
キ 議会改革推進委員会	開催：9回		
ク 議会ICT研究会	開催：8回		

（6）議会報告会（年度）

開催日時	令和5年7月22日（土）
開催方法	本庁舎4階大会議室及びオンライン開催
参加者	16人（うちオンライン参加3人）

（7）意見交換会等（年度）

ア 議会人事について

開催日時	令和5年10月3日（火）
開催方法	本庁舎3階全員協議会室
参加者	発言者と傍聴者をあわせて約50人

イ 議員報酬について

開催日時	令和6年1月13日（土）
開催方法	本庁舎4階大会議室及びオンライン開催
参加者	第1部 15人（うちオンライン参加5人）

（注） 第2部は、参加者なしにより中止となりました。

（8）委員会行政視察（年度）[記念品・土産等、費用弁償、事務事業委託料：612,809円]

区 分	期 日	視察先等
議会運営委員会	令和5年5月22日、23日	福井県越前市、富山県南砺市
福祉教育委員会	令和5年6月7日	市内
	令和5年8月9日、10日	神奈川県大和市
経済建設委員会	令和5年7月5日、6日	栃木県栃木市、宮城県大河原町、福井県新地町
	令和5年8月4日	茅野市、諏訪市

予算	款	1	議会費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	議会費		基本方針	みんなでもにつくるまち
	目	1	議会費			
	事業	0101010	議会費		基本施策	デジタル技術を活用した行政変革

その3

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 4 議員研修・委員会等研修（年度）〔費用弁償、役務費、負担金：583,180円〕
- （1）市町村国際文化研修所研修 来所受講5人 オンライン受講2人
- （2）市町村職員中央研修所研修 来所受講8人
- （3）主な議員研修
- ア 令和6年2月2日開催（オンライン） 内容：条例の制定・改正に関する議案のチェックポイント
- イ 令和6年2月15日開催 内容：こども基本法と子どもの権利条例について
- ウ 令和6年2月28日開催 内容：議会におけるハラスメントについて
- 5 タブレット端末の運用開始（年度）
- （1）議会のグループウェアの活用による事務の効率化 〔使用料：136,620円〕
- （2）令和5年12月定例会の資料からペーパーレスを試行しました。（令和6年4月から本格実施）
- 6 政務活動費（年度）〔補助金：1,767,292円〕
- | 会派等名 | 期間 | 金額（円） |
|-------------|----------------|---------|
| 日本共産党安曇野市議団 | 令和5年4月～令和6年3月 | 360,000 |
| 会派 あづみ野 | 令和5年4月～令和6年3月 | 296,457 |
| 会派 さきがけ | 令和5年4月～令和6年3月 | 346,454 |
| 無所属の会 | 令和5年4月～令和6年3月 | 415,739 |
| 会派 きぼう | 令和5年10月～令和6年3月 | 180,000 |
| 小林 純子 | 令和5年12月～令和6年3月 | 40,000 |
| 内川 集雄 | 令和5年4月～令和6年3月 | 96,140 |
| 矢澤 毅彦 | 令和5年4月～令和5年9月 | 32,502 |
- 7 市議会から市へ要望等（令和5年10月18日付け政策提言）
- （1）高齢者支援のさらなる充実に向けて～子どもや若い世代や地域とともに～
- （2）有害鳥獣対策と安曇野ジビエの振興について

上記の評価と課題等

オンラインによる議会報告会の開催、議員視察・研修の実施等を支援するとともに、議会活動におけるICT化の一環としたタブレットの導入によりペーパーレス化やグループウェアの活用によって業務の効率化が図られました。

今後も、より開かれた議会運営を行うとともに、議決結果や市政の諸課題について、市民への情報提供や意見を聴く機会を設け、併せて政策立案、政策提案及び政策提言などの取り組みを支援します。

危機管理課

令和 6 年度	
部	危機管理監
課	危機管理課
係等	消防防災係

決算書 ページ	191

予算	款	9	消防費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	消防費		目標	安全で安心して暮らせるまち
	目	1	常備消防費			
	事業	0109010	常備消防負担金			

					単位：円
予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
992,938,000	992,912,680		0	25,320	100.0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,136,180		高速自動車道救急支弁金	2,136,180		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

松本広域連合の構成団体として、松本広域連合規約第4条及び第18条により、消防に関する事務の経費（消防団に関する事務並びに消防水利施設の設置、維持及び管理に関する事務を除く）を負担しました。

また、「高速自動車国道における救急業務に関する覚書」に基づき、東日本高速道路株式会社と中日本高速道路株式会社から安曇野市へ支払われた支弁金を、高速道路における救急業務を実施している松本広域連合へ負担金として支出しました。

消防・救急業務が確実に実施され、市民の安全と安心の確保が図られました。

- ・ 消防防災ヘリコプター運航協議会市町村負担金…2,615,500円
(長野県航空消防防災体制整備要綱第5条)
- ・ 松本広域連合市町村負担金…988,161,000円
(松本広域連合規約第18条)
- ・ 高速自動車国道救急事業負担金…2,136,180円

上記の評価と課題等

消防・救急業務は住民の生命、身体、財産を守り、地域の安全と安心を確保する上で欠かすことのできないものであることから、松本広域消防局との一層の連携強化に向けて取り組んでいく必要があります。

令和6年度	
部	危機管理監
課	危機管理課
係等	消防防災係

決算書 ページ	191

予算	款	9	消防費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	消防費		目標	安全で安心して暮らせるまち
	目	2	非常備消防費			
	事業	0109020	非常備消防費		施策	防災・減災対策の推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
169,735,000		165,000,505		0		4,734,495		97.2%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
10,443,250			消防団員退職報奨金		10,279,000		防災基盤整備事業債		18,700	
			消防団員福祉共済		35,550					
			松本消防協会ポンプ操法・ラッパ吹奏大会 トイレ等一式設営業務委託負担金		110,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市消防団は16分団・36部・3隊、年度末の実団員数は740人（R6.3.31付退団者65人、R5.4.1付入団者数23人、R5.10.1付入団者数18人）の体制で、消防団の特性である地域密着性、即時対応能力、動員力を活かして、災害現場において常備消防と連携して活動を行いました。

前年に引き続き安曇野市のポンプ操法大会を実施しました。市の大会及び松本消防協会の大会を勝ち上がった第4分団は県大会において11位と健闘し消防ポンプ取扱い技術の維持・向上が図られました。また喇叭班は県大会で5位入賞と過去最高の成績となりました。

- 1 非常備消防運営事業
- 消防団員の出勤件数 3,165件 出勤延べ人数 22,624人
内訳：火災16件（延べ552人）水防活動2件（延べ58人）行方不明者捜索2件（延べ100人）警戒活動851件（延べ4,408人）訓練等673件（延べ6,640人）会議等1,621件（延べ10,866人）
 - 消防団出席謝礼（災害出勤、警戒活動外）…31,118,400円
 - 消防団員退職報償金（令和4年度末該当退職者32人）…11,327,000円
 - 備品購入（ジェットシューター一式）…1,993,750円
 - 新ガイドライン対応防火衣、新入団員活動服外装備品…10,998,570円
 - 消防用資機材、消防車両用スタッドレスタイヤ外…4,78,210円
 - 消防団PR動画撮影業務委託…698,500円
 - マスコットキャラクター着ぐるみ作成業務委託…1,078,000円
- 2 分団等運営補助金交付事業
- 消防団分団等運営費補助金…11,320,000円
- 3 消防団車両更新事業
- 小型動力ポンプ付積載車2台（第3分団第2部（豊科地区 中曽根区、熊倉区）、第4分団第2部（豊科地区 細萱区、重柳区）…27,940,880円（防災対策事業債、充当率75%）

上記の評価と課題等

消防団員の確保が以前からの課題ですが、消防団員の確保やイメージアップを図るために、PR動画の作成及び消防団応援キャラクターの着ぐるみを作成しました。動画はイベントやネット上での公開、着ぐるみは各種イベントへ参加することにより消防団のイメージアップを図りました。また日頃の防災思想の普及等の実施により消防功労者消防庁長官表彰（竿頭綬）を安曇野市として初めて受章しました。また総務省消防庁が消防団入団促進広報の一環として開催し、コンテストにおいて安曇野市消防団が応募した動画がショート部門で優秀賞を受賞しました。

今後も消防団員の士気向上と、消防団のイメージアップを図り、家族等の理解と協力を得ながら消防団員を確保していくための、処遇改善や出勤、訓練その他の活動内容を検討する必要があります。

令和6年度	
部	危機管理監
課	危機管理課
係等	消防防災係

決算書 ページ	193

予算	款	9	消防費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	消防費		目標	安全で安心して暮らせるまち
	目	3	消防施設費			
	事業	0109030	消防施設維持整備事業		施策	防災・減災対策の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
94, 500, 000	90, 015, 379		0	4, 484, 621	95. 3%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名	金 額	細 節 名	金 額
44, 100, 000		消防団詰所統廃合事業（特例債）	44, 100, 000		
				(入湯税)	(18, 552, 100)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- ・第11分団第2部（穂高地区 新屋区）及び第3部（穂高地区 耳塚区・区）の統合詰所の用地としまして穂高有明の新屋区に建設用地の購入と家屋及び立木の撤去補償を行いました。また旧第10分団（穂高地区 青木花見区、狐島区、島新田区）3箇所の旧詰所及び火の見櫓の解体工事を行いました。
- ・第9分団第3分団の老朽化した火の見櫓を撤去及びホースタワーの新設及び、既存の消防団詰所の施設修繕、消火栓等消防水利施設の維持管理及び老朽化した火の見櫓、防火水槽の撤去を実施しました。

1 消防施設維持整備事業

- ・消防用資機材購入（消火栓用ホース外）…3,325,878円
- ・施設修繕費（消防団詰所等の修繕）…888,250円・消火栓用ホース格納箱等設置工事…1,703,900円
- ・第9分団第3分団火の見櫓撤去工事及びホースタワーの新設工事…4,158,000円
- ・火の見櫓撤去工事（豊科1基、穂高1基、小規模等3基）…2,883,100円
- ・防火水槽撤去工事（堀金1基）…693,000円・防火水槽補強工事（豊科1基）…550,000円
- ・消火栓用ホース格納箱購入…1,179,750円・消火栓新設負担金（2基）…6,727,600円
- ・消火栓修繕等負担金（移設2基、交換6基、撤去2基、路面復旧3箇所）…11,932,802円
- ・消火栓維持管理負担金（上下水道事業会計：910円×2時間×3,100基）…5,642,000円（消火栓の設置及び管理に要する費用の補償（消防法第20条第2項））

2 消防団詰所更新・統廃合事業

- ・第10分団第1部第1班・第2班・第3班詰所解体工事…監理業務委託…660,000円
- ・第10分団第1部第1班・第2班・第3班詰所解体工事…26,477,000円
- ・第11分団第2部・第3部統合詰所用地測量及び登記書類作成業務委託…1,122,000円
- ・第11分団第2部・第3部統合詰所新築工事設計業務委託…2,145,000円
- ・第11分団第2部・第3部統合詰所新築事業に伴う用地費…10,760,000円
- ・第11分団第2部・第3部統合詰所新築事業に伴う物件等補償費…6,402,717円

3 令和5年度末現在の消防水利の状況

- ・消火栓 公設3,148基 私設33基 合計3,181基・防火水槽 公設549基 私設 43基 合計592基

上記の評価と課題等

安曇野市公共施設再配置計画及び安曇野市消防団詰所統廃合事業計画に基づき、消防団詰所の統廃合を含めた組織再編を行い、詰所等の集約による適正な配置を行うことで、地域防災力の向上と出動体制の強化を図りました。

消防法第20条第2項及び安曇野市公設消防水利施設設置基準に基づき、区等から要望があった消火栓の設置等を行い、消防水利の確保に努めました。

令和 6 年度	
部	危機管理監
課	危機管理課
係等	危機管理担当

決算書 ページ	195

予算	款	9	消防費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	消防費		目標	安全で安心して暮らせるまち
	目	3	消防施設費			
	事業	0109040	防災無線維持管理費		施策	防災・減災対策の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
82,822,000	81,439,399		0		1,382,601	98.3%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名		金 額	細 節 名	金 額
31,700,000		防災基盤整備事業		31,700,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- ### 1 防災行政無線維持整備事業
- 災害時等における市民等への情報伝達手段である、防災行政無線施設の正常な機能の維持と、障害発生・未然防止を図るため、保守点検・維持管理業務を委託しました。
- | | |
|------------------------|------------|
| ・デジタル移動系防災行政無線保守点検業務委託 | 8,690,000円 |
| ・デジタル同報系防災行政無線保守点検業務委託 | 6,820,000円 |
- ### 2 緊急割込み放送システム維持整備事業
- 市が発表する行方不明者の情報提供や避難所開設等の情報を、リアルタイムできめ細かく提供することが可能なコミュニティエフエムを利用した緊急割込み放送システムの保守点検・維持管理業務を委託しました。
- また、災害時にも支障なく維持管理や保守を行うために、押野山の中継局に設置されていた割込み放送装置をあづみ野エフエム放送株式会社の社屋に移設しました。
- | | |
|----------------------|------------|
| ・緊急割込み放送システム保守点検業務委託 | 3,960,000円 |
| ・緊急割込み装置移設工事 | 411,400円 |
- ### 3 防災行政無線設備新設・更新事業
- 防災行政無線の機能維持のため、安曇野市本庁舎と押野山中継局、室山中継局のFWA装置（多重無線設備）の更新工事を実施いたしました。当初令和4年度内にしゅん工予定でしたが、半導体の供給が間に合わず工期延長となったため債務負担行為事業として、令和5年度中にしゅん工となったものです。
- また、電源途絶時にも同報系行政無線を放送するために、屋外拡声装置（屋外スピーカー）に備え付けられているバッテリー316個のうち116個を交換しました（残り120個は令和6年度の実施予定）。
- | | |
|------------------------|------------------------|
| ・防災行政無線FWA改修工事 | 42,300,000円（令和5年度支払い分） |
| ・防災行政無線屋外拡声装置バッテリー交換工事 | 12,397,000円 |

上記の評価と課題等

同報系・移動系の防災行政無線及び、緊急告知機能付き防災ラジオの割込み放送を的確に行うことができました。また、FWA（多重無線設備）を更新したことにより、防災行政無線を安定的に運用することが出来ました。屋外拡声装置の非常用バッテリーの交換により、電源が途絶した際にも放送が出来る体制を整えました。

今後も、経年劣化している設備の修繕及び入替工事を計画的に実施していくとともに、緊急告知機能付き防災ラジオの普及促進や市メール配信サービスへの登録など、様々な情報伝達手段の活用を呼び掛けていきます。

(防災ラジオ販売数：令和6年3月末4,689台)

令和6年度	
部	危機管理監
課	危機管理課
係等	危機管理担当

決算書 ページ	195

予算	款	9	消防費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	消防費		目標	安全で安心して暮らせるまち
	目	4	災害対策費			
	事業	0109050	災害対策費		施策	防災・減災対策の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
119,231,000	114,612,430		0		4,618,570	96.1%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名		金 額	細 節 名	金 額
10,000,000		ふるさと寄附基金繰入金		10,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 防災啓発事業

三郷地域及び堀金地域を対象に指定避難所開設訓練を実施し、災害対応力の向上を図りました。出前講座（実施回数43回）を実施し、市民の防災意識の向上を図りました。また、市民の皆さんの災害時の備えの拡充を図るため、防災用品の購入に対して補助金を交付しました。

- ・防災用品購入補助金 5,136,100円（交付数365件）
 - ・市防災ラジオ購入補助金 160,400円（交付数36件）
- （令和5年11月以降防災用品購入補助金から分離し、別の補助金として交付）

2 防災組織支援事業

「自主防災組織防災活動支援補助金」を交付し、各組織が実施する防災訓練や資機材の整備等を支援しました。

- ・補助金 3,784,381円（44組織、延べ交付数49件）

3 防災情報システム事業

情報伝達手段の多様化のためメール配信サービスを運用し、情報伝達の安定化を図りました。年度末のシステム登録数は、7,737件でした。

4 災害対策事業

備蓄品の購入

大規模災害に備えて、消耗品や備品を計画的に購入しました。消耗品としては、アルファ米6,500食、即席みそ汁4,200食、水8,400本（500mlボトル）、簡易トイレ3,000回分等を購入しました。また、避難所における女性の生活に配慮し、サニタリーショーツ100セットを購入しました。

備品としては、発電機6台、投光器3台、ファミリールーム20張等を購入しました。

避難所感染症対策用品として、プライバシールーム9張、自動排泄処理トランク型ポータブルトイレ10セット、ワンタッチテント9基を購入しました。

- ・消耗品 6,607,365円
- ・備品 3,157,000円
- ・避難所感染症対策用品 3,080,000円

上記の評価と課題等

防災用品購入補助金事業や出前講座の開催、指定避難所開設訓練等の実施により、市民の皆さんに防災への関心を高めてもらうことができました。また、自主防災組織防災活動支援補助金事業により自主防災組織の活動に対する支援を行うことができました。

市民の皆さんへの情報伝達手段の一つとしてメール配信サービスを運用し、気象情報等を配信して災害への備えを行うことができました。

今後も、市民の防災意識の一層の向上を目指します。また、地区防災計画が策定されていない自主防災組織に対して、策定について働き掛けをしていくとともに、全組織で防災訓練等が実施できるよう、各組織と連携を図っていきます。

総務部

令和6年度	
部	総務部
課	総務課
係等	総務係

決算書 ページ	63

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	1	一般管理費			
	事業	0102010	一般管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
974,925,000	971,516,625		0		3,408,375	99.7%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額	
57,806,544		自衛官募集事務委託金	35,000	税証明等郵送料申請者負担金	5,302	
		特例処理事務交付金	1,255,000			
		住宅新築資金県補助金	249,000			
		派遣職員給与費負担金	56,262,242			

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（１）平和推進事業関係

- 市内中学から推薦された生徒を広島平和記念式典に派遣する「広島平和記念式典参加事業」を平成24年度から実施しています。コロナ禍においては休止していましたが、令和4年度から再開し、令和5年度は14名の生徒を広島に派遣しました。
令和5年度は、松本大学との連携事業として実施し、平和学習サークルの学生と式典に参加し、学生のサポート受けながら学習会、成果発表会を開催しました。また、成果発表会の様子や成果を動画にまとめ感想文集とともに学校に配布しました。

（２）固定資産評価審査委員会

- 固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服を審査決定するための委員会で、3人の委員を選任しております。令和3年度の審査申出に対する審査決定に対して、審査申出人が決定を不服として長野地方裁判所へ提訴しました。令和5年11月に判決がでましたが、申出人が不服として控訴し東京高等裁判所で係争しました。（令和5年（行コ）第356号 固定資産評価審査決定取消請求控訴事件）。
- 委員改選後の令和5年11月16日に委員会を開催し、固定資産税についての研修を実施しました。

（３）郵便・宅急便関係

郵便等の発送件数は、1,316,547件でした（特別会計を除く郵便料等：72,142,443円）。
文書送達を経費を抑制するため、区内特別郵便の割引制度の活用を周知・徹底しました。

（４）メール便関係

本庁舎、各支所及び穂高健康支援センターの文書收受のため、メール便を1日当たり午後1便を運行しました（平成29年10月から午後2便を1便に減便）。令和2年度から、業務をアウトソーシングしています。

予算	款	2	総務費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		基本方針	みんなでもにつくるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	市民の視点に立った行財政運営
	事業	0102010	一般管理費			

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（5）顧問弁護士関係

市の行政運営における法律問題や不服申立て等に関する対応を的確に行うため、顧問弁護士として3人を選任しました。令和5年度の相談件数は43件でした。（令和4年度 51件）

○顧問弁護士に係る支出状況

事業名	弁護士名	決算額
顧問弁護士委託	安曇野法律事務所 宮澤 幸平弁護士	1,980,000円
	山根伸右法律事務所 山根 伸右弁護士	
	東京平河法律事務所 橋本 勇 弁護士	

（6）係争事件関係

弁護を委任している訴訟代理弁護士に諸経費等を支出しました。

○係争事件に係る支出

事件名	弁護士名等	決算額
長野地方裁判所令和3年（行ウ）第3号許可処分取消等請求事件〔諸経費、成功報酬〕	久保田法律事務所	1,051,548円
東京高等裁判所令和3年（行コ）第208号各許可処分取消等請求控訴事件〔成功報酬〕	久保田法律事務所	3,300,000円
長野地方裁判所令和4年（行ウ）第5号固定資産評価審査決定取消請求事件〔諸経費等〕	東京平河法律事務所	397,900円
東京高等裁判所令和5年（行コ）第356号固定資産評価審査決定取消請求控訴事件〔着手金〕	東京平河法律事務所	1,199,000円

上記の評価と課題等

・平和推進事業は、令和5年度から新たに松本大学と連携して実施した「広島平和記念式典参加事業」成果発表会を開催しました。生徒は大学生と共に学習することでより深い学びとなり、未来を担う若者が平和の大切さに関心を寄せる機会とすることができました。今後も、平和都市宣言の精神を尊重し市民の平和意識の醸成を図ります。

・法務関係では行政運営上、職員自身が憲法や民法のほか地方自治固有の法律を正しく解釈し、適切に運用していくことが必要です。今後も複雑な法解釈を適正に理解するためには、法律の専門家である弁護士の助言が不可欠であるため、顧問弁護士に委託することが必要と考えます。また、係争事件では、年度末において固定資産評価審査決定取消請求控訴事件1件係争中です。

令和 6 年度	
部	総務部
課	総務課
係等	総務係

決算書 ページ	65

予 算	款	2	総務費	総 合 計 画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目 標	みんなでもにつくるまち
	目	1	一般管理費			
	事業	0102015	寄附採納事務		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円										
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
859, 140, 000		857, 754, 094		0		1, 385, 906		99.8%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
595, 489, 218			ふるさと寄附基金利子		4, 142, 218					
			ふるさと寄附金		591, 347, 000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- (1) 寄附採納関係 (安曇野ふるさと寄附を除く。)

市に対する寄附申出を受け一般会計に歳入された寄附の決算額は5,778,770円でした。寄附金は、寄附者が指定する条件に沿った活用を行いました。

指定寄附	15 件	5,775,000円	(前年度17件 54,929,000円)
一般寄附	1 件	3,770円	(前年度0件)

- ## （２）安曇野ふるさと寄附の採納

寄附申出を受け一般会計に歳入された決算額は591,347,000円で、「ふるさと寄附基金」へ積み立てました。

安曇野ふるさと寄附 6,745件 591,347,000円 (前年度5,709件 585,874,900円)

- ### (3) ふるさと寄附基金の活用状況

基金を590,000,000円取り崩し、次の24事業に活用しました。

①企業助成事業②母子・子育て支援事業③豊科南部総合公園管理運営事業④予防接種事業⑤市農業振興作物等推進事業⑥外国語指導助手配置事業⑦子育て応援手当給付事業⑧ハーフマラソン事業⑨豊科北小児童クラブ整備事業⑩穂高西小児童クラブ整備事業⑪穂高南小児童クラブ整備事業⑫有害鳥獣駆除対策事業⑬長峰山森林体験交流センター事業⑭不妊・不育症治療費助成事業⑮DX推進事業⑯国際友好交流事業⑰観光プロモーション事業⑱災害対策事業⑲南穂高児童館エアコン更新事業⑳入浴料金割引券交付事業㉑アクティブシニアがんばろう事業㉒移住定住促進事業㉓コミュニティスクール事業㉔しごと創出事業

上記の評価と課題等

平成29年4月1日付け総務大臣通知に基づき、安曇野ふるさと寄附の全ての返礼品について、平成30年4月から返礼割合を3割以下としています。また、令和5年10月に制度の見直しにより返礼品要件等が厳格化されましたが、安曇野市の返礼品に大きな影響はありませんでした。

前年度と比較すると寄附採納額は547万円、件数は1036件増加しました。寄附件数は毎年増加傾向で単年度では最高件数となりました。新たに「旅先納税」による体験・飲食等をふるさと納税の返礼品に加え、安曇野市にお越しいただいた方から寄附をいただける仕組みを取り入れました。返礼品も見直しを加え298品を掲載しました。これまでお寄せいただいた寄附金の有効活用と、今後においても魅力ある返礼品の開発に努めます。

令和6年度	
部	総務部
課	総務課
係等	法務係

決算書 ページ	75

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでとものつくるまち
	目	2	文書広報費			
	事業	0102195	法務管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
4,666,000	4,104,819	0	561,181	88.0%	
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
207,746		コピー等サービス料	207,746		

主要な施策（事務事業）の成果の概要											
条例等の制定改廃に伴う事務等を実施しました。 (1) 条例、規則等の制定改廃に伴う法規審査及び公布を行いました。 <table> <tr> <th>区 分</th><th>公布本数</th></tr> <tr> <td>条例</td><td>45</td></tr> <tr> <td>規則</td><td>50</td></tr> <tr> <td>訓令（規程等）</td><td>20</td></tr> <tr> <td>告示（要綱等）</td><td>130</td></tr> </table> (2) 条例、規則等の制定改廃に伴い、例規集等データベースの更新、維持管理を行いました。 （委託料：2, 191, 200円） なお、本業務については、令和4年度から令和8年度までの長期継続契約に基づき事業を進めました。 (3) 行政手続法や行政手続条例に準拠した審査基準等を提示するための支援システムの維持管理を行いました。 （委託料：行政手続基準管理システム維持管理369, 600円） (4) 条例、規則等の制定改廃を含む法制執務のための判例を確認する支援システムを利用しました。 （賃借料：判例体系システム利用379, 500円）		区 分	公布本数	条例	45	規則	50	訓令（規程等）	20	告示（要綱等）	130
区 分	公布本数										
条例	45										
規則	50										
訓令（規程等）	20										
告示（要綱等）	130										

予算	款	2	総務費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		基本方針	みんなでもにつくるまち
	目	2	文書広報費		基本施策	市民の視点に立った行財政運営
	事業	0102195	法務管理費			

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

情報公開制度と個人情報保護制度を適正に運用するとともに、市の保有する情報の公開を図るため、随時、開示請求のあった担当課との協議を行いました。

また、市が保有する情報は、市民の皆様の大切な情報であるとの共通認識のもと、個人情報の保護に努めました。

（１）情報開示請求及び個人情報開示請求の状況は、次のとおりです。（単位：件）

実施機関		請求	処理内訳					不服 申立て
			全部開示	部分開示	不開示		取下げ	
					うち不存在			
市長	情報開示	56	10	24	25	25	2	
	個人情報	16	7	8	2	2		
議会	情報開示							
	個人情報							
教育委員会	情報開示	9	1	6	1	1	2	
	個人情報	1	1					
選挙管理 委員会	情報開示							
	個人情報							
監査委員	情報開示							
	個人情報							
公平委員会	情報開示							
	個人情報							
農業委員会	情報開示							
	個人情報							
固定資産評価 審査委員会	情報開示							
	個人情報							
合　　計	情報開示	65	11	30	26	26	4	0
	個人情報	17	8	8	2	2	0	0

請求と処理内訳の合計の相違は、請求書の内容により処理が複数あったことによるものです。

（２）安曇野市情報公開・個人情報保護審査会

委員数：５人 任期：令和４年６月１日から令和６年５月３１日まで
 会議等：審査会の開催状況は、不服申立てがなかったため１回のみでした。
 第１回審査会（令和５年５月１９日）内容：令和４年度の経過報告等

（３）新規採用職員を対象とした研修の実施

新規採用職員を対象に情報公開・個人情報保護制度及び開示請求事務に係る研修
 （令和５年６月５日）を実施しました。
 内容：制度の基本的な知識、個人情報の適正な取扱い等について

予算	款	2	総務費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		基本方針	みんなでともにつくるまち
	目	2	文書広報費		基本施策	市民の視点に立った行財政運営
	事業	0102195	法務管理費			

その3

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市行政不服審査会

委員数：5人 任期：令和4年6月1日から令和6年5月31日まで

会議等：審査会の開催状況は、次のとおりでした。

○第1回審査会（令和5年5月19日）

内容 令和4年度の経過報告等、行政不服審査法第43条第1項の規定による諮問に対する審議

上記の評価と課題等

例規の見直しを含めて、245本の制定改廃を行いました。

（新規制定：60本 改正：180本 廃止：5本）

今後も法令等の改正を注視し、リアルタイムに市の例規に反映させ、事務等に支障を来さないように努めます。

令和5年度における開示請求について、前年度と比較して情報開示請求は減少、個人情報開示請求は増加しました。請求状況の増減にかかわらず、情報公開制度、個人情報保護制度ともにおおむね適正な運用が図られたものと思われます。今後も、市が保有する情報は市民の大切な情報との認識の下、情報公開制度、個人情報保護制度の適切な運用に努めます。また、引き続き事前に開示する公文書の絞り込みや情報提供による対応に努めます。

現行の行政不服審査制度では、市の行政処分に対して上級庁がない場合、処分を下した課以外の課の職員が審理員として審理することになるため、職員の責務は非常に重くなっています。

市民の信頼を確保するため、引き続き組織としての法務能力の向上に努めながら、適正な審査制度の運用に努めます。

令和6年度	
部	総務部
課	職員課
係等	職員担当

決算書 ページ	67

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	1	一般管理費			
	事業	0102030	職員管理		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
906,849,000	899,706,734		0		7,142,266	99.2%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額	
5,553,475		職員健康診断共済組合補助	97,580			
		団体定期保険事務費外	210,895			
		共済組合研修会助成	100,000			
		職員駐車場利用料	5,145,000			

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 職員数
令和5年4月1日は735人（内42人は再任用職員）で、前年度から5人の増員となりました。
令和6年4月1日は733人（内28人は再任用職員）で、昨年度と比較して2人の減員となりました。条例の職員定数は750人です。
令和5年6月1日現在の障がい者の雇用率は2.65%でした。（法定雇用率2.6%）
- 職員構成及び配置
令和5年4月1日の新規採用職員21人、再任用職員42人、10月1日に経験者採用6人の任用を行いました。
また、令和5年4月1日の会計年度任用職員数は726人で、前年度と比較すると9人の増員となっています。

参考：令和6年4月1日の新規採用職員24人、再任用職員28人、会計年度任用職員730人
- 職員派遣
(1) 自治法派遣
地方公共団体相互間の協力援助に関する派遣
〔派遣〕：松本広域連合（3人）、長野県後期高齢者医療広域連合（1人）、穂高広域施設組合（1人）、安曇野・松本行政事務組合（2人（再任用職員））
〔受入〕：長野県（1人）、長野県教育委員会（2人）、松本広域連合（1人）
(2) 研修派遣
派遣先機関のノウハウを習得し、人脈を築くことで、職員自らのスキルアップを図り市政に活かすことなどを目的とした派遣
〔派遣〕：総務省（1人）、長野県（2人）、全国市町村国際文化研修所（1人）、塩尻市（1人）
〔受入〕：塩尻市（1人）
(3) その他の派遣
〔受入〕：長野県警察（2人）
- 分限・懲戒・表彰
処分は、分限休職15人、戒告1人、訓告12人、嚴重注意（文書13人、口頭12人）でした。

予算	款	2	総務費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		基本方針	みんなでもにつくるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	市民の視点に立った行財政運営
	事業	0102030	職員管理			

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

5 職員給与

（1）一般行政職の給与の状況 （各年4月1日現在）

年度	平均給料額	平均給与額	平均年齢	ラスパイルズ指数
令和5年度	304,655円	346,665円	42歳1月	97.5
令和4年度	303,432円	344,075円	41歳9月	97.7

※ラスパイルズ指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の給与水準を示す指数

（2）給与改定の実施

人事院勧告に準拠し、給料表、初任給、期末手当・勤勉手当の支給割合を改定しました。

- ・給料表・・・平均で1.1%の引上げ
- ・初任給・・・大卒者11,000円、高卒者12,000円の引上げ
- ・期末手当及び勤勉手当・・・支給月数をともに0.05月分引上げ
（期末・勤勉手当の年間の支給割合を4.5月）

6 職員研修 4,432,478円（旅費：835,928円、委託料：1,974,300円、負担金補助金：1,622,250円）

人材育成基本方針に基づく「職員研修実施計画」により、各種研修を実施しました。

平成28年度より階層別研修の体系化に取組み8年目を迎えました。職層ごとに必須研修、推奨研修を設け、継続して実施しています。

- ・庁内研修受講者 延べ3,144人 ・出張研修受講者 延べ143人
- ・通信教育講座受講申込者数 90人、うち修了者数 73人

7 健康管理・福利厚生 18,405,302円

（報酬：1,080,000円、消耗品：306,020円、委託料：9,533,490円、負担金：7,485,792円）

（1）健康診断等

ア 安全衛生委員会事業計画に基づき、指定健診機関における定期健康診断を実施し、182人（30歳未満の職員111人、35歳未満の会計年度任用職員71人）が受診しました。また、健診機関と委託契約を締結し、各健診機関において人間ドック、巡回健診を奨励し、受診した職員（30歳以上の職員495人、35歳以上の会計年度任用職員 515人）に対して、事業主負担分を健診機関へ支払いしました。その他、契約医療機関以外の受診者2人を含め、全体の受診率は90.2%でした。

イ 心の健康づくり計画に基づき、8回目のストレスチェック検査を実施し、1,095人が受検しました。受検率は86.8%でした。

また、新たにスマートフォンでの受検も可能としました。

（2）職員の福利厚生事業（市職員互助会事業を含む）

ア メンタルヘルス対策として産業カウンセラーが庁舎内で相談に応じる月1回の定例相談日を設け、延べ20人（実人数14人）が利用しました。また、新規採用職員、新任係長、72人に対して、産業カウンセラーとの面談を実施しました。

そのほか、休日に本庁舎以外で相談に応じる「カウンセリングルーム」は年12回開催し、延べ4人の利用がありました。

イ 職員相互の親睦と健康増進を目的とした職員互助会親睦ボウリング大会を開催し、122名（4日間）の参加がありました。

8 職員勤務管理 （委託料：499,950円）

平成30年度から、職員の入退庁の打刻記録を可視化（時間帯グラフ）できる入退庁記録参照システムを取り入れ、入退庁時間を正確に把握できるようにしました。

管理職が職員の入退庁時間を正確に把握することで、時間外勤務命令などを含めた職員の勤務管理に努めています。

予算	款	2	総務費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		基本方針	みんなでもにつくるまち
	目	1	一般管理費		基本施策	市民の視点に立った行財政運営
	事業	0102030	職員管理			

その3

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 9 人事評価制度の運用（委託料：165,000円）
能力評価及び業績評価の結果に応じ、勤勉手当の成績率及び昇給（昇格）への反映を行うとともに、人事配置での配慮や人材育成等に活用しました。
- （1）勤勉手当の成績率への反映（退職者を除く支給対象者631人）（毎年6月・12月）
令和4年度人事評価結果に基づく各評価ランクの職員数
A：49人(7.7%)、B：573人(90.8%)、C：9人(1.4%)
- （2）昇給（昇格）への反映（昇給対象者695人）（毎年1月）
A：9人(1.4%)、B：622人(98.5%)
- 10 係長昇任試験を実施
職員の主体的キャリア選択を可能とする複線型昇任制度の運用により、係長昇任試験を実施しました。令和6年4月の人事異動では、今回の合格者を含めた係長昇任候補者の中から、19人を係長に登用しました。
- 11 会計年度任用職員制度
会計年度任用職員の任用については、地方公務員法に定める平等取扱いの原則及び成績主義を踏まえて、新たな募集及び再度の任用を行いました。

上記の評価と課題等

職員数については、公務員の定年延長が実施される中、退職予定者数の正確な把握に努め、新規採用者数とのバランスを図っていきます。

特定事業主行動計画に掲げた取組を実行し、職員が働きながら子育てを実現できるとともに、女性職員が十分に能力を発揮し活躍できる環境づくりに努めていきます。

人材育成基本方針に基づく職員研修実施計画により、体系的な階層別研修を実施するとともに、受講した職員の満足度や理解度を上げるために研修内容の見直しと充実を図ります。

人事評価制度の運用は、組織目標の達成に向けて職員の能力を引き出すとともに、能力開発、人材育成といった人事管理の基礎として活用します。評価の信頼性、納得性を高めるために、引き続き研修等を行うほか、必要な見直しを行っていきます。

職員勤務管理では、職員の健康保持やワークライフバランスを目指し、引き続き適正な労働時間の管理を徹底していきます。

安曇野市職員心の健康づくり計画に基づくストレスチェック検査は、更なる受検率の向上を図り、高ストレス者に対する対応に努めていきます。また、職場ごとの集団分析を行い、職場環境改善に繋げていきます。

会計年度任用職員の任用については、事業ごとに必要性を精査し、業務委託の可能性などを検討しながら任用をしていきます。

障がい者の雇用を促進するため、正規・非正規を問わず多様な雇用のあり方について検討を進めていきます。

令和6年度	
部	総務部
課	職員課
係等	職員担当

決算書 ページ	67

予算	款	2	総務費	総合計画	目標	自然、文化、産業の織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		方針	みんなでもにつくるまち
	目	1	一般管理費			
	事業	0102038	災害派遣事業		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
1, 075, 000		1, 074, 800		0		200		100. 0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震における被災地支援のため、職員の旅費を支出しました。

1. 派遣の内訳

《チームながの》

令和6年2月4日から2月10日 石川県羽咋市 廃棄物処理 2名
令和6年2月11日から2月17日 石川県羽咋市 家屋調査、罹災証明 2名
令和6年2月19日から2月24日 石川県輪島市 避難所運営支援 2名
令和6年3月10日から3月16日 石川県羽咋市 家屋調査、罹災証明 2名

《日本水道協会》

令和6年1月28日から2月2日 石川県羽咋市 給水支援 4名
令和6年3月4日から3月9日 石川県七尾市 給水支援 4名

上記の評価と課題等

関係機関からの要請に基づき、被災地支援を行うことができました。
引き続き被災地からの要請を踏まえ、短期及び中長期の災害派遣を実施していきます。

令和6年度	
部	総務部
課	財政課
係等	財政担当

決算書 ページ	77

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	3	財政管理費			
	事業	0102250	基金積立金		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1, 777, 170, 000	1, 777, 166, 901		0		3, 099	100. 0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額	
26, 214, 901		財政調整基金利子	9, 550, 084			
		減債基金利子	5, 246, 682			
		公共施設整備基金利子	7, 379, 186			
		地域振興基金利子	4, 038, 949			

主要な施策（事務事業）の成果の概要

財政調整基金については、将来的な財源調整に備え次のとおり積み立てました。
減債基金については、地方債の償還財源を確保するため、次のとおり積み立てました。
公共施設整備基金については、今後の公共施設の整備に必要な資金を確保するため次のとおり積み立てました。

財政調整基金積立	667, 000, 000円
減債基金積立	123, 952, 000円
公共施設整備基金積立	960, 000, 000円

財政調整基金、減債基金、公共施設整備基金、地域振興基金から発生する利子について、各基金に次のとおり積み立てました。

財政調整基金	9, 550, 084 円
減債基金	5, 246, 682 円
公共施設整備基金	7, 379, 186 円
地域振興基金	4, 038, 949 円

なお、市債の償還、地域の振興及び財源調整のため、次のとおり基金からの繰入を行いました。

財政調整基金繰入金	669, 530, 000 円
減債基金繰入金	158, 000, 000 円
地域振興基金繰入金	128, 500, 000 円

年度末各基金の現在高は、次のとおりです。

財政調整基金	5, 368, 446, 448 円
減債基金	3, 094, 807, 284 円
公共施設整備基金	5, 360, 572, 288 円
地域振興基金	2, 280, 124, 454 円

上記の評価と課題等

財政計画を念頭に、各基金の設置目的に基づき繰入、積立を行いました。引き続き、健全財政の堅持に努めます。

令和6年度	
部	総務部
課	財政課
係等	財政担当

決算書 ページ	247

予算	款	12	公債費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	公債費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	1	元金			
	事業	0112010	長期借入金償還元金		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
5,651,484,000		5,651,447,573		0		36,427		100.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
908,000,000			減債基金繰入金		158,000,000					
			借換債（臨時財政対策債）		750,000,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市債について通常償還（元金）と、借換債を発行しました。

年度末地方債現在高は、36,176,749,328 円です。

そのうち、現在高の大きなものは次のとおりです。

- ・市町村の合併の特例に関する法律（昭和40 年法律第6 号）に基づく「旧合併特例事業債」が、16,148,257,500円。
- ・国の地方交付税として交付すべき財源が不足した場合に、地方公共団体自らに地方債を発行させ、その償還に要する費用を後年度の地方交付税で措置する「臨時財政対策債」が、13,708,184,440 円。

借換債（臨時財政対策債分）を発行し、750,000,000円を借換えました。

また、総務債・旧合併特例債分528,400,000円は、借換債の発行を行わず償還しました。

上記の評価と課題等

一般会計の地方債現在高は減少傾向が続いています。

引き続き、償還額と借入額とのバランスに留意していきます。

令和6年度	
部	総務部
課	財政課
係等	財政担当

決算書 ページ	247

予算	款	12	公債費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	公債費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	2	利子			
	事業	0112020	長期借入金償還利子		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
87,639,000		86,732,385		0		906,615		99.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市債の償還（利子）を行いました。 また、年度当初及び年度末の歳計現金の不足を補うため、財政調整基金の繰替運用を行い、この分の利子を一時借入金利子から支出しました。	
1	通常償還分利子 86,138,799 円
2	一時借入金利子 593,586 円 (R5.4.20～R5.5.31) 15億円 利子 98,383円 (R5.12.6～R6.3.29) 20億円 利子 384,383円 (R6.2.19～R6.3.29) 5億円 利子 35,616円 (R6.3.25～R6.3.29) 15億円 利子 13,561円 (R6.3.29～R6.4.3) 15億円 利子 61,643円

上記の評価と課題等

入札見積りによる借入により、有利な償還を行い、健全財政の堅持に努めます。

令和6年度	
部	総務部
課	財政課
係等	財政担当

決算書 ページ	247

予算	款	13	予備費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	予備費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	1	予備費			
	事業	0114010	予備費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
32, 226, 000		0		0		32, 226, 000		0. 0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

予備費132, 000, 000 円について、充用件数 48 件 充用額 99, 774, 000円を充用しました。

○原因別の内訳は次のとおりです。

1 災害に起因して必要となった経費	9 件	56, 327, 000円
2 施設・設備の故障等に起因して必要となった経費	15件	14, 783, 000円
3 除雪で必要となった費用	1 件	19, 973, 000円
4 能登半島地震への職員派遣で必要となった費用	9 件	1, 603, 000円
5 その他（弁護士委託諸経費、組織改編に係る経費ほか）	14件	7, 088, 000円

○充用先科目の内訳は次のとおりです。

1 旅費	5 件（普通旅費）	1, 075, 000 円
2 需用費	14件（燃料費 2 件、食糧費 1 件、修繕費11件）	5, 176, 000 円
3 委託料	4 件（設計監理委託料 1 件、事務事業委託料 3 件）	23, 934, 000 円
4 使用料及び賃借料	3 件（使用料 3 件）	271, 000 円
5 工事請負費	11件（工事請負費11件）	65, 412, 000 円
6 原材料費	1 件（原材料 1 件）	446, 000 円
7 備品購入費	1 件（備品購入費 1 件）	2, 095, 000 円
8 負担金・補助金及び交付金	2 件（負担金 2 件）	378, 000 円
9 扶助費	7 件（医療費扶助補助分 1 件、その他扶助単独分 6 件）	987, 000 円

※決算書に表示の件数は、重複科目への充用を考慮しているため、上記件数と一致しません。

上記の評価と課題等

予備費充用については、基準に沿った運用に努め適正に管理しています。

令和6年度	
部	総務部
課	税務課
係等	市民税担当・諸税係

決算書 ページ	91

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	徴税費		目標	みんなでとものつくるまち
	目	1	税務総務費			
	事業	0102460	税務総務費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
359,989,000	354,553,486		0	5,435,514	98.5%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
124,469,448		県民税徴収事務委託金	124,469,148		
		その他税務関係雑入	300		

主要な施策（事務事業）の成果の概要																																									
1 公平・公正・適正な賦課と捕捉率向上の取り組み (1) 申告受付：令和6年2月5日から3月15日までの間、市内5会場で開催しました。 受付者数：6,739人（前年比 145人増） LINEを活用した予約システムや自動発券機の導入により、申告者の利便性向上と業務の効率化を図りました。 (2) 未申告者の解消：申告勧奨通知の送付や電話連絡を実施しました。 (3) 庁内各種内部資料、国、県資料による課税の是認、否認。 税務署への閲覧や中信県税事務所への照会、修正申告等適宜に対応し適正な課税に努めました。 (4) 課税原票管理システムによる事務の効率化 事業費：2,310,000円（12委託料） 各種法定調書のイメージ化で、課税、更正事務の効率化に寄与しています。 <table> <tr> <th></th><th>給与支払報告書</th><th>年金個票</th><th>確定申告書</th><th>市県民税申告書</th><th>その他</th></tr> <tr> <td>イメージ読取</td><td>73,722枚</td><td>48,342枚</td><td>19,652枚</td><td>4,846枚</td><td>5,922枚</td></tr> </table> (5) e L T A X（地方税ポータルシステム）（給与支払報告書、法人市民税の申告、償却資産の申告等について電子データでの送信）による事務の効率化及び税務署への全件データ引継ぎの実施 事業費：10,856,400円(13使用料 5,966,400円、18負担金 4,890,000円) ○地方税電子申告支援サービス <table> <tr> <th></th><th>給与支払報告書</th><th>年金個票</th><th>法人市民税申告</th><th>償却資産申告</th><th>給与特徴異動届</th></tr> <tr> <td>全提出件数</td><td>65,988件</td><td>48,350枚</td><td>3,543件</td><td>4,882件</td><td>4,822件</td></tr> <tr> <td>内電子申告</td><td>46,446件</td><td>47,593枚</td><td>2,827件</td><td>1,839件</td><td>789件</td></tr> <tr> <td>前年比増減率</td><td>7.61%</td><td>0.57%</td><td>△2.93%</td><td>△5.46%</td><td>33.50%</td></tr> </table> ○市の申告会場で受付けた確定申告データを税務署に送信する「データ引継ぎ」を実施 引継件数：4,623件							給与支払報告書	年金個票	確定申告書	市県民税申告書	その他	イメージ読取	73,722枚	48,342枚	19,652枚	4,846枚	5,922枚		給与支払報告書	年金個票	法人市民税申告	償却資産申告	給与特徴異動届	全提出件数	65,988件	48,350枚	3,543件	4,882件	4,822件	内電子申告	46,446件	47,593枚	2,827件	1,839件	789件	前年比増減率	7.61%	0.57%	△2.93%	△5.46%	33.50%
	給与支払報告書	年金個票	確定申告書	市県民税申告書	その他																																				
イメージ読取	73,722枚	48,342枚	19,652枚	4,846枚	5,922枚																																				
	給与支払報告書	年金個票	法人市民税申告	償却資産申告	給与特徴異動届																																				
全提出件数	65,988件	48,350枚	3,543件	4,882件	4,822件																																				
内電子申告	46,446件	47,593枚	2,827件	1,839件	789件																																				
前年比増減率	7.61%	0.57%	△2.93%	△5.46%	33.50%																																				

予算	款	2	総務費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	徴税費		基本方針	みんなでもにつくるまち
	目	1	税務総務費			
	事業	0102460	税務総務費		基本施策	市民の視点に立った行財政運営

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

(6) 軽自動車税（種別割）の課税

長野県市長会との契約に基づき提供される軽自動車申告書（登録・廃車・所有権移転・転出等）のデータ及び、軽自動車検査情報市区町村提供サービス業務（J-LIS）に基づき課税事務を行いました。

事業費：1,918,220円（12委託料 1,552,835円 13使用料 365,385円）

〈件数〉（125CC以下のバイク、小型特殊自動車を除く）

申告書取扱委託	申告書データ化業務	J-LIS検査情報	市外転出車両情報
13,724件	13,018件	29,658件	938件

なお、環境性能割は市税ですが、当分の間、長野県が賦課徴収を行うものとされています。

(7) 課税の更正

確定申告、住民税申告の他、他市町村及び税務署からの通知、法人からの更正請求、償却資産の修正申告、固定資産税・軽自動車税の減免申請等の事由による更正処理を行いました。

	個人市県民税	法人市県民税	固定資産税	軽自動車税
更正件数	10,171件	32件	324件	671件
還付額	19,614,210円	14,319,800円	618,400円	54,000円

(8) 個人住民税の特別徴収の推進

特別徴収制度を運用することで従業員等の納税の利便性向上のため、原則すべての事業主を特別徴収義務者に指定し、個人住民税の特別徴収を徹底しています。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
特別徴収義務者数	5,350人	5,665人	5,714人	5,856人	5,911人

2 広報活動の充実等により、税に対する理解を深め納税意識の高揚を図り安定した財政基盤を確保する取り組み

(1) 租税教育推進事業 事業費 427,178円（08記念品 427,178円）

安曇野市租税教育推進委員会を組織し、市教育委員会、税務署、税理士会等の協力のもと、租税教室が市内小学校8校、中学校4校、高等学校4校（合計16校）で開催されました。

税に関する作文・ポスターの募集を市内の高等学校・中学校に呼びかけ、作文594編、ポスター146作品の応募があり、その中から43作品について表彰をしました。

市長賞	教育委員会賞	松本税務署長賞外
10 作品	24 作品	9 作品

(2) 広報紙・ホームページ・デジタルサイネージ・新聞等を活用し税の広報の実施

また、市独自の「税に関するポスター」市長賞の内2作品を活用して、市の所得税・市県民税の申告用ポスターを作り申告会場、駅、市内金融機関等に掲示し啓発を図りました。

松本税務署「税を考える週間」に実施された「税金展」へR4表彰作品のポスター提供。

上記の評価と課題等

公平・公正・適正な賦課に向けて、論理チェック・数値等の確認を行うとともに、事務処理の効率化に向け機械処理できるものと人的処理が必要なものを区分して適正な課税事務を進めます。

今後もe-Tax（国税電子申告・納税システム）、eLTAx（地方税ポータルシステム）の周知を図り有効活用に努めます。

納税意識の高揚を図るため、今後も租税教育や広報活動を関係機関と連携し実施していきます。

令和6年度	
部	総務部
課	税務課
係等	土地係・家屋担当

決算書 ページ	93

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	徴税費		目標	みんなでとものつくるまち
	目	2	賦課徴収費			
	事業	0102470	資産税費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
55,118,000		53,014,611		0		2,103,389		96.2%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
60,650			固定資産土地精通者謝金		60,650					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 事業の目的及び内容

固定資産税の公平・公正・適正な賦課を行うための課税資料の把握及び調査を実施しました。

2 事業の実績

(1) 公平・公正・適正な賦課のための業務委託

ア 課税客体調査事業

23,518,000円

令和6基準年度評価替えに当たって、評価資料として航空写真の撮影、データ化(16,610千円)を行い、また土地評価に係る各種補正の適用の根拠となる、地理情報システムへの土地の形状その他異動情報の更新業務(6,908千円)を行いました。

イ 評価体系集約化（土地評価システム）業務

9,350,000円

市内及び隣接市町村との価格バランス等を確保しつつ、評価基準等に基づいた適正な土地の評価替えを行うことを目的に、評価替え作業に必要な諸資料等の整備を令和3年度から3年間で行う業務であります。

3年目の令和5年度は主要な街路及び標準宅地の選定、土地価格比準表ほか各種資料の作成、評価要領(内規)の見直しを実施しました。

ウ 標準宅地時点修正に係る鑑定業務

3,163,424円

固定資産税における土地の価格は、地価の下落があり基準年度の価格を据え置くことが適当でないときは、据置年度でも価格を修正することとされているため、市内の標準宅地の鑑定評価を行い令和6年度の価格に反映しました。

(2) 固定資産税の賦課業務（免税点未満を含む。）

課税客体	面積・棟・申告者数	評価額（千円）	課税標準額（千円）	納税者数
土地	139,585,737㎡	316,062,042	126,491,580	45,816
家屋	72,877棟	204,938,799	204,773,664	
償却資産	4,861人 (内法人2,608人)	90,933,382	90,298,772	

予算	款	2	総務費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	徴税費		基本方針	みんなでともしつくるまち
	目	2	賦課徴収費			
	事業	0102470	資産税費		基本施策	市民の視点に立った行財政運営

その2

上記の評価と課題等	
<土地> 令和3年度より継続してきた土地価格の調査分析等を取りまとめ、令和6年度評価替えを適正に行うことができました。 <家屋> 令和5年建ての新增築家屋602棟の評価を実施し、令和6年度の価格に反映しました。 <全般> 令和6年4月1日から相続登記の申請が義務化されました。死亡手続き等で来庁する際に法務局で行う相続登記手続きについて、パンフレット等を用いながら周知、案内に努めます。	

令和6年度	
部	総務部
課	収納課
係等	管理係・整理担当

決算書 ページ	93

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	徴税費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	2	賦課徴収費			
	事業	0102480	収納費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
50,908,000		45,369,839		0		5,538,161		89.1%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
41,981,042			県民税徴収事務委託金		40,000,000					
			督促手数料		1,981,042					
			雑入		0					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 滞納整理の取り組み

自主財源の確保と税負担の公平性を図るため、4税（市県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税）2料（後期高齢者医療保険料、介護保険料）合わせて、令和4年度末累積滞納額3.8億円の縮減を目指して滞納整理を実施しました。

具体的な取り組みとしては、現年度徴収の強化として納税コールセンターによる電話催告や催告書の送付により自主納付を広く推進しましたが、コロナ禍以降の生活習慣の変化や消費動向の変容もあり、市税の現年度収納率は、前年度を0.14ポイント下回る99.28%となりました。

また、差押等の滞納処分、長野県地方税滞納整理機構への移管や連携等を行いました。市税累積滞納額は前年度より約1100万円の増額、国民健康保険税については約400万円の減額となりました。

- ・催告書の発送 4,963件（対前年度増減なし）
- ・差押件数 789件（対前年度1.87%減）
- ・差押金額 104,599,030円（対前年度16.38%減）
- ・換価及び自主納付26,780,833円（対前年度12.67%減）
- ・執行停止 32件 7,270,881円
- ・不納欠損処分 23,409,544円

- ・納税コールセンター業務委託 5,544,000円

業務委託により、初期滞納者に対し電話による自主納付の勧奨を行いました。民間の専門事業者へ委託することで、休日や夜間など、納税者が電話に応答し易い時間帯にも納付の呼びかけができることから、年間で40,859,080円（架電件数14,423件）の自主納付がありました。納め忘れによる滞納防止に効果を上げています。

2 徴収体制の強化に向けた取り組み

（1）長野県地方税滞納整理機構への徴収移管

国民健康保険税を含め100万円以上の高額滞納や不動産公売を要する滞納者などの納付困難案件となっている44件について、長野県地方税滞納整理機構へ徴収移管しました。

移管予告通知書による自主納付もあり徴収に一定の成果がありました。

- ・徴収移管額 57,956,342円（令和5年6月移管）

予算	款	2	総務費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	徴税費		基本方針	みんなでもにつくるまち
	目	2	賦課徴収費		基本施策	市民の視点に立った行財政運営
	事業	0102480	収納費			

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- ・長野県地方税滞納整理機構徴収額 20,353,634円（令和5年4月～令和6年3月滞納整理機構徴収分）
- ・長野県地方税滞納整理機構への負担金 6,634,000円

（2）納税相談の実施

期限内納付が困難な納税者や滞納している税金を一括して納付することが困難な方に対して、納税相談を実施し、分割納付等の個々の実情に即した納付計画を提案しました。

- ・相談による納付計画件数332件

3 口座振替、コンビニ収納の状況（市税3月末現年度分）

（1）口座振替納税の推進

市税等の納付の利便性と収納業務の簡素化及び納期内納付の促進を図るため、当初納付書発送時（市県民税普通徴収・固定資産税）にハガキタイプの口座振替依頼書と口座振替推進のチラシを同封して勧奨しました。

（ア）口座振替納税の状況

税 目	令和5年度分(人)		口座振替率(%)
	納税義務者	口座振替登録者	
市 県 民 税	16,540人	7,572人	45.78%
固定資産税	45,833人	31,770人	69.32%
軽自動車税	34,367人	9,549人	27.79%
合 計	96,740人	48,891人	50.54%

（2）コンビニ収納の状況（スマホ決済はバーコード収納によるコンビニ収納連携分）

納税者の納付手段の一つとして定着したコンビニ収納（市県民税普通徴収、固定資産税、軽自動車税）の口座振替以外の納付に対する利用率は、前年度対比 2.57%減の63.30%となりました。

（ア）コンビニ納付利用率

- ・コンビニ納付件数 71,362件（スマホ決済含 対前年度1,753件減・納付額 約1,412万円減）
- ・総納付件数に対する割合 25.94%（対前年度比0.81%減）
- ・口座振替以外の納付件数に対する割合 63.30%（対前年度比2.57%減）

（イ）コンビニ取扱手数料 4,775,892円（スマホ決済含 対前年度比115,698円減）

4 地方税統一QRコードを活用した電子納付の状況

市県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税の納付書に印刷されたQRコードを読み取ることでスマートフォン決済アプリによるキャッシュレス納付やQRコードに対応する全国の金融機関窓口から地方税の納税ができる電子決済サービスによる納付。

- ・スマホアプリ等を利用した電子決済サービスによる納付 6,383件
- ・金融機関窓口でのQRコードを利用した納付 46,665件

上記の評価と課題等

今後も自主財源確保の観点と税負担の公平性から、計画的な自主納付を呼びかけるとともに納税者が、市税等を納めやすい環境づくりを進める中で、関係課、関係機関との連携協力により、市税、国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、介護保険料合わせて令和5年度末累積滞納額約3億8千6百万円の更なる縮減に取り組めます。

令和6年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書 ページ	65

予算	款	02	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102020	本庁舎管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
236,426,000		232,803,409		0		3,622,591		98.5%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
3,125,391			資源ごみ売却代（本庁舎）		35,154					
			自動販売機設置電気料（本庁舎）		217,755					
			公衆電話料（本庁舎）		13,520					
			その他雑入（本庁舎）		2,858,962					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 歳入
公共施設目的外使用料（本庁舎） 5,388,142 円
- 2 歳出
(1) 本庁舎総合管理業務 97,482,000 円
施設の常駐管理、設備管理、警備宿日直、清掃、受付案内、電話交換、郵便物等受発送、植栽管理、除雪等を一括業務委託しています。
- (2) 本庁舎の光熱水費等の使用状況
- | 項目 | 令和3年度 | | 令和4年度 | | 令和5年度 | |
|-----|--------------|-------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| 電気 | 1,402,085kWh | 25,717,726円 | 1,430,810kWh | 39,333,047円 | 1,476,068kWh | 31,069,639円 |
| 水道 | 2,494m³ | 725,200円 | 2,663m³ | 759,338円 | 2,710m³ | 768,832円 |
| 下水道 | 5,102m³ | 1,105,280円 | 5,268m³ | 1,141,800円 | 5,505m³ | 1,193,940円 |
| 灯油 | 56,000ℓ | 6,488,900円 | 51,550ℓ | 6,149,440円 | 52,000ℓ | 6,575,800円 |
- (3) コピー用紙の使用状況
- | 項目 | 令和3年度 | | 令和4年度 | | 令和5年度 | |
|----|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|
| 用紙 | 7,550,000枚 | 7,241,300円 | 7,570,000枚 | 7,734,100円 | 8,323,000枚 | 11,245,712円 |
- (4) 本庁舎機械設備管理事業 1,639,000 円

3 その他来庁者に関する事項

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
休日来庁者	16,650人	15,079人	11,275人
視察	5団体(123人)	8団体(294人)	2団体(12人)

上記の評価と課題等

機器の適切なメンテナンスの実施、職員に対する節電への呼びかけ等を行い、引き続き経費の抑制に努めます。

本庁舎も開庁から9年経過し、経年による設備故障が発生し始めています。行政運営に支障を出さないために、必要な修繕を実施するとともに、計画的な設備の更新を図っていく必要があります。

令和6年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書 ページ	69

予算	款	02	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102080	公用車管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
39,656,000		35,982,657		0		3,673,343		90.7%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

公用車を適切に管理することで安全運行と環境負荷の低減と延命を図りました。
また、任意保険の加入により事故の補償に備えました。

- 1 主な歳出
- (1) 燃料費

ガソリン代

5,635,940 円
- (2) 役務費

自動車損害共済基金分担金

287 台

6,498,270 円
- (3) 使用料

高速道路等使用料

27 台

2,562,921 円

- 2 公用車の事故
- 公用車の事故は13件発生しました。そのうち、相手方への損害賠償金（治療費、修理費等）が発生した事故は3件ありました。

- 3 公用車の更新
- 市全体では、12台の車両を廃車し、19台の車両を購入しました。そのうち共用車両については、5台中軽トラックを除く4台を環境性能の高いハイブリッド車に更新しました。

上記の評価と課題等

車両を安全に運行するために点検や整備を行いました。車両を共用管理することで車両台数を維持し、整備不良や点検・車検漏れなどを防ぐよう管理をしています。保険加入や事故対応を一元化していることで効率的な運用をしています。
また、経過年数が20年以上、または15万km以上走行した車両については更新対象に位置づけ、環境に配慮した車両に切り替えていきます。

令和6年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書 ページ	69

予算	款	02	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでとらにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102083	A E D維持管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
3,984,000		3,064,930		0		919,070		76.9%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

公共施設へ自動体外式除細動器（A E D）を配備することで、突然の心停止から人命を救うための救命処置を行えるようにします。
本年度は耐用年数を迎えたパッド及びバッテリーの更新を行いました。
また、市ホームページ「あづみのマップ」及び「全国A E Dマップ」にA E Dの設置場所及び使用可能時間の情報を更新し、利便性の向上を図りました。

1 A E Dの整備状況

- (1) 設置施設数 94 施設
- (2) 保有台数 114 台
- (3) 内貸出用 11 台

2 本体の更新及び新規設置台数

- 円

- (1) 更新 0 台
- (2) 新規 0 台

3 パッド及びバッテリーの更新

3,064,930 円

- (1) パッド（2年） 80 台 1,812,580 円
- (2) バッテリー（4年） 33 台 1,252,350 円

4 使用回数

0 回

上記の評価と課題等

A E Dは平成22年度から各施設に整備を開始され、本年5月31日現在114台整備され、その内11台が貸出用となっています。

また、市内小中学校に設置しているA E Dは、学校開放により夜間・休日等にスポーツクラブ等が活動している現状を踏まえ、全ての体育館へ設置しています。

なお、一括して購入しているため、消耗品も含め多数のA E Dが同時に耐用年数を迎えてしまうため、耐用年数を迎える前に確実に更新していく管理が必要となります。

令和6年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書 ページ	79

予算	款	02	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	05	財産管理費			
	事業	0102270	財産管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
49,083,000		45,757,654		0		3,325,346		93.2%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
718,682			建物総合損害共済金		718,682					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 財産マネジメント担当

市有財産の有効活用等により自主財源を確保します。
また、建物共済、損害賠償責任に対する保険金の支払いを行います。
本年度は低未利用の及び不要となった財産の処分を行いました。

(1) 主な歳入

使用料	行政財産目的外使用料	22 件	1,512,835 円
財産運用収入	市有土地貸付収入	44 件	5,672,193 円
	市有建物貸付収入	7 件	1,251,078 円
財産売払収入	市有地売払収入	2 件	948,800 円
	不用品売払収入（公用車）	12 台	7,938,710 円

(2) 主な歳出

保険料	建物総合損害共済	6,656,253 円
	総合賠償補償保険料	8,815,987 円
委託料	普通財産の管理委託料	647,007 円
	固定資産台帳等データ異動更新業務	3,894,000 円
	エネルギーサービスプロバイダー業務	19,910,000 円

上記の評価と課題等

今後も不要となった財産を定期的に処分し、自主財源の確保に努めます。
新電力の導入が可能な施設は、引き続き新電力会社から電力を購入し、電気料金の削減を図ります。

予算	款	02	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	05	財産管理費			
	事業	0102270	財産管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

2 施設経営担当

（1）施設の長寿命化と維持管理コストの低減

公共施設の新築、増築、改修及び付帯する外構工事といった、市が発注する一定金額以上の（予定価格が130万円以下の少額随契を除く）建築、設備等の工事に対し、建設に伴う各種申請書類の作成から設計業務委託の発注、工事監督員、変更設計積算等の監理業務の実務に至るまで、施設を所管する事業担当課と共に実施設計の段階からしゅん工、引渡しに及ぶ工事管理に一元的に携わり技術協力することで建築コストの適正な管理と施設経営の良好な運営を支援するとともに、長寿命化に憂慮した技術提案や設備機能の最適化により維持管理コストの低減に努めています。

実績件数	令和3年度	令和4年度	令和5年度
建設工事の発注、監督員業務	49 件	38 件	67 件
設計・監理業務に係る 発注、監督、積算等	85 件	109 件	156 件
新築、改修等の設計業務	48 件	77 件	101 件
工事に伴う監理業務	37 件	32 件	55 件
工事費及び設計監理料（見積書） の算定	173 件	308 件	313 件

上記の評価と課題等

施設経営の良好な運営を支援する施設経営担当として工事全般に主体的に携わり、施設担当課と共に実施した建築、設備等の工事並びに設計業務委託等については、公共建築としての適正な品質と機能を確保し、概ね計画どおりに進捗しました。

今後も公共施設として必要な設備機能を維持しながら建築（建設）工事におけるコスト、工法、工程の最適化、効率化を図るとともに、利用者の視点に立ったきめ細かな施設整備の充実と効果的な施設経営に努めて参ります。

令和6年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書 ページ	79

予算	款	02	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	06	企画費			
	事業	0102090	公共施設管理方針調整事業		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
271,000	74,300		0	196,700	27.4%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 指定管理者制度導入事務 （委員等報酬： 74,300 円）
 - (1) 安曇野市公の施設指定管理者審査委員会の開催 4 回
 - (2) 指定管理者選定施設 公募 10 施設 非公募 17 施設 計 27 施設
 - (3) 現在の指定管理者指定状況 公募 34 施設 非公募 45 施設 計 79 施設

2 公共施設再配置計画の進捗管理

公共施設再配置計画10年計画については、市の政策との関連性や市民ニーズなども踏まえた上で、関係課へのヒアリングを実施し、譲渡若しくは廃止とした施設については、地元を含め利害関係者等への早期の説明と合意形成に向けた取り組みを指導しました。

向こう10年に譲渡若しくは廃止、改修を予定する施設及び建築後30年、60年の節目を迎える施設をまとめた「公共施設再配置計画10年計画（令和6年度版）」の更新・公表をしました。

上記の評価と課題等

指定管理者制度導入事務については、指定管理者の選定及びモニタリングを通じ、市民の利便性の向上に寄与できました。

公共施設の譲渡若しくは廃止を行っていくには、地域住民や関係者などの理解を得るために早い段階から丁寧な説明を行い、合意形成を図っていく必要があります。

令和6年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書 ページ	83

予算	款	02	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	06	企画費			
	事業	0102340	土地開発基金費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
389, 000		388, 000		0		1, 000		99. 7%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
336, 436			土地開発基金利子		336, 436					

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
土地開発基金は、公用もしくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要のある土地を先行取得することにより、公共事業の円滑な執行を図ることを目的としています。 本年度の新たな土地の取得はありませんでした。 なお、運用面では土地開発基金利子として、336,436円の収入がありました。	
上記の評価と課題等	
土地開発基金による公共用地の先行取得の必要性は薄れてきていますが、今後も適正な管理運営に努めていきます。	

令和6年度	
部	総務部
課	契約検査課
係等	検査係

決算書 ページ	75

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	1	一般管理費			
	事業	0102180	検査管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
204, 000		85, 438		0		118, 562		41. 9%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 検査関係

(1) 契約額が130万円以上の工事および100万円以上の業務委託と、80万円以上の物品購入を対象に実施しました。令和5年度の検査総数は544件でした。

年度末	種別	危機管理課	総務部	政策部	財政部	市民生活部	福祉部	保健医療部	農林部	スポーツ・商工観光部	都市建設部	上下水道部	教育部	選挙管理委員会	農業委員会	総数(件)
令和5年度	部計	13	168	20		9	4	12	37	16	123	85	54	2	1	544
	工事	3	61	0		2	0	0	12	6	68	47	6	0	0	205
	業務	1	59	15		7	1	11	22	9	48	30	10	2	1	216
	物品	9	48	5		0	3	1	3	1	7	8	38	0	0	123
令和4年度	部計	9	99	12		12	7	13	34	20	112	75	29	5	2	429
	工事	0	29	0		0	0	0	12	6	65	46	1	0	0	160
	業務	1	35	8		12	1	12	19	11	44	22	5	4	1	174
	物品	8	35	4		0	6	1	3	3	3	7	23	1	1	95
令和3年度	部計		47	8	91	6	13	16	34	8	93	72	38	8	1	435
	工事		1	4	51	0	2	0	8	4	66	36	4	0	0	177
	業務		1	2	33	5	5	15	24	3	24	29	7	6	1	154
	物品		45	2	7	1	6	1	2	1	3	7	27	2	0	104

予算	款	2	総務費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		基本方針	みんなでともにつくるまち
	目	1	一般管理費			
	事業	0102180	検査管理費		基本施策	市民の視点に立った行財政運営

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- (2) 契約額300万円以上の116件の工事を対象に成績評価を実施しました。
 評定点の平均は80.1点となりました。（企業会計分を除く） (件)

	評定総数	平均点 (点)	区分	44点以下 (劣る)	45～59点 (やや劣る)	60～71点 (普通)	72～84点 (良好)	85点以上 (優良)
令和5年度	116	80.1		0	0	1	105	10
令和4年度	89	77.7		0	0	2	80	7
令和3年度	107	79.5		0	0	4	96	7

2 安曇野市技術審査会関係

市の技術系職員で組織する安曇野市技術審査会において、工事施工の適正化と施工技術の向上を図るため令和5年度優良建設工事表彰式を開催しました。

(1) 優良工事表彰の実施（85点以上）

工 事 名	施 工 者
令和3年度 都市構造再編集集中支援事業 明科駅前広場整備工事（1工区）	山崎建設 株式会社
令和3年度 都市構造再編集集中支援事業 明科駅前広場整備工事（2工区）	横山建設 株式会社
令和3年度（明許繰越）堀金総合体育館 大規模改修工事	北野・佐原特定建設工事 共同企業体
安曇野地区広域排水監視システム更新工事 （令和3年度繰越分・令和4年度分）	株式会社アイネット 安曇野営業所
令和4年度安曇野市営住宅穂高団地 （23号から34号）改修工事	武井・横山特定建設工事 共同企業体
令和4年度 安曇野市消防団第10分団 第1部統合詰所新築工事	株式会社 武井組
令和4年度 豊科南社会体育館解体工事	有限会社 ニッコウ

上記の評価と課題等

品質・出来栄に劣る工事物件はなく、質の高い施設整備につながってきていると伺えます。
 課題としては、年度末に集中してしまう業務完了・しゅん工検査について、時間の限られたなかでもあり、検査調書の作成が優先されるため、特にしゅん工検査後の工事成績評価に影響を及ぼすおそれもあることから、業務完了・しゅん工時期の平準化が求められます。

令和6年度	
部	総務部
課	契約検査課
係等	契約係

決算書 ページ	79

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	5	財産管理費			
	事業	0102260	契約管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
769,000		347,826		0	421,174	45.2%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 契約締結状況について

(1) 建設工事等

契約件数は193件で、うち一般競争入札分153件、指名競争入札13件、随意契約27件でした。

一般競争入札のうち、総合評価落札方式1件の契約締結をしました。

年度	区分	土木工事	舗装工事	管工事	電気工事	建築工事	その他	契約数	合計
R 5	一般会計	30件	21件	10件	6件	36件	38件	141件	193件
	企業会計	10件	7件	0件	1件	0件	34件	52件	
R 4	一般会計	37件	22件	8件	7件	14件	30件	118件	165件
	企業会計	1件	4件	0件	0件	1件	41件	47件	
R 3	一般会計	31件	25件	14件	4件	24件	37件	135件	165件
	企業会計	1件	5件	0件	0件	0件	24件	30件	

(2) 物品役務・コンサルタント業務等

契約件数は628件で、一般競争入札8件、指名競争入札272件、随意契約348件でした。

年度	区分	報償費	需用費	役務費	委託料	使用料	備品等	契約数	合計
R 5	一般会計	0件	24件	17件	452件	40件	58件	591件	628件
	企業会計	0件	1件	0件	35件	0件	1件	37件	
R 4	一般会計	1件	21件	36件	388件	24件	56件	526件	565件
	企業会計	0件	4件	0件	32件	1件	2件	39件	
R 3	一般会計	2件	23件	24件	345件	30件	53件	477件	507件
	企業会計	0件	2件	0件	28件	0件	0件	30件	

2 借上料 電子入札連携サーバ賃貸借料 15,840円

3 使用料 入札情報システム等使用料 63,461円

上記の評価と課題等

建設工事は、土木系工事で総合評価落札方式1件の入札執行を行いました。

長野県との共同利用による入札参加資格審査システムの導入に向けて、審査項目の調整や連携データの確認作業等の準備を進めました。令和6年10月から同システムの運用を開始します。

公共や民間も含め建設工事等の増加もあり、一部工種における不調もありましたが、今後も事業への影響を最小限に抑えつつ、契約締結に向け適正な入札執行に努めます。

選挙管理委員会事務局

令和6年度	
部	選挙管理委員会事務局
課	選挙管理委員会事務局
係等	選挙管理委員会事務局

決算書 ページ	97

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	4	選挙費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	2	明るい選挙推進費			
	事業	0102510	明るい選挙推進事業		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
661,000		613,476		0		47,524		92.8%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市明るい選挙推進協議会の主催により、市内小中学校、高等学校に「明るい選挙推進ポスターコンクール」の作品を募集し、市審査会を経て県審査会へ出展しました。

県審査へ出展した45 作品に市の入賞作品4点を加えた49 作品を市役所ロビーに展示し、広く市民へ公開しました。

(1) 明るい選挙推進協議会委員 8名
(2) 明るい選挙推進ポスターコンクール応募状況 合計 9校 529点
(内訳：小学校 8校 422点、中学校 1校 107点)

県選挙管理委員会と協力して出前講座を実施し、高校生への主権者教育に取り組みました。

(1) 穂高商業高校（市選管主催）
・対象 3年生 104名
・内容 講義、模擬投票
(2) 豊科高校（県選管主催、市選管協力）
・対象 3年生 167名
・内容 講義、模擬投票

また、中信四市統一の取り組みとして、各市内在校の高校生への啓発を目的に啓発物品の配布を行いました。あわせて、選挙管理委員と学校長との懇談を行い、主権者教育への協力を依頼しました。

(1) 配布先 豊科高校・南安曇農業高校・穂高商業高校・明科高校
(2) 啓発物品 選挙啓発チラシ、啓発物品（蛍光ペン）1,750 本
(3) 決算額 202,125 円

市内の児童・生徒に実際の投票の雰囲気を経験してもらえよう、希望する学校には、児童・生徒会選挙が行われる際に投票箱・記載台の貸し出しを行いました。

(1) 貸出状況 小学校2校・中学校4校・高等学校2校

上記の評価と課題等

将来の有権者である児童、生徒にポスター制作に取り組んでもらうことで選挙に関心を持ってもらうだけでなく、明るい選挙実現の一助とすることができました。

投票率が低下傾向にある中で、特に若年層の投票率が低いことから、投票率向上の取り組みとして、主権者教育の推進が求められています。本年度は、高校での取り組みに尽力し、2つの高校で実施することができました。

なお、主権者教育は、低年齢時から行うことで、より取り組みの効果が高まると言われていることから、今後は、小中学校での取り組みについて検討していきます。

監査委員事務局

令和6年度	
部	監査委員事務局
課	監査委員事務局
係等	監査委員事務局

決算書 ページ	99

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	6	監査委員費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	1	監査委員費			
	事業	0102640	監査委員事務局		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
27,403,000		26,807,941		0		595,059		97.8%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
30,000			監査委員事務局雑入		30,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

監査等の実施状況は次のとおりです。

- 1 例月出納検査
地方自治法第235条の2第1項の規定による例月出納検査を実施（年12回）
- 2 決算審査及び基金運用状況審査
地方自治法第233条第2項及び同法第241条第5項並びに地方公営企業法第30条第2項の規定による決算審査及び基金の運用状況審査を実施（令和5年6月16日～8月1日）
- 3 地方公共団体財政健全化判断比率等審査
地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定による健全化判断比率審査を実施（令和5年7月26日～8月1日）、同法第22条第1項の規定による資金不足比率審査を実施（令和5年6月8日～8月1日）
- 4 定期監査
地方自治法第199条第1項及び第4項の規定による実地監査及び定期監査を実施（令和5年10月17日～令和6年1月16日）
実地監査：明南小学校及び豊科南小学校
- 5 財政援助団体等監査
地方自治法第199条第7項の規定による財政援助団体等監査の対象となる団体について実施（令和6年1月19日～令和6年3月14日）
監査対象団体：安曇野市社会福祉協議会

上記の評価と課題等

監査計画に基づき各種監査等を実施し、その結果の報告・公表を行い、市の事務等の改善に寄与しました。
今後も都市監査委員会等で開催する研修会に参加し、有効的な監査等の実施に努めます。

公平委員会事務局

令和6年度	
部	公平委員会事務局
課	公平委員会事務局
係等	公平委員会事務局

決算書 ページ	99

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	7	公平委員会費		目標	みんなでとらにつくるまち
	目	1	公平委員会費			
	事業	0102650	公平委員会事務局		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円							
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
432, 000		166, 140		0	265, 860	38. 5%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1	公平委員会委員 3人
2	公平委員会事務局 2人（議会事務局併任）
3	共同設置する団体 5団体（安曇野市、穂高広域施設組合、安曇野松筑広域環境施設組合、安曇野・松本行政事務組合、安曇野市・松本市山林組合）
4	公平委員会の活動状況 (1) 公平委員会 1回開催 [28, 500円] (2) 勤務条件に関する措置の要求の状況 なし (3) 不利益処分に関する審査請求の状況 なし (4) 職員からの苦情の処理の状況 1件 (5) 研修会等への参加 [14, 200円] ア 長野県公平委員会連合会総会・研究会 (令和5年5月15日 長野市、委員2人・事務局1人) イ 全国公平委員会連合本部研究会 (令和5年7月27日・28日 東京都、委員2人) ウ 全国公平委員会連合会北信越支部総会・研究会 総会は書面開催、研究会は中止となりました。
5	地方公務員法第53条に基づく職員団体の登録数 2団体 (安曇野市教職員組合、安曇野市職員労働組合)

上記の評価と課題等
苦情相談がありましたので、公平委員会に報告し協議いただきました。引き続き法令や事例等に注視しながら審議・審査の円滑な運営に努めます。 今後も研修会等への参加により、各種制度内容や現在の行政課題、公平審査業務の状況等を確認し、公平かつ適切な判断による対応に努めます。

會計課

令和6年度	
部	会計管理者
課	会計課
係等	出納係

決算書 ページ	77

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	4	会計管理費			
	事業	0102240	会計管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
9,318,000	8,478,112		0		839,888	91.0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
1,305,390		財務会計処理実費徴収		1,300,000		
		会計雑入		5,390		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

① 資金の保管及び運用

歳計現金、歳入歳出外現金は、ペイオフ対策として指定金融機関等の決済用預金（無利息普通預金）で保管し、比較的余裕のある際に一部を短期定期預金により運用しました。

基金は、資金運用方針に基づき、全体を定期預金（108億円）と債券（44.6億円）にて運用し、運用収益（34,935千円）は、各基金へ配分しました。また債券は地方債など、7億2千万円購入しました。

歳計現金が不足した12月6日から3月29日まで20億円、2月19日から3月29日まで5億円をさらに3月25日から3月29日まで15億を、財政調整基金から繰替え運用しました。

各庁舎や施設では、窓口等の収納用につり銭用現金（44箇所・1,558千円）を保管しました。

11月から12月にかけて、保管場所34か所のつり銭確認を実施しました。いずれの場所においても、「安曇野市公金等現金取扱（窓口収納）マニュアル」に沿った取り扱いを確認しました。

② 審査・出納事務

法令及び財務会計の手引き内容等に準じて収入支出の審査確認・出納事務を実施、出納閉鎖後には、決算書の調製を行いました。また、4月・10月には新規採用職員研修会、7月に延べ3回の予算事務担当者及び担当係長を対象に会計事務講習会（参加者延べ110名）を開催し、適法かつ適正な支払い事務及び収入事務となるよう周知を行いました。

また、令和4年度から導入を行った公共料金明細通知サービスにより、全庁的な公共料金支払伝票の起票事務について拡充を図りました。

③ 備品台帳、指定物品管理事務

備品の購入や所管換え、廃棄など、備品台帳の確認を行い備品システムのデータ更新を行いました。

指定物品の市共通使用封筒等を一括印刷発注し、払い出しを行いました。

④ 指定金融機関等の検査

2月に、地方自治法施行令第168条の4の規定に基づき、指定金融機関及び指定代理金融機関の検査を行い、いずれも適正に処理されていることを監査委員に報告しました。

上記の評価と課題等

適正かつ効率的な会計事務の処理となるよう、担当への指導や講習会などを行い、適正な公金の管理・運用・執行ができました。

今後も講習会等を行い、職員の意識、能力の維持向上を図り、適正な会計事務に努めます。

公共料金明細通知サービスの利用拡充により、全庁的な伝票起票事務の負担軽減を進めます。

つり銭用現金等の管理については、毎年検査を行い、適正な公金等現金の取扱いになるよう指導していきます。

政策部

令和6年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	企画担当

決算書 ページ	81

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	6	企画費			
	事業	0102320	企画総務費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円							
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
41, 264, 000		37, 998, 312		0	3, 265, 688	92. 1%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
9, 523, 680	土地利用規制対策交付金		38, 000	過疎対策推進事業（過疎債ソフト）	7, 000, 000		
	元気づくり支援金		2, 168, 000				
	安曇野ナンバー導入経費負担金		46, 000				
	地域おこし協力隊員用住居借上料（隊員自己負担分）		271, 680				

主要な施策（事務事業）の成果の概要					
1 実施計画（2024(令和6)年度-2026(令和8)年度）の策定					
実施計画は、直近の行政評価の結果や各種個別計画の進捗、社会経済情勢等を踏まえた上で、令和5年度からスタートした第2次安曇野市総合計画・後期基本計画の目標達成に向けて、3か年を計画期間として策定をしました。また、実施計画事業の策定にあたっては、以下の3点（①～③）を基本的な考え方としました。					
①第2次安曇野市総合計画・後期基本計画で示す5つの「価値創出プロジェクト」を実施する事業 5つの価値創出プロジェクトとは・・・○誰もが活躍する共生のまち、○選ばれ続けるまち 安曇野 ○AZUMINOブランドの発信 ○文化・芸術中核都市の実現 ○アウトドア・スポーツの聖地 ※価値創出プロジェクトとは、安曇野市の価値を創出すべく、重点的・施策横断的に実施する事業					
②施策の主体となる事業…施策を代表する事業及び、施策に対し、重点的に取組みを実施する事業					
③施設を新設、改築、用途変更、廃止するハード事業 ※対象は総額5,000万円以上					
2 行政評価の実施					
行政評価は、事務事業評価、施策評価、政策評価に加え、市民意識調査により総合的に点検し、その結果を公表しました。また、行政評価の結果は、実施計画策定にあたっての基礎資料としました。					
【効果検証の結果 評価対象：R4年度】					
	A評価 100%達成	B評価 80%達成	C評価 60%達成	D評価 60%未満	E評価 測定不能
新たな雇用を生み出す	6	1	0	0	1
移住定住の促進とともに、関係人口を拡大する	2	0	4	0	1
安心して子育てできるまちをつくる	3	0	2	0	1
安心して暮らし続けることのできるまちをつくる	4	2	2	0	0
計	15	3	8	0	3
※総合戦略は、「第2次安曇野市総合計画 基本構想 後期基本計画」へR5より統合しました。					

予算	款	2	総務費	総合計画	基本ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	6	企画費			
	事業	0102320	企画総務費		施策	市民の視点に立った行財政運営

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3 安曇野ナンバー推進事業

安曇野市、生坂村、池田町、松川村の4市町村では、地方版図柄入りナンバープレートの導入に向けた協議会を立ち上げ、「安曇野ナンバー」導入を進めている。令和4年度では、導入の可否を判断するため、住民アンケートを実施した。結果として、4市町村全体で7割以上の導入賛成が得られたことから、令和5年3月、長野県へ導入申込みの要望書を提出した。

令和5年度では、安曇野ナンバーの図柄デザインを安曇野ナンバー推進協議会で決定をし、国へ申請を行った。

○安曇野ナンバー図柄デザイン決定の経過（令和5年度）

6月～7月・・・図柄案の募集により、全国125作品の応募があった。

8月・・・安曇野ナンバー推進協議会で図柄デザイン案を3案に選定

9月～10月・・・3デザイン案から、住民による人気投票を実施

11月・・・安曇野ナンバー推進協議会にて、住民による人気投票から、国申請デザイン案を決定

12月・・・国へ図柄デザイン案を申請

4 地域振興

(1) 電源立地地域交付金（歳入） 決算額10,901,000円（充当先：認定こども園管理費）

(2) 市町村振興協会交付金（歳入）

①基金交付金（サマージャンボ） 決算額11,401,813円（充当先：図書館費）

②市町村交付金（ハロウィンジャンボ） 決算額15,298,356円（充当先：図書館費）

(3) あづみ野テレビ株式会社出資配当金（歳入） 決算額512,500円（一般財源）

(4) 小説「安曇野」による地域振興

安曇野の名が全国に知られるきっかけとなった小説「安曇野」をきっかけに、安曇野市の魅力発信や知名度向上に向けた取り組みを実施しました。

令和5年度は、小説の概要や魅力を紹介するパンフレットと特設ウェブサイトを作成しました。また広報あづみので小説に登場する人物を紹介するコラムを掲載しています。

①パンフレットの作成・配布

概要：・A4判8頁で10,000部作成、安曇野市内・市外の計約20施設に配架

・小説のあらすじ、主な登場人物と関連図、小説ゆかりの場所を掲載

②特設ウェブサイトの作成

概要：・安曇野市公式ホームページに内に特設ウェブサイトを作成

・小説のあらすじ、主な登場人物と関連図、小説ゆかりの場所、市の取り組みを掲載

5 広域行政

第41回中信四市市長懇談会 実施日 令和6年1月19日（金）

6 過疎対策

(1) 「安曇野市東部アウトドア拠点整備基本構想」を策定

5回の策定委員会、3つの分科会（水・里山・地域連携）による延べ7回のワークショップ及びパブリックコメントを経て、令和6年3月に基本構想を策定しました。

(2) 地域おこし協力隊の任命

明科地域の活性化を任務とする地域おこし協力隊を、令和6年1月から1名任命しました。

上記の評価と課題等

安曇野ナンバー推進事業については、安曇野ナンバーが交付となる令和7年度に向け、地域の期待感を高めつつ、安曇野ナンバーとなることへの更なる周知が必要です。その為にもR6年度では更なる広報活動を進め、新たなナンバーへの期待感を高める取り組みが必要です。また、安曇野ナンバーが交付開始となった場合、国に対し図柄ナンバーの交付促進計画を提出する必要があるため、事前に交付促進のための施策等、検討する必要があります。

小説「安曇野」による地域振興については、その活動が徐々に知られるようになっているものの、小説自体は絶版となっており入手困難な状況であることから、R6年度はその復刊に取組みます。

東部アウトドア拠点整備事業については、基本構想を基に具体的な施設整備に入ります。持続的に賑わいを生む場とするため、運営体制等についても検討を進めます。なお、東部アウトドア拠点整備事業については、R6年度からは企画総務費から切り離し、別事業として予算計上します。

令和 6 年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	企画担当

決算書 ページ	83

予 算	款	2	総務費	総 合 計 画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目 標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	6	企画費			
	事業	0102330	公共交通事業		施策	持続可能な公共交通の形成

单位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
144, 143, 000	143, 851, 765		0		291, 235	99. 8%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
19, 317, 630		デジ田交付金（デジタル実装タイプ）		7, 021, 220		
		デジ田交付金（地方創生推進タイプ）		12, 296, 410		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 公共交通事業

(1) デマンド交通「あづみん」、定時定路線の運行

ア デマンド交通「あづみん」

「あづみん」は旧堀金村で実施していたデマンド交通「うららかー」の運行形態を引き継ぐ形で、合併後の平成19年9月から運行が開始されました。1乗車の運行範囲に制限はあるものの「自宅」から「目的地」まで送迎可能で、バス停等までの長距離歩行をする必要がないため、主に高齢者や障がい者の方から多く利用をいただいています。

平日の昼間(令和6年3月30日(土)～土日祝運行開始)、計16台のデマンド車両が市内のほぼ全域を網羅し、交通空白を作らないよう稼働しています。運行は市内タクシー事業者、予約等運行管理は市社会福祉協議会に委託をしています。

* 令和5年度 運行実績等

- ・利用者延べ人数86,355人（1日平均355人） 前年比7.2%増

○デマンド交通の充実に向けた取組み

- ・コミュニケーションアプリ「LINE」との連携
- ・土日祝日の実証運行実施（令和5年7月末～10月末）
- ・土日祝日の実装運行（令和6年3月30日（土）～）
- ・運行時間延長の実証運行実施（令和6年2月末～3月末）
- ・乗降場所を明示するミーティングポイントの設置（全11箇所）
- ・デマンド車両のラッピングによるデザイン統一の実施

イ 定時定路線

朝夕の通勤通学時間帯に、「あづみん」車両等をを活用して定時定路線バスを運行しています。運行区間は、穂高駅明科駅路線、豊科駅田沢駅路線の2路線、主な利用者は、市内の高校に通う学生や通勤客です。

デマンド交通と同様に運行は市内タクシー事業者に委託しています。

* 令和5年度 運行実績等

- ・利用者延べ人数16,044人（1日平均66人） 前年比9.0%増

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	6	企画費			
	事業	0102330	公共交通事業		施策	持続可能な公共交通の形成

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

(2) 地域公共交通協議会の会議等

ア 定例総会

年2回の総会を開催し、令和4年度の決算報告や令和5年度の事業計画、デマンド運行の国庫補助金申請にかかる計画の審議、中房線等市内運行路線の時刻表等について協議・決定を行いました。

イ 負担金

安曇野市地域公共交通協議会への負担金額 139,283,529円

(内、デマンド交通等運行費用 120,355,309円 協議会総会会議費等 18,928,220円)

2 篠ノ井線松本地域活性化協議会

安曇野市はこの協議会の事務局を務めています。令和5年度は、5月23日に定期総会を開催し、令和4年度事業報告及び収支決算報告、令和5年度の事業計画案及び収支予算案を承認頂きました。

・利用促進事業として、10月28日から令和6年2月29日までの間、松本駅、塩尻駅、明科駅をスタート地点とする地域回遊イベント「ぶらりしののい線なぞ巡り」を開催しました。参加に必要となる謎解きガイドブックを2,500部用意し、駅や自治体窓口に配布して実施しました。大変好評となり、800部増刷する結果となった。

上記の評価と課題等

・デマンド交通あづみんについては、令和4年11月から予約システムを更新し、スマートフォンアプリでの予約、キャッシュレス決済、運行ルートの自動生成など、ITを用いたDX化の取組みを進めています。令和5年度末でのアプリ使用率は約3割となり普及も大きく進んでおりますが、アプリによる予約操作が苦手な方には、引き続き電話による受付体制を継続して参ります。また一方で、朝夕の時間帯によっては予約が殺到し、予約が取りにくい時間帯があるなど、乗車時間帯の分散など、より効率的な運行に向けた検討を継続する必要があります。

令和6年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	企画担当

決算書 ページ	89

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	11	諸費			
	事業	0102430	国内友好交流事業		施策	交流活動の推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①	
4,406,000		3,318,592		0		1,087,408		75.3%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名		金額	
900,000			交流事業参加負担金		900,000				

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和5年度は、新型コロナウイルスの影響もほとんどなくなり、これまで中止されていた交流事業の多くが再開されました。実施した事業は以下のとおりです。

- 1 江戸川区
- (1) 第46回江戸川区民まつりへ政策部長が代理出席（10月8日）

(2) 江戸川総合人生大学19期生と安曇野市の市民活動団体との交流(11月14日)

・人生大学の北野大学長、野山広学科長、学生56名、事務局3名の61名が来訪

・安曇野市からは、安曇野案内人倶楽部・あづみの国際化ネットワーク・あづみ野風土舎の3団体が参加

(3) 安曇野市・江戸川区 交流囲碁対局(3月9～10日)

・江戸川区から33名、安曇野市から31名の計64名が参加し、対局を通じて交流
- 2 三郷市・三郷町
- (1) 第36回三郷・安曇野友好都市交流推進協議会（5月24、25日、三郷市）

(2) 三郷・安曇野住民ふれあい事業（10月23、24日）

・対象…健康づくり団体

・参加…以下の計34名

三郷市母子愛育会12名、三郷市事務局2名

三郷町ノルディックウォーキング団体7名、三郷町事務局2名

安曇野市歩こう会9名、安曇野市事務局2名

(3) 三郷・安曇野友好都市交流推進協議会事務担当者会議（12月14、15日、三郷市）
- 3 武蔵野市
- (1) 第44回あづみ野祭りにおける関係者受入（7月29日）

武蔵野市長、武蔵野市議17名、事務局3名が来訪し、安曇野市関係者と意見交換会を行いました。
- 4 東金市
- (1) 2024東金・九十九里波乗りハーフマラソン（2月24、25日）

太田市長、松枝議長が来賓として出席しました。大会前日には東金市の鹿間陸郎市長をはじめとする東金市関係者との意見交換会がありました。

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	11	諸費			
	事業	0102430	国内友好交流事業		施策	交流活動の推進

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

5 福岡市東区

- (1) 第62回博多どんたく港まつり 市民ツアー（5月2～4日）
公募市民20名および市長、議長などの市関係者6名の計26名が参加しました。
- (2) 安曇野歴史サロン「安曇族の歴史ロマンと志賀島」（8月27日）
安曇族をテーマに、安曇誕生の系譜を探る会と共催で講演会を実施しました。
志賀海神社禰宜の阿曇幸興さんが講演し、市民約200人が来場しました。

6 その他

- (1) 友好都市関連協議会へ負担金を支出
 - ① 武蔵野市交流市町村協議会 100,000円
- (2) 安曇野市開催イベントへの参加
 - ① 「信州安曇野ハーフマラソン」への参加
 - ・ 東金市から鹿間陸郎市長、土肥紀英議長が来賓として参加したほか、秘書課職員と共に給水ボランティアに従事
 - ・ 江戸川区から文化共育部長が来賓出席
- (3) 市民団体による活動
次の市民団体主催の交流事業に補助金を交付しました。
 - ① 武蔵野市とのサッカー交流（8月5日、71名招待）（交付額：71,000円）
 - ② 三郷市、三郷町とのスポーツ交流（9月2日、72名招待）（交付額：72,000円）
 - ③ 江戸川区とのサッカー交流（1月6、7日、36名訪問）（交付額：72,000円）
- (4) 物販及び青少年交流
上記のほか、各友好都市での物産販売（農政課所管）、青少年交流（子ども家庭支援課所管）が実施されました。

上記の評価と課題等

令和5年度は、新型コロナウイルスの影響で中止だった事業の多くが再開し、各友好都市の交流を行うことができました。開催された事業は今後も継続していく見込みが多く、担当者が変わっても事務事業が確実に進めるよう体系的な引継ぎ書類を作成しておくことが課題です。

令和6年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	企画担当

決算書 ページ	91

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	11	諸費			
	事業	0102440	国際友好交流事業		施策	交流活動の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
14, 224, 000	12, 000, 034		0		2, 223, 966	84. 4%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
10, 935, 134		青少年交流事業支援基金利子		10, 885	交流事業参加負担金	597, 000
		国際交流基金利子		27, 249		
		ふるさと寄附基金繰入金		10, 000, 000		
		国際交流基金繰入金		300, 000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和5年度は、国際姉妹都市であるオーストリア共和国グラムザッハとの姉妹都市提携30周年の節目に当たることから、公式訪日団の受入及び公式訪問を中心に実施しました。

1 クラムザッハ公式訪日団の受入

日 時：6月22日（木）～6月25日（日）

訪日団：アンドレアス・ガンク町長、ステファン・シューラー友好会長ら計15名

概 要：受入中の6月23日（金）に、姉妹都市提携30周年記念式典を安曇野市内で開催し、駐日オーストリア大使を来賓として招きました。市内滞在中、市で養成講座を行った地域通訳案内士にガイドを務めていただくなど、市民が多様な文化に触れるきっかけとなりました。

2 クラムザッハへ公式訪問

日 時：9月25日（月）～10月3日（火）※グラムザッハ訪問は9月27～29日

訪問者：市長、議長、友好会長、政策部長、政策経営課長補佐、政策経営課主査の6名

概 要：グラムザッハ内で若者同士の交流が行える場所として、ガラス専門学校や農場などを視察した。また、課題である次世代への交流活動の継続・発展について率直な意見交換を行うことができました。

3 市内国際交流団体への補助事業

以下のとおり、国際交流団体へ補助金を交付しました。

補助団体：安曇野・グラムザッハ友好会（補助金額：300, 000円）

同友好会では、姉妹都市のオーストリア共和国グラムザッハと交流や同国の文化等について市民へPRするため、令和5年11月11日（土）に「第5回安曇野グラムザッハ友好市民コンサート」を市と共催で開催しました。

上記の評価と課題等

相互訪問という形で交流事業を実施し、市民をはじめとする関係者が多様な文化に触れる機会を創出することができました。次世代を担う若者同士の交流は非常に重要であり、対面により今後の若者同士の交流について意見交換を行うことができた点は大きな成果です。

安曇野グラムザッハ友好会会員が高齢化しており、交流の後継者が育っていない点、グラムザッハ側と直接連絡を取り合える人がいない点が課題です。

令和6年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	統計係

決算書 ページ	97

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	統計調査費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	1	統計調査総務費			
	事業	0102570	統計調査総務費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円								
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
69,000		64,848		0		4,152	94.0%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名		金額
31,900			統計調査員確保対策事業委託金		31,900			

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
- 各種施策に利活用することを目的として、また、児童・生徒等の情報教育に役立ち市民に身近な資料とするため、統計図表（グラフやイラスト図を掲載）と統計資料の2部構成にて「2023 安曇野市の統計」の冊子印刷及びホームページの掲載を行いました。また、長野県の統計書等に倣い、最新年次の資料を掲載するように努め、年次推移は最近5か年、あるいは特定年次を列記しました。 - 国が行う統計調査の実施にあたり、調査員・指導員の推薦を行うとともに、調査を円滑に実施するための登録調査員(52名)への登録意向確認及び、次年度の予定等を周知しました。 2024年度に実施される各種統計調査に向け、多くの調査員を確保するため広報・ホームページによる周知及び、各支所窓口・ながの電子申請による募集を行い、5名の応募・登録がありました。 (1) 安曇野市の統計 「2023 安曇野市の統計」を作成し、市ホームページ等で公表するとともに冊子版を印刷し、市内図書館、文書館、小中学校、議員等へ配布しました。 (2) 調査員の確保対策 ア 登録調査員台帳の整備等 イ 統計情報研究開発センター発行冊子「統計調査員のしおり」の送付(52名) ウ 令和5年度末現在の登録者(52名) ※令和4年度末(52名)から登録取消(5名)、新規登録(5名) ※県の登録基準は46名（経済センサスー基礎調査区数：92調査区の1/2）	
上記の評価と課題等	
- 登録調査員の確保は、市広報等による公募及び調査経験者への登録意向確認により、辛うじて「県登録基準の46名」を超える状況です。 - 令和6～7年度にかけて農林業センサス・国勢調査の実施年のため、調査員・指導員の確保手段の見直しをすすめております。2025年農林業センサスにおいては、前回調査従事者への再依頼、農林業関係者（市農業委員・農地利用最適化推進委員）への従事依頼、調査対象区長への調査員推薦依頼を行いますが、今後も各調査の特性に応じた従事依頼をすすめます。	

令和6年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	統計係

決算書 ページ	97

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	統計調査費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	2	基幹統計費			
	事業	0102600	農林業センサス		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
5,000		4,980		0		20		99.6%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
4,980			農林業センサス委託金		4,980					

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
2025年農林業センサスは、我が国の農林業・農山村の実態を明らかにし、農林業行政に関する諸施策及び、農林業の推進に必要な資料を得ることなどを目的として実施します。 - 令和6年度調査にあたり、事前準備として対象となる調査区（農業集落・経営体調査区）の確認・修正を行い、農業集落区域の認定・経営体調査区の設定のほか、調査区情報の収集等を行いました。 - また、市担当職員の調査準備説明会参加、調査資料の準備、調査員・指導員の県推薦事務等の準備を行いました。	
(1) 所管省庁	農林水産省
(2) 調査周期	5年周期
(3) 調査対象	農林業経営体（農林産物の生産を行うか又は委託を受けて農林業作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭羽数が一定規模以上の「農林業生産活動を行う者」。）を調査します。
(4) 事業内容	①令和5年度は、2025年2月1日基準日で行われる本調査に先立ち、市町村担当者打合せ会への出席、農業集落新旧対象表、調査区分割地図の確認のため実地踏査等を行い、県へ報告しました。 ②調査員・指導員の県推薦準備（調査員確保のため、前回調査従事者への再依頼、市農業委員・推進委員への従事依頼を実施。）を行いました。
上記の評価と課題等	
- 統計法及び施行令第4条に基づく法定受託事務により調査を実施し、結果について報告しました。 - 農林業センサスの結果は、食料・農業・農村基本法に基づく計画策定の際の基礎資料、地方交付税法に基づく普通交付税算定の際の、農業・林野行政費の算出根拠として活用されます。令和5年度に実施した準備調査は、2025年の本調査の円滑な実施を期するとともに、結果精度の向上に資するもので、正確な調査実施の基礎となるものです。	

令和6年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	統計係

決算書 ページ	99

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	統計調査費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	2	基幹統計費			
	事業	0102700	国勢調査費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
3,000		0		0		3,000		0.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
			国勢調査調査区設定委託金		0					

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
- 令和7年国勢調査は、国内の人口及び世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得ることを目的として実施します。 - 令和7年度調査実施にあたり、事前準備として担当職員説明会等に係る予算を計上しましたが、WEB会議となり、県より委託金の交付がありませんでした。	
上記の評価と課題等	

令和6年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	統計係

決算書 ページ	99

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	統計調査費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	2	基幹統計費			
	事業	0102720	経済センサス		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①	
15, 000		7, 634		0		7, 366		50. 9%	
特定財源の決算額		左記 の 内 訳	細節名		金額	細節名		金額	
4, 193			経済センサス委託金		4, 193				

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
経済センサスは、我が国の全産業分野における事業所及び企業の経済活動の実態を全国及び地域別に明らかにするとともに、事業所及び企業を調査対象とする各種統計調査の精度向上に資する母集団情報を得ることを目的としています。今年度は、周期（５年）調査の合間のため、調査区の変更のみを実施しました。	
(1) 所管省庁	総務省及び経済産業省
(2) 調査周期	５年周期
(3) 調査対象	令和６年経済センサス-基礎調査実施にあたり、調査区境界の修正を実施（１調査区）しました。この調査区は、隣接市との境界であったため、協議により調査区を確定、県へ報告しました。
上記の評価と課題等	
- 統計法及び施行令第４条に基づく法定受託事務により調査を実施し、結果について報告しました。 - 経済センサスの結果は、地方消費税の清算の基礎資料、国民経済計算（GDPなど）産業関連表の推計や中小企業振興など、各種補助金を交付するための基礎資料に利用されます。また、各種統計調査の母集団情報として利用されています。令和５年度は、令和６年度調査の円滑な実施のために必要な調査区の修正を実施しました。	

令和6年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	統計係

決算書 ページ	99

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	統計調査費		目標	みんなでとらにつくるまち
	目	2	基幹統計費			
	事業	0102750	住宅・土地統計調査費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円					
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	執行率 ②/①
5,271,000		5,252,270		0	99.6%
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名	金額	金額
5,252,270			住宅・土地統計調査委託金	5,252,270	

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
- この調査は、我が国の住宅及び住宅以外で人が居住する建物に関する実態並びに現住居以外の住宅及び土地の保有状況、その他の住宅等に居住している世帯に関する実態を調査し、その現状と推移を全国及び地域別に明らかにすることにより、住生活関連諸施策の基礎資料を得ることを目的としています。この調査により空家の所有状況や、高齢者の住まい方などについて把握、公表しています。 - 調査の事前準備として調査周知広報、指導員・調査員の県推薦事務、調査客体等配布資料の準備、調査員説明会の開催を行いました。 - 調査の実施にあたり、指導員・調査員・調査客体からの問合せ対応、回収された調査票の点検審査・県提出を行いました。	
(1) 所管省庁	総務省
(2) 調査周期	5年周期
(3) 調査対象	令和2年国勢調査の調査区のうち、総務大臣が指定する全国約19万9千調査区（安曇野市は172調査区）が指定され、この調査区の中から抽出された約3,000世帯が対象となりました。
(4) 調査方法	調査員（74名）が実地に巡回し、担当調査区（1名あたり平均2調査区）の住戸（世帯）等の居住実態（空家など）を確認し、調査票を配布・回収します。また、指導員（12名）による調査準備、回収した調査票の点検作業等を行いました。
(5) 調査基準日	令和5年10月1日現在
(6) 調査内容	調査票甲、調査票乙、建物調査票により、次の事項を調査しました。 ①住宅等に関する事項 居住室の数及び広さ、敷地面積、所有関係に関する事項等 ②住宅に関する事項 構造、腐敗・破損の有無、階数、建て方、建築時期、床面積、建築面積、家賃等に関する事項、設備に関する事項、増改築・改修工事に関する事項等 ③世帯に関する事項 世帯の代表者の氏名、種類、構成、年間収入等 ④家計を主に支える世帯員または世帯主に関する事項 ⑤現住居以外の住宅及び土地に関する事項
上記の評価と課題等	
- 統計法及び施行令第4条に基づく法定受託事務により調査を実施し、結果について報告しました。 - 調査員について、登録調査員のみでは不足する人員を区長推薦により確保出来ましたが、一般公募や関係団体等への推薦依頼をすすめ、調査員経験者への再依頼も行いながら調査員確保に努めます。	

令和6年度	
部	政策部
課	秘書広報課
係等	秘書広報担当

決算書 ページ	67

予算	款	02	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102060	秘書・渉外		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
6,161,000		4,361,231		0		1,799,769		70.8%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 市長表彰の実施

市功労表彰式を1月4日（木）に実施し、市表彰規則に基づき表彰状を交付しました。
また、市政に協力し、顕著な功績のあった者に感謝状を交付しました。

区 分	表 彰 状	感 謝 状
令和5年7月20日		1人（団体）
令和5年9月5日		1人（団体）
令和5年10月27日		1人（団体）
令和5年11月7日		1人（個人）
令和5年11月20日		1人（団体）
令和5年12月26日		1人（団体）
令和6年1月4日	11人（団体9・個人2）	9人（団体3・個人6）
令和6年3月27日		1人（団体）
計	11人	16人

2 市長交際費の支出

市交際費支出基準に基づき、行政職務執行上において外部との交渉・交際を進める経費として支出しました。

慶 弔 費	119,740円
会 費	302,400円
激 励 費	65,451円
計	487,591円

予算	款	02	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102060	秘書・渉外		施策	協働によるまちづくり

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3 各種会議への対応

各市との連絡協調を図り、市政の円滑な運営と地方自治の振興に努めるとともに、市政に関する課題を県及び国へ要望書として提出しました。

長野県市長会関係（総会・定例会・部会）	5回
長野県市長会関係（副市長総務担当部長会議）	2回
北信越市長会関係（総会）	2回
全国市長会関係（総会・都市問題会議）	2回

4 市長定例記者会見の実施

市の主要事業他、市政全般の情報提供を行い、開かれた市政を目指すことを目的に、記者会見を12回開催しました。

5 共催・後援の承認

市の共催及び後援に関する事務取扱要綱により、基準に基づいて公益性のあるものを承認しました。

共 催	事業の企画又は運営に参画し共同主催者として事業の推進に当たること	42件
後 援	事業の趣旨に賛同しその開催を援助すること	136件

上記の評価と課題等

市長表彰については、引き続き多くの市民等の功績を称えるため、対象者の掘り起こしに努めていきます。

令和6年度	
部	政策部
課	秘書広報課
係等	秘書広報担当

決算書 ページ	75

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	2	文書広報費			
	事業	0102210	広報費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
54, 149, 000		53, 406, 486		0		742, 514		98. 6%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
2, 726, 400			広告料収入		2, 726, 400					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 広報紙の発行、配布

市政情報・市からのお知らせなどを掲載した広報紙「広報あづみの」を発行し、市内全戸へ配布しました。取材を通じ多くの市民の方と関わりながら親しみやすく、見やすい紙面作りに努めています。

（発行、配布内容）

発行時期・・・各月20日の属する週の水曜日

ページ数・・・平均30ページ

費用・・・17, 249, 430円 ※単価42, 000円/頁（税抜き）

配布件数・・・789, 997件 ※平均：37, 619件

配布費用・・・19, 446, 003円 ※基本単価25円/件（税抜き）

2 インターネットを活用した市政情報等の提供

ホームページの閲覧数は減少しましたが、無料のスマートフォン用広報紙閲覧アプリ「マチイロ」の登録者、X（旧Twitter）のフォロワー数、YouTubeのチャンネル登録者は増加しています。YouTubeでは、市長定例記者会見のほか令和6年1月より広報紙の記事の中から注目の情報をピックアップし動画収録した「広報あづみの動画版」等を配信開始し、動画による情報配信の充実を図りました。また、聴覚障害ある方などにも正確な行政情報を伝えるため、それらの動画には手話通訳映像を追加し動画配信を行っています。

●ホームページ・マチイロ・SNS（X（旧Twitter）、YouTube）における登録者数等（年度末現在）

種別	R5	R4	差
ホームページアクセス数	4, 530, 815	5, 046, 372	-515, 557
マチイロ	3, 772	3, 181	591
X（旧Twitter）	6, 979	5, 949	1, 030
YouTube	1, 065	781	284

※マチイロ、X（旧Twitter）、YouTubeは登録者数

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	2	文書広報費			
	事業	0102210	広報費		施策	協働によるまちづくり

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3 コミュニティーエフエムを活用した市政情報番組の提供

音声による情報伝達手段として、コミュニティエフエムを活用した市政情報番組の放送を実施しました。「広報あづみの暮らしのガイド」は、市政情報や市が実施するイベントの案内などで積極的な活用を図りました。「まちづくり多士済々」は、職員や市民が出演し、市施策や地域の取り組みをPRしました。放送業務委託料として総額7,920,000円を支出しました。

- ① 広報あづみの暮らしのガイド（5分番組）（月～日曜、7:55/11:55/18:55）
- ② まちづくり多士済々（水曜、11:00～12:00「中柴香苗の水色の時間」のコーナー中）

4 デジタルサイネージ

導入費及び運用費を広告収入で賄い、市からの情報を発信できるデジタルサイネージ「わが街NAVI」では、市内の大型商業施設に設置した大型モニターにより、市政情報（協働のまちづくりのための出前講座の紹介やパブリックコメントの募集情報など）を発信しています。

（概要）

1. 場所・・・イオン豊科店1階
2. 期間・・・令和4年9月から3年間
3. デジタルサイネージの大きさ・・・2,330mm×1,775mm
4. 情報内容・・・①インフォメーションパネル（静止画：最大15秒×20枚）
②情報パネル（動画：300MB）

5 会見場による情報発信等

市と市民及び市内の事業者等による情報発信や記者の記事作成の場として利用可能な会見場を庁舎4階に整備し、令和5年6月より運用を開始しました。

（概要）

1. 会見場設置費用・・・682,176円
2. 会見場利用状況・・・72回（内訳）
 - ・市長定例記者会見、記者懇談会等 15回
 - ・市広報動画版等撮影 12回
 - ・市民、団体等による会見 3回
 - ・記者による利用 42回

6 広告事業

広報紙の印刷経費やホームページの維持管理の一部の財源確保を図るため、広報紙及びホームページへの広告掲載による広告料として2,726,400円を収入しました。

7 広聴事務

ホームページの「お問い合わせフォーム」、「市長への提案」と題した郵便を秘書広報課でとりまとめ、理事者等への報告と関係各部等との情報共有を図りました。また、市長と個人・グループなどが直接意見を交わす懇談会「ゆたかの飛耳長目」を令和5年度は、全6回開催し、グループなどが設定するテーマにより、活動内容や市に対する提案などの意見交換を行いました。

上記の評価と課題等

広報紙やホームページのほか、SNS（X（旧Twitter）、YouTube）、コミュニティエフエムの番組などにより積極的に情報発信しました。今後も広報紙とSNSを組み合わせ、より多くの市民の方にわかりやすく伝わる行政情報の発信に努めていきます。そのほか会見場を整備のうえ運用を開始し、市政情報等の発信を行いました。今後はより多くの市民や市内事業者の方に活用いただくため、利用促進を図ります。

令和6年度	
部	政策部
課	行革デジタル推進課
係等	情報システム係

決算書 ページ	85

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	7	情報施策費			
	事業	0102370	電算管理費		施策	デジタル技術を活用した行政変革

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
316,374,000	314,454,599		0		1,919,401	99.4%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
9,190,000		財務会計処理実費徴収		874,000		
		個人番号カード交付事務費補助金		8,316,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 行政情報システムの適正な管理・運営を行い、安定稼働の維持に努めました。
日々多様化・深刻化するセキュリティリスクに適切に対応し、ぜい弱性対策プログラムの適用などを実施し、情報セキュリティ事故防止に努めました。
- L G W A N（内部情報）系パソコン165台、プリンタ39台の更新を行いました。
- 議会ペーパーレス会議システムを令和5年10月に公募型プロポーザルにより導入。タブレット50台を併せて導入し、令和5年12月定例会から試験運用を開始しました。
- 令和7年度末までに標準化法・省令で定められている20業務について、すべての市町村が標準準拠システムに移行する必要があることから、標準準拠システムと現行システムとの差異を確認し対策を検討するためのF i t & G a p作業を行うため、関係部署への説明会の実施及び作業に着手しました。
- 多様化・深刻化する情報セキュリティリスク対策として職員研修の実施及び情報セキュリティ内部監査を実施しました。
職員研修は、新型コロナウイルス感染症対策として、インターネットのe - ラーニングを活用した研修を実施しました。
 - ・情報セキュリティ研修 915人受講
 - ・マイナンバー事務取扱者研修 257人受講
 - ・情報セキュリティ内部監査 4課の監査を実施

上記の評価と課題等

情報セキュリティ等に関する最新の情報収集を行い、高度な情報システムの更新や対策を継続して推進します。また、情報セキュリティ対策や情報漏洩対策を継続的に行うため、職員研修の実施を推進します。
令和7年度の基幹系システム標準化に向け、作業及び移行準備を進めます。

令和6年度	
部	政策部
課	行革デジタル推進課
係等	行革デジタル推進担当

決算書 ページ	87

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	7	情報施策費			
	事業	0102380	地域・行政情報化推進事業		施策	デジタル技術を活用した行政変革

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
26,756,000	26,452,761		0		303,239	98.9%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額	
18,155,000		デジタル基盤改革支援補助金	3,455,000			
		デジ田交付金（デジタル実装タイプ）	4,700,000			
		ふるさと寄附基金繰入金	10,000,000			

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 業務プロセス改革の推進

(1) 安曇野市スマート自治体推進アドバイザー西村元男氏との連携
業務フローから業務改善に繋がる業務を洗い出し、部署ごとに改善策の検討、提案を行いました。
【例】①環境課：生ごみ処理機器等交付補助金の受付業務
②建築住宅課：屋外広告物設置申請の事前相談業務

(2) ガバメイツピットを活用した業務改善
業務フロー作成システム導入業者（ガバメイツ）のコンサルティングにより、職員課の職員駐車場管理事務の業務改善を実施しました。
- LINEを活用した市民サービスの充実
「安曇野市スマホ窓口」をLINE上に構築し、機能を充実させることにより、市民の暮らしの利便性向上を図りました。
・LINE公式アカウント友達登録者数 42,124人（R6.3.31）
・安曇野市スマホ窓口業務
【例】税証明交付申請、出産・子育て応援給付金申請、犬の各種申請、ごみ収集日の通知 等
- 電子母子手帳アプリを利用した小児予防接種（デジ田交付金）
予防接種のスケジュール管理や予診票の記入、接種記録をデジタル化することで、保護者や医療機関の負担軽減を図りました。
・8医療機関で導入済
・母子手帳アプリ登録率 約70% 予診票のデジタル化率 約20%
- 文字同定作業の実施
標準準拠システムで使用する文字の標準化に対応するため、現在の基幹系システムで使用している文字と、文字要件に規定された文字を同定する作業を、国庫補助（デジタル基盤改革支援補助金）を活用して行いました。

上記の評価と課題等

「安曇野市DXの実行」に基づき、市民サービスの向上や事務の効率化に繋がる施策を実施しました。業務フローの見直しにより業務の効率化に繋がった成功事例等を情報発信することにより、業務見直しに対する職員の意識の醸成を図り、担当業務の業務改善へ繋がります。

令和 6 年度	
部	政策部
課	人権共生課
係等	人権共生係

決算書 ページ	89

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	10	人権啓発費			
	事業	0102410	人権啓発費		施策	共生社会の実現

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
19,494,000		16,756,297		0		2,737,703		86.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
7,995,805			厚生住宅使用料		84,000		多文化共生のまちづくり促進事業助成金		770,850	
			厚生住宅使用料滞納繰越分		4,000		人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金		1,274,000	
			外国人受入環境整備交付金		5,730,079					
			国際交流基金繰入金		132,876					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 「安曇野市多様性を尊重し合う共生社会づくり計画」に基づいた事業を実施しました。
- 共生社会づくり広報紙「きらり」を発行、今年度から市内全戸配布に変更し、周知を図りました。
※理解しやすい「やさしい日本語」による内容で、第3号を38,300部、第4号を38,500部発行
 - 男女共同参画・性の多様性推進事業
 - 安曇野市ジェンダー平等推進ネットワークとの協働し、講座・パネル展等を開催しました。
○若年層の性暴力被害予防月間パネル展（4/3～4/28）、○LGBT講座（4/25）、
○男女共同参画パネル展示（6/12～6/30）、○共生社会づくりフォーラム（8/5）、
○女性に対する暴力をなくす運動パネル展（11/10～11/24）、
○性教育講座（11/11～11/12）、○国際女性デーパネル展示（3/4～3/29）
 - 長野県のパートナーシップ制度導入に合わせ、対応可能な市の行政サービスを集約しました。
 - 多文化共生推進事業
 - 市民団体（あづみの国際化ネットワーク・安曇野市国際交流協会）と協働し、講座等を開催しました。
○日本語deスピーチ大会（7/30）、○多文化共生講座（インドネシア編8/27、イギリス編2/4）、
○あづみの国際DAY!2023（10/29）、○ダイバーシティ講座（1/14）
 - 外国籍市民相談窓口を開設しました。（庁舎1階東側）
出入国在留管理庁の「外国人受入環境整備交付金」を活用して整備を行っています。
新たに生活相談員2名を任用し、映像通訳等と合わせて20言語に対応しました。
 - 「やさしい日本語版生活のガイドブック」を作成（初版250部、第2版500部）
自治体国際化協会の「多文化共生のまちづくり促進事業助成金」を活用して作成しました。
 - 市ホームページを「やさしい日本語」に対応しました。
これまでの4言語に加えて「やさしい日本語」でも閲覧できるようにしました。
 - ユニバーサルデザインの推進

「人生100年時代づくり・地域創生ソフト事業交付金」を活用し、多様な個性や違いに関わらず、誰もが暮らしやすい社会を目指して、ユニバーサルデザインの普及を進めました。

 - 市職員を対象にユニバーサルデザイン研修（2/22）を開催しました。
 - ユニバーサルデザインガイドブック等を作成しました。
事業者向けにガイドブック（3,000部）と、市民向けにパンフレット（5,000部）を作成。

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	10	人権啓発費			
	事業	0102410	人権啓発費		施策	共生社会の実現

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

5. 犯罪被害者支援

(1) 新たに条例・要綱等を制定しました。

「安曇野市犯罪被害者等支援条例」を制定、被害者支援に関する基本理念を定め、市と市民と事業者の役割を明確にするとともに、関係課で連携した支援ができるよう連絡会議を開催しました。

「安曇野市犯罪被害者等支援金支給要綱」「安曇野市犯罪被害者等日常生活支援助成金交付要綱」を制定、犯罪被害者等に対する具体的な支援内容を規定しました。

(2) 「ホンデリング」（11/24）を開催し、犯罪被害者支援の啓発をしました。

古書等7,324点の寄贈があり、収益他98,021円を全国被害者支援ネットワークへ寄付しました。

6. 人権尊重事業

(1) パネル展示、イベントでの人権啓発活動を行いました。

○貞享義民記念館でのパネル展示「安曇野から考える人権展」（12/5～12/22）

○二十歳の集い（1/7）での啓発物品（ポストカード）等の配布

(2) 人権週間（12/4～12/9）に合わせ「人権のつどい」を開催しました。（12/2）

○中学生人権作文入選作品の表彰

○講演「人権尊重経営と人材育成のしかた」（有）ホテルさかえや代表取締役 湯本晴彦 氏

(3) その他

○松本人権擁護委員協議会安曇野部会による人権特設相談所「人権なんでも相談」（全12回）の設営協力や街頭活動への参加

○安曇野地区保護司会と協働した「社会を明るくする運動」の街頭活動（7/3）と啓発展示

7. 団体への活動支援

(1) 負担金	○松本人権擁護委員協議会	280,626 円
	○松本人権擁護委員協議会安曇野部会	180,000 円
	○特定非営利活動法人 長野犯罪被害者支援センター	187,000 円
	○矯正施設所在自治体会議事務局	10,000 円
(2) 補助金	○安曇野市ジェンダー平等推進ネットワーク	301,000 円
	○部落解放同盟安曇野市協議会	199,754 円
	○国内友好交流推進団体	132,876 円
(3) 交付金	○安曇野地区保護司会	456,000 円

上記の評価と課題等

令和5年度から「安曇野市多様性を尊重し合う共生社会づくり計画」がスタートしました。計画達成に向けた取組みを着実に進めていく必要があり、審議会において計画の進捗管理を行っています。

新規に取組んだ事業が多く、今後は内容の検証、実情に合わない部分や効果を上げるための修正・調整を丁寧に行っていく必要があります。

多様性を受け入れた共生社会が浸透していくためには、引き続き市民や事業所等に対する啓発を続けていく必要があります。

令和6年度	
部	政策部
課	人権共生課
係等	人権共生係

決算書 ページ	91

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	14	人権同和推進費			
	事業	0103225	住宅新築資金貸付事業		施策	共生社会の実現

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
125,000		43,420		0	81,580	34.7%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 住宅新築資金等貸付元利金の償還（債権回収）事務
 - 督促、臨戸集金等により住宅新築資金等貸付元利金の返済を促しました。
（※令和5年度末の未収額は合計123,475,383円）
 - 市債権管理条例に基づき、債権整理に取り組みました。
 - 令和5年度の回収額は1,274,000円（前年比+201,000円）でした。
 - 今後の回収業務について、法的手続きを含めた協議を弁護士としています。
 - 住宅新築資金等貸付事業償還事務担当者研修会に参加し、知識の習得に努めています。
（※11月24日大阪市にて開催、1名参加）
- 特定財源（住宅新築資金県補助金）について
住宅新築資金県補助金249,000円は、徴収事務費として一般管理費へ充当しました。

上記の評価と課題等

高齢化に伴って年金生活の債務者が増えており、返済へ回す資財が乏しい状況が続いています。債務を知らずに相続して償還請求の説明に苦慮する場合や、債務者の死亡で相続人全員が相続放棄している場合など、徴収を非常に困難している案件が存在しています。
回収の見込みが立たない案件については、債権放棄の手続きを検討し、進める必要があります。

市民生活部

令和6年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	まちづくり推進担当

決算書 ページ	69

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	1	一般管理費			
	事業	0102095	豊科地域事業		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
3,950,000		3,838,463		0		111,537		97.2%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

豊科地域の区等の地域力向上を支援し、地域課題の解決に向けた支援を行いました。また、市民との協働により地域の活性化を図るなど、心豊かで幸せな市民生活の実現を目指しました。

1 豊科地域区長会支援

地域区長会を開催し、市との連絡調整を行うとともに、地域課題解決の検討を行いました。

- (1) 地域区長会の開催（会議4回、出席謝礼 308,000円）
- (2) 先進地視察研修の実施（糸魚川市）

2 第44回あづみ野祭りの実施（補助金 3,200,000円）

新型コロナウイルス感染症の分類が5類に引き下げられたことに伴い、4年ぶりに7月29日（土）に開催しました。また、「あづみ野ばやし踊り」の伝承のため、踊り方をまとめた動画を作成し、DVDを各地区公民館等へ配布する他、市ホームページや市公式YouTubeへの掲載など、踊りの伝承に取り組みました。

上記の評価と課題等

豊科地域区長会では新任区長研修、視察研修などを実施し、様々な課題について情報交換し、解決に向けた検討を行いました。今後も各区と課題を共有し、課題解決に向けた仕組みづくりを支援します。

4年ぶりに開催したあづみ野祭りには、コロナ以前より多い、約20,000人が訪れ、市民の連帯感の醸成と「心のふるさとづくり」、また、地域経済の活性化に寄与することができました。今後、踊りのお師匠の皆さまの高齢化に伴い、「あづみ野ばやし踊り」の継承が課題となることから、踊りの伝承動画の活用を促進します。

令和6年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	穂高地域担当

決算書 ページ	69

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	1	一般管理費			
	事業	0102110	穂高支所費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
23,366,000		20,136,573		0		3,229,427		86.2%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
155,225			穂高支所雑入		137,245					
			コピーサービス料等		17,980					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 穂高支所等施設管理運営事業
地域活動の拠点となる支所施設を維持管理するため、施設修繕費や光熱水費、保守点検などの管理委託料の支出を行い、利用者の利便性向上を図りました。
- （1）穂高支所施設管理に係る経費
- | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|------------|------------|------------|
| 施設修繕費 | 763,400円 | 1,952,500円 | 91,300円 |
| 光熱水費 | 2,513,984円 | 2,916,985円 | 2,261,912円 |
| 管理委託料 | 2,225,010円 | 2,340,860円 | 2,510,875円 |
- （2）穂高支所駐車場の借地料（3筆／1名） 1,947,375円
- （3）公用車管理事務
公用車を安全に運行するため、車検・整備、燃料費等の管理を行いました。
122,791円
- 2 穂高地域区長会の支援
地域区長会を開催し、市との連絡調整及び地域課題解決のための検討を行いました。
（会議4回、研修視察1回、出席謝礼 311,500円）
- 3 穂高納涼祭補助金（まちづくりイベント事業補助金） 600,000円
8月5日に開催した「第40回穂高納涼祭」を支援し、ふるさと意識の醸成と地域の活性化を図りました。

上記の評価と課題等

市民に身近な行政サービスの窓口として、来庁者の皆様に、快適に施設利用をいただけたものと思います。

穂高地域区長（役員含む）の身近な相談窓口として、関係各課との連絡調整を行いました。地域区長会として、意見交換会を実施しました。今後も継続支援に努めます。

職員のコスト意識及び改善意識の徹底を引き続き行います。

穂高納涼祭は、穂高会館でのステージ発表会という形で小規模開催しました。令和6年度は、穂高会館駐車場での盆踊りという形での開催を予定しています。

令和6年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	三郷地域担当

決算書 ページ	71

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでつくるまち
	目	1	一般管理費			
	事業	0102130	三郷支所費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
23, 857, 000		22, 349, 186		0		1, 507, 814		93. 7%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
140, 720			三郷支所雑入		140, 720					

主要な施策（事務事業）の成果の概要			
1 三郷支所等施設管理運営事業			
地域活動の拠点となる支所施設を維持管理するため、施設修繕費や光熱水費、保守点検などの管理委託料の支出を行い、利用者の利便性向上を図りました。			
(1) 三郷支所施設管理に係る経費			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設修繕費	401,500円	273,680円	225,500円
光熱水費	3,865,747円	5,782,229円	4,586,981円
管理委託料	4,964,323円	4,842,666円	4,986,387円
(2) 三郷支所敷地、駐車場の借地料（6筆／2名）2,872,718円			
(3) 公用車管理事務			
公用車を安全に運行するため、車検・整備、燃料費等の管理を行いました。 490,870円			
2 三郷地域区長会の支援			
地域区長会を開催し、市との連絡調整及び地域課題解決のための検討を行いました。 (会議4回、研修視察1回、出席謝礼 196,000円)			
3 ふるさと夏祭り補助金（まちづくりイベント事業補助金）1,500,000円			
8月11日に開催した「第38回ふるさと夏祭り」を支援し、ふるさと意識の醸成と地域の活性化を図りました。			
上記の評価と課題等			
市民に身近な行政サービスの窓口として、複合施設の維持管理を進め、利便性と安全で快適な施設環境の提供に努めました。令和6年度長寿寿命化工事（三郷公民館、保健センター）が実施されますが、施設全体の計画的な修繕等を進める必要があります。			
区長の負担軽減や役員の担い手不足、区未加入者の増加など、地域課題解決に向けた市民主体の仕組みづくりを支援します。			

令和6年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	堀金地域担当

決算書 ページ	73

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	1	一般管理費			
	事業	0102150	堀金支所費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
36,339,000		32,993,588		0		3,345,412		90.8%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
663,121			堀金支所雑入		663,121					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1

堀金支所等施設管理運営事業

地域活動の拠点となる支所施設を維持管理するため、施設修繕費や光熱水費、保守点検などの管理委託料の支出を行い、利用者の利便性向上を図りました。

施設の空調機器等改修(ファンヒーター設置、給水ポンプ取替)工事を実施しました。

(1) 堀金支所施設管理に係る経費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設修繕費	795,300円	412,170円	570,900円
光熱水費	6,034,845円	9,397,147円	7,772,360円
管理委託料	6,359,275円	5,705,372円	7,950,263円

(2) 堀金支所敷地、駐車場の借地料 (2筆／2名)

1,821,658円

(3) 公用車管理事務

公用車を安全に運行するため、車検・整備、燃料費等の管理を行いました。

482,371円

(4) 堀金支所空調機器等改修事業

設計監理業務委託費 770,000円

工事請負費 7,810,000円

2

堀金地域区長会の支援

地域区長会を開催し、市との連絡調整及び地域課題解決のための検討を行いました。

(会議4回、研修視察2回、出席謝礼 126,000円)

3

常念フェスティバル補助金(まちづくりイベント事業補助金)

313,000円

8月26日に開催した「第7回常念フェスティバル」を支援し、市民の交流と地域の活性化を図りました。

上記の評価と課題等

市民に身近な行政サービスの窓口として、施設の維持管理を進め、利便性と安全で快適な施設環境の提供に努めました。

区長や区役員の負担軽減が求められており、区民が主体的に支え合い助け合う地域づくりの支援をします。

施設の竣工から約20年が経過し、不具合が発生しているため、計画的に改善を図る必要があります。

令和6年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	明科地域担当

決算書 ページ	73

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	1	一般管理費			
	事業	0102170	明科支所費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
17,256,000		15,406,748		0		1,849,252		89.3%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
833,480			明科支所雑入		33,480					
			明科地域づくり事業（過疎債ソフト）		800,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 明科支所等施設管理運営事業
地域活動の拠点となる支所施設を維持管理するため、施設修繕費や光熱水費、保守点検などの管理委託料の支出を行い、利用者の利便性向上を図りました。
- （1）明科支所施設管理に係る経費
- | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------|------------|------------|------------|
| 施設修繕費 | 39,600円 | 130,460円 | 808,060円 |
| 光熱水費 | 3,433,954円 | 4,652,861円 | 3,377,321円 |
| 管理委託料 | 4,975,502円 | 4,993,497円 | 5,638,771円 |
- （2）庁舎案内看板用地借地料（1筆／1名） 960円
- （3）公用車管理事務
公用車を安全に運行するため、車検・整備、燃料費等の管理を行いました。
201,218円
- 2 明科地域区長会の支援
地域区長会を開催し、市との連絡調整及び地域課題解決のための検討を行いました。
（会議4回、研修会2回、出席謝礼 185,500円）
- 3 安曇野明科あやめまつり補助金（まちづくりイベント事業補助金） 1,500,000円
6月17日及び18日に開催した「第39回安曇野明科あやめまつり」を支援し、約1万人の来場者で賑わいました。世代を超え市民相互の交流促進につながりました。

上記の評価と課題等

市民に身近な行政サービスの窓口として、複合施設の維持管理を進め、利便性と安全で快適な施設環境の提供に努めました。施設の長寿命化のため、改修が必要な箇所を把握し計画的に進めていく必要があります。

区長の負担軽減や役員の担い手不足、区未加入者の増加など、地域課題解決に向けた市民主体の仕組みづくりを支援します。

令和6年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	まちづくり推進担当

決算書 ページ	83

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	6	企画費			
	事業	0102350	協働のまちづくり推進事業		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
6, 059, 000		5, 124, 133		0		934, 867		84. 6%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
800, 000			地域振興基金繰入金		800, 000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

「安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」に基づき、協働によるみんなが主役のまちづくりを推進し、心豊かで幸せな市民生活の実現を目指しました。

- 「安曇野市つながりひろがる協働推進計画」の策定
「安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画策定・評価委員会」における協議やパブリックコメント等を踏まえ、令和6年度からの5年間を計画期間とする第3次協働推進計画として、計画名称を新たに「安曇野市つながりひろがる協働推進計画」を策定しました。
- 協働のまちづくり出前講座 （85講座 実施回数：132回）
市職員が市民の集会等の場に出向き、市政や制度などについて説明しました。
- つながりひろがる地域づくり事業補助金 （6団体 補助金 809, 000円）
市民活動団体が行う自主的・主体的で、つながりをひろげる事業に対して補助金を交付しました。
- 市民活動サポートセンターの運営 （登録団体 190団体）
市民活動フェスタの開催、講座の開催、相談受付、情報の収集・発信、交流の場の提供等のコーディネートを行い、市民活動の支援及び活性化を図りました。
- その他協働事業
市民との協働により、光城山1000人SAKURAプロジェクトやアルプス花街道事業を実施しました。

上記の評価と課題等

各種事業の実施により、協働によるまちづくり推進を図ることができました。
さらなる協働推進に向けて、第3次協働推進計画として「安曇野市つながりひろがる協働推進計画」を策定しました。今後5年間、この計画に基づき、「つながりひろげ一緒につくろうわたしたちのまち」をコンセプトに、若者から高齢者まで幅広い世代のまちづくり参画支援や交流の場づくりの充実、市民活動サポートセンターの新たな拠点整備などが課題となります。

令和6年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	まちづくり推進担当

決算書 ページ	85

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	6	企画費			
	事業	0102355	区等地域力向上事業		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
114,626,000		114,329,356		0		296,644		99.7%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
113,106,900			その他証明手数料		6,900					
			地域振興基金繰入金		97,000,000					
			コミュニティ助成事業助成金		16,100,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

各区等の地域力向上の支援をし、地域課題を自ら解決できる仕組みの構築を目指しました。

- 1 安曇野市区長会支援
- （1）安曇野市区長会専門部会の開催
- 4部会（DX推進部会、区長の担い手不足解消部会、防災部会、コミュニティ部会）にて、区長及び区長経験者等の計37名とともに、各7回の審議を行いました。
- （2）区加入促進支援
- 転入者等へパンフレットや区紹介カード等を用い、区への加入について案内しました。
- 転入者等へ配付するパンフレットを改訂し、市民の関心の高い事項を内容に加えました。
- 2 区等交付金の交付
- | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|-------------|-------------|-------------|
| 96,182,610円 | 96,772,500円 | 97,028,490円 |
- 3 自治会活動保険補助金（安曇野市区長会 537,965円）
- 4 コミュニティ助成事業補助金（採択9件 16,100,000円）
- うるおいのある地域社会、コミュニティの健全な発展を図ることを目的に交付しました。
- | 区分 | 件数 | 金額 | 財源 |
|----------|----|-------------|---------------------|
| 一般コミュニティ | 7件 | 13,500,000円 | 一般財団法人自治総合センター助成金 |
| 地域防災 | 2件 | 2,600,000円 | 公益財団法人長野県市町村振興協会助成金 |
- 5 認可地縁団体事務

上記の評価と課題等

多様化・複雑化する地域課題の解決に向けて、区長会と連携し、課題の共有及び解決に向けた支援に努めました。各区においては、区役員等の担い手不足や区未加入など、持続可能な運営体制に課題を抱えていることから、相談支援や部制度導入支援、区の負担軽減支援の充実を図る必要があります。

また、各区及び市政発展に向け、市区長会では事務局の自立について検討されています。市区長会と連携し、望ましい事務局のあり方について協議を進めます。

予算	款	02	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	総務管理費		目標	安全で安心して暮らせるまち
	目	08	交通安全対策費			
	事業	0102390	交通安全対策費		施策	防犯・交通安全の推進

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 4 交通安全協会（負担金 安曇野交通安全協会966,000円 安曇野支部3,382,000円）
安曇野警察署管内を広域的に連携する安曇野交通安全協会の運営に必要な負担金及び同協会安曇野支部の組織的な活動を支援するために必要な負担金を交付しました。

市内の交通事故（人身事故）発生件数と死者数（件/暦年）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
件数	357	279	302	260	292
死者	4	2	1	3	4
傷者	415	335	372	310	357

安曇野警察署管内の高齢者（65歳以上）関与の事故発生状況（件/暦年）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
件数	176	129	150	106	142
全事故中に占める割合	46.2%	45.4%	47.9%	40%	48.6%

安曇野警察署管内の子ども（中学生以下）の事故発生状況（件/暦年）

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
件数	26	16	20	12	23
全事故中に占める割合	7.3%	5.7%	6.6%	4.5%	7.8%

※安曇野警察署からの情報提供

上記の評価と課題等

令和5年中の交通事故発生件数は、昨年に比べて総件数が増加したのに伴い、死者、傷者のいずれも増加しました。

また、高齢者や子どもが関与する交通事故の割合も増加したことから、高齢者交通事故抑止対策や、子どもに対する交通安全教育の更なる推進が求められます。

更に、昨年4月から自転車乗車時のヘルメット着用が努力義務化されましたが、着用率がまだまだ低調であることから、着用率を向上させるとともに、通学中の交通事故ゼロを目指していく必要があります。

令和6年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	生活安全係

決算書 ページ	87

予算	款	02	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	総務管理費		目標	安全で安心して暮らせるまち
	目	09	防犯対策費		施策	防犯・交通安全の推進
	事業	0102400	防犯対策費			

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
27,630,000		25,890,807		0		1,739,193		93.7%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
176,000			地区防犯灯新設分担金		176,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 防犯灯管理運営費（決算額 23,294,807円）
- (1) 防犯灯新設（工事請負費 2,568,610円）
内訳：地域要望等防犯灯新設 43基（うち指定通学路21基）
- (2) 防犯灯修繕（施設修繕費 3,663,690円）
- (3) 照明柱等共架更新工事（工事請負費 2,266,660円）
既設の独立柱防犯灯の劣化状況を調査し、倒壊等の危険が認められる独立柱防犯灯を撤去、電柱へ共架等することで安全性の確保を図りました。
- (4) 防犯灯電気料（光熱費 14,561,723円）
契約灯数：8884基（3月末の電力契約数）
- 2 防犯対策推進事業（決算額 2,596,000円）
- (1) 防犯協会分担金（金額 2,415,000円）
安曇野警察署管内の関係機関・団体が広域的に連携協力する安曇野防犯協会連合会の運営に必要な分担金を負担しました。
- (2) 特殊詐欺等被害防止対策機器設置補助事業（補助金：66,600円 申請件数15件）
高齢者を対象とした特殊詐欺、悪質商法等の被害防止のため、特殊詐欺等被害防止対策機器の設置費用に係る補助金を交付し、対策機器の普及促進を図りました。

市内の刑法犯認知件数（件/暦年）				
令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
318	324	187	282	294

令和5年度中の特殊詐欺(電話でお金詐欺)発生状況		
	県内	安曇野市内
被害件数	227件	5件
被害件数 (単位：千円)	981,420	5,583

上記の評価と課題等

各区からの要望に基づいて計画的な防犯灯設置を進めるとともに、劣化した独立防犯灯の更新を図りました。昨年の市内における刑法犯認知件数、特殊詐欺（電話でお金詐欺）の発生は、安曇野市内においては前年に比べて件数、被害額ともに減少したものの、全県的には大幅に被害が増大していることから、安曇野防犯協会連合会、安曇野警察署、自主防犯ボランティア団体等の関係団体が連携した市民参加による防犯活動を引き続き推進する必要があります。

令和6年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	明科地域担当

決算書 ページ	137

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	7	飲料水供給費			
	事業	0104190	飲料水供給費		施策	安定した水道・下水道事業の運営

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
2,494,000		2,450,036		0		43,964		98.2%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
131,757			飲料水供給施設使用料		131,757					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

山間地域にある安曇野市明科飲料水供給施設を適正に維持管理し、金井沢地区へ安全で安心な飲料水の供給を行いました。給水対象戸数は、金井沢集会所を含めて7戸です。

○飲料水供給施設管理に係る経費

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設修繕費	0円	0円	0円
光熱水費	163,361円	190,385円	209,192円
管理委託料	1,791,471円	1,899,700円	2,184,600円

上記の評価と課題等

適正な維持管理と必要な修繕等を行うことで、安全で安心な飲料水を供給することができています。
山間地域のため供給戸数や使用量の増加を見込める状況にありませんが、市民の生活に必要不可欠な事業であることから、今後も施設の適正な維持管理を継続していく必要があります。

令和6年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	生活安全係

決算書 ページ	173

予算	款	07	商工費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	商工費		目標	安全で安心して暮らせるまち
	目	04	消費者行政対策費			
	事業	0107180	消費者行政対策費		施策	消費者保護の推進

単位：円								
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
6,988,000		6,908,006		0		79,994	98.9%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名		金額
33,000			消費者行政活性化補助金		33,000			

主要な施策（事務事業）の成果の概要																																									
各種消費者相談に対応するとともに、消費者被害防止のための啓発活動に努めました。 1 安曇野市消費生活センター 相談員(会計年度任用職員)2名(報酬、手当 5,982,846円) (1) 消費生活相談受付状況 令和5年度 相談受付件数：616件(内訳は次のとおり) <table> <tr> <th rowspan="2">相談別</th><th colspan="9">苦情(525)</th><th rowspan="2">問い合わせ要望</th></tr> <tr> <th>店舗購入</th><th>訪問販売</th><th>通信販売</th><th>マルチ・マルチまがい</th><th>電話勧誘販売</th><th>初体験オプション</th><th>訪問購入</th><th>その他無店舗</th><th>不明・無関係</th></tr> <tr> <td>件数</td><td>141</td><td>50</td><td>175</td><td>6</td><td>35</td><td>2</td><td>10</td><td>0</td><td>106</td><td>91</td></tr> </table> ※ 国民生活センター全国消費生活情報ネットワーク・システム（PIO-NET）での集計分類 (2) 助言、あっせんによる救済（被害未然防止・被害回復） 消費生活相談員による助言、あっせんに係る救済金額 合計 14,180,142円 2 消費者教育(需用費 783,140円) 出前講座：開催回数8回（参加者205人） 成年年齢引き下げに伴い、高校3年生を対象に消費者トラブル対策冊子を配布した。											相談別	苦情(525)									問い合わせ要望	店舗購入	訪問販売	通信販売	マルチ・マルチまがい	電話勧誘販売	初体験オプション	訪問購入	その他無店舗	不明・無関係	件数	141	50	175	6	35	2	10	0	106	91
相談別	苦情(525)									問い合わせ要望																															
	店舗購入	訪問販売	通信販売	マルチ・マルチまがい	電話勧誘販売	初体験オプション	訪問購入	その他無店舗	不明・無関係																																
件数	141	50	175	6	35	2	10	0	106	91																															
上記の評価と課題等																																									
消費生活相談員による助言、斡旋により、消費者被害の減少を図りました。 SNSを介した投資詐欺や簡単に稼げる副業などを謳った詐欺まがい商法等、連絡が取れない相手方との取引により救済不可能な相談内容が増加したことから救済額自体は前年よりも下がりましたが、相談者に対しては防犯対策や横行している手口の教示をする等、被害拡大防止に努めました。 消費者トラブルに関しては、新しい手口が発生したり流行りの手口の変遷等がめまぐるしいことから引き続き、消費生活相談員のスキルアップを図りながら、各種消費者相談に対応し、消費者被害の防止と解決に努めます。																																									

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	戸籍住民基本台帳費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	1	戸籍住民基本台帳費			
	事業	0102490	戸籍住民基本台帳管理費		施策	デジタル技術を活用した行政改革

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

イ 異動件数

区分	件数	区分	件数
転入	2,346	世帯変更	1,119
転出	2,528	附票関係	11,917
転居	1,135	合計	19,045

ウ 主な国籍別外国人住民人口

国籍	人数(人)	外国人に占める割合
中国	302	20.46%
ベトナム	250	16.94%
ブラジル	227	15.38%
韓国・朝鮮	154	10.43%

(3) 証明書発行件数及び手数料

区分		総件数	金額(円)	内コンビニ 交付件数	前年コンビ ニ交付件数	コンビニ交 付増加率
戸籍	戸籍謄抄本	15,218	6,848,100	2,646	1,530	173%
	除籍、改製原戸籍	11,797	8,847,750			
	その他戸籍関係証明	913	289,150			
住民票	住民票	34,928	10,478,400	8,638	5,885	147%
	その他住民票関係証明	1,059	294,000			
	戸籍附票の写し	2,497	749,100	232	155	150%
	住民票広域交付	24	7,200			
印鑑	印鑑登録証明書	25,656	7,696,800	8,091	5,309	152%
	印鑑登録	3,042	912,600			
税務関係諸証明		12,646	4,314,800			
臨時運行許可証		625	468,750			
その他証明		254	60,300			
合計		108,659	40,966,950	19,607	12,879	152%

(4) マイナンバーカード申請件数、交付件数及び交付割合

項目	住基人口	申請件数	申請%	交付件数	交付%
R5年度末	95,953	79,803	83.17%	72,441	75.50%
R4年度末	96,455	75,333	78.10%	57,945	60.07%
増減数	△ 502	4,470	5.07%	14,496	15.42%

上記の評価と課題等

マイナンバーカードの交付枚数・交付率が増加し、それに伴い証明書コンビニ交付利用率は令和4年度の16.83%から令和5年度の25.04%と増加しています。今後は、マイナンバーカードの利活用を進めて窓口の混雑緩和を図るため、本庁舎にキオスク端末を設置し、各支所にらくらく窓口証明書交付サービスの端末を設置してコンビニ交付の利用を促進します。

今後、法改正対応やシステム標準化により各システムの更新が順次発生するので、窓口事務が遅延しないように速やかに関係者へ操作方法の周知等を行うなどの対策を進めます。

令和6年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	環境政策担当

決算書 ページ	85

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	6	企画費			
	事業	0102360	水資源対策事業		施策	自然環境の保全

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
19,925,000		18,452,415		0		1,472,585		92.6%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
700,000			企業版ふるさと納税		700,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 安曇野市水環境審議会の開催〔報酬・出席謝礼・費用弁償：335,700円〕

安曇野市水環境審議会（有識者、市民ら18人から構成する審議会）では、水環境基本計画及び同行動計画の施策・評価・検証等を実施し、水資源の保全・涵養並びに適正利用について調査、水資源利用の適正化の促進に取り組みました。大規模排水路（あづみ野排水路）において水路維持用水による副次的な地下水涵養効果検証実験、事業者向けの節水について実態調査をするほか、施策推進について検討を行いました。

6/5 第1回水環境審議会

【報告】令和4年度事業実績、【協議】令和5年度事業計画

10/30 第2回水環境審議会

【報告】令和5年度良好な水循環・水環境創出活動モデル事業の応募結果、企業等への「節水啓発」、【協議】令和5年度水田機能維持・地力増進推進事業の実績等、水路維持管理用水を活用した、あづみ野排水路における地下水涵養事業（案）

3/14 第3回水環境審議会

【研修】水循環アドバイザー（神奈川県秦野市：谷参事）による講義、【報告】令和6年度事業、「（仮称）松本盆地流域水循環計画」の策定、わさび田（豊科・穂高）等の湧水の状況

2 地下水位等観測調査〔委託料：4,048,000円〕

地下水位観測12か所（豊科地域6か所（内わさび田1）、穂高地域4か所（内わさび田1）、堀金地域2か所）と、湧水量観測2か所の継続実施しています。令和5年度中の地下水量は、ほぼ例年並みで、令和2年度に観測された豊科湧水観測施設（田淵行男記念館周辺）での枯渇はありませんでした。また、経年の水位変動は10年前頃から横ばいですが、最高水位が以前より低い傾向が見受けられました。

地域別では、市内北部（穂高）の水位にわずかな低下傾向が認められ、市内南部（豊科南部・堀金）ではほぼ横ばい傾向でした。

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	6	企画費			
	事業	0102360	水資源対策事業		施策	自然環境の保全

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3 水環境基本計画及び行動計画の推進 [委託料：11,684,588円]

人為的な地下水涵養施策として、他課と連携して、麦の刈り取り後の転作田に水を張る「麦あと湛水事業」を継続して取り組みました。（160.6万㎡／年の涵養量）

「地下水の見える化ツール(模型・図表・パネル)」を活用し、豊科東小学校、堀金小学校、豊科北小学校、豊科北中学校4校で出前授業、市民団体1団体・大学院生1団体に出前講座を実施しました。（264人）

4 （仮称）松本盆地流域水循環計画策定に向けた意向調査の実施

（仮称）松本盆地流域水循環計画の策定について、アルプス地域地下水保全対策協議会で協議し、7月には信州大学 中屋名誉教授を講師に招き自治体職員対象の地下水勉強会を実施しました。その後、構成自治体に計画策定の意向調査した結果、11構成自治体（市町村）のうち10自治体から「策定賛成」の回答といただきました。令和6～7年度に計画策定の検討を行い、令和8年度に計画策定予定です。

5 新たな人為的涵養施策の検討

第2次安曇野市水環境基本計画・同行動計画策定（令和9年度施行）に向けて、国（内閣官房水循環政策本部事務局）と協議し、冬期湛水実施に向けた新たな人為的涵養施策を検討しました。水利権の課題については、令和6・7年度 信州大学研究業務「犀川三川合流部地下水涵養施策の効率化へ向けた地下水涵養・流動の解析」の結果を見ながら、関係部署、土地改良と協議予定です。

上記の評価と課題等

安曇野市内における地下水位等を継続観測することで現況把握、監視等を行い、地下水の保全に取り組みました。健全な地下水環境の創出に向け、市民・事業者・市が取り組む施策を具体的に示した「水環境基本計画」に基づく行動計画の各行動施策をスケジュールに沿って進めました。また啓発活動として、学校や市民団体への出前講座を実施しました。

これまで実施された可視化研究（H28）、一斉測水調査結果（H27、R2）、筑波大学辻村教授の研究（H30）、あづみ野排水路における地下水涵養の科学的効果検証など蓄積された知見を活かし、より効果的な人為的涵養施策を研究・実施と市民への普及啓発に努めていきます。

令和6年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	環境保全係

決算書 ページ	133

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	4	霊園管理費			
	事業	0104140	霊園管理費		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
33,934,000		32,073,875		0		1,860,125		94.5%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
32,073,875			霊園管理料		8,176,606		霊園基金利子		225,069	
			霊園管理料滞納繰越分		72,600		霊園基金繰入金		8,237,000	
			霊園使用料		15,350,000					
			霊園事務手数料		12,600					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 市営10 霊園（全区画：3,786 区画）の維持管理を実施しました。
 - 新規販売 1 区画（495,000円）
 - 返還による再販売 15区画（6,500,000円）
 - 穂高墓地公園合葬墓 個別26体（累計196体） 共同106体（累計554体）
計132体（累計750体）

【※新規販売可能区画 100区画（荻原公園墓地）】
- 聖地修繕〔施設修繕費：754,050円〕
 - 返還聖地 373,340円
 - アルプス霊園 115,060円
 - 上沢霊園 40,700円
 - 黒沢霊園 85,800円
 - 荻原公園墓地 139,150円
- 霊園管理〔役務費・委託費：8,505,150円〕
 - 〈浄化槽定期点検、し尿汲み取り、水道設備開閉栓：93,530円〉
 - アルプス霊園5,000円、飯田霊園3,540円、堀金霊園 37,500円、黒澤霊園 13,390円、荻原公園墓地 34,100円
 - 〈霊園等清掃ほか：6,619,060円〉
 - 穂高墓地公園 2,134,880円、荻原公園墓地 1,188,000円、黒沢霊園 940,280円、アルプス霊園・上沢霊園・西浦霊園 954,800円、堀金霊園 548,900円、飯田霊園 507,100 円
 - みどりヶ原霊園 110,800円、穂高墓地公園(合葬墓) 72,600円、下押野霊園 161,700円
 - 〈浄化槽維持管理：120,560円〉
 - 堀金霊園 97,900 円、アルプス霊園 22,660 円
 - 〈埋蔵：715,000円〉
 - 穂高墓地公園(合葬墓) 715,000円
 - 〈樹木伐採等：957,000円〉
 - 穂高墓地公園支障木伐採 957,000円

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	4	霊園管理費			
	事業	0104140	霊園管理費		施策	良質な住環境の整備

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
4 霊園整備工事〔工事請負費：6,523,425円〕	(1) 西浦霊園目隠しフェンス設置工事 1,298,000円 (2) 下押野霊園土留工事 660,000円 (3) 堀金霊園外灯撤去工事 436,425円 (4) 穂高墓地公園合葬式墳墓石板立て設置工事 4,030,000円（R4～5債務負担R5年度分） (5) 西浦霊園安全施設設置工事 99,000円
上記の評価と課題等	
年間を通じて、市営霊園10か所3,786区画、合葬式墳墓750体（個別埋蔵室196体、共同埋蔵室554体）の適切な維持管理と経営運営を行いました。 物価高騰の影響を受けて債務負担行為を組んで令和4年度に着工した穂高墓地公園合葬式墳墓石板立て設置工事が竣工となりました。	

令和6年度	
部	市民生活部
課	環境課・ゼロカーボン推進課
係等	環境政策担当・ゼロカーボン推進担当

決算書 ページ	135

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	5	環境衛生費			
	事業	0104150	環境基本計画推進事業		施策	自然環境の保全

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
115, 443, 000	114, 279, 373		0		1, 163, 627	99. 0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名		金 額	細 節 名	金 額
79, 659, 000		その他刊行物頒布代（レッドデータブック）		6, 000		
		地域脱炭素移行・再エネ推進交付金		79, 653, 000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 環境基本計画推進事業
第2次環境基本計画を推進するため、「環境審議会」を5回開催し、環境行動計画に基づく、実施計画の事業の推進や啓発活動、進捗状況の確認、評価を行い、年次報告書を作成しました。
- 「安曇野環境フェア」
「安曇野環境フェア」は「ゼロカーボン未来につなごう、安曇野の自然」をテーマに開催し、1,800人が来場しました。
- 「安曇野環境市民ネットワーク」活動
「安曇野環境市民ネットワーク」には、環境活動を行っている23団体が加盟し、環境学習プログラムを提供しました。
- 環境講座（環境学習会）活動
自然観察会（3回）、環カフェ（3回）などを開催し、234人が参加しました。
- 第4回安曇野市生きものの調査2023
身近な生きものの生息、生育状況を確認する目的として、5年に1回の調査を実施し、調査報告書を作成しました。
- 安曇野市版レッドデータブック改訂版
絶滅のおそれのある種の現状を明らかにし、種の保全に取り組むための基盤となる「安曇野市版レッドデータブック2014」の内容を最新のものに改訂しました。
- 特定外来生物駆除事業
アレチウリは各区の一斉駆除などで、延べ5,987人に活動を行っていただきました。市民団体などの協力のもとオオカワデシヤも駆除しました。

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	5	環境衛生費			
	事業	0104150	環境基本計画推進事業		施策	自然環境の保全

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

8 住宅用地球温暖化対策設備設置補助

交付総件数 323件〔補助額：24,100,000円〕

※補助金額・・・太陽光発電システム、定置型蓄電システム、V2H：一律75,000円
太陽熱利用システム：一律50,000円

9 地域資源活用による脱炭素化推進事業

環境省から地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）の内示を受け、地域エネルギー会社と連携し、バイオマス燃料製造システムの整備、屋根置き自家消費型太陽光発電の設置に向けた施設との調整を実施しました。

上記の評価と課題等

第2次基本計画に基づき、市民の環境意識の向上に繋がる事業を実施し、市民主体の持続可能な社会の環境保全に向け、環境審議会、安曇野環境市民ネットワークなどが連携協力し、環境行動計画を推進しました。また、環境審議会において地球温暖化対策を強化するための専門部署設置について協議し、令和6年度よりゼロカーボン推進課を新設しました。

ゼロカーボン実現に向けては、住宅屋根への太陽光発電設置を促進するとともに、地域エネルギー会社や関係部署と連携し、再エネの更なる普及拡大を図る必要があります。

令和6年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	環境保全係

決算書 ページ	135

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	5	環境衛生費			
	事業	0104160	環境衛生総務費		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
231, 133, 000	227, 376, 173		0		3, 756, 827	98. 4%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
6, 064, 574		狂犬病予防注射済票交付手数料		2, 590, 130		
		犬の登録手数料		1, 251, 400		
		霊園管理料		2, 223, 044		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 狂犬病予防事業（決算額：2, 396, 065円）
 - (1) 犬の登録と狂犬病予防注射を実施し、それぞれ鑑札、注射済票を交付しました。
 - (2) 狂犬病予防注射は、広報及び飼い主への年1回のはがき郵送による周知を行いました。
 - ・登録頭数 5, 256頭（前年度 5, 421頭）
 - ・新規登録（鑑札交付件数） 403頭（前年度 377頭）
 - ・再登録（鑑札交付件数） 33頭（前年度 51頭）
 - ・注射済票の交付数 4, 714頭（新規4, 707頭+再交付7頭）（前年度 4, 530頭）
- 2 動物の愛護及び管理

犬の糞の持ち帰り啓発用看板を希望者に貸与しました。

 - ・迷い犬等保護件数 35件（前年度 33件） 看板貸出数 30件（前年度 30件）
 - ・ニャンでも相談 2回11件（前年度 2回17件）
- 3 猫不妊・去勢手術費用補助〔補助金：418, 601円〕（H29 年度から開始）

飼い主のいない猫の増加を防止し、猫被害の拡大を防止するため、動物愛護団体に対して、地域猫の不妊・去勢手術費用を補助しました。

 - ・不妊、去勢手術頭数 32頭（♂8頭、♀24頭）（前年度 36頭（♂14頭、♀22頭））
- 4 迷い犬捕獲業務〔委託料：22, 000円〕

市内において迷い犬を捕獲した際、確保された場所から市役所へ迷い犬を搬送し、飼い主から保護確認があるまで一定期間預かりました。

 - ・搬送頭数 35頭（前年度 33頭）
- 5 公衆便所の管理（決算額：1, 058, 058円）

公衆便所2か所（豊科新田公民館前・豊科駅前）の適正な管理を行いました。

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	5	環境衛生費			
	事業	0104160	環境衛生総務費		施策	良質な住環境の整備

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 6 安曇野松筑広域環境施設組合負担金、火葬料扶助費〔負担金・扶助費：62,858,500円〕
- (1) 広域豊科葬祭センターの管理経営費を拠出しました。
・組合負担金 54,364,000円（前年度 53,917,000円）
- (2) 火葬料無料化に伴う負担金（広域豊科葬祭センター利用分）
- | | | | | |
|-----|--------|------------|-------------|-------------|
| 遺 体 | 1,195件 | 8,365,000円 | （前年度 1,207件 | 8,449,000円） |
| 死産児 | 5 件 | 17,500円 | （前年度 8件 | 28,000円） |
| 計 | 1,200件 | 8,382,500円 | （前年度 1,215件 | 8,477,000円） |
- (3) 広域豊科葬祭センター以外の火葬場を使用した場合の火葬炉使用料（一部）を扶助しました。
申請件数 遺体16件（前年度 遺体23体）
支出合計 112,000円（前年度 161,000円）

上記の評価と課題等

狂犬病予防の集合注射を年3回（4月・6月・10月）実施できました。狂犬病予防注射未注射犬が618頭いるため、飼い主に向けた啓発活動を行います。
市民が火葬施設を使用する場合の火葬費用の負担を補助し、市民の経済的負担軽減に努めました。

令和6年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	環境保全係

決算書 ページ	137

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	5	環境衛生費			
	事業	0104170	合併浄化槽補助事業		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
16,476,000		16,467,000		0		9,000		99.9%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
8,828,000			浄化槽設置整備補助金（国庫支出金）		4,424,000					
			浄化槽設置整備補助金（県支出金）		4,404,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 合併浄化槽補助事業〔補助額：16,426,000 円〕 下水道事業計画区域外の水洗化を図るため、合併処理浄化槽の設置費用の一部を補助することで生活環境の向上及び公共用水域の水質改善を図りました。			
2 設置基数			
人 槽	設置基数	補助金額（千円）	内 訳
5 人槽	25基	国 4,424千円 県 4,404千円	豊科地域1基、穂高地域18基、三郷地域1基、堀金地域5基
6～7人槽	5基		穂高地域4基、堀金地域1基
8～10人槽	2基		穂高地域1基、三郷地域1基
合計	32基		

上記の評価と課題等

下水道事業計画区域外の地域の生活環境の向上及び公共用水域の水質改善を図るため、関係機関と協力して、浄化槽の維持管理を指導しました。

令和6年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	環境保全係

決算書 ページ	137

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	6	公害対策費			
	事業	0104180	公害対策費		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①	
7,964,000		6,876,860		0		1,087,140		86.3%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 公害対策費〔委託料：5,011,600円〕	
河川水質・地下水質・大気中窒素酸化物・道路騒音・自動車騒音常時監視等の各種検査、測定を実施し、公害の発生を監視しました。	
・大気中窒素酸化物測定調査 3地点（通年）	376,200円
・市内自動車交通騒音測定 8地点（12月）	1,529,000円
・自動車騒音常時監視及び面的評価業務 3路線	990,000円
・市内河川水質検査 26箇所（8月）	396,000円
・地下水（井戸水）水質検査 28地点（7・2月）	995,500円
・市内硝酸態窒素（井戸水）水質調査 3箇所（7・2月）	31,900円
・長野自動車沿線騒音測定調査 3地点（12月）	693,000円
2 臭気対策事業〔委託料ほか：1,239,510円〕	
三郷地域の畜産臭気を把握するため、臭気モニターによる臭気確認、公害監視員による巡回監視と畜産事業者の臭気指数測定を実施しました。	
・畜産臭気指数調査 6か所18回（7～9月）	767,800円
・畜産臭気指数調査 2か所2回（2月）	119,900円
※夏期に指数超過した畜産農家のみ	
・畜産臭気指数調査 1か所1回（2月）	77,000円
・臭気モニター16名（12か月）への調査謝礼	192,000円
・公害監視員2名（週1回：計83日）への調査謝礼	82,810円

上記の評価と課題等

公害測定（環境調査）の実施や常時監視により、健康で快適な市民生活環境を保持することが出来ました。令和元年度から始まった長野自動車道環境対策連絡協議会は、一定の目的を果たせたことから、令和5年度末で解散となりました。	
三郷地域の畜産臭気指数測定（7～9月、延べ18回）では、畜産事業者6者のうち2者で計2回規制値を超過しましたが、令和6年2月に再度測定したところ規制値以下となりました。	
また、1事業者による農地への堆肥散布によって苦情が発生したことから、臭気指数測定を行ったところ規制値を超過していたので、改善を指示しました。	
引き続き臭気指数測定を実施し、監視体制の継続を行うとともに、必要に応じて指導を行います。	

令和6年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	資源循環推進担当

決算書 ページ	139

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	清掃費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	清掃総務費			
	事業	0104210	清掃費		施策	循環型社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
805,339,000	802,011,947		0		3,327,053	99.6%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
102,509,280		一般廃棄物許可申請等手数料		40,000		
		可燃ごみ処理手数料		101,650,000		
		動物死骸処理手数料		819,280		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 廃棄物収集運搬事業（決算額 365,253,376円）

市内の指定集積場所に排出される一般廃棄物（可燃・不燃ごみ）の収集運搬を5事業者に委託し、穂高クリーンセンター等へ搬入しました。

令和5年度に穂高クリーンセンターに搬入された家庭系可燃ごみは、約13,521tで前年度比2.4%減少しました。また、穂高クリーンセンター及び一般廃棄物最終処分場等に搬入された不燃ごみは、約488tで、前年度比8.1%減少しました。

【ごみ処理量の推移】（事業系ごみを除く）

（単位：t）

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
可燃物	13,380	13,697	13,831	13,854	13,521
不燃物	460	638	508	531	488
計	13,840	14,335	14,339	14,385	14,385

※不燃物は、ガラス・陶器類と金物類及びブロック・瓦等の計

2 し尿処理

し尿（し尿浄化槽汚泥・農集排施設汚泥を含む）処理は、許可業者4事業者が収集し、穂高クリーンセンターへ搬入しました。搬入量は、9,791kℓで前年度比7.4%減少しました。

（単位：kℓ）

年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
し尿	6,575	6,429	5,741	5,539	5,221
浄化槽等	4,904	5,254	5,582	5,036	4,570
計	11,479	11,683	11,323	10,575	9,791

※浄化槽等は浄化槽汚泥と農集汚泥の計

3 不法投棄対策事業（決算額 4,695,538円）

不法投棄防止と投棄物の早期発見のため、15人の不法投棄監視連絡員を委嘱し、常習箇所を中心にパトロールを延べ618日実施しました。

市民や不法投棄監視連絡員から16件（約900kg）の通報があり、職員が投棄物の内容調査を行いました。投棄者は特定できず、市が回収しました。

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	清掃費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	清掃総務費			
	事業	0104210	清掃費		施策	循環型社会の実現

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 4 市内一斉清掃の実施
5月28日と11月5日を市の一斉清掃日として、年2回の市内一斉清掃を実施しました。
延べ437団体42,186人の参加をいただき、可燃ごみ約12,866kg、不燃ごみ類約7,212kgを回収しました。（区・事業所等による独自の実施分を含む。）
- 5 穂高広域施設組合事業（決算額 426,268,000円）
穂高広域施設組合の管理運営及び施設整備等の負担金を拠出しました。
- 6 訴訟関係
令和2年11月18日付けで市が行った一般廃棄物処分業の許可取り消しを求めて、周辺住民が令和3年5月17日付けで長野地方裁判所に訴訟を提起した令和3年（行ウ）第3号事件については、令和5年6月30日に原告側が本事件に対する請求の放棄をしたことにより、本件裁判は終了しました。

上記の評価と課題等

市民や事業者等が実施する市内一斉清掃は、地域の環境美化へ繋がる活動として毎年行っています。また、不法投棄監視連絡員による定期的なパトロールにより、不法投棄常習箇所が把握でき、防止看板を設置する等の対策が講じられています。

今後もこれらの活動を実施していくとともに、子どもの頃からポイ捨てしない意識を市民一人ひとりに大切にしていだくよう、小学生への環境学習会や市の広報紙・ホームページ等を活用した啓発を行い、きれいな環境を維持していきます。

令和6年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	資源循環推進担当

決算書 ページ	141

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	清掃費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	じんかい処理費			
	事業	0104230	最終処分場施設管理事業		施策	循環型社会の実現

単位：円					
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	
12, 843, 000		11, 919, 936		0	
				923, 064	
執行率 ②/①				92. 8%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名	金額	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1	最終処分場施設管理事業（決算額 7, 247, 936円） （1）三郷一般廃棄物最終処分場及び小岩岳不燃物処理場周辺の環境整備に努めるとともに、地下水への影響を調査するため、水質検査を実施しましたが、異常は認められませんでした。 ・放流水・周辺地下水等水質検査及びダイオキシン類検査業務委託・・・3, 443, 000円 ※検査場所は、旧豊科最終処分場、小岩岳不燃物処理場、三郷一般廃棄物最終処分場 （2）小岩岳不燃物処理場を管理運営し、家庭から排出されるブロック、コンクリート、瓦、タイル、壁土及び土砂並びに地区河川清掃等から排出される土砂約124tを処分しました。
2	最終処分場跡地利用整備事業（決算額4, 672, 000円） 三郷一般廃棄物最終処分場は、令和3年度末に埋立を終了し、地元区との協定に基づき跡地利用を行うため、処分場の覆土工事を行いました。
上記の評価と課題等	
三郷一般廃棄物最終処分場は、令和3年度末に埋立終了となりましたが、引き続き水質検査等を実施し、跡地利用（緑地化）に向け適正な維持管理を行います。 小岩岳不燃物処理場についても協定に基づき、引き続き適正な管理・運営に努めます。	

令和6年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	資源循環推進担当

決算書 ページ	141

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	清掃費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	じんかい処理費			
	事業	0104240	リサイクルセンター管理運営事業		施策	循環型社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
16,053,000	14,935,068		0		1,117,932	93.0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
3,019,170		木くず受入処理手数料		898,370		
		資源売却代		1,843,000		
		リサイクルセンター再生品販売代		277,800		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 リサイクルセンター施設管理事業（決算額 14,935,068円）

市内3施設で資源物の受け入れを行い、事業者委託による資源物の適正運搬及び施設の点検により、確実に施設を開場することができました。

施設利用者数は、3施設の合計が53,601人で前年度からは微増となりました。

緑のリサイクルでは受け入れることのできないせん定枝（太さが8cmを超えるもの）や木製の家具等を豊科リサイクルセンターで有料で受け入れる「木くずのサーマルリサイクル事業」では、51,820kgを熱源としてリサイクルすることができました。

また、事業系一般廃棄物の減量を目的とし、3施設において事業系資源物（紙類）を受け入れています。

なお、市内3施設で回収した不要自転車は、修繕後、安曇野環境フェア2023において「リサイクル自転車」として59台を販売しました。

【稼働実績】

施設名	年度	利用者数	資源物受入日数	1日平均利用者数
豊科リサイクルセンター	5	27,283	128	213.1
	4	26,350	126	209.1
	3	26,535	126	210.6
	2	24,627	126	195.5
穂高リサイクルセンター	5	25,348	104	243.7
	4	23,110	102	226.6
	3	22,458	102	220.2
	2	23,237	102	227.8
明科リサイクルセンター	5	4,025	48	83.9
	4	4,141	47	88.1
	3	4,109	46	89.3
	2	4,126	46	89.7
合 計	5	56,656	—	—
	4	53,601	—	—
	3	53,102	—	—
	2	51,990	—	—

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	清掃費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	じんかい処理費			
	事業	0104240	リサイクルセンター管理運営事業		施策	循環型社会の実現

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要							
【資源物の受入量】				(単位：t)			
施設名	年度	新聞	雑誌・雑紙	段ボール	紙パック	紙製容器包装	衣類
	5	57.54	45.97	25.35	1.00	10.70	16.59
豊科リサイクルセンター	4	64.70	60.23	28.24	0.99	10.97	19.08
	3	64.52	62.97	31.75	1.07	10.81	33.03
	2	68.87	71.00	32.03	1.09	12.20	20.50
	年度	ペットボトル	ガラスびん	缶	プラ製容器包装	蛍光管・乾電池	合計
	5	6.76	53.70	6.35	19.22	3.00	246.18
	4	6.44	52.69	6.65	18.47	3.11	271.57
	3	6.78	49.52	7.13	18.14	3.27	288.99
	2	5.99	51.14	7.26	16.50	3.27	289.85
施設名	年度	新聞	雑誌・雑紙	段ボール	紙パック	紙製容器包装	衣類
	5	43.83	37.09	22.92	1.18	12.43	16.60
穂高リサイクルセンター	4	47.90	44.72	25.92	1.05	11.66	23.05
	3	48.91	43.62	27.03	1.08	10.82	29.08
	2	45.08	48.55	25.33	1.14	10.70	13.63
	年度	ペットボトル	ガラスびん	缶	プラ製容器包装	蛍光管・乾電池	合計
	5	9.73	60.10	8.68	17.50	—	230.06
	4	9.64	56.13	9.04	17.74	—	246.85
	3	8.96	55.26	8.31	16.60	—	249.67
	2	8.19	52.15	8.70	14.71	—	228.18
施設名	年度	新聞	雑誌・雑紙	段ボール	紙パック	紙製容器包装	衣類
	5	19.62	10.83	7.64	0.11	2.42	4.19
明科リサイクルセンター	4	21.95	14.15	8.31	0.27	3.35	5.74
	3	24.10	13.14	9.52	0.22	3.55	6.07
	2	23.66	16.79	9.94	0.17	3.89	4.58
	年度	ペットボトル	ガラスびん	缶	プラ製容器包装	蛍光管・乾電池	合計
	5	1.95	9.40	2.01	6.46	1.00	65.63
	4	1.95	10.82	1.87	5.85	0.86	75.12
	3	1.76	10.63	2.00	6.07	1.05	78.11
	2	2.04	11.02	2.37	6.08	1.34	81.88
上記の評価と課題等							
施設利用者と資源物収集量は横ばい傾向にありますが、拠点回収できるリサイクル施設は、市民のライフスタイルの多様化の観点からも必要性が高くなっています。 今後、各施設の老朽化に伴う修繕が必要になると思われますが、計画的な施設管理に努めます。							

令和6年度	
部	市民生活部
課	環境課
係等	資源循環推進担当

決算書 ページ	141

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	清掃費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	3	雑排水処理費			
	事業	0104260	雑排水処理事業		施策	循環型社会の実現

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
19,732,000		18,233,682		0		1,498,318		92.4%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
30,595			穂高生活雑排水浄化処理場水道使用料		30,595					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 生活雑排水処理施設管理事業（決算額 18,233,682円）					
(1) 生活雑排水浄化処理場の管理を委託し、4事業者が定期的に市内で汲取った生活雑排水污水・汚泥を処理場に搬入し、希釈後に下水道へ放流しました。					
定期的に槽の清掃等を実施し、適正な施設管理に努め、下水道に放流される水質検査を実施しました。また、臭気対策として、環境調査事業者による臭気測定を実施しました。					
(単位：kℓ)					
年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
雑排水汚泥処理量	2,864.0	2,708.3	2,540.7	2,409.4	2,344.0
・管理作業委託 4,766,850円					
・槽清掃 第1貯留槽 919,600円（年2回実施）					
第2貯留槽 2,098,800円（年6回実施）					
沈砂槽 1,343,100円（年3回実施）					
・消防用設備等点検 44,000円					
・水質検査 118,800円（年6回実施）					
・臭気指数測定 396,000円（年4回実施）					
(2) 柏原団地に設置されている穂高柏原生活雑排水浄化処理場を管理し、放流水質の安定を図りました。老朽化した施設であり、軽微な故障も多くなっていますが、安定的な管理に努めました。					
・回転円盤修繕 96,800円					
・揚水ポンプ凍結防止ヒーター16,500円					

上記の評価と課題等

下水道の普及に伴い家庭雑排水の処理量は減少してきていますが、下水道に接続していない家庭から排出される家庭雑排水による水質汚濁を防止するため、現在の処理体制を継続し維持することが必要です。

なお、老朽化が進む穂高柏原生活雑排水浄化処理場については、計画的な施設修繕を行い安定した水処理が行えるよう管理運営に努めます。

令和6年度	
部	市民生活部
課	移住定住推進課
係等	移住定住推進係

決算書 ページ	81

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	6	企画費		施策	移住・定住の推進
	事業	0102322	移住定住推進事業			

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
20,882,000		20,245,788		0		636,212		97.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
9,107,000			地域少子化対策重点推進交付金		6,107,000					
			ふるさと寄附基金繰入金		3,000,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 結婚応援事業
- 結婚相談事業
結婚相談業務を委託し、相談所等での個別相談への対応や婚活イベントを開催しました。
- ・相談件数 年間 3,216件
 - ・婚活イベント 7月8日、11月11日、12月9日 全3回（参加者54人）
 - ・成婚 3件、交際への発展 28件
- 結婚新生活支援補助
夫婦ともに39歳以下であり、夫婦の合計所得が500万円未満の新婚世帯を対象に、結婚に伴う新生活への支援を目的として住宅取得や家賃、引っ越し費用等に対して補助金を交付しました。
- ・交付件数 29件（29歳以下 14件、39歳以下 15件）
 - ・補助総額 9,512,000円
- 2 移住定住推進事業
市のサポートを通じて県外から移住した人（移住サポート者）は、42世帯91人となり、令和4年度と比較し3世帯1人減少しました。なお長野県が公表する毎月人口異動調査に基づく令和5年の社会増加数は407人、総務省が公表する令和5年住民基本台帳人口移動報告に基づく0歳から14歳までの年少人口の社会増加数は200人、25歳から49歳の子育て世代の社会増加数は228人となりました。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
行政サポート 移住者数	移住者数	42人	92人	91人
	世帯数	22世帯	45世帯	42世帯
	子育て世帯数	5世帯	8世帯	13世帯

※子育て世帯は18歳以下の者を含む世帯

長野県毎月人口異動調査に 基づく社会増加数	令和3年	令和4年	令和5年
	197人	574人	407人

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	住みやすさを感じるまち
	目	6	企画費			
	事業	0102322	移住定住推進事業		施策	移住・定住の推進

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 信州安曇野ぐらしPR展の開催
東京駅に隣接する東京シティアイにて「信州安曇野ぐらしPR展」を開催しました。あづみの移住大使 篠原信一氏のトークショーをはじめ、観光案内、移住相談等により安曇野市の多様な魅力を発信するとともに、農産物の試食販売やワークショップ等により魅力を体感できる出展を行いました。
- ・開催日 10月21日（土） 施設全体への来場者数 約 3,000人

- あづみの暮らしセミナー・移住交流ツアー等の開催
東京・名古屋・大阪にて現地セミナー・相談会を開催したほか、オンラインセミナーや移住交流ツアーを開催し、移住希望者へ安曇野の暮らしを紹介しました。
- ・市主催セミナー・相談会の開催 全8回（参加者 126人）
 - ・オンラインセミナーの開催 全10回（参加者 286人）
 - ・移住交流ツアーの開催 全2回（参加者 28人）

- 合同セミナー及びフェアへの参加
全国の自治体が集結する「移住フェア」や、長野県主催の「移住セミナー」等へ参加し、移住希望者や移住先を決めかねている方々へ安曇野市で生活する魅力の発信や相談を行いました。
- ・合同セミナー等への出展 全8回（安曇野市ブースへの来訪者数 225人）

- 個別相談対応
移住希望者と窓口、電話、メール、オンラインにて個別の相談を行いました。

相談受付数	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	135件	167件	244件

- おためし住宅
三郷小倉にある旧教員住宅を活用し、移住希望者が安曇野市の気候風土や生活を体験するために滞在できる施設を貸付しました。

利用者数	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	申請件数	19件	47件	94件
	利用人数	48人	135人	229人

上記の評価と課題等

- 【結婚応援事業】
結婚新生活支援補助について、新婚生活のスタートアップ支援という目的については一定の効果がありました。今後は要件を満たす人、全員が申請できるよう効果的な制度周知の手法を検討します。
- 【移住定住推進事業】
都市部でのフェア参加や相談会により、移住先を決めかねている方々への認知を高める効果がありました。今後も社会増となるよう、若者にターゲットを絞った移住地としての魅力を発信します。

令和6年度	
部	市民生活部
課	移住定住推進課
係等	空家活用係

決算書 ページ	137

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	5	環境衛生費			
	事業	0104185	空家等対策事業		施策	空き家対策の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
32,410,000	31,670,914		0	739,086	97.7%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,900,000		空き家対策総合支援事業補助金	5,900,000		

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	5	環境衛生費			
	事業	0104185	空家等対策事業		施策	空き家対策の推進

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○空家等対策補助金

補助メニューや補助率、補助金額の拡充を行い、所有者及び活用希望者のニーズに対応しました。

令和4年度			令和5年度		
メニュー	件数	補助金額	メニュー	件数	補助金額
片付け・清掃	8	609,000	片付け・清掃	13	1,122,000
貸家リフォーム	2	800,000	【終了】	—	—
片付け＋貸家リフォーム	3	1,450,000	【終了】	—	—
解体	14	7,316,000	解体	17	9,731,000
解体（重点支援空家）	3	2,879,000	解体（重点支援空家）	3	3,000,000
ようこそ。安曇野へ	6	4,800,000	ようこそ。安曇野へ	11	8,800,000
活かそう。地域資源	1	300,000	活かそう。地域資源	5	1,431,000
お帰り。安曇野へ	2	1,000,000	お帰り。安曇野へ	6	2,440,000
長期体験。安曇野暮らし	0	0	長期体験。安曇野暮らし	0	0
空き家バンク登録支援	2	155,000	空き家バンク登録支援	7	738,000
空き家バンク移住者支援	2	182,000	空き家バンク移住者支援	8	651,000
			地域活性化空家活用事業	0	0
			地域活性化土地活用事業	0	0
計	43	19,491,000	計	70	27,913,000

2 官民連携による事業

○明科駅周辺まちあるき空き家空き店舗見学会 連携事業者：明科駅周辺まちづくり委員会

過疎地域における賑わい創出と持続可能なまちづくりを目的に、空き家等の利活用を促進するため、地域の魅力を伝達しながら、所有者と活用希望者のマッチングを行いました。

・5月20日、8月26日、11月11日、2月17日 全4回（34名）

○穂高宿まちあるき空き家見学会 連携事業者：NEX-T安曇野、NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団

千国街道の街並みや歴史を学びながら、古民家の利活用と空き家の現状を知ること、空き家を活用したまちづくりへの関心を高めてもらうことを目的に開催しました。

・3月13日（6名）

○明科中学校 連携団体：明科駅周辺まちづくり委員会

【総合学習の時間】 テーマ：「明科の未来を考えよう（空家）賑わいを取り戻すには」

中学校の依頼を受け、明科の未来を考える4つのテーマのうちから、3学年の生徒が空家を選択し明科駅周辺のまちあるきやワークショップを行い、課題や解決方法を考えながら、空き家を活用したまちの未来を探究しました。 ・7月13日、7月20日、8月31日、9月30日 全4回（各回17名）

○空家啓発講演会

関心の高まっている相続登記の義務化と合わせ、市の空き家の現状や政策を紹介する2部構成で司法書士による「相続登記の義務化が始まります」係員による「空き家にしない住まいの終活」の講演を行いました。 ・3月9日（79名）

上記の評価と課題等

○空家対策補助金により、空家の解体や市空き家バンクへの登録により利活用が進んだことで、空家数が減少し、生活環境の改善や移住定住が促進されました。

○空家課題に関する所有者や地域の意識はまだまだ低く、管理不全空家の増加、利活用されない空き家が多数あるため、意識醸成につながるイベント企画、広報、SNSによる情報発信の強化が必要です。

○空家対策に取り組む民間団体との連携を強化し、所有者と活用希望者の情報を効率的に活用できる体制を整えることで、移住や創業の機会を逃さない多様なマッチングの機会を創出する必要があります。

福祉部

令和6年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書 ページ	101

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費			
	事業	0103010	社会福祉総務費		施策	地域福祉の推進

単位：円					
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	
395,392,000		383,187,337		0	
				12,204,663	
				96.9%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名	金額	細節名
14,839,042			民生委員活動委託金	13,062,800	
			民生委員協議会委託金	1,207,440	
			福祉基金利子	484,802	
			社会福祉雑入	84,000	

主要な施策（事務事業）の成果の概要																															
1 民生児童委員（福祉委員）活動 福祉委員報償費 18,525,600円 協議会運営補助金 2,643,840円 民生委員活動交付金 14,270,240円 民生児童委員は、市民の福祉の最も身近な相談者として、地域住民の福祉向上のための相談、支援、調査等の自主的な活動や研修、市民と行政の相談調整役として日々活動をしています。令和4年12月の一斉改選後、コロナウイルス感染症の猛威が沈静化しつつある情勢下において、従来の活動が徐々に再開されてきており、地域福祉を担う存在として、これまでより更に重要視されています。 委員定数(人)： 豊科(62)、穂高(64)、三郷(38)、堀金(22)、明科(30) 合計216人 <table> <tr> <th colspan="4">活 動 内 容</th></tr> <tr> <th>項 目</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>対前年比 (%)</th></tr> <tr> <td>高齢者に関する相談・支援 (件)</td><td>2,374</td><td>2,179</td><td>91.8%</td></tr> <tr> <td>障がい者に関する相談・支援 (件)</td><td>240</td><td>246</td><td>102.5%</td></tr> <tr> <td>子どもに関する相談・支援 (件)</td><td>374</td><td>459</td><td>122.7%</td></tr> <tr> <td>その他の相談・支援 (件)</td><td>952</td><td>910</td><td>95.6%</td></tr> <tr> <td>活動延べ日数 (日)</td><td>24,130</td><td>25,821</td><td>107.0%</td></tr> </table>				活 動 内 容				項 目	令和4年度	令和5年度	対前年比 (%)	高齢者に関する相談・支援 (件)	2,374	2,179	91.8%	障がい者に関する相談・支援 (件)	240	246	102.5%	子どもに関する相談・支援 (件)	374	459	122.7%	その他の相談・支援 (件)	952	910	95.6%	活動延べ日数 (日)	24,130	25,821	107.0%
活 動 内 容																															
項 目	令和4年度	令和5年度	対前年比 (%)																												
高齢者に関する相談・支援 (件)	2,374	2,179	91.8%																												
障がい者に関する相談・支援 (件)	240	246	102.5%																												
子どもに関する相談・支援 (件)	374	459	122.7%																												
その他の相談・支援 (件)	952	910	95.6%																												
活動延べ日数 (日)	24,130	25,821	107.0%																												
2 地域福祉計画推進策定事業 出席謝礼 234,500円 印刷製本費 359,480円 行政や市社会福祉協議会、福祉団体や民間事業者などと地域住民が連携し、地域福祉を推進するため、行政と市社会福祉協議会が個々に策定していた計画を一体的にした「安曇野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の第4期計画を、令和6年3月に策定しました。 地域福祉計画推進・策定委員会を組織し、第4期計画の策定に向けて、令和5年度は6回の会議を行いました。																															

予算	款	3	民生費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103010	社会福祉総務費			

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3 心配ごと相談事業委託業務 委託料 609,000円

地域住民の日常生活上のあらゆる悩みや相談に広く応じ、安心した生活に資することを目的として、市社会福祉協議会に委託し、相談者が気軽に掛けられる相談窓口を地域ごとに設置し、年間48回開設しました。

年間相談数 41件（令和4年度35件）

4 戦没者追悼式

令和4年度以降、追悼式の開催は概ね3年に1回とする方針としており、直近では令和4年度に開催したため、令和5年度は開催しませんでした。次回は、令和7年度に開催を予定しています。

5 災害時避難行動要支援者名簿作成事業 システム改修業務委託料 1,127,500円
勸奨通知封入業務委託料 37,549円

災害時避難行動要支援者情報を一元管理し、要支援者の把握と個別の支援計画を策定するための電算化システムを導入し運用しており、総合福祉事務システムの高齢者、障がい者、要介護認定者等の情報を一元処理しています。今年度、システム改修を行い、情報の年度更新や登録状況の確認をスムーズに行えるように、仕様を見直しました。

本人同意を得て作成する「災害時避難行動要支援者名簿」を更新し、区、民生委員他関係機関に提供しました。

年度比較	令和3年度	令和4年度	令和5年度
該当者数（人）	11,970	12,541	13,730
同意者数（人）	7,832	8,614	9,496
同意率（%）	65.4	68.7	69.2

※集計数は、各年度3月現在

6 豊科ささえあいセンター管理委託事業 指定管理料 5,083,000円

市社会福祉協議会を豊科ささえあいセンターの指定管理者に指定して、市のボランティアの活動拠点として利用を推進しました。

指定管理期間 令和元年4月1日～令和6年3月31日

（令和6年度以降の指定管理期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日）

年度比較	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数（人）	7,914	2,781	2,464	3,102	4,269

7 市戦没者遺族会補助金 補助金 80,000円

安曇野市遺族会の活動を支援しました。

主な活動としては、役員会及び総会の開催、国・県の戦没者追悼式等への参加など慰霊事業を助成しました。

予算	款	3	民生費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	地域福祉の推進
	事業	0103010	社会福祉総務費			

その3

主要な施策（事務事業）の成果の概要

8 市社会福祉協議会への助成

すべての住民が住み慣れた家庭や地域の中で、その人らしい安心した生活が送れるよう、法や制度で担いきれないニーズへの対応や行政の手の届かない部分の地域福祉の展開とその充実のため、社会福祉協議会の運営に助成しました。

- ・社会福祉協議会地域福祉推進事業補助金 92,551,375円
- ・日常生活自立支援事業補助金 7,252,000円

上記の評価と課題等

民生児童委員活動は、地域福祉の推進に重要な役割を果たしています。地域住民の身近な相談役として困りごとのある人に寄り添い、必要な支援サービスへのつなぎ役としての活動を行っています。

心配ごと相談事業は、専門の相談窓口が明確になってきていることにより、件数は停滞していますが、相談内容の大小に関わらず無料で相談に応じる窓口は必要であり、市民の安心へと繋がります。

名簿提供の同意を得た要支援者等を記載した「災害時避難行動要支援者名簿」を更新し、各区、民生児童委員等関係機関に提供しました。世帯状況の変化に対応しながら、引き続き同意率の引き上げを図っていきます。

令和6年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書 ページ	101

予算	款	03	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103020	福祉医療費給付事業		施策	地域福祉の推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
687,464,000		687,378,530		0		85,470		100.0%		
特定財源の決算額		左記 の内 訳	細節名		金額		細節名		金額	
254,806,527			福祉医療給付事業補助金		243,490,000					
			福祉医療費貸付金元金収入		9,958,855					
			福祉医療費県補助返還金		1,258,406					
			福祉医療費市補助返還金		99,266		(地方消費税交付金(社会保障財源化分))		(121,000,000)	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 福祉医療費給付事業
乳幼児、障がい者、母子・父子家庭の医療費自己負担分の給付を行い福祉の増進を図りました。

医療給付費実績及び補助金内訳 (令和5年度実績値の右側は対前年比% 5年度／4年度)

区分	年度	受給者数(人)		給付額(円)		給付金県補助金(円)	
		実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比
乳幼児	5	13,157	98.9	288,927,203	124.5	78,438,000	130.6
	4	13,299		231,999,723		60,071,000	
障がい者	5	3,883	99.1	290,676,713	101.2	131,516,000	102.4
	4	3,919		287,359,803		128,417,000	
母子	5	1,801	101.7	48,544,346	116.2	19,390,000	112.4
	4	1,771		41,794,375		17,253,000	
父子	5	243	100.8	5,448,291	112.2	1,056,000	99.7
	4	241		4,853,721		1,059,000	
計	5	19,084	99.2	633,596,553	111.9	230,400,000	111.4
	4	19,230		566,007,622		206,800,000	

事務手数料実績及び補助金内訳

医療機関事務手数料(円)				事務費県補助金(円)			
令和5年度	国保連合会	(25円)	2,525,575円	令和5年度	国保連合会	1,484,000円	
	〃	(62円)	1,351,972円		社保支払基金	2,731,000円	
	社保支払基金	(51円※)	8,685,152円		医療機関	8,875,000円	
	医療機関	(195円)	20,498,400円		補助金合計	13,090,000円	
	手数料合計		33,061,099円				
令和4年度	国保連合会	(25円)	2,456,100円	令和4年度	国保連合会	1,415,000円	
	〃	(62円)	1,169,258円		社保支払基金	2,135,000円	
	社保支払基金	(55円※)	7,383,227円		医療機関	8,765,000円	
	医療機関	(195円)	19,542,510円		補助金合計	12,315,000円	
	手数料合計		30,551,095円				

()内は単価。 ※社保支払基金は手数料各種の各年度の平均単価

予算	款	03	民生費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103020	福祉医療費給付事業		基本施策	地域福祉の推進

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

2 福祉医療費貸付事業

福祉医療費受給対象者の内、医療費の支払いが困難な受給者に対して医療費の支払いに充てる事で受診控えによる重症化を防ぐため、資金を貸し付けました。

なお、資金貸付については、市が医療費を立て替えて、受給者本人に給付すべき福祉医療費と相殺するため、滞納が発生しない仕組みです。

(令和5年度／令和4年度)

年度	利用者数（人）	貸付延件数	貸付金額（円）
令和5年度	87	1,751	9,958,855
令和4年度	88	1,607	7,304,323
対前年比	98.9%	109.0%	136.3%

上記の評価と課題等

福祉医療費給付事業では、経済的不安を減らし、安心して医療機関等へ受診ができるよう、給付を行いました。令和4年4月より児童の年齢要件を18歳到達年の年度末まで拡大し、子育て世帯の医療費負担の軽減が図られます。広報等により周知されてきたことと、コロナウイルス感染症の5類への移行も相まって、前年度を大幅に上回る需要がありました。

福祉医療費貸付事業は、医療機関等での支払いが困難な方を支援する制度として、早期受診に寄与しています。受給資格の範囲拡大による財政的な課題はありますが、対象者の医療費負担の軽減、早期受診を促進することで、福祉の増進を図ります。

令和6年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書 ページ	101

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費			
	事業	0103039	物価高騰緊急支援給付金給付事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1, 279, 193, 000	1, 218, 594, 081		60, 579, 000		19, 919	95. 3%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額	
1, 218, 157, 998		長野県生活困窮者価格高騰特別対策事業補助金	45, 523, 000			
		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	416, 601, 570			
		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	756, 033, 428			

主要な施策（事務事業）の成果の概要

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者に対し、国の「物価・賃金・生活総合対策本部」の方針に基づき、各種給付金の支給を行い、市独自で暖房費等の上乗せ給付をしました。また、年度後半には、「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づく「給付金・定額減税一体措置」として、住民税非課税世帯等に給付金を追加で支給しました。

- 安曇野市物価高騰家計支援給付金給付事業

事業費（給付金）	236, 160, 000円
事務費（委託料等）	6, 967, 123円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、1世帯あたり3万円を支給しました。（国の事業）

 - ・支給対象世帯数 8, 396世帯
 - ・支給世帯数 7, 872世帯（内訳①住民税均等割非課税世帯7, 850世帯 ②家計急変世帯22世帯）
- 長野県生活困窮者価格高騰特別対策事業

事業費（給付金）	42, 820, 000円
事務費（委託料等）	2, 703, 460円

電気・灯油・食費等の価格高騰等による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税均等割のみ課税世帯に対し、1世帯あたり2万円を支給しました。（県の事業）

 - ・支給対象世帯数 2, 258世帯
 - ・支給世帯数 2, 141世帯（内訳①住民税均等割のみ課税世帯2, 141世帯 ②家計急変世帯0世帯）
- 安曇野市物価高騰緊急支援給付金給付事業

事業費（給付金）	21, 410, 000円
事務費（委託料等）	0円

上記2の県による給付金の支給対象世帯に対して、市独自分として1万円を上乗せして支給しました。（市による上乗せ）

 - ・支給世帯数 2, 141世帯

予算	款	3	民生費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費			
	事業	0103039	物価高騰緊急支援給付金給付事業		基本施策	生活の安定と自立への支援

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要			
4	安曇野市くらし応援暖房費等支援給付金給付事業	事業費（給付金）	148,410,000円
		事務費（委託料等）	3,887,780円
原油価格や物価高騰の影響を受けた市民の暮らしの安心確保に向けて、暖房のために必要な費用を助成することを目的に、特に家計への影響が大きい住民税均等割非課税世帯及び均等割のみ課税世帯に対し、1世帯あたり1万5千円を支給しました。（市による上乗せ） ・支給世帯数 9,894世帯 （内訳 ①住民税均等割非課税世帯 7,753世帯 ②住民税均等割のみ課税世帯 2,141世帯）			
5	安曇野市物価高騰家計支援追加給付金給付事業	事業費（給付金）	558,670,000円
		事務費（委託料等）	3,628,334円
デフレ完全脱却のための総合経済対策に基づき、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者を支援するため、住民税均等割非課税世帯に対し、令和5年度夏に実施した1の給付金（3万円）に加え、1世帯あたり7万円を追加支給しました。（国の事業） ・支給対象世帯数 8,240世帯 ・支給世帯数 7,981世帯（内訳 ①住民税均等割非課税世帯7,962世帯 ②家計急変世帯19世帯）			
6	安曇野市物価高騰対策支援金給付事業	事業費（給付金）	192,700,000円
		事務費（委託料等）	1,237,384円
デフレ完全脱却のための総合経済対策に基づき、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者を支援するため、住民税均等割のみ課税世帯に対し、1世帯あたり10万円を支給しました。（国の事業） また、年度内に完了しない事業であるため、令和6年度に予算を繰越して事業を実施しました。 ・支給対象世帯数 2,173世帯 ・令和5年度支給世帯数 1,927世帯（住民税均等割のみ課税世帯） 【令和6年度へ繰越 事業費 57,300,000円 事務費3,279,000円 計60,579,000円】			
上記の評価と課題等			
過去の非課税世帯等を対象とした給付金のデータを活用し、申請者に負担の少ない方法を取ったことにより、迅速な給付が可能となりました。特に、前回の給付金の支給実績があり、世帯状況が変わらない世帯に対しては、申請書類等の提出が不要なプッシュ型の給付を行うことにより短期間での給付を行うことができました。また、県の事業により住民税均等割のみ課税世帯を新たに対象に加えたことから、これまでより幅広い世帯へ支援を行うことができたと考えます。 併せて、市独自で各種の上乗せ給付を行ったことで、特に冬場の暖房費等について、より手厚く支援を行うことができたと考えます。			

令和6年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	生活支援担当

決算書 ページ	107

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費			
	事業	0103125	生活困窮者自立支援事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
30,945,000	30,237,788		0		707,212	97.7%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
18,448,650		生活困窮者自立相談支援事業負担金		9,068,250	家計改善支援事業補助金	850,000
		生活困窮者住居確保給付金負担金		2,138,400	一時生活支援事業補助金	500,000
		子ども学習支援事業補助金		4,108,000	福祉基金繰入金	1,130,000
		就労準備支援事業補助金		654,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

生活困窮者自立支援制度

平成27年4月より施行の生活困窮者自立支援法に基づき、現に経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者に対し、生活困窮状態からの自立を支援しました。

（1）必須事業

○生活困窮者自立相談支援事業（国庫負担金：補助率3/4）

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却するため、対象者の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施しました。市社会福祉協議会が設置する安曇野市生活就労支援センター「愛称：まいさば安曇野」に業務を委託しました。（委託料：11,912,540円）

相談・プラン作成数（件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規相談数	4	12	6	10	16	10	12	17	11	8	6	21	133
プラン作成	3	3	2	0	2	2	1	3	3	0	4	6	29

新規相談数はほぼ横ばいだが、解決までに時間を要する相談が増えています。繰り返し食料支援を求めてくるケースや障がい者・高齢者からの就労相談が目立つ状況です。

○住居確保給付金の給付（国庫負担金：補助率3/4）

離職や休業等により収入が減少し、住宅を失った又は失うおそれのある生活困窮者に対して、求職活動等を実施することを条件に、家賃相当（上限あり）の給付金を3か月（最長9か月）支給しました。

給付実績

年度比較	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支給金額	5,202,100円	1,845,900円	2,390,700円
支給者数	34人	23人	20人
支給延件数	160件	58件	70件

令和5年度受給者のうち、就労等の収入増につながった者は12名でした。

予算	款	3	民生費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	生活の安定と自立への支援
	事業	0103125	生活困窮者自立支援事業			

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（2）任意事業

○家計改善支援事業（国庫補助金：補助率2/3）

自立相談支援機関に相談に訪れた困窮者で、家計に関わる問題を抱えている人に対し家計支援計画を提案し、継続して助言することで自らの家計の課題に気づき管理意欲を引き出し、早期に生活再生できるように支援しました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け収入が減少した世帯向けの「緊急小口資金等の特例貸付」の償還者へのフォローアップ支援を始めました。

委託先：（福）安曇野市社会福祉協議会 委託料：1,710,000円 支援計画作成：2世帯

○一時生活支援事業（国庫補助金：補助率2/3）

一定の住居を持たない生活困窮者への一時的な宿泊場所や食費の提供を行うことにより、安定した生活を営めるように支援をしました。支援対象者のうち8名の住居が確保できました。

支援対象者：9名 延べ宿泊日数：116泊 支給額：929,517円

○就労準備支援事業（国庫補助金：補助率2/3）

仕事を探せない、就労の経験がない等、就労に関しての悩みがある生活保護受給者、生活困窮者に対し、一般就労に従事するための準備段階（生活自立段階、社会自立段階、就労自立段階）としての基礎能力の形成を計画的かつ一貫して支援しました。

県との共同実施（県が代表で委託契約し、市は負担金を拠出）

委託先：ワーカーズコープながの 負担金：1,016,000円 利用人数：1名（支援継続中）

○子どもの学習支援・生活支援事業（国庫補助金：補助率1/2）

貧困の連鎖の防止をねらいとし、将来生活困窮者になるおそれのある子どもに対し、学習支援や交流を通じて、社会性や協調性を育むことを目的に実施しました。また、子ども及びその保護者等に対する生活習慣、育成環境の改善、教育、就労に関する支援を行いました。

対象者：生活保護世帯、生活困窮世帯、ひとり親家庭、不登校、ひきこもり状態である児童・生徒。また、対象者の保護者等。

委託先	委託料	子どもの人数	実施頻度
（福）安曇野市社会福祉協議会	379,000円	8人	月1回
NPO法人Gland・Riche	7,367,769円	32人	週6回（4箇所）

（3）独自事業

○子どもの居場所づくり支援事業補助金

困難を抱える子どもや家庭を地域で見守るため、子どもが安心して過ごせる居場所（子ども食堂等）づくりを推進する団体等に対して補助金を交付しました。

補助金交付団体数：3団体 補助金交付額：1,130,000円 延べ開催回数：56回

上記の評価と課題等

令和5年度の自立相談支援事業の新規相談件数は133件で、前年度より12件減少しました。コロナ禍前に比べると、食料支援の相談や住居確保給付金の支給額が多い状況にあります。

子ども学習・生活支援事業は、実施場所を2箇所増やし子どもが通いやすい環境を整えました。今後も学校等と連携し支援を必要としている子どもの早期発見に努めます。

一時生活支援事業は、対象者・宿泊日数ともにほぼ横ばいでした。一定期間の宿泊場所や食事を提供することで、新たな住居確保につなげることができました。

令和5年度から始めた子どもの居場所づくり支援事業補助金は3団体に交付しました。さらに制度の周知を図り、取り組みを全市に広げていきたいと考えます。

令和6年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	生活支援担当

決算書 ページ	109

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費			
	事業	0103127	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
1,413,000		1,413,000		0		0		100.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業（国庫補助金：補助率10/10）
令和4年度実績に基づき、既受入済み国庫補助金を返還しました。

（参考）

県社会福祉協議会が実施する緊急小口資金等の特例貸付が終了した世帯を対象に、就労による自立を図るための求職活動等を行うことを条件に原則3ヶ月（最長6か月）支援金を支給しました。（令和5年3月で終了）

支給月額：単身世帯6万円、二人世帯8万円、三人以上世帯10万円

令和4年度実績 支給世帯数：102世帯 支給総額28,660,000円

上記の評価と課題等

令和4年度をもって終了した事業について、実績に基づき国庫補助金を返還しました。

予算	款	3	民生費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	生活保護費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	生活保護総務費		基本施策	生活の安定と自立への支援
	事業	0103510	生活保護総務費			

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

《生活保護費内訳》

扶助別区分	令和4年度（円）	令和5年度（円）	前年比（％）	構成比（％）
生活扶助	148,516,920	142,669,888	96.1	26.9
住宅扶助	75,197,263	72,705,082	96.7	13.7
教育扶助	1,403,271	1,062,382	75.7	0.2
介護扶助	12,724,530	12,620,460	99.2	2.4
医療扶助	283,157,727	259,890,420	91.8	49.0
出産扶助	62,650	0	0.0	0.0
生業扶助	804,391	552,554	68.7	0.1
葬祭扶助	1,716,744	647,737	37.7	0.1
保護施設事務費	37,495,096	39,946,728	106.5	7.5
就労自立給付金	458,350	105,210	23.0	0.0
進学準備給付金	0	0	0.0	0.0
合計	561,536,942	530,200,461	94.4	100.0

- (7) 生活保護適正実施推進事業（レセプト点検委託） 328,110円
医療扶助におけるレセプト点検作業を委託により実施しました。（点検件数：7,122件）

- (8) 行旅者対策事業費 支給額：4,048円
支援件数：2件
帰来先を有する行旅者等に、帰来先までの旅費及び食料費を支援しました。

- (9) 生活保護支援資金貸付 貸付額：105,000円
利用件数：8件
生活保護申請者の中には、保護の開始が決定されるまでの生活資金がない人もおり、対象者には支援資金貸付を行いました。保護開始後最初の保護費支給時に一括返還を求め、滞納にならないよう務めています。

- (10) 償還金（令和4年度精算分）
・生活保護扶助費等（国庫負担金） 78,547,119円
・生活保護適正実施推進事業（国庫補助金） 84,000円

上記の評価と課題等

生活保護受給者の人数及び申請件数は減少しており、廃止件数は死亡事由が多い傾向にありました。前年度と比較して申請や開始件数が減少した要因は、コロナ禍前の状況に戻りつつ、就労支援等により、稼働収入が得られ生活保護受給に至らないことが要因の一つと考えられます。引き続き、生活保護受給者の生活実態の把握に努め、他法他施策の活用や、就労支援により多くの生活保護受給者が自立した生活ができるよう努めます。

生活保護の対象とならない生活困窮者については、生活困窮者自立支援制度へ繋げるよう「まいさば安曇野」による自立相談支援事業や子どもの学習・生活支援事業等を活用し、生活保護制度と生活困窮者自立支援制度の両輪による支援が機能するよう、さらに連携を強化してまいります。

令和6年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	生活支援担当

決算書 ページ	123

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	生活保護費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	2	社会就労センター費			
	事業	0103520	社会就労センター管理費		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
80,153,000	80,016,076		0	136,924	99.8%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
41,285,206		公共施設目的外使用料	21,460		
		生活保護費国庫負担金	40,500,000		
		障害者就労支援センター電気料	690,259		
		社会就労センター自販機電気料	73,487		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

社会就労センター全施設の指定管理事業者である一般社団法人安曇野エルチとの基本協定に基づき、指定管理料の支出と修繕工事等を行いました。
(指定期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日)

- (1) 令和5年度指定管理委託料（年度協定額）
- | | | |
|---|---------------------|-------------|
| ア | 豊科社会就労センター（定員数：30人） | 16,491,000円 |
| イ | 穂高社会就労センター（定員数：30人） | 17,198,000円 |
| ウ | 三郷社会就労センター（定員数：30人） | 16,982,000円 |
| エ | 明科社会就労センター（定員数：40人） | 23,325,000円 |
- (2) 主な施設維持管理費（修繕、工事、物品購入等）
- | | | | |
|---|------------------|------------|---------|
| ア | エアコン修繕 | 78,430円 | （三郷） |
| イ | 非常用照明器具取替修繕 | 413,600円 | （明科） |
| ウ | 給湯器取替修繕 | 60,500円 | （豊科） |
| エ | 自動センサー付小便器作動不良修繕 | 88,000円 | （豊科） |
| オ | 自動ドア錠前交換修繕 | 77,000円 | （豊科） |
| カ | 公用車（バン）購入 | 2,989,572円 | （明科） |
| キ | 公用車（軽ワゴン2台）購入 | 2,000,000円 | （穂高、三郷） |

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	生活保護費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	2	社会就労センター費			
	事業	0103520	社会就労センター管理費		施策	生活の安定と自立への支援

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○豊科社会就労センター

- (1) 職員配置 所長 1 人 事務員 1 人 作業指導員 5 人
- (2) 施設利用状況 (R6. 3. 31現在)
- ア 利用定員 30人
- イ 利用状況 28人 (障がい者16人、65歳以上高齢者11人、その他 1 人)
- ウ 認定状況 生活保護法 11人 (内 保護費受給者 4 名)
障害者総合支援法 14人 (内 保護費受給者 5 名)
- エ 認定者以外の利用 3 人 (内 2 人は70歳以上) 施設利用料：66,851円 (工賃の 3 %分)
- (3) 授産の状況

年度	取引企業	受注収入額 (円)	消費税 (円)	工賃支給額 (円)	工賃月額平均(円)	前年比 (%)
5	12社	13,366,271	962,200	12,404,071	38,284	105.1
4	12社	12,364,756	961,900	11,402,856	36,431	109.8
3	12社	10,838,598	850,200	9,988,398	33,184	144.7

○穂高社会就労センター

- (1) 職員配置 所長 1 人 事務員 1 人 作業指導員 5 人
- (2) 施設利用状況 (R6. 3. 31現在)
- ア 利用定員 30人
- イ 利用状況 29人 (障がい者16人、65歳以上高齢者10人、その他 3 人)
- ウ 認定状況 生活保護法 9 人 (内 保護費受給者 1 名)
障害者総合支援法 14人
- エ 認定者以外の利用 6 人 (内 5 人は70歳以上) 施設利用料：170,923円 (工賃の 3 %分)
- (3) 授産の状況

年度	取引企業	受注収入額 (円)	消費税 (円)	工賃支給額 (円)	工賃月額平均(円)	前年比 (%)
5	17社	22,323,461	1,607,000	20,716,461	56,757	97.0
4	15社	24,425,973	1,900,000	22,525,973	58,515	84.7
3	14社	29,157,222	2,287,100	26,870,122	69,075	113.8

上記の評価と課題等

(豊科) 新型コロナの第5類への移行により徐々に企業も本格稼働を始めたことから、受注額が増加し工賃支給額は前年度比105.1%となりました。利用者也8月までは定員を満たしていましたが、体調不良などで6名が退所、5名が入所して1名の減となりました。退所者の内1名は一般就労、1名はA型事業所に就労する事が出来ました。今後も「障がい者」「高齢者」「生活困窮者」の方が働きやすい環境整備に努め、「誰もが自信を持って、どんな作業も出来る」事に取り組み、取引企業とのコミュニケーションに努め就労継続支援、社会事業授産に貢献していきます。

(穂高) 長引くコロナ禍の影響もあり、上半期は電子部品関連の受注減が続き、作業量は昨年度をさらに下回りました。しかしながら、上半期途中から徐々に持ち直し、また新規取引先による収入が貢献したことにより、最終的に工賃支給額は前年度比97%となりました。利用者は入所者3名、退所者6名(内2名は一般就労)で、3名減となりました。引き続き、利用者に適した作業の確保や利用者の工賃収入上昇など、満足度を向上させるために職員一丸となって努力します。また、様々な催しを企画しながら利用者の働く喜びや生きがいの場としての授産施設の機能発揮に努めます。

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	生活保護費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	2	社会就労センター費			
	事業	0103520	社会就労センター管理費		施策	生活の安定と自立への支援

その3

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○三郷社会就労センター

- (1) 職員配置 所長 1 人 事務員 1 人 作業指導員 4 人
- (2) 施設利用状況 (R6. 3. 31現在)
- ア 利用定員 30人
- イ 利用状況 26人 (障がい者11人、65歳以上高齢者11人、その他 4 人)
- ウ 認定状況 生活保護法 11人 (内 保護費受給者 3 名)
障害者総合支援法 11人
- エ 認定者以外の利用 4 人 (内 2 人は70歳以上) 施設利用料 : 100, 473円 (工賃の 3 %分)
- (3) 授産の状況

年度	取引企業	受注収入額 (円)	消費税 (円)	工賃支給額 (円)	工賃月額平均(円)	前年比 (%)
5	6 社	19, 117, 276	1, 376, 100	17, 741, 176	51, 875	68. 0
4	4 社	31, 825, 632	2, 475, 600	29, 350, 032	76, 234	85. 2
3	4 社	34, 288, 114	2, 689, 700	31, 598, 414	89, 514	138. 3

○明科社会就労センター

- (1) 職員配置 所長 1 人 事務員 1 人 作業指導員 6 人
- (2) 施設利用状況 (R6. 3. 31現在)
- ア 利用定員 40人
- イ 利用状況 28人 (障がい者 9 人、65歳以上高齢者16人、その他 3 人)
- ウ 認定状況 生活保護法 13人 (内 保護費受給者 2 名)
障害者総合支援法 9 人
- エ 認定者以外の利用 6 人 (内 5 人は70歳以上) 施設利用料 : 110, 071円 (工賃の 3 %分)
- (3) 授産の状況

年度	取引企業	受注収入額 (円)	消費税 (円)	工賃支給額 (円)	工賃月額平均(円)	前年比 (%)
5	18社	17, 536, 522	1, 262, 300	16, 274, 222	48, 007	91. 2
4	15社	18, 272, 191	1, 421, 300	16, 850, 891	52, 659	111. 2
3	15社	18, 144, 258	1, 423, 300	16, 720, 958	47, 368	116. 8

上記の評価と課題等

(三郷) コロナ禍で食品部門の仕事量は変化が激しく、車載用カメラ等を含む電子部品の仕事量は、企業統合の影響により大幅な減少となりました。新たな企業開拓に取り組みましたが、工賃支給額は前年度比68%となりました。利用者は1名が入所、7名が退所し、1名が一般、1名がA型事業所に就労しました。入所者の1名は障がい者の方です。

社会情勢の変化と共に、今後も企業の動向が懸念されるところですが、注視しながら利用者に適した作業を確保し、生きがいの場としての授産施設の機能発揮に努めます。

(明科) コロナ禍により、工賃支給額は前年度比91.2%に低下しました。利用者は3名退所、3名入所し増減なしとなりました。退所者の内1名は、他の就労継続支援B型の施設に転籍しました。

過疎化が進む地域特性がありますが、今後も社会福祉施設の目的を踏まえて利用者の確保と、働く喜びと生きがいの場としての授産施設の機能強化に努めていきます。

令和6年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書 ページ	125

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	4	災害救助費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	災害救助費			
	事業	0103570	災害救助費		施策	地域福祉の推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
500,000		50,000		0		450,000		10.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 災害救助費 災害見舞金 50,000円

火災罹災者に対し見舞金を支給しました。

区 分	見舞金の額	令和4年度	令和5年度
		件数	件数
(1) 火災により死亡	10万円	0	0
(2) 被害面積：住居の延床面積70%以上	5万円	1	1
(3) 被害面積：住居の延床面積20%以上	3万円	1	0

上記の評価と課題等

火災で罹災された方へ迅速に見舞金及び弔慰金を支給することで、生活の安定に資する事ができ罹災者にとって有効な制度となっています。

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	長寿福祉係

決算書 ページ	109

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	2	老人福祉費			
	事業	0103130	老人福祉総務費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
230,188,000		223,019,462		0		7,168,538		96.9%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
11,173,000			シニアクラブ活動助成事業補助金		973,000					
			福祉基金繰入金		2,200,000					
			ふるさと寄附基金繰入金		8,000,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 高齢者の生きがいにづくりに寄与する事業

(1) 老人大学の開催

高齢者の仲間づくりや生きがいにづくり活動を推進し、地域での社会活動のリーダー育成を目的に老人大学を開催しました。

受講者数 66人（修了生数 52人） 事業委託料 2,462,246円

(2) 入浴料金割引券交付事業

高齢者の健康増進及び外出支援のため、70歳以上の高齢者で希望する人に、市内約16入浴施設で利用できる入浴割引券を、対象者1人に対し12枚交付しました。

年度	対象者数	申請率	使用枚数	施設への支払額	利用率
令和5年度	26,542人	40.9%	41,117枚	8,790,800円	33.8%
令和4年度	26,378人	40.1%	41,050枚	8,183,200円	32.4%
令和3年度	25,999人	42.1%	39,776枚	7,955,200円	30.3%

2 要介護者及びその家族を支援する事業

家庭介護者介護慰労金支給事業

要介護3以上の高齢者を、一定の要件を満たして在宅介護する家族等に対し、50,000円の慰労金を支給しました。

支給者数 475人 支給金額 23,750,000円

3 高齢者敬老祝賀事業

「敬老の日」に併せ、最高年齢者及び100歳を迎えられた高齢者を敬愛し、長寿を祝うため、市長等が訪問して記念品を贈呈しました。88歳（米寿）を迎えられた高齢者へは、民生児童委員が訪問し長寿をお祝いしました。

対象者 最高年齢者 男女各1人

100歳 48人

88歳 656人

記念品支出総額 3,031,400円

予算	款	3	民生費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103130	老人福祉総務費			

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

4 各種団体補助及び施設運営補助等

(1) シニアクラブ連合会運営補助

シニアクラブ連合会及び単位シニアクラブが行う社会参加型事業に対し助成を行い、高齢者による地域づくり・明るい長寿社会づくりを促進しました。令和4年度に明科地区のシニアクラブが連合会から脱退するなど、会員数、加入団体数は減少傾向にあります。

会 員 数	加入団体数	補助金額等
(令和5年度末現在) 1,940人	31 団体	3,080,000円
(令和4年度末現在) 2,162人	33 団体	3,486,000円
(令和3年度末現在) 3,033人	41 団体	4,335,500円

(2) シルバー人材センター運営補助

高齢化が進展する中、長年培った経験・知識・技能を発揮できる就労の場があることにより、社会参加の機会、生きがい活動の充実、地域社会へ貢献が図られていました。

会 員 数	就業延日人員	補助金額
(令和5年度末現在) 840人	100,160人日	11,129,000円
(令和4年度末現在) 865人	119,063人日	11,329,000円
(令和3年度末現在) 858人	104,540人日	11,329,000円

(3) 老人福祉センター運営補助

地域の高齢者の仲間づくりや生きがい活動の拠点として利用されている施設の運営に対し補助金を交付しました。

施 設 名	年度	補助金額	施設利用者
豊科老人福祉センター	令和5年度	13,265,435円	20,109人
	令和4年度	10,470,000円	18,944人
	令和3年度	9,755,091円	15,705人
堀金老人福祉センター	令和5年度	8,063,164円	7,351人
	令和4年度	8,021,977円	7,589人
	令和3年度	8,558,047円	6,796人

5 福祉有償運送運営協議会の開催

法人等が計画する白ナンバーの車両を用いた福祉目的の有償運送について、事業の適格性を協議するための組織として安曇野市福祉有償運送運営協議会を設置しています。（委員11人）

上記の評価と課題等

安曇野市の高齢化率は31.9%（令和6年3月31日現在）で、増加傾向です。超高齢化社会の中で、高齢者が健康で生きがいを持ちながら日々の生活を送ることが求められており、高齢者の生きがいづくり活動と社会参加の推進が重要な課題です。

シニアクラブの活動への参加やシルバー人材センターへの就労は効果的な施策であるため、継続した支援を行っていく必要があります。

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	長寿福祉係

決算書 ページ	109

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	2	老人福祉費			
	事業	0103140	在宅福祉事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
20,796,000		19,903,778		0		892,222		95.7%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
6,822,544			緊急通報システム利用料		1,148,074		ふるさと寄附基金繰入金		5,000,000	
			緊急通報システム利用料滞納繰越分		500		高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金		433,000	
			配食サービス利用料滞納繰越分		10,350		生活管理短期宿泊利用料		60,720	
			軽度生活援助利用料		169,900					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 在宅の高齢者の生活を支援するサービス

事業名	年度	利用人数	延べ利用数	決算額
配食サービス事業 (令和4年度までで廃止)	令和4年度	143人	30,867食	23,446,990円
	令和3年度	181人	34,208食	25,854,840円
	令和5年度	186人		6,040,796円
緊急通報サービス事業	令和4年度	219人		6,816,626円
	令和3年度	248人		7,298,319円
	令和5年度	4人	44日	199,320円
生活管理短期宿泊事業	令和4年度	6人	257日	1,164,210円
	令和3年度	8人	372日	1,755,660円
	令和5年度	53人	1,504回	632,516円
軽度生活援助事業	令和4年度	57人	1,814回	756,398円
	令和3年度	63人	1,957回	779,885円
	令和5年度	81人	233回	466,000円
訪問理美容サービス事業	令和4年度	77人	196回	390,000円
	令和3年度	75人	182回	364,000円
	令和5年度			

2 高齢者通院等支援サービス

要介護3以上の在宅高齢者が医療機関や福祉施設へ通院・通所する際のタクシー等利用料金について助成を行いました。

事業名称	年度	利用人数	助成金額
高齢者通院等支援サービス	令和5年度	483人	2,521,650円
	令和4年度	456人	2,521,850円
	令和3年度	504人	2,602,090円
寝たきり高齢者等通院等支援サービス	令和5年度	29人	378,365円
	令和4年度	27人	205,025円
	令和3年度	26人	266,255円

予算	款	3	民生費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	2	老人福祉費		基本施策	高齢者福祉の充実
	事業	0103140	在宅福祉事業			

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3 高齢者の健康づくり等の活動に対する支援事業

(1) 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業補助金

高齢者のための地区敬老会事業、スポーツ大会等の開催に対し、また、地域での学習活動の講師謝礼及び会場使用料に対して補助金を交付しました。

年度	支給件数	対象者人数	補助金額
令和5年度	47件	1,152人	1,471,841円
令和4年度	84件	11,452人	2,789,792円
令和3年度	83件	11,749人	2,740,700円

(2) アクティブシニアがんばろう事業補助金

40歳以上の市民で8人以上かつ、65歳以上の市民が5割以上含まれる団体で、2か月に1回以上定期的に運動機能等の向上に資する活動を行う団体に補助金を交付しました。

年度	支給団体数	対象者人数	補助金額
令和5年度	85団体	1,331人	7,246,090円
令和4年度	79団体	1,533人	6,523,280円
令和3年度	80団体	1,590人	5,818,070円

(3) 健康体操指導員派遣事業

自主的な健康づくり活動を新たに始めた団体及びシニアクラブ連合会による介護予防事業に健康体操指導員を派遣する事業ですが、令和5年度の申請はありませんでした。

年度	派遣団体数	延派遣回数	利用者人数	講師謝礼金
令和5年度	0団体	0回	0人	0円
令和4年度	1団体	24回	331人	120,000円
令和3年度	0団体	0回	0人	0円

上記の評価と課題等

高齢化の進展とともに、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加するなか、高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう生活支援のサービスを実施しています。

高齢者の生活状況や身体的状況等によって必要なサービスを利用いただくために、民生児童委員の訪問による相談活動やケアマネジャー等の介護相談を通じて、サービス内容を紹介し利用につなげています。

アクティブシニアがんばろう事業は、アフターコロナにより活動が活発となり、85団体が活動しました。今後も当事業を推進することで、健康増進及び介護予防の充実が図られ元気な高齢者の増加につながると考えます。

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	長寿福祉係

決算書 ページ	111

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	2	老人福祉費			
	事業	0103160	老人福祉施設管理事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
85,679,000	83,974,428		0	1,704,572	98.0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
28,231,100		旧合併特例事業債	4,900,000	デイサービスセンター指定管理者納付金	5,990,000
		豊科ふれあいホール使用料	170,850		
		高齢者福祉施設自販機電気料	28,200	総合福祉センター管理費等徴収金	17,142,050

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 指定管理委託

	施設名	期間	指定管理者名	年度	指定管理委託料	年間利用者数	備考
1	穂高地域福祉センター	R5.4.1 ～ R10.3.31	(福) 安曇野市社会福祉協議会	5	14,743,000円	22,646人	
				4	14,396,000円	19,858人	
				3	14,346,000円	21,381人	
2	三郷福祉センター	H31.4.1 ～ R6.3.31	(福) 安曇野市社会福祉協議会	5	17,134,000円	9,554人	※借地料あり
				4	16,190,000円	8,804人	
				3	16,295,000円	9,006人	
3	三郷屋内ゲートボール場	H31.4.1 ～ R6.3.31	(福) 安曇野市社会福祉協議会	5	95,000円	1,794人	
				4	95,000円	1,320人	
				3	95,000円	1,654人	

※ 三郷福祉センター施設用地借地料

令和3年度 3,247,245円 令和4年度 3,247,245円 令和5年度 3,247,245円

	施設名	期間	指定管理者名	年度	指定管理納付金	年間利用者数
4	穂高 デイサービスセンター	R5.4.1 ～ R10.3.31	(福) 安曇野市社会福祉協議会	5	1,530,000円	9,794人
				4	1,530,000円	9,235人
				3	1,530,000円	9,026人
5	三郷 デイサービスセンター	H31.4.1 ～ R6.3.31	(福) 安曇野市社会福祉協議会	5	1,430,000円	9,399人
				4	1,430,000円	8,277人
				3	1,430,000円	8,527人
6	堀金 デイサービスセンター	H31.4.1 ～ R6.3.31	(福) 安曇野市社会福祉協議会	5	1,470,000円	8,493人
				4	1,470,000円	8,817人
				3	1,470,000円	9,119人
7	明科 デイサービスセンター	H31.4.1 ～ R6.3.31	(福) 安曇野市社会福祉協議会	5	1,560,000円	9,070人
				4	1,560,000円	8,403人
				3	1,560,000円	8,585人

予算	款	3	民生費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	2	老人福祉費			
	事業	0103160	老人福祉施設管理事業		基本施策	高齢者福祉の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
2 主な修繕費 （1）明科総合福祉センター修繕 ア ろ過タンク殺菌用紫外線ランプ取替 242,000円 イ 受水槽凍結防止帯修繕 597,300円 （2）三郷福祉センター修繕 ア 屋内消火栓用保形ホース交換 717,750円 3 大規模改修費 （1）穂高地域福祉センター大規模改修工事 ア アスベスト調査 811,250円 イ 設計業務委託 5,256,900円 （2）堀金総合福祉センターエアコン更新工事 ア 設計業務委託 3,997,400円	
上記の評価と課題等	
指定管理施設の利用者数は増加傾向がみられます。 大規模改修等については長寿命化計画に基づき、計画的な改修に向けて設計等を実施しました。今後とも指定管理者と協議を行いながら計画的な事業を実施していきます。 また、所管施設全体の老朽化による不具合が生じているため、必要な場合は、大規模改修に限らず対応が必要です。	

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書 ページ	111

予 算	款	3	民生費	総 合 計 画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		目 標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	2	老人福祉費			
	事業	0103180	介護保険対策費			

單位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1, 488, 343, 000	1, 487, 175, 239		0		1, 167, 761	99. 9%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名		金 額	細 節 名	金 額
166, 696, 420		低所得者保険料軽減国庫負担金		38, 386, 140	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	471, 000
		低所得者保険料軽減国庫負担金過年度分		1, 846, 140	物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金	31, 166, 000
		低所得者保険料県負担金		19, 193, 070	長野県地域医療介護総合確保基金事業 (介護施設等整備分) 補助金	53, 052, 000
		低所得者保険料県負担金過年度		923, 070	介護保険施設整備等補助金返還金	21, 167, 000
		介護保険事業補助金		492, 000	(地方消費税交付金 (社会保障財源化分))	(398, 681, 000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

介護保険制度における低所得者対策等として、社会福祉法人等が行う利用者負担軽減措置に対し、補助を実施しました。利用者の実人数（認定者数）が前年度より5.7%減少、事業額は85.9%増加しております。また社会福祉施設等に対する物価高騰対策として、186事業所に補助を実施しました。

介護保険特別会計への繰出金は、前年度に比べ29,883千円増加しました。

事業名	内 容	人数・件数等 () 内は前年度	決算額 () 内は前年度
社会福祉法人等による生計困難者に対する利用者負担額軽減措置事業	社会福祉法人が利用者負担の1/4を軽減し、法人の軽減額の一部に対して、国・県・市が補助しました。	50人 (53人) ※認定者数	656,795円 (353,328円)
社会福祉施設等物価高騰対策支援事業	市内事業者へ県支給額を参考にし、物価高騰対策支援を補助金として実施しました。	186事業所	31,637,000円
繰 出 金	介護保険特別会計へ繰出しました。		1,369,791,000円 (1,339,908,000円)

令和4年度繰越明許事業について

高齢者施設の防災・減災対策を推進するため、国の地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を活用し非常用自家発電機の設置費用の補助をしました。国の交付決定が年度末だったため、繰越明許にて対応し3施設の整備ができました。

上記の評価と課題等

物価高騰対策として高齢者福祉施設への補助金は施設等の安定的な運営の一助となったとの声を多数いただきました。

令和6年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護予防担当

決算書 ページ	111

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	2	老人福祉費			
	事業	0103190	在宅介護福祉事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①	
15,869,000		14,564,140		0		1,304,860		91.8%	
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 家族介護用品購入助成事業

要介護3以上の方を在宅で介護する家族介護者を支援する目的で、介護用品の購入を助成する事業を実施しました。

年度比較	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	705 人	653 人	640 人
助成金額	6,563,576 円	6,194,639 円	5,953,262 円

2 成年後見支援センター委託事業

「成年後見制度の利用に関する法律」および「成年後見制度の利用促進基本計画」に基づき、安曇野市、松本市を含む2市5村の共同設置による中核機関「成年後見支援センターかけはし」（事務局：松本市社会福祉協議会）に業務委託としました。

委託内容は、地域連携ネットワークによる中核機関業務※のほか、法人後見の受任に関すること及び成年後見制度に関わる関係機関等との連携等です。

※ 後見人等への支援、講演会、研修会、「成年後見制度地域連携ネットワーク協議会」の事務局など

年度比較	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託金額	6,804,180 円	8,254,880 円	8,463,210 円

上記の評価と課題等

家族介護用品購入助成事業は、助成券の交付実人数に対し利用率は91%でした。家族介護者の経済的負担の軽減を図ることができ、事業利用者には好評です。

成年後見支援センターかけはしは、中核機関として地域の権利擁護支援・成年後見制度利用促進機能の強化に向けて司令塔的役割と地域連携ネットワークの調整役を担い、成年後見制度地域連携ネットワーク協議会の事務局を当番市として担当しています。市においては、成年後見制度に関する周知啓発を行い、権利擁護の体制整備を推進しています。

令和6年度	
部	福祉部
課	障がい者支援課
係等	障がい福祉担当

決算書 ページ	103

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費			
	事業	0103040	障がい者支援センター費		施策	障がい者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
75, 507, 000	75, 277, 450		0		229, 550	99. 7%	
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名		金 額	細 節 名		金 額
11, 744, 000		地域生活支援事業補助金【国】		3, 111, 000	障害者活動支援センター指定管理者納付金		510, 000
		地域福祉総合助成金【県】		1, 568, 000	障害者就労支援センター指定管理者納付金		1, 000, 000
		地域生活支援事業補助金【県】		1, 555, 000			
		福祉基金繰入金		4, 000, 000			

主要な施策（事務事業）の成果の概要

「障がい者支援センター費」では、指定管理施設7か所の予算を管理しています。これらの施設は障がいのある方が主に利用しています。特に障害者活動支援センターは、市内で数少ない特殊浴槽を完備する生活介護施設として、重度障がい者の方が多く利用しています。建築から30年近く経過する施設があり、今後は老朽化による修繕費用の増加が見込まれます。

1 指定管理料

施設名	指定管理事業者	建築年	指定管理委託料	指定管理者納付金
障害者活動支援センター	(福) 安曇野市 社会福祉協議会	1994年	0円	510,000円
豊科たんぼぼ		1994年	0円	360,000円
穂高わたぼうし		2004年	26,908,000円	100,000円
三郷すみれの郷		2000年	11,908,000円	0円
堀金かえでの家		1991年	0円	540,000円
明科ふきぼこの家		2000年	19,346,000円	0円
ひめこぶしの家	NPO法人ほのぼの会	2007年	10,572,000円	0円

障害者活動支援センター、豊科たんぼぼ、堀金かえでの家は、自立支援給付費（介護給付費、訓練等給付費）等により運営費が賄われているため、市から指定管理委託料は支出されていません。穂高わたぼうしは、地域活動支援センターであるため市から指定管理委託料を支出していますが、放課後等デイサービスも行っており、給付（障害児通所支援給付費）を受けているため、市へ指定管理者納付金を納付しています。

2 修繕・工事請負費等（10万円以上の案件）

○ 穂高わたぼうし 空調機緊急修繕	158,400円
○ 障害者活動支援センターオイルタンク改修工事設計管理委託料	176,000円
○ 障害者活動支援センターオイルタンク改修工事	6,083,000円

予算	款	3	民生費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費			
	事業	0103040	障がい者支援センター費		基本施策	障がい者福祉の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3 施設の状況

ひめこぶしの家、穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、明科ふきぼこの家では、地域活動支援センターを開設しており、利用者の障がいの程度や状態等に応じ、一般就労に向けた基礎訓練や余暇活動等を行っています。特に、穂高わたぼうしと明科ふきぼこの家では、県の地域福祉総合助成金を活用して看護師を配置するなど医療的ケアを必要とする障がい者の受け入れができる体制を維持しています。

4 施設の利用者数（延べ人数）

（単位：人）※（ ）は前年度比

施設名	事業	定員	R4年度	R5年度
障害者活動支援センター	生活介護	20	2,709	2,724（+15）
	放課後等デイサービス・児童発達支援		895	737（-158）
	日中一時支援		37	40（+3）
豊科たんぼぼ	就労継続支援B型	20	4,096	3,946（-150）
堀金かえでの家		20	4,622	4,096（-526）
三郷すみれの郷	地域活動支援センター	10	1,101	1,447（+346）
明科ふきぼこの家		20	2,502	2,261（-41）
ひめこぶしの家		10	1,207	1,632（+425）
穂高わたぼうし		20	1,788	1,491（-297）
	放課後等デイサービス	10	2,626	2,075（-551）

上記の評価と課題等

就労継続支援B型事業所の収益は、景気の影響や作業に関わる人員の増減により左右されます。利用者の工賃収入に繋がるよう、新たな自主製品の開発や施設外就業事業にも力を入れるなど、増益を図っていく必要があります。

また、施設の利用者は障がい等により体調が不安定な方が多く、体調不良や他者への感染を考慮し、症状が軽度でも利用を控える等あり、これによって施設の利用状況に変動が生じやすい状況があります。コロナの5類感染症への移行に伴い感染症対策は緩和されましたが、体調面で配慮が必要な利用者への対応にあたっては、各事業者において感染対策の経験を活かし、サービス提供に努めることが重要と考えます。

障害者活動支援センターは令和7年度に大規模改修を予定しており、工事にあたっては施設利用者への配慮が必要であり、令和6年度の設計段階から十分な検討が必要と考えます。

令和6年度	
部	福祉部
課	障がい者支援課
係等	支援給付担当

決算書 ページ	103

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費			
	事業	0103050	障がい者支援事業		施策	障がい者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2, 328, 670, 000		2, 327, 210, 122		0	1, 459, 878	99. 9%
特定財源の決算額		左記の内訳		金額	金額	金額
1, 731, 433, 742		自立支援給付費負担金【国】		882, 729, 000	障害児入所給付費等負担金【県】	123, 713, 554
		自立支援医療負担金【国】		17, 400, 000	自立支援医療負担金【県】	8, 800, 786
		障害児入所給付費等負担金【国】		258, 907, 500	高額障害福祉サービス等給付費等返還金	108, 697
		自立支援給付支払システム改修補助金【国】		170, 000		
		自立支援給付費負担金【県】		439, 604, 205	(地方消費税交付金(社会保障財源化分))	(170, 000, 000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要						
1 自立支援給付事業 決算額：1, 824, 489, 887円						
主な事業決算額		R4		R5		前年比 (金額)
		件数	金額(円)	件数	金額(円)	
医療費扶助	更生医療費	319	15, 064, 253	355	20, 870, 808	138. 5%
	育成医療費	40	138, 339	27	89, 037	64. 4%
	療養介護医療費	183	12, 332, 484	198	13, 530, 408	109. 7%
	計	542	27, 535, 076	580	34, 490, 253	125. 3%
自立支援給付サービス費等扶助	介護給付費等	5, 897	833, 401, 274	6, 450	886, 573, 509	106. 4%
	訓練等給付費	6, 429	731, 246, 373	6, 569	786, 156, 151	107. 5%
	補装具給付費	115	14, 077, 122	146	17, 171, 484	122. 0%
	相談支援給付費	2, 882	40, 496, 682	3, 040	43, 989, 645	108. 6%
	特定障害者特別給付費	2, 128	19, 117, 952	2, 141	19, 457, 034	101. 8%
	高額障害福祉サービス費	573	4, 372, 855	585	5, 216, 372	119. 3%
	計	18, 024	1, 642, 712, 258	18, 931	1, 758, 564, 195	107. 1%
2 障害児通所支援給付事業 決算額：495, 520, 432円						
主な事業決算額		R4		R5		前年比 (金額)
		件数	金額(円)	件数	金額(円)	
障害児通所支援給付費等		4, 558	355, 733, 277	5, 807	465, 647, 132	130. 9%
障害児相談支援給付費		1, 444	22, 476, 952	1, 756	29, 168, 414	129. 8%
計		6, 002	378, 210, 229	7, 563	494, 815, 546	130. 8%
上記の評価と課題等						
自立支援給付事業では、主に更生医療と補装具給付費が増額しました。更生医療は入院分が増加し、補装具給付費は購入件数及び高額品目の購入者が増加しました。 障害児通所支援給付事業の利用者増加は、障害児等の増加と共に親の知的障害や発達障害に対する認知度が上がり関心が深まっていることが要因と考えられます。 障がい者（児）本人の最善の利益を図り、自立の促進と共生社会の実現に向けた支援のために公正にその支給量を判断し決定しました。						

令和6年度	
部	福祉部
課	障がい者支援課
係等	支援給付担当

決算書 ページ	105

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費			
	事業	0103070	地域生活支援事業		施策	障がい者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
82,042,000		78,779,357		0		3,262,643		96.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
23,549,000			地域生活支援事業補助金【国】		15,699,000					
			地域生活支援事業補助金【県】		7,850,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 理解促進研修・啓発事業 決算額：20,000円

障がい者等への理解を深めるため、研修や啓発事業を実施しています。令和5年度は聴覚障害の方が必要とする合理的配慮や必要とする支援を市民の皆様に理解を深めていただくための講演会を開催しました。また、12月の障害者週間に合わせて、障害者差別解消法について広報誌に掲載すると共に庁舎東側ロビーにおいて、障がい者団体を紹介するパネル展示しました。

日 程：令和5年12月10日（日） 会場：安曇野市役所本庁舎 4階大会議室

講 義：「聴覚障害者が必要な合理的配慮～聞こえない人が必要とすること」

講 師：聴覚障害者協会会員

参加者：73名

2 手話奉仕員養成講座事業 決算額：485,250円

聴覚障がい者等との交流活動の促進等のため、日常会話程度の手話表現技術習得を目的とした手話奉仕員の養成研修を実施しました。令和5年度は、『基礎編』を実施しました。

日 程：令和5年5月27日～令和5年12月9日 全27回（補講1回含む）

会 場：豊科交流学习センターきぼう 学習室他

講 師：聴覚障害者協会会員

修了者：8名（受講対象者は8名）

3 意思疎通支援事業（手話通訳者等派遣事業） 決算額：1,594,078円

①役務費：1,572,078円

事業名		区分	令和4年度	令和5年度	前年比
手話通訳者等 派遣事業	手話通訳	利用者	20人	21人	105.0%
		派遣回数	270回	232回	85.9%
		実績額	1,479,629円	1,486,470円	100.5%
	要約筆記	利用者	5人	2人	40.0%
		派遣回数	19回	15回	78.9%
		実績額	111,208円	85,608円	77.0%
	合計	利用者	25人	23人	92.0%
		派遣回数	289回	247回	85.5%
		実績額	1,590,837円	1,572,078円	98.8%

②負担金補助及び交付金：22,000円

新型コロナウイルス感染症や災害等においても聴覚障がい者の情報補償を確保するため、長野県の遠隔手話通訳システムを令和3年度より導入しており、体制を整備しています。

費用は県と利用市町村で共同負担しました。

令和6年度	
部	福祉部
課	障がい者支援課
係等	支援給付担当

決算書 ページ	105

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費			
	事業	0103080	精神障がい者居宅生活支援事業		施策	障がい者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
5, 773, 000		5, 081, 024		0		691, 976		88. 0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細 節 名		金 額		細 節 名		金 額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 精神障がい者居宅生活支援事業 決算額：5,081,024円	
(1) 精神障がい者家族教室の開催 1コース3回	
目的：当事者や家族等が障がいと上手に付き合いながら、その人らしい生活を送るために、家族等が交流を図りながら、精神障がいについての正しい理解、適切な対処の方法などを学ぶこと	
参加人数：延べ人員 13人	
内容：①心の健康について ②関わり方の工夫 ③様々な資源の活用	
講師：精神保健福祉士 二宮 美和 氏	
(2) 精神障がい者相談支援 実人員595人 延べ件数1,254件	
(3) 安曇野市精神障害者社会復帰施設等連絡会 2回	
目的：「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築」に向けて体制整備を行うために、市内の精神障害者社会復帰施設等の関係者が情報の共有や学習会等を行い、地域の課題を認識すること	
内容：①・説明会 安曇野市の現状～医療・福祉・社会参加の変化～ 参加27人	
・意見交換「当事者との関わり」、「支援者として必要な知識」	
②・研修会 講師：松本保健福祉事務所職員 2名 参加33人	
精神保健における保健所の役割と支援について	
精神保健福祉法の改正について	
上記の評価と課題等	
精神障がい者は年々増加しており、相談内容も多様化しています。初期相談は保健師等が担当し、サービス利用に向けた調整や必要な部署へのつなぎ等、他機関と連携しながら対応しています。	
当事者を支援する体制づくりに向けて、市内の精神障がい者の支援者と共に、補い合える連携について意見交換を行っています。また、支援力向上のため、支援者を対象とした講演会を開催しました。	
家族も当事者の支援者であるため、家族が学べる機会も作っています。	
障がい者が住み慣れた地域で暮らし続けていくために、関係機関と連携しきめ細やかな対応を実施していきます。	

令和6年度	
部	福祉部
課	障がい者支援課
係等	障がい福祉担当

決算書 ページ	107

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費			
	事業	0103090	障がい者福祉総務費		施策	障がい者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
144, 713, 000		141, 972, 246		0		2, 740, 754		98.1%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細 節 名		金 額		細 節 名		金 額	
59, 341, 020	特別障害者手当負担金【国】		40, 978, 020		特別児童扶養手当事務委託金【県】		889, 000			
	新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金【国】		380, 000							
	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金【国】		15, 311, 000							
	地域福祉総合助成金【県】		1, 783, 000							

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 指定管理委託料 決算額：478,000円
豊科身体障害者会館を安曇野市身体障害者福祉協会に指定管理委託しています。
(平成31年度から5年間)

○ 利用状況 ※（ ）は前年度比

開館日数	延べ利用者数	平均利用者数
91日(+1)	488人(+8)	5.4人(+0.1)

- 2 負担金・補助金及び交付金 決算額：24,174,393円

障がい者や関係する福祉団体に対して補助金の交付を行い、障がい者への援助や各種団体の活動を支援しました。コロナによる制限緩和の動きが広がりつつあり、活動の再開も進んでいくと思われます。また、児童発達支援事業所、さらに医療的ケア児の受け入れが可能な事業所の参入を促すために補助金制度の周知等を行っていきます。

【補助金】 8,483,393円

- ① 安曇野市手をつなぐ育成会 484,000円
- ② 安曇野市身体障害者福祉協会運営費補助金 510,000円
- ③ 安曇野聴覚障害者協会 87,120円
- ④ 軽度・中等度難聴児補聴器購入補助事業（購入4件、修理2件） 269,000円
- ⑤ 通所・通園補助事業（障がい児（者）施設へ通う有料道路通行料・通園費等の補助）
 - ア：県補助分（0件 ※有料道路通行料金の1/2） 0円
 - 県内の身障者施設等の入所者の帰省時に利用する有料道路代の補助
 - イ：安曇野市単独分（230人分） 1,381,275円
 - 障がい児の放課後等デイサービス及び児童発達支援施設への通所・通園に係る燃料代の補助（R5年度県単価172円/ℓ×往復距離/10×通所・通園回数×1/2で算出）
- ⑥ 障害者にやさしい住宅整備事業 2人 896,000円
- ⑦ 障害児通園施設利用児療育支援補助事業 2施設 109,486円
- ⑧ ふれあいバスの旅事業補助金（（福）安曇野市社会福祉協議会実施） 950,000円
- ⑨ あったカフェ運営協議会補助金 180,000円
- ⑩ 児童発達支援事業運営支援補助金 3施設 1,200,000円
- ⑪ 重症心身障害児児童発達支援事業所医療的ケア事業補助金 1施設 2,226,400円
- ⑫ 自動車運転免許取得・改造助成事業 1件 100,000円

予算	款	3	民生費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	障がい者福祉の充実
	事業	0103090	障がい者福祉総務費			

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

⑬ 障害者余暇活動支援事業補助金 1 件 90,112円

【交付金】 15,691,000円

○社会福祉施設等価格高騰対策支援事業 122施設 15,691,000円

3 扶助費 決算額：107,265,738円

特別障害者手当、見舞金、福祉金等の給付を行いました。

扶助費種類		R4年度		R5年度		支給額
		件数・人数	支給額（円）	件数・人数	支給額（円）	前年比%
障害児・者タイムケア		33	2,070,980	35	2,356,820	113.8%
障害者手当	特別障害者手当	1,603	43,775,200	1,630	45,423,120	103.8%
	障害児福祉手当	572	8,497,020	580	8,792,080	103.5%
	福祉手当（経過的）	0	0	0	0	－
特定疾患患者見舞金		507	6,084,000	488	5,856,000	96.3%
障害者外出支援事業		597	4,443,850	570	4,296,430	96.7%
重度心身障害児者福祉金		1,448	32,956,000	1,592	36,704,000	111.4%
家庭用介護用品購入助成		98	1,084,759	108	1,078,279	99.4%
重度心身障害者介護慰労金		105	5,250,000	110	5,500,000	104.8%
腎臓透析利用者通院支援		125	2,794,929	105	2,656,589	95.1%
身障者補助犬飼育費助成		1	15,000	1	15,000	100.0%
しゃくなげの湯家族風呂（暖らんの湯）利用補助		66	294,000	65	247,500	84.2%

上記の評価と課題等

営利性が少ない障がい者団体に対し、外出支援や地域との共生を支える意味で補助金の効果は高いと考えます。今後も公益性や事業の継続性に配慮しながら補助金の支出が必要と考えます。また、長かったコロナ禍から制限緩和の動きが広がりつつあり、今後の活動も緩やかに以前の状態に戻っていくと思われます。コロナ禍で経験したことを踏まえ、新たな障がい者福祉の形ができる可能性も考えられます。殊に、感染予防や混雑緩和のために始めた返信用封筒での各種手当の申請受付は、平日の来庁が困難な方や移動手段を持たない方に評価されているため、今後も継続して行っていく予定です。また、将来的には、電子申請やSNSを使用した申請方法も検討する必要があると考えます。

物価高騰対策として実施した市内の障がい福祉施設に対する支援金の給付については、事業者の安定的なサービス提供の一助になったと考えます。

保健医療部

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	保健衛生総務費			
	事業	0104010	保健衛生総務費		施策	保健衛生の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3 公的病院等運営費助成金交付事業（安曇野赤十字病院：49,870,000円）

地域医療の充実と救急医療体制の確保を図るため、市民病院的な役割を持つ安曇野赤十字病院の経営改善に向けて財政支援を行いました。（特別交付税による措置あり）

上記の評価と課題等

市内献血者数は前年度より増加しましたが、目標達成を目指して、引き続き、周知を行い、献血事業の推進を図る必要があります。

松本広域との連携を図りながら大規模災害に備えます。また、安曇野市医療救護活動訓練を行い、災害時の活動内容等を把握し災害時に備えます。

令和6年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康支援担当

決算書 ページ	125

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	保健衛生総務費			
	事業	0104015	予防総務費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
40,366,000		37,400,053		0		2,965,947		92.7%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
117,600			その他衛生費雑入		117,600					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 附属機関・有識者会議の開催
健康づくり施策の推進を目的とした会議を開催しました。令和5年度は「安曇野市健康づくり計画（第3次）」策定に向けて課題や方向性を明確にするため、例年より協議の機会を増やし開催しました。
- | 会議の名称等 | 開催回数 | 委員数 | 出席者（延べ） |
|--------------------------|---------|-----|---------|
| 食育推進会議 | 2回 | 13人 | 18人 |
| 健康づくり推進協議会 | 4回（書面1） | 13人 | 30人 |
| 健康づくり推進協議会（歯科口腔保健部会専門部会） | 4回（書面1） | 9人 | 24人 |
- 2 市民の健康管理のため各健診（検診）データを一元的に管理し、効果的・効率的に保健事業を実施するために運用しました。
- (1) 健康管理システム賃貸借（リース）・保守 4,397,580 円
- (2) 令和5年度健康管理システム改修 445,500 円
- 3 健康づくり計画（第3次）策定印刷製本費 792,000 円
- 4 パートタイム会計年度任用職員報酬・諸手当等
保健師2人（10月より2人正規採用に移行）、管理栄養士3人、歯科衛生士2人
健康運動指導士1人、事務補助4人

上記の評価と課題等

令和5年度は「安曇野市健康づくり計画（第2次）」が最終年度を迎え、関連する食育推進計画、歯科口腔保健行動指針、自殺対策計画等を統合した第3次計画の策定が完了しました。今後は本計画に沿って協議会等で進捗状況を協議し、関係機関とも十分に連携をとりながら健康づくりを推進していきます。

令和6年度		決算書 ページ	125
部	保健医療部		
課	健康推進課		
係等	健康支援担当		

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	保健衛生総務費			
	事業	0104020	健康づくり事業		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
1, 287, 000		1, 172, 722		0		114, 278		91. 1%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
60, 000			地域自殺対策強化事業補助金		60, 000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要			
1 健康づくり事業			
(1) 健康づくり推進員会			
「自らの健康は自らつくる」の意識の高揚、保健事業の拡充強化を図るために、各地域から選出された健康づくり推進員83人で各地区において地域の健康づくりを推進しました。			
・ 全体活動（県・支部研修会含む）			
健康づくり推進員会委嘱書交付式、総会、研修会等 計6回実施 延べ参加者266人			
・ 地区活動			
70地区 延べ83回実施 延べ参加者1,317人			
(主な内容 生活習慣病予防、脳の健康、健康体操、正しい歩き方、歯と口の健康)			
(2) 精神保健事業			
項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
訪問指導	(実113人) 333人	(実116人) 308人	(実95人) 273人
来所相談	(実161人) 342人	(実145人) 341人	(実127人) 272人
電話相談	(実245人) 887人	(実260人) 801人	(実229人) 852人
(3) 自殺対策			
・ 自殺対策推進庁内会議を開催し、自殺対策計画の推進のため庁内関係者との連携・協議を行いました。			
・ 自殺予防の啓発として年2回広報紙に記事を掲載しました。			
・ ゲートキーパー研修会を実施し、延べ242人が参加しました。			
上記の評価と課題等			
健康づくり推進員の区での役割は様々であり、区によって健康講座等の開催方法も違うため、各区に応じた支援が必要です。区からの人選については担い手不足等もあり負担が大きいため、各区から選出していただく健康づくり推進員は現任の任期を持って終了とします。今後も健康づくりの意識の向上を図るため、区の実情に合わせた活動ができるよう地区担当保健師が窓口となり支援していきます。			
自殺対策ではゲートキーパー研修会を実施し人材育成を行い、広報等で市民への啓発を行うことができました。今後も自殺対策計画に沿って事業を推進していきます。			

令和6年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康支援担当

決算書 ページ	127

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	保健衛生総務費			
	事業	0104025	穂高健康支援センター管理費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
24, 701, 000	21, 750, 199	0	2, 950, 801	88. 1%	
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1, 956, 581		公共施設目的外使用料	4, 150		
		保健センター自販機電気料	31, 012		
		穂高健康支援センター外部団体光熱水費	1, 921, 419		

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 施設の維持管理	市の基幹センターとして稼働率も100%に近いため、通年をとおした施設の維持管理が必要です。法定・定期点検等の他、故障や不具合箇所（給湯設備、自動ドア装置、トイレ設備、高天井水銀灯等）の修繕を行い、施設管理に努めました。 - 施設修繕費 2, 134, 990 円 - 光熱水費 8, 472, 194 円 - 管理委託料 3, 614, 252 円
2 公用車、物品の管理	- 燃料費 767, 433 円 - 手数料 845, 662 円 - 保険料 140, 650 円 - 自動車重量税 132, 800 円
上記の評価と課題等	
建築から約20年が経過しており、外構、給湯・電気設備等に修繕が必要な箇所が増えていきます。施設の安全な利用のため、公共施設長寿命化計画に基づき、令和6年度実施設計、令和7年度大規模改修工事を予定しています。	

令和6年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康支援担当

決算書 ページ	127

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	保健衛生総務費			
	事業	0104030	地域保健センター管理費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
4, 034, 000		2, 807, 415		0		1, 226, 585		69. 6%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 施設の維持管理

豊科、三郷、堀金、明科の各地域保健センターで、保健事業を実施するため、施設を適正に維持・管理する必要があります。

(1) 日常管理の委託等

- ・ 豊 科 ： 高齢者集会施設と併せてシルバー人材センターに委託（高齢者介護課）
- ・ 三 郷 ： 三郷複合施設として三郷支所で管理（三郷支所）
- ・ 堀金・明科：複合施設として社会福祉協議会に委託（高齢者介護課）

(2) 維持管理費用

（単位：円）

保健センター名	豊科	三郷	堀金	明科	計
燃料費	—	16,588	—	—	16,588
施設修繕費	—	31,064	—	—	31,064
管理委託費	1,327,985	225,397	173,500	（高齢者介護課）	1,726,882
清掃（日常・カーペット・ガラス）	48,685	225,397	102,000		376,082
エアコンクリーニング	115,500	（三郷支所）	71,500		187,000
警備保障	528,000		（高齢者介護課）		528,000
昇降機	508,200				508,200
自動扉開閉装置	72,600				72,600
建物定期調査	55,000				55,000
計	1,327,985	273,049	173,500	0	1,774,534

* 光熱水費は豊科、堀金、明科保健センターは高齢者介護課、三郷保健センターは三郷支所より支出

上記の評価と課題等

- ・ 各地域保健センターを適正に維持・管理し、市民にとってより身近な地域で健診（検診）等の保健事業を実施しました。* 豊科保健センターは改修工事のためR 5. 7月～R 6. 3月まで休館
- ・ 各地域保健センターの老朽化のため、必要かつ緊急性の高い箇所は修繕等適正に実施しながら長寿命化計画に基づき、計画的に改修を進める必要があります。

令和6年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康支援担当

決算書 ページ	127

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	保健衛生総務費			
	事業	0104035	保健センター施設改修事業		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
241,814,000		241,780,000		0		34,000		100.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
226,800,000			保健センター施設改修事業（特例債）		226,800,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

豊科保健センター施設改修事業

1 概要

築30年目を迎え施設外部の劣化、内部の不具合が生じており、長寿命化の視点で大規模な改修を行い、基幹センターとしての保健事業が実施できるよう施設を整備する。

2 工事概要

老朽箇所の改修工事

- ・屋根塗装 軒天改修 外壁塗装
- ・内装クロス張替 カーペット張替
- ・トイレバリアフリー化
- ・照明LED化
- ・エレベーター耐震化
- ・建具の不具合解消 他

3 委託料

- ・設計管理委託料 3,080,000円
- ・工事請負費 238,700,000円

上記の評価と課題等

施設の老朽箇所の改修工事（屋根、外壁塗装、内装改修、照明のLED化、エレベーターの耐震化工事、トイレバリアフリー化ほか）を実施し、予定どおり令和6年3月に竣工となりました。
令和6年度より、保健事業と子ども発達支援の事業を一部移行して実施します。今後は貸館施設の活用方法について検討をしていく予定です。

令和6年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康支援担当

決算書 ページ	127

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	保健衛生総務費			
	事業	0104070	成人検診事業		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
76, 252, 000		75, 789, 249		0		462, 751		99. 4%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
4, 510, 500			がん検診推進事業補助金		171, 000					
			成人検診徴収金		4, 021, 000					
			国民健康保険特別会計繰入金		318, 500					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 成人検診 (単位：人)

受診者数の推移	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度との比較
胃がん検診	2, 163	2, 018	1, 860	△ 158
大腸がん検診	4, 675	4, 860	4, 685	△ 175
子宮頸がん検診	3, 741	3, 740	3, 673	△ 67
マンモグラフィ検診	2, 689	2, 734	2, 773	39
乳房超音波検診	473	523	493	△ 30
肺がんCT検診	584	599	574	△ 25
結核検診	2, 438	2, 222	2, 123	△ 99

(1) がん検診の推進

検診受診の動機付けを目的に特定年齢の方（子宮頸がん検診21歳・乳がん検診41歳）に無料で検診が受けられるクーポン券を送付しました。またクーポン券未利用者や大腸がん検診申込者の未受診者への再受診勧奨、乳幼児健診でのチラシ配布や市ホームページによる受診勧奨を行いました。

(2) 精密検査未受診者への受診勧奨

精密検査の未受診者を減らすため、未受診者への受診勧奨を行いました。

上記の評価と課題等

がんは早期発見で死亡率が減少するため、自覚症状のない段階で検診を受けることが大切です。このため検診に関心を持ち受診に繋がるような啓発、年齢層を絞った受診勧奨を継続します。

また、がんによる死亡率を低下させるには、要精密検査の未受診者を減らすことも必要不可欠です。精密検査未受診者も一定数いるため、受診勧奨を継続します。

令和6年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康支援担当

決算書 ページ	129

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	保健衛生総務費			
	事業	0104075	健康増進事業		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
16, 173, 000	13, 682, 702		0	2, 490, 298	84. 6%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
10, 364, 000		医療施設運営費等補助金	326, 000	健康診査徴収金	284, 000
		保健事業補助金	4, 337, 000		
		国民健康保険特別会計繰入金	1, 284, 000		
		一体的実施事業委託金	4, 133, 000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要				
1 健康増進事業 - 生活習慣病の発症予防・重症化予防を目的に、特定健診で抽出した者に対し個々の状態に合わせた個別保健指導を行いました。 - 肝炎・骨・歯科の各健(検)診は、節目年齢の対象者に、疾患の早期発見等を目的に実施しました。 - 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を、関係課と連携し実施しました。				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	比較(R4)
保健指導（実人数）	938	860	638	△222
特定保健指導(再掲)				
対象者数（人）	696	653	実施中 (確定は年度末)	
終了者数（人）	437	428		
実施率（%）	(確定)62.8	(確定)65.5		
健康診査（受診者数）				
健康診査（健康増進法）	60	38	43	5
若年者健診	228	203	191	△12
肝炎ウイルス検診	1, 147	1, 077	1, 060	△17
骨粗しょう症健診	201	198	200	2
成人歯科健診	252	246	263	17
健康教育（回数/延人数）	59回/904人	29回/359人	33回/351人	4回/△8人
健康相談（延人数）	407	899	974	75
一体的実施事業				
個別的支援（実人数）	237	326	175	△151人
通いの場等への支援	14箇所/延131人	36箇所/実568人	45箇所/実592人	9箇所/24人
上記の評価と課題等				
医療費や介護給付費などの社会保障費の安定のため、生活習慣病の発症予防や重症化予防などの個別保健指導、各種健(検)診、健康教育・相談を実施します。 社会保障費の安定化に資する一体的実施事業（後期高齢者における保健事業や介護予防の取組）は□今後も課題分析を行い、関係機関等と連携し、個別及び集団支援に取り組みます。				

令和6年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康支援担当

決算書 ページ	129

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	保健衛生総務費			
	事業	0104078	がん患者アピアランスケア支援事業		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
920,000		822,000		0		98,000		89.3%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
401,000			がん患者へのアピアランス助成事業補助金		401,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 がん患者アピアランスケア支援事業（主要事業 補助金：822,000円）
 がんの治療で生じた外見の変容を補うための頭髮補整具、乳房補整具及びその他補整具の購入費用の助成をします。
 ※令和5年度からの新規事業

(1) 対象となる補整具と助成回数

区 分	補整具の種類	助成回数
頭髮補整具	ウィッグ、ウィッグ装着用ネット、毛付き帽子	1人1回限り
乳房補整具	補整パッド、補整下着、専用入浴着、人工乳房	左房・右房につき、それぞれ1人1回限り
その他補整具	エピテーゼ（補整用人工物）	1人1回限り

(2) 申請件数及び助成内容

区 分	申請件数	助成額
頭髮補整具	40件	759,000円
乳房補整具	右 1件	5,000円
	左 4件	58,000円
その他補整具	0件	0円
計	45件	822,000円

上記の評価と課題等

令和5年度より新たに実施した事業であるため、今後も医療機関と連携を図りながら周知に努めています。

令和6年度		決算書 ページ	129
部	保健医療部		
課	健康推進課		
係等	健康推進担当		

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	保健衛生総務費			
	事業	0104080	骨髄バンクドナー助成事業		施策	保健衛生の充実

単位：円								
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
300,000		180,000		0		120,000	60.0%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名		金額
90,000			骨髄バンクドナー助成事業県補助金		90,000			

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 骨髄バンクドナー助成事業（主要事業 補助金：180,000円）補助率1/2 骨髄または末梢血幹細胞（以下骨髄等）の適切な提供およびドナー登録の促進を図るとともに、ドナーやドナーの勤務する事業所への負担軽減のために、骨髄等提供のための入院・通院費等の助成をします。 （1）助成対象者 ドナー：公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄等の提供を完了した方 勤務事業所：ドナーが勤務している国内の事業所 （2）助成額 ドナー：骨髄等の提供のために通院・入院等に要した日数で1人1日につき、20,000円助成。10日を上限。 勤務事業所：ドナーが骨髄等の提供のために通院・入院等に要した日数で週休日以外の勤務を要する日。1人1日につき、10,000円助成。10日を上限。 （3）助成件数 ドナー：1件	
上記の評価と課題等	
骨髄バンクドナー登録の促進のため、関係機関と連携を図りながら事業について周知を行っていきます。	

令和6年度		決算書 ページ 129
部	保健医療部	
課	健康推進課	
係等	健康推進担当	

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	2	予防費			
	事業	0104013	ワクチン予防接種事業		施策	健康づくりの推進

単位：円							
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
339, 134, 000		333, 995, 304		0	5, 138, 696	98. 5%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
366, 269, 643			新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金		192, 584, 370		
			新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金		172, 400, 000		
			新型コロナウイルスワクチン市外接種委託金		1, 285, 273		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 ワクチン予防接種事業（主要事業 委託料：219,749,883円）
希望する市民が、必要な時期に、円滑かつ早期に新型コロナウイルスのワクチン接種を受けることができるよう体制を整え、次の主な事業を推進しました。（補助率10/10）

- （1）新型コロナワクチン接種システム改修（健康管理システム）
- （2）接種券・予診票、案内チラシ等印刷及び発送
- （3）コールセンター業務（予約・相談）
- （4）ワクチンの配送（市内医療機関等）
- （5）ワクチン接種（個別接種・集団接種・施設接種・往診接種）
- （6）ワクチン接種実績の登録及び整理・保存
- （7）予算管理及び補助金交付事務

【接種状況】令和5年度末の接種者数（単位：人）

接種状況			1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
一般 (12歳以上)	令和5年度	接種者数	31	41	128	547	7,854	24,939	18,150
	令和4年度		426	632	29,527	53,026	29,226		
	令和3年度		78,804	78,932	40,020				
	令和2年度		786	40					
	合計	接種者数	80,047	79,645	69,675	53,573	37,080	24,939	18,150
小児 (5～11歳)	令和5年度	接種者数	5	6	51	358	176	1	
	令和4年度		1,002	1,956	959				
	令和3年度		1,040	11					
	合計	接種者数	2,047	1,973	1,010	358	176	1	
乳幼児 (6か月～4歳)	令和5年度	接種者数	32	34	42	65			
	令和4年度		193	178	91				
	合計	接種者数	225	212	133	65			

【令和5年秋開始接種】 ※（ ）は接種率

①接種期間：令和5年9月20日～令和6年3月31日

②対象者数 96,605人（内65歳以上：30,623人）

③接種状況：接種者数29,089人（30.1％） 内65歳以上：18,424人（60.2％）

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	2	予防費			
	事業	0104013	ワクチン予防接種事業		施策	健康づくりの推進

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○新型コロナワクチン集団接種

感染・発症・重症化予防を図り、感染拡大・医療等の逼迫を防止するため、集団接種会場を設置し、ワクチン接種を受けられる体制を構築しました。

（実施体制） 約20名体制

医師、看護師、保健師、運営スタッフ（会場責任者、受付、会場誘導、予診確認、接種済証交付）

【接種状況】

	接種者数
令和5年度	603人
令和4年度	6,326人
令和3年度	29,197人

○新型コロナワクチン接種コールセンター

開設日：令和3年3月15日 閉設日：令和6年3月31日

稼働日：月曜日から金曜日の平日9：00～17：00（土日は相談のみ）

【相談状況】

（単位：件）

	予約	接種券	副反応	基礎疾患等	かかりつけ医	住所地外	その他	合計
令和5年度	1,245	185	20	1	25	20	1,118	2,614
令和4年度	4,176	417	13	16	15	147	1,556	6,340
令和3年度	5,308	860	54	443	53	471	1,781	8,970
令和2年度	18	7	2	8	5	14	18	72

＊ 新型コロナウイルスワクチン接種に係る業務を迅速かつ的確に遂行するため、新型コロナワクチン接種コールセンターを設置し、市民等からの問い合わせや接種予約等に対応しました。

○新型コロナワクチン接種予約サポート

スマホ・パソコンなどの扱いが不慣れな方や、インターネット環境がない方に対して、本庁及び各支所の窓口で、予約に係る入力の手続きをサポートを行いました。

【予約サポート状況】 （単位：件）

	本庁	支所	合計
令和5年度	1,619	2,070	3,689
令和4年度	2,833	3,112	5,945
令和3年度	3,835	4,790	8,625

上記の評価と課題等

医療機関での個別接種と、市内保健センターでの集団接種を合わせて実施し、接種を希望する市民に効率的に接種を進めることができました。

令和6年度から新型コロナウイルスワクチンの予防接種が、季節性インフルエンザなどと同じ「定期接種」と位置付けられました。個人の重症化予防を目的に、65歳以上の方などを対象に接種が秋から冬にかけて実施します。ワクチン接種を安全かつ円滑に実施ができるよう関係機関と連携するとともに、接種対象者への周知啓発を行います。

令和6年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書 ページ	131

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	2	予防費			
	事業	0104060	予防接種事業		施策	保健衛生の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
297,421,000	291,469,693	0	5,951,307	98.0%	
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
59,385,000		予防接種健康被害給付費負担金	2,600,000	マイナンバー情報連携体制整備事業補助金	116,000
		感染症予防事業費等国庫負担（補助）金	6,558,000	デジ田交付金（デジタル実装タイプ）	107,000
		造血細胞移植後のワクチン再接種費用助成事業県補助金	4,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	50,000,000	（地方消費税交付金（社会保障財源化分））	（64,000,000）

主要な施策（事務事業）の成果の概要			
1 定期予防接種			
（１）接種状況（主要事業 委託料：275,534,184円）			
個別予防接種	（接種等延べ人数）単位：人		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
B型肝炎	1,626	1,542	1,540
三種混合	0	0	0
二種混合	681	722	702
麻疹・風疹（MR）	1,273	1,218	1,208
日本脳炎	1,709	3,621	2,740
B C G	538	523	522
子宮頸がん（HPV）	545	623	1320
インフルエンザ 菌b（Hib）	2,171	2,069	2,129
小児用肺炎球菌	2,167	2,076	2,133
不活化（生）ポリオ	0	0	1
四種混合	2,257	2,119	2,232
水痘	1,150	1,060	1,016
ロタウイルス	1,176	1,114	1,157
高齢者肺炎球菌	1,268	902	1026
高齢者インフルエンザ	20,526	21,072	20,574
風しん※ （成人）	抗体検査	724	397
	予防接種	172	101
※風しん追加対策事業として、昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性を対象に、令和元年度から実施しています。			

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	2	予防費			
	事業	0104060	予防接種事業		施策	保健衛生の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

2 任意予防接種事業

- (1) 目的：任意予防接種（インフルエンザワクチン）に対して、費用の一部を助成することで、疾病予防及び重症化の予防を図りました。
- (2) 対象：小児（生後6か月から小学校6年相当まで）
妊婦（9月末時点で妊娠中の妊婦および10月1日から翌年1月31日までに妊娠届を提出または転入した妊婦）
- (3) 内容：任意予防接種（インフルエンザワクチン）に対して、小児は1回1,000円の支援券を1人2枚、妊婦は1回2,000円の支援券を1人1枚助成をしました。
- (4) 接種状況

	対象者	接種人数		接種率	
		1回目	2回目	1回目	2回目
小児	8,831人	3,874人	3,427人	44%	39%
妊婦	453人	137人		30%	

上記の評価と課題等

定期予防接種の対象者には、対象月齢（年齢）となる前に接種勧奨を行っています。また、未接種者に対しても、再度勧奨を行い接種率の向上に努めました。今後も、対象者が適正に接種できるように個人通知などにより周知を行い、混乱しないように接種勧奨を行います。

子宮頸がんワクチンについては、積極的勧奨を中止していた期間に接種機会を逃してしまった方へのキャッチアップ接種と、定期接種対象者に案内通知を発送しました。令和6年度末に接種期限を迎えるキャッチアップ接種及び定期接種の未接種者に対し受診勧奨を行います。

風しん追加的対策事業も令和元年度から令和6年度までの6年間となっており、未実施者にはクーポン等を発行するとともに、検査実施の勧奨を行います。

令和6年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康支援担当

決算書 ページ	131

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	3	母子保健衛生費			
	事業	0104090	母子保健事業		施策	結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
13,556,000	12,978,027		0		577,973	95.7%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
2,435,644		母子保健衛生費国庫補助金		127,000		
		医療施設運営費等補助金		1,572,000		
		乳幼児身体発育調査委託金		7,644		
		指定寄附金		729,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 母子保健事業

(1) 乳幼児健診・相談・教室

乳幼児が健やかに成長発達し、将来にわたる健康的な生活習慣の基礎ができるよう、各専門職が連携し健診や相談等を実施しました。また、保護者が見通しをもって育児に取り組めるよう、教室において情報提供を行うとともに、必要に応じて個別に相談を行いました。

歯科保健については、歯科口腔保健行動指針に基づき、事業を実施しました。

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実施回数 (回)	受診者数 (人)	実施回数 (回)	受診者数 (人)	実施回数 (回)	受診者数・ (受診率)
4か月児健康診査	36	535	24	540	25	533人 (98.2%)
1歳6か月児健康診査	36	640	24	556	24	559人 (98.9%)
3歳児健康診査	36	626	24	663	29	647人 (98.0%)
10か月児健康相談	35	537	24	546	24	515人 (97.9%)
2歳児健康相談	32	641	24	561	24	589人 (96.9%)
育児教室	24	362	24	364	24	371人
離乳食教室	24	303	24	328	24	334人
親子歯科教室	24	412	24	448	24	414人
育児支援相談	8	延11	5	延7	17	延28人
乳幼児クリニック	11	延17	14	延44	13	延39人
保育施設視力検査(年中児)	22施設	692	22施設	710	22施設	630人
フッ化物洗口	39施設	7,676	39施設	7,514	39施設	7,337人
訪問指導(乳幼児・学童)		延160		延124		延163人
随時相談(電話)		延629		延742		延781人
随時相談(来所相談)		延313		延407		延523人

*健診等未受診者に対しては、地区担当保健師が保護者へ連絡し状況把握を行うとともに、個別に相談や訪問で対応しました。また、保護者が育児に困難を感じるなど、専門的な支援が必要な場合は、子ども家庭支援課と連携を図っています。

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	3	母子保健衛生費			
	事業	0104090	母子保健事業		施策	結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（2）妊婦歯科健診

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者（人）	218	200	205
妊婦数（人）	601	577	500
受診率（％）	36.3	34.7	41.0

*妊婦数については、各年度末までに妊娠届を提出した妊婦数としました。
（妊婦の転入者を含みます。）

上記の評価と課題等

将来にわたり健康的な生活習慣の基礎ができるよう、また保護者が児の発達発育について見通しをもち安心して子育てが行えるよう、健診や相談等を実施しました。

社会情勢の変化等により支援を必要とする対象者が増えています。母子保健事業においても虐待予防の視点を持ちながら個別の対応ができるよう、今後も、必要に応じて関係機関と連携を図り、継続的な支援を行う必要があります。

令和6年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書 ページ	131

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	3	母子保健衛生費			
	事業	0104130	未熟児養育医療事業		施策	結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
10,906,000		10,800,595		0		105,405		99.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
7,961,469			養育医療国庫補助金（前年度精算分）		189,136					
			養育医療国庫補助金		3,642,500					
			養育医療県補助金		2,222,243					
			未熟児養育医療費徴収金		1,907,590					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 未熟児養育医療事業（主要事業 扶助費：10,796,563円）

母子保健法第20条の規定に基づき、養育（出生体重2000グラム以下の乳児または、医師が入院による養育を必要とした場合）のため病院または、診療所に入院することを必要とする未熟児に対し、医療の給付を行うため、国（1/2）・県（1/4）からの補助を受け、該当者から所得等に応じた負担金を徴収し実施しています。

年度別申請者数等の状況

区 分	令和3年度	令和4年度	令和5年度
給付実人員	17人	25人	55人
延べ給付件数	56件	45件	104件
給付金額	6,537,860円	4,659,637円	10,796,563円

上記の評価と課題等

対象となる乳児に必要な医療の給付を行うことにより、対象児の健康増進と保護者への経済的支援を行います。引き続き関係部署と連携して、円滑に事業を推進します。

（令和5年度 多胎児（6組12人）、長期入院者等により給付人員・給付金額が増となった）

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	3	母子保健衛生費			
	事業	0104131	母子・子育て支援事業		施策	結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3 産婦健康診査（主要事業 委託料：5,170,000円）

産後うつ等の早期発見と産後の継続支援を目的に健康診査を県医師会・県助産師会に委託し、実施しています。産婦健康診査受診券を交付し、健診料金を助成しています。

（1回上限5,000円 2回分：概ね産後2週間および1か月時）

（単位：件）

令和3年度	令和4年度	令和5年度
575	535	566

* 県外受診を含む

4 乳児一般健康診査（主要事業 委託料：2,162,390円）

出生後に乳児一般健康診査受診票を送付しました。健康診査は県医師会に委託し、健診料金を補助しています。（1枚 5,990円/人）

（単位：人）

令和3年度	令和4年度	令和5年度
402	400	361

* 受診は生後3～11か月が対象、受診者には集団健診は含みません。

5 新生児聴覚検査（主要事業 委託料：2,490,470円） ※令和5年度からの新規事業

出産後に産科医療機関等で実施する新生児聴覚検査の検査費用を助成し、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、疾病の早期発見、早期治療のため検査の推進を図ります。

（1）対 象：令和5年4月1日～令和6年3月31日生まれ

（2）助 成 額：上限5,500円 助成券 1枚交付

（3）助成件数：473件（令和6年3月31日までの件数）

6 オプショナル新生児スクリーニング検査費助成（主要事業 扶助費：2,598,550円）

オプショナル新生児スクリーニング検査（原発性免疫不全症、脊髄性筋萎縮症等）の検査費用を助成し、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、疾病の早期発見、早期治療のために検査の推進を図ります。

（1）対 象：令和5年4月1日～令和6年3月31日生まれ

（2）助 成 額：自己負担の全額 ※ 県内は一律 6,000円

（3）助成件数：444件（令和6年3月31日までの件数） ※令和4年度は122件

7 産後ケア事業（主要事業 委託料：6,798,580円）

出産後の育児不安等により支援が必要な産婦と乳児を対象に、医療機関や助産所で宿泊、通所、また、自宅への訪問によって母体の管理や育児指導を行い、育児不安等の軽減と母のセルフケア能力の向上を図ります。令和5年度より宿泊型に加え、通所型、訪問型を拡充しました。

利用型	利用可能期間	利用日数・回数・時間等
宿泊型	出産による入院終了後120日以内	1泊2日から6泊7日
通所型	出産による入院終了後180日以内	7回まで（半日、1日合算）
訪問型	出産による入院終了後180日以内	40時間まで（1回の訪問につき2時間まで、1日2回の訪問を上限）

費用の8割を助成します。

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	3	母子保健衛生費			
	事業	0104131	母子・子育て支援事業		施策	結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

その3

主要な施策（事務事業）の成果の概要

8 母乳相談等助成事業（主要事業 委託料：470,000円）

委託医療機関・助産所で実施する母乳相談などの費用の一部を助成しています。申請により2,000円の助成券を2枚交付し有効期限は産後1年未満です。

○産後ケア事業・母乳相談等助成事業利用実績（単位：件）

事業名	産後ケア事業			母乳相談等助成
	宿泊型	通所型	訪問型	
令和5年度	37 (33)	30 (24)	70 (65)	延235
令和4年度	28 (27)			延269
令和3年度	36 (31)			延275

*産後ケア事業は申請件数。（ ）：利用実人数

9 母乳・育児相談（主要事業 報償費：1,760,692円）

市内3か所の保健センターで月3～4回開催し、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、助産師等の専門職が育児等に関する相談を実施します。（ただし、6月～3月は豊科保健センター改修工事のため、実施せず）

令和3年度	令和4年度	令和5年度	（単位：人）
延1,576	延1,631	延1,714	

10 出産子育て応援給付金事業（主要事業 委託料・扶助費等：68,111,660円）

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう相談に応じ、必要な支援を行うとともに、経済的支援を一体的に行う事業です。

妊娠届時の面談と新生児訪問等の面談を実施後に申請により給付します。

（1）伴走型相談支援

妊産婦及び新生児等を対象に、家庭訪問等を実施しました。（単位：人）

事業名	パパママ相談（訪問）	産婦・新生児等訪問指導
令和5年度	延171	延574

（2）出産・子育て応援給付金の給付 ※令和5年3月1日給付開始

給付額：出産応援給付金は妊婦に対し妊娠1回につき50,000円給付

子育て応援給付金は養育者の児童1人に対して50,000円給付

（単位：件）

給付件数：	令和5年度	1,292
	令和4年度	982

上記の評価と課題等

妊娠期から乳児期までの健康の保持増進・疾病等の早期発見と経済的負担の軽減を目的に、個別健康診査及び検査の助成を実施しました。

妊娠から出産・子育てまで多様な課題を抱える対象者がいるため、個々の状況に応じた支援や対応が必要です。多様な相談内容に対応できるように関係機関や関係部署とスムーズな連携体制を確保し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を目指します。

令和6年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書 ページ	139

予算	款	4	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	8	診療所費			
	事業	0104200	夜間急病センター運営費		施策	保健衛生の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
23,217,000	21,750,140		0		1,466,860	93.7%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名		金 額	細 節 名	金 額
8,729,422		夜間急病センター診療手数料		7,225,982		
		夜間急病センターその他手数料		4,440		
		小児初期救急医療体制整備補助金		1,499,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 夜間急病センター運営費

（主要事業 報酬・報償費・需用費・役務費・委託料・使用料及び賃借料：21,186,533円）

夜間の急病患者（主に内科・小児科）に対する1次救急を行うため、安曇野市医師会に加入している医師が当番制で診察を行っています。

- （1）診療科目 小児科・内科
- （2）診療日 月～土曜日
- （3）休診日 日曜日、祝日、年末年始（12/31～1/3）、お盆（8/14～8/16）
- （4）診察時間 午後7時～10時
- （5）職員体制 ・医師 1人 ・看護師 1人 ・事務者 1人
（ただし、インフルエンザ等流行時期の繁忙期は複数人で対応）
- （6）診療日数 291日

○ 年齢別利用者の内訳

（単位：人）

年 齢	令和3年度	令和4年度	令和5年度
0～5歳	85	74	135
6～10歳	51	38	87
11～19歳	23	24	142
20～39歳	29	23	121
40～59歳	39	43	117
60歳以上	34	26	56
総数	261	228	658

上記の評価と課題等

新型コロナウイルス感染症発生時から令和4年度まで、受診者数は減少していましたが、5類に移行となり、夜間急病センターにおいても発熱者の受け入れを行い受診者数は増えてきました。

夜間に医療が受けられることは、市民にとって安心につながります。感染予防に努めながら、今後も安心して医療サービスが受けられることができるよう、運営に関して夜間急病センター運営協議会で検討し、関係機関と連携を図りながら地域医療体制を考えていきます。

令和6年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書 ページ	107

予 算	款	3	民生費	総 合 計 画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		目 標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費			
	事業	0103120	国保会計繰出金		施策	健康づくりの推進

單位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
600,891,000	600,889,598	0	1,402	100.0%
特定財源の決算額	左記の内訳	金額	金額	金額
355,051,175	保険基盤安定国庫負担金	86,841,084		
	保険基盤安定県負担金	268,210,091		
			(地方消費税交付金（社会保障財源化分）)	(73,000,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険特別会計繰出金の各繰出科目と金額は次の表のとおりです。

区 分		令和5年度決算額(円)
保険基盤安定分	保険税軽減分	299,719,400
	保険者支援分	169,849,616
	未就学児軽減分	3,705,375
	産前産後保険税繰入金	127,178
出産育児一時金分		12,493,253
財政安定化支援事業		58,887,776
事務費分		56,107,000
支出合計		600,889,598
保険基盤に対する負担金収入	国	86,841,084
	県	268,210,091
収入合計		355,051,175

上記の評価と課題等

国民健康保険事業の実施により法令等で定められた額を繰出し、国保加入者の負担を軽減することができました。

令和6年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書 ページ	111

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	2	老人福祉費			
	事業	0103200	後期高齢者医療事業		施策	健康づくりの推進

単位：円					
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	
1, 522, 581, 000		1, 522, 548, 007		0	
特定財源の決算額		執行率 ②/①		32, 993	
213, 942, 160		100. 0%			
左記の内訳	細節名		金額	細節名	
	後期高齢者医療保険基盤安定負担金		206, 902, 060		
	後期高齢者健康診査事業補助金		7, 040, 100		
				(地方消費税交付金(社会保障財源化分))	
				(391, 000, 000)	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1. 事業の成果					
後期高齢者医療の運営に必要な療養給付費が安定的に確保できることで、保険者である長野県後期高齢医療広域連合の健全な事業運営を保つことができています。					
団塊世代の後期高齢者医療への加入による被保険者数の増加に伴い、令和5年度人間ドック受診者数も前年比増となりました。					
国保被保険者から後期高齢者医療被保険者まで連続して集積した結果データ等の分析を、第3期国保データヘルス計画策定に活用しました。また、受診結果データをもとに行う一体的実施事業等における個々の保健指導等に活用し、介護予防・重症化予防のための支援に繋げることができました。					
2. 支出内容及び制度の概要					
(1) 後期高齢者医療人間ドック受診費用助成：助成額 31,737,000円					
国保人間ドックと同様、助成券発行により助成額を差し引いた自己負担分を医療機関窓口で支払う助成券方式と受診費用を全額支払った後に助成する償還払い方式を採用し、助成しました。					
単位：延べ助成件数					
	1 日 ドック	1 泊 ドック	ドックと同一年度に受ける脳ドック	脳ドック(単独 ほか)	合 計
令和5年度	1,301	54	435	20	1,810
令和4年度	1,073	48	360	16	1,497
令和3年度	922	50	284	18	1,274

上記の評価と課題等

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、決められた負担金を延滞なく後期高齢者医療広域連合へ納入することができ、健全な運営が保たれています。	
人間ドック等受診に対する助成件数は、前年比 314件増加しました。	

令和6年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書 ページ	113

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	3	国民年金事務費			
	事業	0103210	国民年金事務費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
64,625,000	62,170,728		0		2,454,272	96.2%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
26,175,000		国民年金事務委託金		26,175,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1. 国民年金適用事務
- ・被保険者 総数 14,312人（令和6年3月31日現在）
 - 第1号被保険者 9,208人
 - 任意加入被保険者 152人
 - 第3号被保険者 4,952人

- ・国民年金保険料免除被保険者数

区 分	法定免除	申請免除 (全額)	申請免除 (3/4)	申請免除 (1/2)	申請免除 (1/4)	学 生 納付特例	納付猶予	免除者総数
令和5年度	1,096	1,141	73	65	32	855	369	3,631
令和4年度	1,052	1,175	84	70	36	894	393	3,704
令和3年度	1,051	1,158	95	80	41	896	375	3,696

2. 国民年金給付業務に係る取扱件数

年金種別	令和3年度	令和4年度	令和5年度
老齢基礎年金裁定請求	5	3	5
障害基礎年金裁定請求	20	34	29
遺族基礎年金裁定請求	—	—	2
未支給年金請求	753	705	738
死亡一時金裁定請求	10	10	9
年金生活者支援給付金請求	22	19	34
合計	810	771	817

上記の評価と課題等

法定受託事務として、国民年金被保険者の各種資格届出や保険料の免除申請等を多数扱い、日本年金機構に提出し、被保険者の利便性の確保を図りました。

農林部

令和6年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農業政策担当

決算書 ページ	145

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	2	農業総務費			
	事業	0106030	農業総務費		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
156, 141, 000	151, 305, 575		0	4, 835, 425	96. 9%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名	金 額	細 節 名	金 額
2, 170, 000		元気づくり支援金	2, 170, 000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 農業振興事業一般管理事務（146,445,765円）
職員給料・手当・共済費・賃金・需用費・公用車管理・補助金等
- 安曇野市農業農村振興計画推進委員会運営（4,855,765円）
出席謝礼・費用弁償・事務事業委託料
23名の推進委員による委員会を2回開催しました。
委員会では、農業農村振興計画に位置付けられた前年度事業の進捗状況の点検・評価、令和6年度に向けた取り組みの目標策定及び第3次計画重点プロジェクト（内容）の見直しを行いました。
また、本計画の実現性・実効性を高めるための、信州大学と連携し、現状調査・分析等を行った結果を推進委員会に報告しました。
本計画は第1次計画から引き継いできた「稼ぐ」「守る」「農と生きる」の3つの施策の柱を継承し、「田園風景と共生する農と暮らし～次世代へつなぐ、ゆたかな安曇野～」を受け継ぎ基本理念としています。

上記の評価と課題等

市農業農村振興計画の推進にあたり、PDCAのチェック機関として推進委員会から第三者的視点で点検評価を行ってもらい、進捗状況の確認と、今後の課題に対する振興策を検討し、実行に移していきます。

令和6年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農業政策担当

決算書 ページ	147

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	2	農業総務費			
	事業	0106040	農業振興地域整備促進費		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
528, 000	419, 496		0		108, 504	79. 5%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名		金 額	細 節 名	金 額
3, 600		農振関係証明手数料		3, 600		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市農業振興地域整備計画に基づく農業の総合的振興を図ることを目的として、計画変更に係る申し出の受付を、年2回（前期・後期）行いました。また、2アール未満の用途変更は、随時受付を行っています。

- 前期農業振興地域整備計画変更の概要（受付期間：令和5年5月22日～6月20日）
 - 受付状況
 - 除 外 24件 38,078㎡
 - 用途変更 3件 4,249㎡（2アールを超える案件）
- 後期農業振興地域整備計画変更の概要（受付期間：令和5年11月20日～12月20日）
 - 受付状況
 - 除 外 20件 29,672㎡
 - 用途変更 3件 1,713㎡（2アールを超える案件）
 - 編 入 1件 1,000㎡
- 随時受付（2アール未満の用途変更）による農業振興地域整備計画変更の概要
 - 受付状況 16件 2,370.91㎡
- 市農業委員会意見聴取
 - 開催状況 令和5年7月31日（前期） 令和6年1月31日（後期）
- 市農業振興地域整備促進協議会の開催
 - 開催状況 令和5年7月31日（前期） 令和6年1月31日（後期）

上記の評価と課題等

農振除外の要件の一つである土地改良事業受益期間（8年未経過）から外れる地域が多くなり、農家の高齢化、後継者不足等から農地を転用したい相談が多くなってきています。また、経営基盤強化促進法の一部改正に伴い農振法の除外要件が5要件から6要件となりました。今後も農振法に基づき適正な計画変更を行うよう取り組んでいきます。

令和6年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書 ページ	147

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	3	農業振興費		施策	担い手の確保と農地の有効利用
	事業	0106060	農業生産振興費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
16,434,000	16,006,632		0		427,368	97.4%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
13,122,474		環境保全型農業直接払交付金		2,281,950		
		産地パワーアップ事業		210,524		
		国産小麦・大豆供給力強化総合対策事業		10,630,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

<市農業再生協議会実施事業> 市交付金 1,656,655 円 農家・JA・農業農村支援センター・農業共済組合・市・市農業委員会が連携し、農業技術等の向上を図るため、検証事業を実施しました。 【米穀類生産振興事業】 黒豆生産振興事業 他5事業 【そ菜生産振興事業】 農業技術指導支援事業 他2事業 【果樹生産振興事業】 りんご作業支援者技術向上サポート事業 他4事業 【花卉生産振興事業】 花き病虫害及び品質向上事業 他2事業 【畜産振興事業】 安曇野牛ブランド化推進事業	<水田機能維持・地力増進推進事業負担金> 11,684,588 円 麦収穫後のほ場を湛水し、地力増進、抑草等の効果について検証を実施しました。
<環境保全型農業直接支払交付金> 3,042,600 円 地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動（有機栽培・カバークロップ等）に取り組む農業者へ対して14,000円/10aを上限に国(1/2)・県(1/4)・市(1/4)を補助しました。 【令和5年度実績】 対象面積：3,674a 交付金：3,042,600円（内訳：国1,521,300円・県760,650円・市760,650円）	<国産小麦・大豆供給力強化総合対策事業> 10,603,000 円 麦・大豆の増産を目指す生産者が「生産性向上の推進」と「営農技術等の導入」に取組み、団地化・ブロックローテーションに必要な62ほ場の水路の改修、水田止水機を設置しました。

上記の評価と課題等

<市農業再生協議会取組み事業> 農家の所得向上と農作業の省力化等を目的とした検証事業を実施し、実績報告書としてまとめ関係機関へ配布しました。また、安曇野市農業再生協議会のホームページへも掲載し、市民の皆さんへの周知を図りました。農業農村支援センターやJA等関係機関と情報共有を図り、農業者の生産活動に寄与する事業に焦点を絞った検証を行い、農業者の所得向上に繋げていきます。	<環境保全型農業直接支払交付金> 安全・安心な生産物を求める消費者が増えています。また、生産者についても環境へ配慮した営農が求められています。引き続き国や県、JA等と連携を図り、適切な情報提供に努めます。

令和6年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書 ページ	147

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	3	農業振興費			
	事業	0106080	畑作園芸振興事業		施策	生産振興と販売力の強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
117,099,000	112,075,616		0		5,023,384	95.7%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
83,628,687		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		21,941,000		
		きのこ培地資材価格高騰緊急対策事業		4,460,000		
		農作物等災害緊急対策事業補助金		7,227,687		
		ふるさと寄附基金繰入金		50,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

<市農業振興作物等推進事業> 63,390,789円

1 生産振興作物支援事業 12,789,295円

経営所得安定対策の実績を基に、予算の範囲内で補助金を交付しました。（申請額が予算額を上回ったため、基本単価を調整して交付）

対象作物	交付対象	基本単価	交付金額
重点作物 玉ねぎ、ジュース用トマト、黒豆	約82.4ha	10a 当たり 10,731円	8,843,299円
産地化加算 玉ねぎ、ジュース用トマト、黒豆	約67.7ha	10a 当たり 6,438円以内	3,811,050円
ブランド推進（黒豆）	約3,213kg	1kg 当たり 42円以内	134,946円
合 計			12,789,295円

2 担い手支援対策事業 34,392,636円

対象作物	交付対象	基本単価	交付金額
担い手助成 麦・大豆・そば・飼料用米	約1088.0ha	10a 当たり 2,861円以内	29,287,633円
団地化加算 麦・大豆・そば・飼料用米	約293.0ha	10a 当たり 1,788円以内	5,105,003円
合 計			34,392,636円

3 玉ねぎ振興事業 6,487,458円

玉ねぎ生産推進のため、苗及び苗植機械の購入費に対し支援を行いました。

	件数	補助率	交付金額
機械植え用苗代補助	53	3分の1	5,647,125円
機械購入補助	1	3分の1	711,333円
玉ねぎ祭り苗代補助金	3	3分の1	129,000円
合 計			6,487,458円

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	3	農業振興費			
	事業	0106080	畑作園芸振興事業		施策	生産振興と販売力の強化

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

4 きのか培地資材価格高騰対策事業 4,460,000円
新型コロナウイルスや円安の影響による輸入原料の価格上昇により、きのか培地資材価格が高騰したため市内きのか生産者へ、県の補助事業によりきのか培地資材費の一部を支援しました。

5 収入保険加入促進事業 5,261,400円 令和5年度対象農家：174件
自然災害による収量減収や価格低下をはじめ、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクに備えるため、「収入保険」への加入促進を図るため、掛金の助成を行いました。

6 肥料価格高騰対策事業 21,941,230円
肥料価格の高騰による農業経営への影響の緩和を図ることを目的とし、令和4年6月から令和5年5月までに販売された肥料価格の、前年度から増加した金額に対し、その7割を国が、残りの3割を県と市が上乗せ支援を行いました。

<果樹生産農家支援事業> 22,252,504円

1 果樹共済掛金助成事業 1,847,300円 令和5年度実績：123件
近年、異常気象による自然災害の発生リスクが高まる中、果樹農家の経営安定及び「果樹共済」への加入促進を図るため、掛金の助成を行いました。

2 果樹新植支援事業 5,949,829円
果樹栽培面積拡大のため、苗木購入費、果樹棚の設置費及び未収益期間（4年間）について支援を行いました。

補助内容	申請件数	対象	補助金額	摘要
苗木代補助	5	761本	398,168円	補助率1/3
棚代補助	4	7,725㎡	1,927,781円	補助率1/3
未収益期間補助	26	72,478㎡	3,623,888円	50千円/10a(4年間)

3 凍霜害対策緊急支援事業 14,455,375円
令和5年4月の凍霜害により甚大な農作物被害が発生し、長野県においても農作物等災害緊急対策事業が適用されました。そのため、安曇野市においても被害果実の有利販売に係る共同貯蔵・共同輸送や販売促進に係る経費の一部を支援しました。

上記の評価と課題等

<市農業振興作物等推進事業>

玉ねぎの交付対象面積は42.5haと前年と比較すると5.9ha減少しました。引き続き、その他の作物も含めた生産拡大に向けた取組みをJA・生産者と進め、次期農業・農村振興計画の策定に向け振興作物品種等について検討します。

<果樹生産農家支援事業>

共済掛金の1/3に対して助成をしており、果樹農家の加入率は結果樹面積対比で20.4%となっています。果樹共済と同様の救済制度となる収入保険制度と併せ、加入率の増加に向けて長野県農業共済組合と連携しながら取り組んでいきます。

新植による面積は、穂高・三郷・堀金地域を主に1.4haが拡大されました。今後も国の補助事業と連携しながら果樹栽培面積の拡大を目指します。

令和6年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農業政策担当

決算書 ページ	149

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	4	消費拡大対策費			
	事業	0106100	消費拡大対策事業		施策	生産振興と販売力の強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
24,349,000	22,649,767		0		1,699,233	93.0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
4,698,000		デジ田交付金（地方創生推進タイプ）		2,420,000		
		元気づくり支援金		2,278,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

農産物等販路拡大事業（22,649,767円）
海外での安曇野市産農産物用の販路拡大を図るため、シンガポールでの市長トップセールスを兼ねた試食会、生産事業者による現地日系スーパーでのテストマーケティングを実施しました。特急あずさ号を活用して運搬し販売する「安曇野市×あずさマルシェ」開催に合わせて、(株)ルミネが取り組む農業プロジェクト「ルミネアグリプロジェクト」と連携したマルシェ開催にしたことで、生産者自らが首都圏の生活者に対して安曇野市の農産物等を宣伝する機会を設けました。銀座NAGANOを活用し、安曇野市に移住しECサイトで販売を行う農業者と首都圏消費者との交流イベントを開催し、移住促進とECサイトによる農産物等の販売促進を図りました。インターネットを活用した通販サイトでの販売補助を行い、販路拡大につなげることで生産者の収益拡大を目指しました。その他、関西圏でのPRイベントや、友好都市イベントなどに積極的に出展することで安曇野市産農産物の魅力発信や販売促進につながることを目指しました。

産直センター運営事業は、一般社団法人豊科開発公社へ委託し、アンテナショップを通じて、安曇野産農産物のPRを行い、ふるさと納税返礼品や野菜BOXの発送業務を行いました。

- (1) 農産物等販路拡大事業12,639,513円
- (2) 農家通販サイト出店手数料補助金（10件）898,870円
- (3) 安曇野市農業再生協議会交付金3,097,284円
- (4) 産直センター運営支援事業5,974,100円
- (5) 長野県農産物等輸出事業者協会負担金40,000円

上記の評価と課題等

「安曇野市×あずさマルシェ」では昨年度に引き続き朝採れスイートコーンの販売をしましたが好評でした。訴求力が高い農産物であるため、他地域での販売も模索します。また、生産者がマルシェに参加し直接商品説明することで消費者の購買意欲向上につなげることができたため、今後も積極的に参加を募っていきます。シンガポールでの安曇野市農産物等プロモーションでは、試食会等で現地の反応が良かった「わさび」をメインにAZUMINOブランドの発信をしていきます。販路拡大に意欲のある生産者に対し「通販サイト出店補助事業」「マルシェ出店補助事業」「海外物産展等出店補助事業」を積極的に情報発信し、収益増加につなげていきます。

令和6年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農業政策担当

決算書 ページ	149

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	4	消費拡大対策費		施策	生産振興と販売力の強化
	事業	0106110	直売加工施設運営事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
32,391,000	31,190,857		0	1,200,143	96.3%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,221,263		各直売所等施設利用料	5,350,000		
		堀金産地形成促進施設基金繰入金	1,859,000		
		堀金産地形成促進施設基金利子	12,263		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 豊科南部地区産地形成促進施設（1,459,700円）
豊科南部地区新鮮市組合（旬彩市）に指定管理し、効率的な管理運営に努めました。
(1) 建具修繕304,700円、(2) 外壁塗装工事1,155,000円
- 豊科農産物加工交流センター（1,390,000円）
豊科農産物加工交流センター管理運営委員会に指定管理し、効率的な管理運営に努めました。
(1) 指定管理委託料1,390,000円
- 穂高農業活性化施設（13,605,174円）
穂高農業活性化施設（Vif穂高、こねこねハウス、穂高農産物加工所）は、企業組合Vif穂高に指定管理し、一体的な管理に努めました。
(1) 施設修繕費（漏水、ショーケース、排水管）863,346円、(2) 指定管理委託料6,202,000円、
(3) 借地料（こねこねハウス 1,454㎡）939,178円、(4) 備品購入（冷凍冷蔵庫、暖房器具）892,650円、
(5) 工事請負・設計監理（Vif穂高、こねこねハウス）4,708,000円
- 三郷産地形成促進施設（1,277,282円）
㈱三郷サラダ市に指定管理し、効率的な管理運営に努めました。
(1) 施設修繕費（舗装修繕）803,000円、(2) 借地料（1,209㎡）474,282円
- 三郷畜産活性化施設（1,672,000円）
㈱綿半三原商店に指定管理し、効率的な管理運営に努めました。
(1) 工事請負費（ウッドデッキ修繕）1,672,000円
- 堀金物産センター及び堀金農産物処理加工施設（8,890,263円）
堀金物産センター、堀金農産物処理加工施設は、農事組合法人旬の味ほりがね物産センター組合に指定管理し、効率的な管理運営に努めました。
(1) 指定管理委託料1,234,000円、(2) 借地料（5,675㎡）3,445,000円、
(3) 工事請負費（入口ドア）671,000円、(4) 備品購入費（オープンショーケース）1,188,000円、
(5) 積立金（基金積立金、基金積立金利子）2,352,263円
- 明科農産物加工交流施設（2,836,178円）
あかしな農産物加工交流ひろば組合Ebeya（えべや）に指定管理し、効率的な運営に努めました。
(1) 指定管理委託料2,596,000円、(2) 借地料（943㎡）240,178円
- 旧三田工業団地食堂（60,260円）
旧三田工業団地食堂の消防設備等の維持をしている。
(1) 消防設備点検11,000円、(2) 消火器交換49,260円

上記の評価と課題等

直売加工施設の指定管理を行い、施設修繕や備品購入を計画的に進め、引き続き効率的な管理運営に努めます。指定管理の期間満了に伴う更新手続きを行い、施設運営の継続を図りたい。

令和6年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書 ページ	149

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	5	農業交流促進費		施策	担い手の確保と農地の有効活用
	事業	0106115	市民農園事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
529,000	515,808		0		13,192	97.5%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名		金 額	細 節 名	金 額
371,200		市民農園利用料		371,200		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 市民農園事業

市民の農ある暮らしの充実を図るために、市民農園の運営・管理を行いました。

(1) 市民農園の開設状況

地 域	箇所数	区画数	面積(m ²)	借地料(円)
豊 科	5	107	6,597	197,910
三 郷	3	99	6,661	121,670
堀 金	1	36	1,974	59,220
計	9	242	15,232	378,800

(2) 市民農園の利用状況

地 域	利用者数(人)	区画数	利用区画数	利用率(%)	利用料(円)
豊 科	90	107	106	99.1	179,200
三 郷	65	99	96	97.0	134,400
堀 金	27	36	36	100.0	57,600
計	182	242	238	98.3	371,200

(3) ハイジの里市民農園（あづみ農業協同組合所有）

市の補助金を活用し平成29年4月1日に開設しており、市民農園事業における相互の発展のため、連携・協力する覚書を締結しています。JAあづみ営農指導員による栽培講習会を実施するなど、初心者の方が気軽に参加できるような取り組みを行いました。

上記の評価と課題等

市管理の市民農園の利用率は、令和6年3月31日現在98.3%でありました。
引き続きホームページや広報誌を活用し空き区画の案内・募集を行い、利用率の維持・向上を図っていきます。
また、畦畔や通路の草刈等の整備を進めたり、利用者への農園の利用方法の周知を徹底させたりして、利用しやすい市民農園の運営を目指します。

令和 6 年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農業政策担当

決算書 ページ	151

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	5	農業交流促進費		施策	生産振興と販売力の強化
	事業	0106120	農村都市交流促進事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
7,705,000	7,280,954		0		424,046	94.5%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名		金 額	細 節 名	金 額
220,240		小倉多目的研修集会施設使用料		220,240		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 三郷やすらぎ空間施設運営事業（3,522,140円）
株式会社かまくらやに指定管理し、効率的な管理に努めました。
(1)施設修繕費（看板修繕）299,640円、(2)指定管理委託料893,000円、
(3)借地料（4,659㎡）2,329,500円
- 小倉多目的研修集会施設運営事業（1,338,814円）
令和3年度から市が直接管理しています。
(1)需用費（消耗品費、光熱水費、施設修繕等）884,142円、(2)役務費（電話料等）39,517円、
(3)委託料（清掃業務、消防点検業務等）415,155円
- 農家民宿（2,420,000円）
中学校2校の日帰り農業体験と大学ゼミの民泊1件を受け入れることができ、協議会としての活動を再開することができました。また、協議会員相互の情報交換の機会を設け、次年度以降の受入に対する意識高揚につなげました。
(1)安曇野市農家民宿連絡協議会負担金2,420,000円

上記の評価と課題等

・三郷やすらぎ空間施設は、指定管理による農村都市交流施設の設置目的に沿った効率的な管理運営に努めます。

・小倉多目的研修集会施設は指定避難所でもあるため、必要最小限の費用で施設維持を図ります。

・農家民泊は、日帰り農業体験を受け入れることができ、協議会としての活動を再開することができました。ただ、新型コロナによる受入中止期間中に会員が減少したため、民泊再開には受入農家の確保が急務ですので、新規農家勧誘のための説明会等を実施するほか、個別勧誘、広報などを使用した農家民泊事業の情報発信を行います。

令和6年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書 ページ	153

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	6	農村集落支援費			
	事業	0106160	担い手支援事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
22,456,000		20,743,794		0		1,712,206		92.4%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
6,561,327			農業経営基盤強化資金利子助成事業補助金		36,327					
			経営体育成事業		6,525,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 人・農地プラン、地域計画
実質化した人・農地プランについて、人・農地プラン全体検討会を開催してプランの精査・見直し・更新を行いました。
令和5年4月に「農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律」が施行されたことに伴い、地域における農業の将来の在り方等について協議を開始し、農用地の効率的かつ総合的な利用を図るため「地域計画」の策定を進めました。
- 経営体育成事業（国庫） 3,000,000円
農地利用効率化等支援交付金事業により、将来の農地の集約化に向けて経営改善に取り組む農家1経営体が導入するコンバイン1台の購入費に対する補助。（補助率3/10以内）
- 集落営農組織等機械施設整備支援事業 8,794,000円
集落営農組織が取得する農業用機械・施設に対し補助金を交付しました。
補助率3/10以内、上限300万円、交付実績9件（コンバイン、パイプハウス、トラクター、ウィンゲハロー等）
- 集落営農組織支援事業 3,907,878円
集落営農組織の地域の農業振興の取り組みに対し補助金を交付しました。
交付実績24組織
交付額：経営面積に応じ5、8、10万円、法人化等の取組内容に対し2万円を加算
ブロックローテーション取組加算3,000円/10a
- 集落営農活性化プロジェクト促進事業（国庫） 3,525,000円
集落営農組織が定めた5年後のビジョン実現に向けた具体的な取組を支援しました。
農業用機械の導入は補助率1/2以内、トラクター1台の購入費に対する補助。

上記の評価と課題等

地域農業を担う認定農業者や集落営農組織などを支援することで所得確保や経営力アップにつながっているとともに、農業・農村の活性化や農業の持つ多面的な機能の維持・向上につながっています。今後も地域農業の維持のために担い手の確保・育成が重要です。

集落営農組織の構成員の高齢化が課題となっているので、法人化や後継者確保のための県・国の支援制度等の情報提供を図っていきます。

「農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律」の施行に伴い、従来の「人・農地プラン」が法定化され「地域計画」となります。令和6年度末までに地域計画を策定する必要があるため、地域での協議等を、農業委員等と連携して引き続き実施します。

令和6年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書 ページ	153

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	6	農村集落支援費		施策	担い手の確保と農地の有効利用
	事業	0106170	後継者育成事業			

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
42, 203, 000		41, 457, 263		0		745, 737		98. 2%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
28, 346, 231			新規就農者住宅使用料		480, 000					
			農業次世代投資資金（経営開始型）		20, 717, 231					
			新規就農者育成総合対策・経営発展事業		7, 149, 000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 新規就農者育成総合対策（経営開始資金）（国庫） 20,717,231円
経営が軌道に乗るまでの間、新規就農者に対して最長5年間（R4からは3年間）給付金を支給しています。（H24～）
給付額：150万円/年以内、交付実績15人
- 親元就農支援金 5,800,000円
認定農業者である親元等に就農した者（後継者）に対して最長5年間支援金を支給しています。（H25～） 給付額：20万円/年、交付実績29人
- 親元就農機械施設等補助金 2,800,000円
2の親元就農支援金受給者に農業用機械・施設の整備費用を補助しました。（H25～）
補助率：3/10以内、上限100万円、交付実績5件（田植え機、トラクター等）
- 新規就農者支援事業 600,000円
新規就農者の賃貸住宅に係る賃借料を補助しました。（H28～）
給付額：10,000円/月、期間：最長3年間、交付実績5人
- 新規就農者育成総合対策・経営発展事業（国庫）7,149,000円
新規就農者2名が導入する夏秋いちごハウス用の多目的高圧微細霧システム及びぶどう用雨よけハウス一式購入費に対する補助金。（補助率3/4以内）

上記の評価と課題等

農業経営者の高齢化と後継者不足が進行している中ですが、上記の施策を活用して新規参入者・農業後継者を確保しています（令和5年度は10人が新規就農）。
令和5年度の新規就農相談数は48件でした。国の新規就農者育成総合対策経営開始資金の情報は周知され、交付金を活用を希望する新規就農者の相談も増加しています。
また、担い手農家の後継者を確保するとともに、専業農家に限らず農ある暮らしのPRも継続し、農業関係人口の増加を図る必要があります。

令和6年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当・農業政策担当

決算書 ページ	153

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	6	農村集落支援費			
	事業	0106175	職農教育推進事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
621,000	538,013		0		82,987	86.6%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名		金 額	細 節 名	金 額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 農業塾等農業者育成活動支援事業 337,000円
新たな農業者の育成及び農に触れる機会の創出を目的に、農業技術の指導を行っている農業塾や体験農場の活動に対し補助金を交付し支援しています。
① あかしな農業塾 185,000円
② 烏川体験農場 152,000円
- 南農高校連携事業 201,013円
平成27年に市と南安曇農業高等学校が、農業の振興や人材育成を目的とした「農業振興に関する連携協定」を締結したことに伴い連携事業を推進しています。
「安曇野オリジナル商品開発プロジェクト」として、市内の加工・販売事業者3社と連携し、事業者見学会、商品企画をとおして試作品を製作しました。その後、試食会を経て、最終的には10の商品案が事業者採用されました。また、わさび研究支援として、苗栽培用の種芋を提供し、種や育苗の研究への支援を行いました。研究により開発されたミスト装置を利用したわさび苗の養成方法（ミスト育苗）を実践し、わさび苗をほ場に植え付けることができました。

上記の評価と課題等

農業塾等支援事業については、農業の担い手となる人材の育成と共に、農ある暮らしの充実のため農に触れる機会を提供することを目的に支援を行っていきます。活動の継続を図るために、新しい実践的リーダーや指導者の確保が今後の課題となっています。

南農高校連携では、わさび栽培に関する研究やオリジナル商品開発プロジェクトに引き続き支援をしていくとともに、市内事業者と連携し、販売に繋がるような新商品の開発を目指します。

令和6年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書 ページ	153

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	6	農村集落支援費		施策	担い手の確保と農地の有効利用
	事業	0106190	中山間地域等支援事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
16,068,000	15,772,175		0		295,825	98.2%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名		金 額	細 節 名	金 額
12,135,161		中山間地域等直接支払交付金		9,617,161		
		中山間地等直接支払推進交付金		18,000		
		過疎債		2,500,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 中山間地域等直接支払制度（国事業） 13,134,587円

耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能の確保を図る観点から、農業生産条件の不利を補正する国の中山間地域農業直接支払事業を実施しています。5年間（令和2～6年度）の農業生産活動を継続する協定を締結した8集落に対し、協定面積に応じて交付金を交付しました。

（交付実績）

地 域	協定集落数	協定面積（㎡）	交付額（円）
穂 高	2	133,584	2,805,264
堀 金	1	11,556	242,676
明 科	5	611,666	10,086,647
計	8	756,806	13,134,587

（交付金財源内訳：円）

国 費	6,099,747	県 費	3,517,414	市 費	3,517,414

2 安曇野市中山間地域農業直接支払事業 2,596,397円

国の制度では交付対象とならない農振農用地外等の中山間地域について、国の対策に準じて集落協定（令和3～5年度）を締結した上で、協定面積に応じて市単事業の交付要綱に基づく交付金を交付しました。

地 域	協定集落数	協定面積（㎡）	交付額（円）
豊 科	2	125,892	1,321,865
穂 高	2	121,384	1,274,532
計	4	247,276	2,596,397

上記の評価と課題等

農業の担い手不足や高齢化が進む昨今、特に中山間地域の農地は荒廃化が危惧されています。国の中山間地域等直接支払制度を活用した取組みは、集落の活性化とともに農業生産条件の不利を補正する制度として有効な対策のひとつです。また、国の直接支払制度の対象は農業振興地域内農用地（青地）に限られるため、市独自の支援策として安曇野市中山間地域農業直接事業交付金を市内4集落に交付しています。

両制度を活用し、引き続き農地の多面的機能を維持していく必要があります。

令和6年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書 ページ	155

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	7	畜産業費		施策	生産振興と販売力の強化
	事業	0106210	畜産振興事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,180,000	5,153,961		0		26,039	99.5%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名		金 額	細 節 名	金 額
1,773,400		家畜防疫事業収入		55,000		
		新型コロナ臨時交付金		1,718,400		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

<農業共済組合家畜診療所負担金> 1,287,000円

長野県農業共済組合が運営する中信地域家畜診療所の獣医師を雇用し、診療体制を構築するとともに、人工授精や疾病等の防疫活動などを行うなど、地域の畜産振興を図るため、市の畜産経営規模等により算出された負担金を交付しています。

<畜産公害防止事業> 1,802,391円

畜産経営に係る環境面への対策を推進するため、畜産農家が購入する悪臭対策資材、防虫対策資材等に対して2分の1（上限額：悪臭対策資材8万円、防虫対策資材2万円）の補助金を交付しました。

<環境整備リース事業補助金等> 90,027円

「畜産環境整備リース事業」等を利用した農家に対し「附加貸付料」及び「保証料」を補助し、施設周辺の環境保全を図りました。（対象農家：2農家）

<畜産悪臭対策事業> 115,500円

畜産が起因となっている悪臭問題について、以下の事業を実施し対策を図りました。

- ア 対策会議開催（畜産悪臭対策協議会3回及び畜産現場確認2回）
- イ 臭気測定関係

<家畜伝染病法定検査防疫事業> 140,643円

家畜伝染性疾病の発生を予防し、伝染病の蔓延を防止するため、家畜伝染病予防法に基づく定期検査及び予防注射を実施した農家に対し助成しました。

<配合飼料価格高騰支援事業> 1,718,400円

社会情勢等の影響により配合飼料価格が高騰していることから、畜産農家が経営安定化を図るために加入している配合飼料価格安定制度への加入掛金の一部を補助しました。

上記の評価と課題等

<畜産経営安定化事業> <畜産悪臭対策事業>

三郷地域の畜産臭気問題については、平成24年度に167件あった悪臭苦情件数が令和5年度は15件になるなど改善は図られています。今後も、悪臭防止法の規制数値以下となるよう、畜産農家に対する指導を関係機関と連携して実施していきます。また、全国的な問題であるCSF・ASF（アフリカ豚熱）対策についても、国・県等の関係機関と情報共有を図り、対応していきます。

令和 6 年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書 ページ	155

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	7	畜産業費		施策	生産振興と販売力の強化
	事業	0106220	三郷堆肥センター運営事業			

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
18,935,000		18,935,000		0		0		100.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
2,500,000			旧合併特例事業債		2,500,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

<三郷堆肥センター維持管理費>

15,800,000円

ア 三郷堆肥センター指定管理業務

(株)三郷農業振興公社に指定管理し、効率的な管理運営に努めました。

指定管理委託料：14,000,000円

イ 堆肥センター借地料（施設用地9,850㎡） 1,800,000円

<三郷堆肥センター解体事業>

3,135,000円

ア 三郷堆肥センター・水分調整施設アスベスト調査業務

495,000円

堆肥センター及び水分調整施設（3施設）の解体にあたり、アスベスト調査を実施しました。

イ 三郷堆肥センター・水分調整施設解体設計監理委託業務

2,640,000円

堆肥センター及び水分調整施設（3施設）の解体に係る設計を実施しました。

上記の評価と課題等

<三郷堆肥センター維持管理費>

令和7年度の閉鎖・解体に向けて具体的なスケジュールの策定及び解体工事着手に向けた手続きを進めます。併せて、原料搬入農家が実施する堆肥舎の施設整備に対して助言及び支援を行っていきます。

令和6年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書 ページ	163

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	4	水産業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	1	水産業振興費		施策	生産振興と販売力の強化
	事業	0106360	水産業振興事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
7,385,000	7,358,498		0	26,502	99.6%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,173,000		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	7,173,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

＜水産業振興事業＞ 185,000円
 水産資源拡大補助事業
 漁業法により長野県内水面漁場管理委員会が定めた、犀川漁業協同組合管内でのニジマス増殖指示量を基に、組合が実施したニジマス稚魚の放流（約430kg）に係る経費に対し補助金を交付し、水産資源の確保を支援しました。

＜養魚用配合飼料価格高騰緊急対策事業＞ 7,173,498円
 社会情勢等により養魚用配合飼料価格高騰の影響を受ける市内養殖業者を支援するため、漁業経営セーフティネット構築事業へ加入している水産業者に対して飼料価格高騰分の一部を補助しました。

上記の評価と課題等

＜水産業振興事業＞
 犀川漁業協同組合が漁業法の増殖義務により実施する、放流事業に支援を行いました。
 河川での資源確保に向けて、カワウ等による被害の軽減を目的とした鳥獣駆除や、稚魚の放流を組み合わせながら、自然増殖による資源の拡大方法についても県水産試験場や犀川漁業協同組合と連携し検討をしていきます。また、依然として配合飼料価格が高騰していることから、事業継続が厳しい養殖業者に対して、経営状況及び飼料価格等を注視し、国や県の支援策等を確認しながら更なる支援の必要性を検討していきます。

令和6年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書 ページ	153

予算	款	06	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	06	農村集落支援費		施策	担い手の確保と農地の有効活用
	事業	0190030	【明許】担い手支援事業			

単位：円										
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
2,490,000		2,490,000		0		0		100.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
2,490,000			【繰越】経営体育成事業補助金		2,490,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 経営体育成事業（国庫） 【繰越】2,490,000円 国の令和4年度第2次補正予算で示された「担い手確保・経営強化支援事業」に取り組む農家1経営体が導入する果樹冷蔵庫購入費に対する補助金。（補助率1/2以内）	
上記の評価と課題等	
担い手確保・経営強化支援事業は「人・農地プラン」に基づき、農地中間管理機構を活用して農地の集積・集約化に取り組んでいる地域等において、農産物の輸出等に向けた取組など意欲的な取組により、経営の発展を図ろうとする担い手が、融資を活用するなどして農業用機械・施設を導入する際、補助金を交付することにより、主体的な経営発展を支援する事業です。 今後も地域農業の維持のために担い手の確保・育成が重要であることから、国事業の積極的な活用に取り組んでいきます。	

令和6年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書 ページ	155

予算	款	06	農林水産費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	06	農村集落支援費		施策	担い手の確保と農地の有効活用
	事業	0190040	【明許】後継者対策事業費			

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
3,675,000		3,675,000		0		0		100.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
3,675,000			【繰越】新規就農者育成総合対策・経営発展事業		3,675,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 新規就農者育成総合対策・経営発展事業（国庫）【繰越】3,675,000円
新規就農者1名が導入するスピードスプレーヤー1台の購入費に対する補助金。（補助率3/4以内）

上記の評価と課題等

農業従事者が減少する中、持続可能な力強い農業を実現するには、次世代を担う農業者の育成・確保に向けた取組を講じていく必要があります。

新規就農者育成総合対策・経営発展支援事業により、就農後の早期経営発展を目的とした機械・施設等の導入を支援しました。

本事業の対象者は認定新規農業者であり、今後も引き続き本事業を活用して支援を実施する必要があります。

令和6年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書 ページ	147

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	2	農業総務費			
	事業	0106050	有害鳥獣駆除対策		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
41,908,000		39,860,529		0		2,047,471		95.1%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
19,868,700			デジ田交付金（デジタル実装タイプ）		3,913,000					
			野生鳥獣総合管理対策事業補助金		945,700					
			ふるさと寄付基金繰入金		15,000,000					
			指定寄付金		10,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 有害鳥獣捕獲等委託 ア 農作物や林産物に被害をもたらす野生鳥獣の捕獲業務 市内全域を対象に、安曇野市猟友会へ委託しました。 イ 野生小動物死体回収業務 市道等での死獣回収業務を業者へ委託しました。 2 ツキノワグマ緊急捕獲等業務 人家周辺に出没したツキノワグマ捕獲に伴う檻の設置等を安曇野市猟友会へ委託しました。 3 ニホンザル農作物等被害対策業務委託 各群れのニホンザルを捕獲しGPS首輪発信機を装着し、ニホンザルの追払い等に活用しました。 4 狩猟者確保事業補助 新規狩猟者確保のため、免許取得に係わる経費に対して補助を行いました。 新規銃狩猟者 10名 新規わな猟者 2名 補助金 計419,968円	
上記の評価と課題等	
計画的な有害鳥獣捕獲により農林業被害の軽減を図ることが出来ました。 有害鳥獣駆除を実施し、ニホンカ170頭、イノシ18頭、ニホンザル110頭、カラス192羽等を捕獲し、農作物の被害防止に努めました。 狩猟免許取得経費を補助することにより、新規狩猟者12名を確保することが出来ました。 ニホンザル追払い隊を結成し、GPS首輪発信機の位置情報を基に追払いを行い、農作物被害の軽減を図ることができました。 広域電気柵の維持管理につきましても、実施隊による管理を進めていきたい。	

令和6年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書 ページ	155

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	林業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	1	林業振興費			
	事業	0106230	林業振興事業		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
84,515,000		77,558,374		0		6,956,626		91.8%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
4,495,945			信州ペレット消費拡大事業補助金		675,000		市有土地貸付収入(旧山林組合関係)他		66,964	
			分収造林事業基金利子		7,217		指定寄付金		210,000	
			緑の募金緑化交付金		1,594,000		信州山の日関連事業交付金		100,000	
			旧穂高町外1ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金繰入金他		1,842,764					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1	森林保全巡視事業	
	市内各地域1名、計5名に依頼し、林野火災、違法伐採、松くい虫被害木、災害危険個所の巡視を行いました。	
		報償費 310,500円
2	安曇野市里山再生計画推進事業	
	安曇野市環境基本計画に基づく安曇野市里山再生計画（第2次）により、「まきの環」「木材活用」「学びの環」「魅力発見」の4つのプロジェクトが協働で課題を抱える地域の里山再生に取り組んでいます。	
	(1)計画推進支援業務（広報活動支援、事業推進における具体的提案等、第3次計画策定等）	
		委託料 495,000円
	(2)プロジェクト・さとぷろ。機構負担金	負担金 1,550,000円
	(3)積木キャラバン事業積木製作業務	委託料 800,800円
3	その他	
	(1)緑化木配布事業に伴う苗木購入等（希望する各区等へ）	原材料費 1,065,020円
	(2)ペレットストーブ導入補助（15台）	補助金 1,499,000円
	(3)長峰山絆の森遊歩道、森の小径歩道、蝶の森整備	労務謝礼 250,000円
	(4)細萱区ゴミ集積所移設費補助（一ノ沢）	補助金 1,066,000円
	久保田区ゴミ集積所改修費補助（一ノ沢）	補助金 600,000円
	一ノ沢山林組合運営補助	補助金 500,000円

上記の評価と課題等

第1次安曇野市里山再生計画での取組から、課題解決の方針を明確にし、改めて今後の里山を再生する方策を定めた第2次計画を策定し4年が経過しました。第2次計画では、地域の社会的課題と接続し、多様な市民の活動をネットワーク化することで里山再生に携わるメリットを創出することで持続可能な体制を構築する取組を進めています。

今後、取組をさらに推進するために設立した「さとぷろ。機構」を軸に、各活動グループの連携を進め、2次計画の総括を行うとともに第3次計画の策定を進めていきます。

令和6年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書 ページ	157

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	林業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	1	林業振興費			
	事業	0106240	松くい虫被害対策事業		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
137,735,000		135,404,995		0		2,330,005		98.3%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
46,365,200			森林健全化推進事業補助金		45,712,200					
			森林整備支援事業補助金		653,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 松くい虫防除対策
ア 松枯損木の伐倒処理業務委託 補助事業：82,596,000円、市単事業：28,445,000円

地 区	処理作業	処理本数	材積(m³)	内補助対象外
豊 科	伐倒処理等	369本	456	23本
穂 高	伐倒処理等	510本	884	98本
三 郷	伐倒処理等	363本	583	12本
堀 金	伐倒処理等	422本	857	5本
明 科	伐倒処理等	160本	156	107本
計		1,824本	2,936	245本

イ	安全確認調査業務委託 2地区（気中・水質検査）	委託料	427,900円
ウ	環境影響調査及び効果検証調査 2地区	委託料	2,387,000円
エ	穂高権現宮地区樹幹注入薬剤購入費	原材料	356,125円
オ	市単補助事業	補助金交付額	20,801,101円
	内訳	樹幹注入補助 33件	1,717,948円
		伐倒駆除補助 159件	19,083,153円

上記の評価と課題等

松くい虫防除対策として、薬剤空中散布を実施するにあたり、地元住民とのリスクコミュニケーションを図りました。また、周囲環境の調査、効果検証を継続して実施しています。

穂高権現宮の健全なアカマツに薬剤の樹幹注入事業を実施しました。

松くい虫被害防除対策事業による市単補助金制度の利用を促進し、被害蔓延防止を図りました。

伐倒駆除に関しては、電話や窓口での問い合わせがほぼ毎日あり、市民ニーズの高さがうかがえます。

松くい虫被害木の全量駆除が困難なことから、倒木による被害等が懸念されます。

森林巡視員の報告や区長からの要望を精査し危険個所より燻蒸処理または特殊伐採を進めます。

令和 6 年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書 ページ	157

予 算	款	6	農林水産業費	総 合 計 画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	林業費		目 標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	1	林業振興費			
	事業	0106250	市有林の造成及び管理			

単位：円					
予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
19,738,000	19,737,203		0	797	100.0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
10,661,355		森林造成事業費補助金	3,488,100		
		市有林木材売払収入	6,073,255		
		森林の里親促進事業支援金	1,100,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1	市有林整備事業		
(1)	主伐		
	4045林班（堀金）約2.13ha	事業費	11,990,000円
(2)	下刈り		
	4045林班（堀金）約1.68ha	事業費	770,000円
	3002林班（三郷）約0.38ha	事業費	245,300円
(3)	植栽		
	4045林班（堀金）約1.69ha	事業費	1,870,000円
(4)	けやきの森(明科)森林整備		
	枯損木等処理 約0.20ha	事業費	499,400円

上記の評価と課題等

市有林は全体的に成熟期に達しており、伐期を迎えています。このため市では公共施設などへの木材利用に合わせ主伐を進めています。伐採跡地には、再造林を行い森林の若返りを図ります。

これにより、持続可能な森林の整備が図られることになります。

伐採された木材を、市内で利活用できる仕組みを構築するため、現在、林業事業者・製材加工業者・建築士の間で安曇野材の活用研究の取組が進んでいます。

引き続き必要に応じて主伐再生林を進めるとともに、安曇野材の利活用及び供給体制づくりの研究を進めていきます。

令和6年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書 ページ	157

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	林業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	1	林業振興費			
	事業	0106260	間伐対策事業		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円					
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	
16, 018, 000		16, 017, 500		0	
				500	
執行率 ②/①				100. 0%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名	金額	金額
7, 537, 000			森林整備支援事業補助金	7, 537, 000	

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 森林造成事業補助 補助金 8, 480, 500円 森林造成事業補助金交付要綱に基づき、県の補助を受けて森林整備 57. 24haの整備が実施されました。事業主体となる林業事業体に対して、県の査定経費の10%から20%の市単嵩上げ補助を行いました。 2 森林病虫害被害枯損木利活用事業補助 補助金 7, 537, 000円 各地域の課題に対応するために行う森林整備等に要する経費に対して補助を行いました。令和5年度から県の補助事業の内容が変わり、森林事業体にかわり市が事業主体となり事業を行いました。	
上記の評価と課題等	
本事業における民有林（私有林等）の森林整備については、県の補助事業「信州の森林づくり事業」を活用しています。林業事業体が実施者となり、県の査定経費に対して、市は嵩上げ補助を行っていますが、実行経費に対し、査定経費は7割ほどとなっており、林業事業体への費用面での負担額が大きくなっています。民有林の森林整備推進のためにも、嵩上補助率の検討や新たな補助メニューの創設等の改善を図っていく必要があります。	

令和6年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書 ページ	157

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	林業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	1	林業振興費			
	事業	0106265	森林環境譲与税事業		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円					
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	
26,646,000		26,644,513		0	
				1,487	
				100.0%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名	金額	金額
3,426,013			森林環境譲与税基金利子	92,813	
			森林環境譲与税基金繰入金	3,333,200	

主要な施策（事務事業）の成果の概要		
1 森林経営管理制度の推進		
(1) 森林経営管理制度運用業務委託	委託料	487,300円
・意向調査対象森林の現況調査、森林整備方針及び集積計画策定可否の検討		
(2) 林地台帳更新等業務委託	委託料	2,123,000円
・林地台帳システム、地番図、森林簿、所有者情報等の更新		
(3) 森林経営管理制度に基づく森林整備事業	委託料	715,000円
・3003.3009林班(三郷) 森林整備(間伐)業務委託		
(4) 森林環境譲与税基金積立金	積立金	23,218,000円
(5) 森林環境譲与税基金利子積立金	積立金	92,813円
上記の評価と課題等		
森林経営管理制度運用業務により、意向調査対象森林における森林の現況調査を行い、今後の施業方針や集積計画策定の可否等の検討を行い、堀金地域の約50haの森林所有者に対し意向調査を実施しました。		
また、前年度までに意向調査を実施した三郷地域の一部森林所有者においては、市に森林の経営管理権を設定するための森林経営管理集積計画を策定し、この内約1.14haの森林において実際に森林整備(間伐)を実施しました。		
相続等による森林所有者の世代交代が進み、自身が所有する山林の位置や境界について把握している所有者が少ないため、確認作業に時間や労力を要しています。		

令和6年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書 ページ	159

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	林業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	1	林業振興費			
	事業	0106270	林道重点整備・維持管理事業		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
90, 181, 000		89, 439, 680		0		741, 320		99. 2%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
10, 785, 000			公共補助林道事業補助金		10, 686, 000					
			地すべり防止施設等管理サポート事業		99, 000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

林道の路面清掃及び側溝清掃と刈払い等を行い、利用者が安全に通行できるよう維持管理に努めました。また、交通量の多い幹線林道において大規模な落石や倒木から被害を防ぐため、危険個所の重点的な維持・改良工事を行いました。

- 委託料
 - 林道草刈り枝払い等業務
業務委託場所： 烏川線、長峰線、城山線、一の沢線、北沢線他
委託料 4, 437, 150円
 - 地すべり防止施設管理業務
業務委託場所： 明科長久保地すべり防止施設
委託料 99, 000円
 - 橋梁PCB含有塗膜調査業務委託
業務委託場所： 林道北沢線
委託料 1, 155, 000円
- 工事請負費（補助事業）
 - 林道烏川線改良工事
落石防護網工 L=18. 0m
工事費 19, 800, 000円
- 林道改良工事（単独事業）
 - 林道維持補修等工事
工事場所 29箇所
工事費 57, 923, 800円
 - ・ 烏川線・一の沢線・北沢線・黒川線
 - ・ 田多井線・安曇野線・矢下線・長峰線
 - ・ 白牧線・滝の沢線・小水沢線・二の沢線他

上記の評価と課題等

林道利用者が安心安全に通行できるよう維持管理に努めました。
林道烏川線は森林整備関係者だけでなく観光客や登山者等の利用も多く、安全性を備えた林道整備を進めていく事が求められているため、改良工事を実施する事により危険個所の整備が図れました。
東山の林道は倒木の恐れのある松くい虫被害危険木早期伐採の対応が必要となります。
西山の林道は大雨や地震直後の落石や法面崩落への対応が必要となります。

令和6年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	159

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	1	耕地総務費			
	事業	0106280	耕地総務費		施策	担い手の確保と農地の有効活用

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
87,500,000		83,946,878		0		3,553,122		95.9%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
8,822,939			農村環境改善センター維持管理分担金		1,080,989		三郷農村環境改善センター耐震化工事（緊防債）		2,900,000	
			国営造成施設管理体制整備促進事業補助金		4,470,000		耕地費雑入		7,950	
			地滑り防止施設管理委託金		244,000					
			高瀬川左岸水利運営調整費		120,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1	三郷農村環境改善センター		
	・指定管理者 J A あづみ・指定管理期間 令和元年から5年間・指定管理料(年間) 5,480,000円		
	・土地借地料 契約者2件 2,722,895円(内 J A あづみ負担分…1,080,989円)		
2	農林漁業金融公庫償還金		
	事業名	件名	金額
	三郷南部地区ほ場整備事業	1件	577,135円
3	年間通水負担金、水利維持管理負担金		
	・新田堰土地改良区	1,195,200円	(年間通水及び水利系維持管理負担金)
	・安曇野市矢原堰土地改良区	1,000,000円	(年間通水負担金)
	・安曇野市烏川土地改良区	1,068,000円	(水利系維持管理負担金)
	・長野県梓川土地改良区	330,000円	(特別排水路維持管理負担金)
	・安曇野市土地改良区連絡協議会	2,697,085円	(堰で発生したゴミ処理支援負担金)

上記の評価と課題等

指定管理者制度により、三郷農村環境改善センターの適切な維持管理を行うことができました。 施設が平成6年度に完成し28年経過していることから、令和5年度は、施設の状態・健全の把握を行い長寿命化計画を策定しました。 今後は、この計画に基づき計画的に施設の改修等を行う必要があります。

令和6年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	159

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	1	耕地総務費			
	事業	0106290	土地改良施設維持管理適正化事業		施策	担い手の確保と農地の有効活用

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2,762,000		2,762,000		0	0	100.0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 事業概要

土地改良施設の計画的な維持補修や更新を行うため、施設を管理する土地改良区や水利組合等が、あらかじめ地元負担分を全国土地改良事業団体連合会に積み立ててから行う補助事業です。5年間で事業費の3割を均等割りした額を拠出金として積み立て、実施年度に積立金（30％）と国（30％）、県（30％）の補助金を合算した金額（90％）が交付されます。

【負担割合】国30％、県30％、市20％、地元20％

2 建設負担金

負担先	金額
長野県梓川土地改良区	302,000円
安曇野市矢原堰土地改良区	2,460,000円

上記の評価と課題等

市内では昭和40から60年代にかけて積極的に農業基盤整備が進められましたが、近年では水利施設の老朽化が著しく漏水等により営農に支障が生じています。 今後も土地改良施設維持管理適正化事業を導入し、土地改良区・水利組合と連携を図りながら計画的に水路改修工事を進めていく必要があります。

令和6年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	159

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	1	耕地総務費			
	事業	0106300	国営土地改良事業		施策	担い手の確保と農地の有効活用

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
13,673,000		13,405,376		0		267,624		98.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 一部事務組合負担金
 - ・広域排水路の管理を行っている安曇野松本行政事務組合への負担金を支出しました。
安曇野・松本行政事務組合負担金 12,661,776円
- 工事請負費
 - ・国営土地改良事業豊科南穂高地区国営排水路浚渫工事外 743,600円
工事概要 国営排水路浚渫 1カ所
転落防止柵更新 1カ所

上記の評価と課題等

安曇野地区広域排水事業は、安曇野市と松本市に跨る約6,200haを受益地として平成7年度から平成17年度にかけて基幹的な排水路整備を行っています。この排水路を適切に管理することで、近年の集中豪雨等による洪水に対して被害防止に寄与しています。

令和6年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	161

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	2	農村整備事業			
	事業	0106310	市単土地改良事業		施策	担い手の確保と農地の有効活用

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①	
87, 223, 000		55, 719, 342		30, 000, 000		1, 503, 658		63. 9%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名		金額	
2, 648, 262			土地改良事業地元分担金		2, 578, 400				
			ふるさと・水と土保全基金利子		69, 862				

主要な施策（事務事業）の成果の概要																	
1	工事関係	<table><tr><th>工事内容</th><th>件数</th><th>金額</th></tr><tr><td>水路補修、漏水補修等工事</td><td>29件</td><td>25,479,300円</td></tr><tr><td>水路土砂撤去工事</td><td>10件</td><td>7,003,700円</td></tr><tr><td>その他工事（防護柵設置等）</td><td>7件</td><td>5,508,800円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>46件</td><td>37,991,800円</td></tr></table>	工事内容	件数	金額	水路補修、漏水補修等工事	29件	25,479,300円	水路土砂撤去工事	10件	7,003,700円	その他工事（防護柵設置等）	7件	5,508,800円	合 計	46件	37,991,800円
工事内容	件数	金額															
水路補修、漏水補修等工事	29件	25,479,300円															
水路土砂撤去工事	10件	7,003,700円															
その他工事（防護柵設置等）	7件	5,508,800円															
合 計	46件	37,991,800円															
2	土地改良事業補助金関係	<table><tr><th>申請団体</th><th>件数</th><th>金額</th></tr><tr><td>土地改良区</td><td>25件</td><td>8,087,600円</td></tr><tr><td>水利組合</td><td>12件</td><td>2,277,950円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>37件</td><td>10,365,550円</td></tr></table>	申請団体	件数	金額	土地改良区	25件	8,087,600円	水利組合	12件	2,277,950円	合 計	37件	10,365,550円			
申請団体	件数	金額															
土地改良区	25件	8,087,600円															
水利組合	12件	2,277,950円															
合 計	37件	10,365,550円															
3	管理委託関係	(1) 契約件数 15件 (2) 委託料 2,443,586円 (3) 管理委託内容 排水路草刈、支障木伐採、排水水門ゴミ片付け等															
4	原材料支給関係	(1) 支給件数 10件 (2) 工事用原材料費 1,484,515円 (3) 内容 水路目地補修資材、袋詰玉石袋材、簡易ゲート等															
5	繰越事業	(1) 令和5年度 明科潮地区 水管橋撤去工事 30,000,000円 ・工事概要 水管橋撤去 一式															
上記の評価と課題等																	
農業水利施設改修要望の内容を確認し、多面的機能支払交付金に係る組織や関係土地改良区と調整を図り、市単土地改良事業として計画的かつ効率的に実施されるよう進めています。 しかし、改修費に対する地元負担金が担保できない箇所の改修が困難となっています。 潮地区水管橋撤去工事は、入札が不調となったことから年度内の完成が困難となったため、令和6年度に明許繰越しました。令和6年9月に発注を予定しています。																	

令和6年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	161

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	2	農村整備事業			
	事業	0106320	県営土地改良事業		施策	担い手の確保と農地の有効活用

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
9,796,000		9,772,000		0		24,000		99.8%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
7,900,000			県営かんがい排水事業（公共事業等債）		7,900,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市内で実施される県営土地改良事業の市負担金を支出しました。

1 建設負担金

（１）県営畑地帯総合土地改良事業 中信平左岸地区

- ・事業概要 畑地かんがい施設更新工事 一式
- ・事業費 102,000,000円
- ・建設負担金額 7,527,000円
- ・建設負担割合 国：50%、県：27.5%、松本市と安曇野市：11.25%、土地改良区：11.25%

（２）県営かんがい排水事業 須砂渡地区

- ・事業概要 農業用水利施設更新工事 一式
- ・事業費 21,014,000円
- ・建設負担金額 2,206,000円
- ・建設負担割合 国：50%、県：29%、安曇野市：10.5%、土地改良区：10.5%

2 県営事業割賦課金

長野県土地改良事業団体連合会賦課金 39,000円

上記の評価と課題等

県営畑地帯総合土地改良事業中信平左岸地区は、かんがい施設を制御する無線周波数の切替に伴う施設整備費用を負担することにより、農家の利便性向上につながりました。また、県営かんがい排水事業須砂渡地区は、頭首工施設更新に向けた測量・設計業務費用を負担しました。今後も県営事業に関する地元協議に関わりながら事業を推進することにより、農業用施設の更新が図れます。

令和6年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	161

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	2	農村整備事業			
	事業	0106330	団体営土地改良事業		施策	担い手の確保と農地の有効活用

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①	
30,675,000		20,276,925		10,070,000		328,075		66.1%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名		金額	
12,493,000			団体営土地改良事業補助金		9,536,000				
			土地改良事業地元分担金		2,957,000				

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国・県補助金を活用し、老朽化の進んだ農業水利施設の更新を進めました。

- 設計監理委託料
 - 農業水路等長寿命化・防災減災事業 穂高地区青木花見工区水路改修工事実施設計業務委託 1,650,000円
- 工事請負費
 - (1) 農業水路等長寿命化・防災減災事業 穂高地区青木花見工区水路改修工事 13,800,000円
 - ・工事概要 水路改修 ベンチフリューム700型 L=182.2m
 - ・事業年度 令和3年度～令和5年度
 - ・負担割合 国：50%、県：14%、市：18%、地元：18%
- 事業割賦課金
 - 長野県土地改良事業団体連合会賦課金 112,000円
- 繰越事業
 - (1) 農業水路等長寿命化・防災減災事業 矢原堰地区実施設計業務委託 990,000円
 - (2) 農業水路等長寿命化・防災減災事業 矢原堰地区排水門自動化工事 9,080,000円
 - ・工事概要 白金放水路水門自動化 一式
 - ・事業年度 令和5年度（繰越）
 - ・負担割合 国：50%、県：18%、市：32%

上記の評価と課題等

国・県補助金を活用できる団体営土地改良事業により農業水利施設の整備が推進され、農地の保全や農作業の軽減につながりました。令和3年度に策定された農業水利施設個別施設計画に基づき、計画的に団体営土地改良事業を導入し、土地改良区・水利組合と連携を図りながら整備を進めていきます。矢原堰地区排水門自動化工事は、水門制御機器の作成に伴う半導体不足により納期に時間を要したため、令和6年度に明許繰越しました。当年度早期の工事完了を目指します。

令和6年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	161

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	2	農村整備事業			
	事業	0106340	多面的機能支払交付金事業		施策	担い手の確保と農地の有効活用

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
261,964,000		260,641,833		0		1,322,167		99.5%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
197,905,190			多面的機能支払推進交付金		188,832,116					
			多面的機能支払交付金返還金		218,074					
			多面的機能支払推進交付金負担金		8,855,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

多面的機能支払交付金事業は、農地や農業用水などの農業基盤と農村環境の保全と質的向上を図るため、地域住民等が主体となる地域ぐるみの活動を支援しています。
令和5年度は、豊科、穂高、三郷、堀金、明科地域の5つの広域組織を1つの広域組織に統合し、広域協定運営委員会を設立することができました。

1 取り組み状況について

- ・組織数 20組織（豊科 2組織の内広域組織1、穂高 8組織の内広域組織2、三郷 4組織の内広域組織1、堀金 3組織の内広域組織1、明科 3組織の内広域組織1）
- ・取組面積 3,720ha（豊科 733ha、穂高 1,156ha、三郷 1,065ha、堀金 587ha、明科 179ha）
- ・補助金額 250,642,822円（うち市負担分62,660,706円）
- ・負担割合 国50%、県25%、市25%

2 広域化による事務軽減の内容

- ・資源向上支払交付金（長寿命化）の工事の契約、工事監理、検査、支払を事務局で行いました。
- ・農地維持支払交付金、資源向上支払交付金（共同）の事務について、活動組織に希望を取り、希望する活動組織の作業日当支払い事務等を広域事務局で行いました。また、負担軽減のため事務改善を行いました。

3 使用料及び賃借料

- ・交付金支援システム借上料 898,920円（うち交付金850,000円）

上記の評価と課題等

各活動組織の活動により、農地と水路・農道が保全され、農業用施設の維持補修と更新工事を行い、施設の長寿命化が図られました。
広域化により、各組織が行っていた交付申請、会計、工事事務などの事務が軽減されました。
今後も先進地の例などを参考にして、地元活動組織の事務等の負担軽減に向け、さらなる活動組織の広域化を進めます。また、市内農地と水路・農道の保全のため、交付対象農地の拡大を図ります。

令和6年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	163

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	2	農村整備事業			
	事業	0106350	経営体育成基盤整備事業		施策	担い手の確保と農地の有効活用

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
29,694,000		4,519,132		25,102,000		72,868		15.2%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
3,070,500			団体営土地改良事業補助金		2,242,000					
			土地改良事業地元分担金		828,500					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

烏川地区では、面整備が終了し1区画における面積が拡大したことから、地域の農業が将来にわたり持続する取り組みとして、担い手農家への農地集積・集約化を進めています。

久保田・塚原地区では、新たな圃場整備事業を令和7年度新規事業採択を目指して、実施計画等の作成を行いました。

1. 烏川地区

- (1) 烏川地区担い手集積状況図等編集業務委託 913,000円
・負担割合 国：55%、県：27.5%、市：17.5%

2. 久保田・塚原地区

- (1) 農業競争力強化農地整備事業 久保田・塚原地区実施計画策定業務委託 25,102,000円
(令和6年度へ繰越)
・負担割合 国：50%、市：25%、地元：25%
- (2) 農業競争力強化農地整備事業 久保田・塚原地区経営体育成促進換地等調整業務委託 3,157,000円
・負担割合 国：50%、市：25%、地元：25%

上記の評価と課題等

烏川地区では、経営体面的集積促進事業で、担い手に農地集積を行い、面的集積面積が116.9ha、集積向上率が31.1%となり目標値を達成したため、事業費の4%の助成金を国へ申請しました。

この助成金により、地元負担の軽減が図れます。

久保田・塚原地区実施計画策定業務委託は、圃場整備エリア確定に時間を要したため、令和6年度に明許繰越しました。

令和6年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	247

予算	款	11	災害復旧費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	農林水産施設災害復旧費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	2	耕地施設災害復旧			
	事業	0111015	耕地災害復旧事業		施策	担い手の確保と農地の有効活用

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
10,000,000		8,063,000		0	1,937,000	80.6%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 被災状況と災害復旧事業の経緯 令和5年5月～8月の豪雨により、穂高、明科地域で被害があった水路法面の崩落等については、必要となる委託料及び工事費を、充用及び6月議会の補正予算で認められ、市単独工事で復旧を行いました。
2 災害復旧事業委託料 ・令和5年度市単災害復旧事業 明科区 農地災害復旧 実施設計業務委託 385,000円
3 災害復旧事業（市単独分）工事 ・令和5年度 市単土地改良事業 明科区農地災害復旧工事 工事内容 土砂撤去工外 工事請負額 649,000円 ・令和5年度 市単土地改良事業 大林沢排水路堆積土砂撤去工事 工事内容 土砂撤去工 工事請負額 1,254,000円 ・令和5年度 市単災害復旧事業 明科区農地災害復旧工事 その2 工事内容 畦畔復旧工 工事請負額 1,232,000円 ・令和5年度 市単災害復旧事業 豊里区農地土砂撤去工事 工事内容 土砂撤去工 工事請負額 671,000円 ・令和5年度 市単災害復旧事業 明科区農地災害復旧工事 その3 工事内容 畦畔復旧工 工事請負額 3,036,000円 ・令和5年度 市単災害復旧事業 明科区他農地災害復旧工事 その4 工事内容 畦畔復旧工 工事請負額 836,000円

上記の評価と課題等

全ての工事において年度内に復旧工事が完了し、農業用施設の保全が図られました。

令和6年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書 ページ	247

予算	款	11	災害復旧費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	農林水産施設災害復旧費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	1	林業施設災害復旧			
	事業	0111020	林道災害復旧事業		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
14,615,000		13,788,500		0		826,500		94.3%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
被災した林道を安全に通行できるように復旧工事を行いました。	
1 委託料	
・設計監理委託（令和3年繰越・契約増）	委託料 165,000円
業務委託場所：白牧線	
2 林道災害復旧工事（令和3年繰越）	
・林道復旧工事	工事費 8,657,000円
工事場所：白牧線	
3 林道災害復旧工事（令和5年5月7日降雨による災害）	
・林道一ノ沢線土砂撤去工事	工事費 176,000円
・林道吐中清水線他土砂撤去工事	工事費 140,800円
・林道長峰線土砂撤去工事	工事費 260,700円
・林道烏川線大型土嚢設置他工事	工事費 1,144,000円
・林道宮沢線他土砂撤去等工事	工事費 1,298,000円
・暗渠水路土砂撤去工事	工事費 495,000円
・林道烏川線登山口路面復旧等工事	工事費 1,111,000円
・流出土砂撤去工事	工事費 341,000円
上記の評価と課題等	
被災箇所を復旧する事により、林道利用者が安心安全に通行できるよう努めました。	
近年の局地的な豪雨等により、林道災害の発生が懸念されます。	

令和 6 年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書 ページ	247

予 算	款	11	災害復旧費	総 合 計 画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	農林水産施設災害復旧費		目 標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	2	耕地施設災害復旧			
	事業	0190160	【明許】耕地災害復旧事業		施策	担い手の確保と農地の有効活用

単位：円					
予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
157,695,000	139,598,000		0	18,097,000	88.5%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
214,087,418		【明許】耕地災害復旧事業費補助金	195,872,800		
		【明許】耕地災害復旧事業負担金	18,214,618		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 被災状況と災害復旧事業の経緯
- 令和3年8月豪雨により河川が増水し、重光堰頭首工が被害を受けました。重光堰頭首工は80haの農地を受益地としています。
- 令和3年11月29日の災害査定の結果、農林水産省所管の災害復旧事業に認定され、その後3月議会で補正予算が認められました。
- 令和4年度に明許繰越した豊科光地区と重光堰地区が、物価上昇等により工事費が増額したことから、重光堰地区で必要となる委託料及び工事費が、令和4年9月議会の補正予算で認められました。
- 熊倉堰地区は、国交省の災害復旧工事と施工箇所が重複したため、一旦精算した熊倉堰頭首工復旧工事の残工事を国交省の工事完了に併せて行うことになり、必要となる委託料及び工事費が、令和4年9月議会の補正予算で認められました。
- 2 災害復旧事業委託料
- 令和4年度農業施設災害復旧事業（R3繰越）重光堰地区工事監理業務委託 1,485,000円
 - 令和4年度農業施設災害復旧事業（R3繰越）熊倉堰地区実施設計業務委託 990,000円
- 3 災害復旧事業（補助分）工事
- 令和4年度農業用施設災害復旧事業（R3繰越）重光堰地区頭首工復旧工事
工事内容 頭首工 L=244m 工事請負額 79,109,000円（R4前払い 47,600,000円）
 - 令和4年度農業用施設災害復旧事業（R3繰越）重光堰（2）地区水路工復旧工事
工事内容 水路工 L=138m 工事請負額 44,803,000円（R4前払い 26,180,000円）
 - 令和4年度農業用施設災害復旧事業（R3繰越）熊倉堰地区頭首工復旧工事
工事内容 頭首工 L=69.9m 工事請負額 13,211,000円

上記の評価と課題等

重光堰地区と熊倉堰地区では、頭首工と水路工が完成したことにより、安定した取水ができるようになり、受益地に農業用用水を供給することができました。

令和 6 年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書 ページ	247

予 算	款	11	災害復旧費	総 合 計 画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	農林水産施設災害復旧費		目 標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	1	林業施設災害復旧			
	事業	0190360	【事故】（明許）林道災害復旧事業			

					単位：円	
予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
11,088,000	11,088,000		0	0	100.0%	
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 被災状況と災害復旧事業の経緯
- 令和3年8月豪雨災害により林道白牧線が被害を受けました。
- 当初の工期は令和4年3月22日から令和4年12月23日でしたが、上部長峰線災害復旧工事（国庫）の工事搬入路として下部白牧線への崩落土を使用していたことから、長峰線災害復旧工事（国庫）が完了しないと着手できない状況でした。長峰線災害復旧工事（国庫）の当初工期は令和4年3月22日から令和4年8月31日でしたが、工事中の2度に渡る法面の崩落により最終工期が令和4年12月28日に延長となりました。このような事情から工事に着手できず、年度内に竣工できないことから工期を延長し、令和5年10月2日に竣工しました。
- 2 委託料
- | | | |
|----------------------|----------------|----------|
| ・令和3年度（繰越）市単林道災害復旧事業 | 林道北沢線他監督補助業務委託 | 528,000円 |
|----------------------|----------------|----------|
- 3 林道災害復旧工事
- | | | |
|----------------------|-------------|-------------|
| ・令和3年度（繰越）市単林道災害復旧事業 | 林道白牧線災害復旧工事 | 10,560,000円 |
|----------------------|-------------|-------------|

上記の評価と課題等

被災箇所を復旧する事により、林道利用者が安心安全に通行できるようになりました。

農業委員会事務局

令和6年度	
部	農業委員会事務局
課	農業委員会事務局
係等	農業委員会事務局

決算書 ページ	143

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	1	農業委員会費			
	事業	0106010	農業委員会費		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円					
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③
91,441,000		87,288,283		0	4,152,717
特定財源の決算額		左記の内訳		執行率 ②/①	
17,534,038	左記の内訳	細節名		金額	金額
		国有農地管理事務委託金		512,000	農地売買支援事業交付金 59,000
		農業費負担金		9,054,000	農業者年金目標達成交付金 70,000
		機構集積支援事業費補助金		54,000	農業投資価格評定謝金 8,600
		農地利用最適化交付金		7,452,000	その他雑入（農業委員会事務局） 4,438
		農業者年金事務費		320,000	

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 農業委員会の運営 農業委員24名、農地利用最適化推進委員27名（R3.7.20改選） ・毎月、定例総会、地域委員会（5地域）、三役・地域長会を開催し、農地の所有権移転、利用権の設定、農地転用等の審議を行いました。 2 全国農業新聞の普及推進 令和6年3月31日現在 購読者数：76件 3 農地パトロールの実施及び遊休農地解消に向けた取り組み ・遊休農地の実態調査として、農地パトロールと解消に向けた取り組み（指導や貸借のあっせん等）を行いました。 年度末の遊休農地面積38.5ha（緑区分：25.3ha、黄区分：13.2ha）解消面積6.6ha 4 情報提供 （1）農業委員会だよりを発行しました。（7月・12月） （2）賃借料情報一覧及び農作業標準労賃・機械作業料金協定表を作成し、配布しました。 5 農業者年金の諸届等の事務と加入推進、相談を実施しました。 ・令和6年3月31日現在 受給者全体：280名 被保険者：55名（うち新規加入：4名） 6 タブレット端末の委員への貸与 ・タブレット端末を農業委員及び農地利用最適化推進委員へ貸与し、農地パトロールに活用しました。 7 地域計画の策定に伴う現況地図の作成 ・農政課と連携して市内の農地所有者に対して意向調査を実施し、農地所有者の今後の農地の利用意向等を把握しました。（調査世帯数：9,804件/回収率57.7%） 併せて、本意向調査の結果及び農地の貸借情報を反映した地図（現況地図）を作成しました。	
上記の評価と課題等	
遊休農地対策は、大きな課題として、各地域で農業委員・農地利用最適化推進委員が中心となり対策に取り組んでいますが、農業者の高齢化と後継者不足、耕作意欲の低下等により、遊休農地の発生に苦慮している状況です。今後も行政、農協、地域が連携し、遊休農地対策と土地所有者への啓発に努めます。また、農地パトロールの結果、再生利用が困難な遊休農地については非農地決定の手続きを進めます。 引き続き、地域計画の策定に向けて農政課と連携して、協議の場に農業委員及び農地利用最適化推進委員が参加し、地域の担い手と一緒に地元の農業の将来の在り方について話し合いを行い、目標地図（素案）の作成を進めます。	

商工観光スポーツ部

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書 ページ	143

予算	款	5	労働費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	労働費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	1	労働諸費			
	事業	0105010	勤労者福祉事業		施策	多様な働き方への支援

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
57,050,000		56,200,000		0		850,000		98.5%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
50,000,000			勤労者資金元金		50,000,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 勤労者資金融資あっせん（預託金額50,000,000円）

勤労者の生活の安定と福祉の向上に資するため、長野県労働金庫あづみ野支店の協力を得て生活資金のあっせんを行いました。（預託融資倍率1.5倍で長野県労働金庫と協定）

【利用状況】

年 度	新規利用件数	新規融資金額計	年度末融資残高
令和5年度	1件	2,400,000円	18,962,000円
令和4年度	0件	0円	25,647,000円
令和3年度	2件	4,300,000円	34,774,000円

2 安曇野市勤労者住宅建設資金融資利子補給金（補給金1,650,000円）

勤労者が市内に延床面積150㎡以内の住宅を建設、または敷地面積330㎡以内の宅地を購入するために長野県労働金庫から融資を受けた際に利子の一部を補給しました。

【利用状況】

年 度	新規利用件数	3年分の利子総額	補給金総額
令和5年度	33件	26,782,649円	1,650,000円
令和4年度	34件	26,406,333円	1,700,000円
令和3年度	35件	31,278,680円	1,750,000円

3 安曇野市勤労者互助会運営事業（負担金4,250,000円）

市内に事業所を有する中小の事業者及び従業員の環境整備や福利厚生向上を目的に、安曇野市勤労者互助会の運営を支援しました。なお、令和5年度末会員数は1,518人（対前年2人減）でした。

上記の評価と課題等

勤労者資金融資あっせん事業、勤労者住宅建設資金融資利子補給事業及び勤労者互助会運営事業は、中小企業、小規模事業者の従業員の福利厚生や生活の安定に寄与していることから、引き続き制度の周知を図り、市内事業者の加入促進、利用率向上を図ります。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書 ページ	163

予算	款	7	商工費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	1	商工総務費			
	事業	0107010	商工総務費		施策	商工業の振興

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
272,452,000		270,347,464		0		2,104,536		99.2%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
13,185,000			新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		13,185,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 商工会補助金（補助額50,581,000円）

①経営改善普及事業（事業費19,331,000円）

市内小規模事業者の振興と経営安定を図るため、市商工会が実施する経営改善、技術改善のための経営支援員による巡回や、創業・経営指導、金融斡旋等事業及び税務・金融個別指導などに対して支援しました。

②地域総合振興事業（事業費31,250,000円）

市内商工業者の発展を図るため、市商工会が実施する各事業を支援しました。

商工会では、事業継続計画（BCP）策定支援としてのセミナー開催やコロナ対策事業として特別相談窓口の設置や、国、県等の各種協力金・支援金の給付支援事業を実施しました。

2 信州安曇野食の感謝祭（負担金13,185,000円）

令和5年度は4年ぶりの会場開催となりました。イベント名称も改め、来場者と出展者相互の交流機会の創出と安曇野の「食」と特産品の魅力を再発見していただくイベントとして再出発し、11月11日（土）、12日（日）の2日間で延べ30,000人をお迎えしました。新そばについては、従来の会場内専用ブースにて新そばを食していただく方法から、市内各店舗を訪れて食していただく方法へ変更し、来場された皆様に市内そば店を周知するため、スタンプラリーを兼ねて新たに市内そば店を紹介する「信州安曇野そばまっぷ」を作成して市内全戸及び周辺施設に配布しました。

上記の評価と課題等

安曇野市商工会への補助事業を通じ、事業者の経営革新や経営に関する相談・支援等を行うことで市内小規模事業者等の経営安定化のほか、地域の賑わいの創出と、商業振興、工業振興等に資することができました。

次年度以降に県補助金の見直しによる減額が見込まれるため、その際には市補助金額も減額となり、将来的に現状の支援体制の維持が難しくなることが危惧されます。商工業の振興、地域活性化に繋がっていく事業の実施について、商工会とこれまで以上に協調し、検討・実施していく必要があります。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書 ページ	163

予算	款	7	商工費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	1	商工総務費			
	事業	0107020	J R ・ 高速乗合バス利用対策事業		施策	商工業の振興

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
20,032,000	18,616,328		0		1,415,672	92.9%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額	
4,619,507		市営駐車場使用料	2,560,200			
		JR乗車券類等発売業務	2,059,307			

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 駅関連施設管理事業（事業費15,394,718円）

J R 駅無人化対策として、大糸線の5駅（安曇追分駅、有明駅、柏矢町駅、中萱駅、梓橋駅）及び篠ノ井線の田沢駅の計6駅の乗車券類の発売を、安曇野市簡易委託駅連合会に委託しました。また、市内11駅中、公設駐輪場のある10駅の駐輪場の管理を行い、利用者の利便性向上を図りました。

【簡易委託駅の状況】

委託駅6駅合計	令和3年度	令和4年度	令和5年度
乗車券取扱総額	47,644,460円	50,204,590円	56,956,740円
受託金収入額 ※	1,578,230円	1,799,155円	2,059,307円

※ 乗車券類の販売手数料として取扱総額の5%（定期券は1.8%）を受託金として収入

2 市営駐車場管理業務（事業費3,221,610円）

長野道安曇野バス停を乗降所として運行しているバスを利用する人等の利便性向上のため、安曇野インターチェンジ東駐車場の管理を行いました。

年 度	総件数	左の内バス利用件数	バス利用者割合	使用料収入額
令和5年度	18,393件	9,261件	50.35%	2,560,200円
令和4年度	17,805件	8,812件	49.49%	2,493,600円
令和3年度	18,293件	9,434件	51.57%	2,415,500円

上記の評価と課題等

簡易委託駅については、地域の実情等を考慮し、当面は時短営業を継続しながら、無人となる時間帯等の駅舎の地元活用等を検討していきます。また、各駅の放置自転車の整理についても、利用者に不都合が生じないように計画的に実施していきます。

市営駐車場については、引き続き除草や除雪等を行い、施設の適切な維持管理をしていくと共に、老朽化が進む設備の計画的な更新が必要です。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書 ページ	165

予算	款	7	商工費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	2	商工振興費			
	事業	0107030	商業振興事業		施策	商工業の振興

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
13,374,000		12,953,188		0		420,812		96.9%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
111,942			産業会館使用料		31,050					
			産業会館光熱水費		80,892					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 明科産業会館管理運営（事業費732,188円）
明科地域の商業振興のための施設として貸館業務を行いました。
管理業務を委託し施設管理を実施しました。
令和5年度の延利用者数は300人、延利用団体数は20組でした。

- 2 商業事業者支援事業
○街路灯維持管理事業（事業費1,777,000円）
商店街が管理する街路灯に係る電気料金に対し、10/10の助成をしました。

年度	対象本数	補助金額
令和5年度	416本	1,777,000円
令和4年度	316本	2,230,000円
令和3年度	478本	779,000円

- 販路拡大展示会出展事業補助金（事業費1,319,000円）（国内は30万円、海外は40万円を限度）
展示会の出展小間料等に対し、5/10以内の助成をしました。

年度	利用件数	補助金額
令和5年度	9件	1,319,000円
令和4年度	4件	155,000円
令和3年度	2件	100,000円

- 空き店舗等改修支援事業補助金（事業費1,427,494円）（80万円を限度）
令和4年度から開始し、事業を営むために係る空き店舗等の改修費用等に対し、5/10以内の助成をしました。

年度	利用件数	補助金額
令和5年度	11件	8,625,000円
令和4年度	5件	1,427,494円

上記の評価と課題等

街路灯維持管理事業では、街路灯を維持管理している商店街の負担軽減を図りました。
今後の課題として、魅力ある店舗や商店街の形成による来訪者の増加を目指し、個店への伴走支援の実施を検討します。また、新たなニーズへの対応や利用実績の乏しい事業の廃止等、商業関連補助制度の見直しを図ります。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書 ページ	165

予算	款	7	商工費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	2	商工振興費			
	事業	0107050	工業振興事業		施策	商工業の振興

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
195,342,000	194,457,036	0	884,964	99.5%	
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
110,100,000		企業版ふるさと納税	100,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	110,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要																																						
1 中小企業等サポート事業（事務事業委託料3,047,012円） 「中小企業事業者支援業務」を安曇野市商工会へ委託し、製造業等企業への情報提供、ビジネスマッチング支援、個別企業の課題解決等の支援を実施することで、企業の成長と雇用の安定を図ることを目的に実施しました。 【主な業務件数】 <table> <tr> <th rowspan="2"></th><th colspan="3">件 数</th></tr> <tr> <th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th></tr> <tr> <td>市内事業者訪問による情報収集及び経営支援等</td><td>519</td><td>251</td><td>63</td></tr> <tr> <td>ビジネスマッチング支援等</td><td>260</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr> <td>市等が助成する各種助成金に関する支援</td><td>134</td><td>2</td><td>0</td></tr> <tr> <td>経営強化に関する支援</td><td>484</td><td>2</td><td>0</td></tr> <tr> <td>関係機関・団体との連携強化によるビジネス創出支援</td><td>26</td><td>5</td><td>0</td></tr> <tr> <td>安曇野工業の発展促進化支援</td><td>21</td><td>3</td><td>0</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>1,444</td><td>265</td><td>65</td></tr> </table>					件 数			令和3年度	令和4年度	令和5年度	市内事業者訪問による情報収集及び経営支援等	519	251	63	ビジネスマッチング支援等	260	2	2	市等が助成する各種助成金に関する支援	134	2	0	経営強化に関する支援	484	2	0	関係機関・団体との連携強化によるビジネス創出支援	26	5	0	安曇野工業の発展促進化支援	21	3	0	合 計	1,444	265	65
	件 数																																					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度																																			
市内事業者訪問による情報収集及び経営支援等	519	251	63																																			
ビジネスマッチング支援等	260	2	2																																			
市等が助成する各種助成金に関する支援	134	2	0																																			
経営強化に関する支援	484	2	0																																			
関係機関・団体との連携強化によるビジネス創出支援	26	5	0																																			
安曇野工業の発展促進化支援	21	3	0																																			
合 計	1,444	265	65																																			
2 企業誘致 市内への立地を希望する企業の受け皿となる産業用地の確保を目的として、令和5年度から穂高北穂高地区産業用地整備事業を進めています。青木花見産業団地及び島新田工業団地の周辺地を開発候補地として設定し、官民連携による開発を進めるべく（株）ヤマウラ及び（株）dーネクストと官民連携協定を締結しました。 今後、市内の雇用促進や地域経済活性化に寄与する企業を官民連携により誘致していきます。																																						

予算	款	7	商工費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		基本方針	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	2	商工振興費		基本施策	商工業の振興
	事業	0107050	工業振興事業			

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3 企業への助成制度の充実

新たな企業誘致と既存企業の設備投資・事業拡大などの支援のため、工業系は11の助成制度を設け、助成制度の利用促進に向けチラシ作成、市ホームページへの掲載や、制度説明会の開催、市商工会に広報を依頼するなど普及活動に努めました。

【交付実績】（ ）は前年度数値

事業名	件数	補助金額	備考
工場等設置事業	6件 (7件)	8,399,300円 (7,007,400円)	新規1件 2年目2件、3年目3件
生産設備取得事業	16件 (13件)	43,894,000円 (46,194,000円)	新規4件 2年目3件、3年目9件
工場用地取得事業	2件 (2件)	893,800円 (342,300円)	新規1件 2年目1件、3年目0件
空き工場等活用促進事業	8件 (5件)	4,901,000円 (3,185,405円)	新規5件 継続3件
技術・製品等展示会出展事業	4件 (4件)	970,000円 (395,245円)	
新製品・新技術開発支援事業	0件 (2件)	0円 (1,000,000円)	
工場等緑化事業	0件 (3件)	0円 (2,171,600円)	
国際（国内）規格取得支援事業	0件 (1件)	0円 (297,000円)	
製造業等人材育成事業	2件 (0件)	30,000円 (0円)	
地域経済牽引企業工場用地取得事業	11件 (11件)	122,113,000円 (167,882,000円)	新規2件 継続9件
本社機能移転企業雇用創出事業	0件 (－)	0円 (－)	
合 計	48件 (48件)	181,201,100円 (218,143,023円)	

上記の評価と課題等

工場用地取得等の様々な助成制度により、市内への企業誘致、企業留置、雇用機会創出に繋がっています。また、生産設備の更新、導入等を促すことで、中小企業の労働生産性の向上や、受注等対応力向上により、主要産業である製造業等の基盤強化を図りました。

経済状況の変化に柔軟に対応するため、助成制度の内、使用実績の乏しい助成制度を見直し、その他制度についても条件変更等により事業者の事業維持・拡大に対する支援を実施していきます。また、国、県等の支援制度の活用促進も含めた市内企業の総合的な支援の実施を目指します。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書 ページ	165

予算	款	7	商工費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	2	商工振興費			
	事業	0107060	市制度資金貸付事業			

				単位：円	
予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2, 285, 133, 000	2, 284, 986, 236		0	146, 764	100. 0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2, 245, 004, 583		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	17, 688, 801		
		市制度資金元金	2, 200, 000, 000		
		制度資金保証料補給金返還金	27, 315, 782		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 制度資金貸付状況（預託金2,200,000,000円）・・・預託金額の5倍まで融資可能
市内の中小企業・小規模事業者に必要な資金を円滑に供給するため、金融機関及び長野県信用保証協会の協力を得て融資を実行しました。

【融資件数の状況】

		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		融資件数	融資額	融資件数	融資額	融資件数	融資額
市	運転資金	276	2,319,580,000	52	190,200,000	53	190,860,000
	設備資金	34	252,760,000	25	87,530,000	30	139,060,000
	計	310	2,572,340,000	77	277,730,000	83	329,920,000
県	運転資金	27	257,213,000	72	776,120,000	76	1,188,310,000
	設備資金	23	288,597,000	28	185,530,000	35	304,280,000
	計	50	545,810,000	100	961,650,000	111	1,492,950,000
計	運転資金	303	2,576,793,000	124	966,320,000	129	1,379,170,000
	設備資金	57	541,357,000	53	273,060,000	65	443,340,000
	計	360	3,118,150,000	177	1,239,380,000	194	1,822,870,000

2 制度資金保証料補給金及び利子補給（補給金57,142,793円）
保証貸付を受ける者が負担すべき保証料は、年2.20%以下で保証協会が定める率で賦課されますが、市はその4/5から5/5に相当する保証料を補給しました。また、融資実行した翌年度において、1年に限りその利子の1%を上限に補助金として交付しました。
保証料補給金：197件 31,707,670円 利子補給金：407件 25,435,123円

上記の評価と課題等	
多くの市内事業者の資金需要に対応することができ、これにより事業継続が図られ従業員の雇用確保にも繋がりました。	
引き続き、物価高騰対策や、事業継続、事業転換等を支援する新たな資金メニューの創出や、利用実績の乏しい資金メニューの見直しについて、信用保証協会等の関係各所の意見収集、県制度資金の動向を見ながら検討していきます。	

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書 ページ	165

予算	款	7	商工費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	2	商工振興費			
	事業	0107070	産業連携推進事業		施策	市内事業者の経営強化

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,672,000		6,633,000		0	39,000	99.4%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 産業支援コーディネーターによる支援（事業費6,633,000円）
販路・流通・マーケット戦略などを食品流通系に詳しい法人に業務委託して、市内中小事業者の経営支援・事業者間連携による新商品開発を実施しました。

受託業務項目	R4年度活動件数	R5年度活動件数
市内事業者訪問による経営支援	56	59
地域ブランドの構築・発信	206	190
地域内事業者連携支援	18	63
合計	280	312

上記の評価と課題等

産業支援コーディネーターにより、事業者の伴走型支援と共に広域的な人材マッチング等、販路・流通・マーケット戦略といった企業支援を行いました。
今後の課題として、更なる知名度向上のため、Web広告やSNS等を通じた情報発信の強化が必要です。また、地域内事業者の交流・連携機会の創出による事業者間連携の向上を図り、新商品開発に繋がります。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書 ページ	165

予算	款	7	商工費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	2	商工振興費			
	事業	0107078	プレミアム付き商品券事業		施策	商工業の振興

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
685,793,000		10,000,000		675,793,000		0		1.5%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
185,793,000			物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金		185,793,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 プレミアム付商品券事業（事業費10,000,000円）

物価高騰の影響を受けている市内経済と市民生活の活性化を図るため、発行総額65,000万円の
内、プレミアム分15,000万円の商品券（1セット13,000円分を10,000円で50,000セット用意）を
販売しました。

当事業は、物価高騰対策として行う国の補助金を受けて実施する事業であり、国の予算が繰り
越されたこと、年度内での事業完了が困難であることから、令和5年度から令和6年度にかけて
繰越して実施するものです（事業費合計 685,793,000円）。

上記の評価と課題等

プレミアム商品券応募希望数が多数となったことから、配付数の調整が必要となりました。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書 ページ	167

予算	款	7	商工費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	2	商工振興費			
	事業	0107130	しごと創出事業		施策	多様な働き方への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
38,168,000	37,610,358		0		557,642	98.5%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
21,754,000		デジ田交付金(地方創生推進タイプ)		3,479,000		
		UIJターン就業移住事業		16,275,000		
		ふるさと寄附基金繰入金		2,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 創業実現セミナー事業（負担金1,800,000円）
商工会と共同で、経営・財務・人材育成・販路といった創業に必要な基礎知識の習得、経営への心構えなどレベルに応じ3講座を開催しました。
・ミニ創業実現セミナー（4名参加）
・創業実現セミナー（19名参加）
・次世代経営者育成塾等（9名参加）
当該セミナーの受講を通じて、6名の方が創業されました。
- UIJターン就業移住促進事業（補助金18名 25,000,000円）
首都圏等からの就業・移住を促進するため、条件を満たす企業等へ就業し、市内に移住した人に対して、長野県と協調し助成しました。
- 安曇野市テレワークセンター管理運営事業（事業費10,806,398円）
新たな就労機会の創出、とりわけフルタイムでの就労が困難な方に就業機会を提供するため、管理運営を塩尻市振興公社に業務委託してテレワークセンターを運営しました。
（累計ワーカー登録者数107名（実働61名）、ワーカー収入20,767,614円、業務数32件）

上記の評価と課題等

創業実現セミナーやUIJターン就業移住促進事業を連携させて市内への新規創業を誘導することが課題です。また、創業に至った後も自走に繋がっていくようにアフターフォローを継続して行っていく必要があります。

リモートワークという働き方を提供するため、リモートワーカーの育成支援業務を外部へ委託し、仕事の地産地消を生み、地域の労働者不足問題の課題解決に寄与することを目指します。

また、安曇野市の独自の地域資源や地域課題からみえる企業ニーズに応じたサテライトオフィス誘致に係る戦略等を策定し、新たな産業の誘致に繋がります。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書 ページ	151

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	5	農業交流促進費			
	事業	0106130	安曇野の里運営事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
36,945,000		36,343,211		0		601,789		98.4%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
1,220,001			安曇野の里基金利子		1					
			安曇野の里基金繰入金		610,000					
			安曇野の里施設利用料		610,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

豊科安曇野の里自然活用村施設（ビレッジ安曇野ほか関連施設）の管理を指定管理し、効率的な管理と各種農業体験や武蔵野市等との交流、各種イベントの企画による都市農村交流など、農業振興事業に努めました。

また、プラザ安曇野の食堂・直売所部分を株式会社薬師平リゾートへ指定管理しました。

○ビレッジ安曇野ほか

指定管理者	一般社団法人豊科開発公社		
指定管理施設	ビレッジ安曇野、プラザ安曇野（1階東、2階）、わさび田広場、あづみ野ガラス工房、あづみ野第2ガラス工房		
指定期間	令和5年4月1日 から 令和8年3月31日 まで		
指定管理料	15,350,000円	市への納付金	R2～R5全額免除（4,790,000円）
利用者数	ビレッジ安曇野宿泊者数 7,861人（前年度比 +1,526人）		

○プラザ安曇野1階西

指定管理者	株式会社薬師平リゾート		
指定管理施設	プラザ安曇野1階西（食堂・直売所）		
指定期間	令和3年4月1日 から 令和8年3月31日 まで		
指定管理料	600,000円	市への納付金	610,000円
利用者数	施設利用者数 15,760人（前年度比 -7,281人）		

○共通経費

借地料	3,624,210円（12,630.33㎡）		
改修工事等	あづみ野ガラス工房溶解炉更新工事	10,186,000円	
	ビレッジ安曇野サウナ改修工事	5,720,000円	

上記の評価と課題等

安曇野の里全体の施設が老朽化してきていることから、引き続き実施計画に基づく計画的な修繕を行い、効率的な管理運営に努めます。

施設利用者はコロナ前の約7割まで回復していますが、第三セクターではコロナ禍による収入減に加え、光熱費高騰による管理経費の増加により厳しい経営状況が続いています。

湧水群エリアの拠点として、スポーツ合宿誘致や自転車観光を活用した施設の活用方法を検討します。

また、令和5年9月から営業休止したプラザ安曇野2階チロルは、指定管理者により施設の設置目的に沿った事業を行う場として活用していきます。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書 ページ	151

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	5	農業交流促進費			
	事業	0106140	ファインビュー室山運営事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
21, 782, 000	21, 731, 490		0		50, 510	99. 8%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

三郷農林漁業体験実習館（ファインビュー室山）の管理を、株式会社ファインビュー室山に指定管理し、効率的な管理と農業体験をはじめイベント等の企画を通じた都市農村交流に努めました。

○ファインビュー室山

指定管理者	株式会社ファインビュー室山		
指定期間	令和5年4月1日 から 令和8年3月31日 まで		
指定管理料	なし	市への納付金	R2～R5全額免除（19,060,000円）
利用者数	宿泊者数 7,582人（前年度比 -735人）		
主な工事	屋根塗装工事	7,634,000円	
	ロビー等LED化工事	6,380,000円	
	本館ボイラー缶体交換工事	3,388,000円	

上記の評価と課題等

ファインビュー室山については、引き続き実施計画に基づく計画的な修繕を行い、効率的な管理運営に努めます。

令和3年度及び令和4年度に実施した施設譲渡に関する公募において、譲渡先民間事業者の選定に至らなかったため、当面の間は現行の第三セクターによる指定管理を継続します。

施設利用者はコロナ前の約7割まで回復していますが、第三セクターではコロナ禍による収入減に加え、光熱費高騰による管理経費の増加により厳しい経営状況が続いています。

観光協会等と協力して市南部エリアの観光拠点として活用できる仕組みの検討を行います。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書 ページ	151

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	5	農業交流促進費			
	事業	0106150	ほりで一ゆ〜運営事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円					
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	
53,305,000		53,280,914		0	
				24,086	
特定財源の決算額		執行率 ②/①		100.0%	
47,393,313	左記の内訳	細節名		金額	金額
		堀金観光開発基金利子		137,029	
		堀金観光開発基金繰入金		47,115,044	
		建物総合損害共済金		141,240	

主要な施策（事務事業）の成果の概要			
ほりで一ゆ〜四季の郷及び周辺施設を、株式会社ほりで一ゆーに指定管理し、効率的な管理運営と農業体験をはじめとしたイベント等の企画を通じた都市農村交流に努めました。			
○ほりで一ゆ〜四季の郷			
指定管理者	株式会社ほりで一ゆー		
指定管理施設	ほりで一ゆ〜四季の郷（本館・南館）、パター・マレットゴルフ場、コテージ四季の郷、須砂渡キャンプ場、憩いの森オートキャンプ場		
指定期間	令和5年4月1日 から 令和8年3月31日 まで		
指定管理料	24,864,496円	市への納付金	R2〜R5全額免除（53,970,000円）
利用者数	ほりで一ゆ〜四季の郷宿泊者数 16,387人（前年度比 +2,985人）		
借地料	3,582,541円（165,654.81㎡）		
主な工事	直流電源装置改修工事		6,182,000円
	空調設備更新工事		14,388,000円

上記の評価と課題等	
ほりで一ゆ〜四季の郷については、引き続き実施計画に基づく計画的な修繕を行い、効率的な管理運営に努めます。	
令和3年度及び令和4年度に実施した施設譲渡に関する公募において、譲渡先民間事業者の選定に至らなかったため、当面の間は現行の第三セクターによる指定管理を継続します。	
施設利用者はコロナ前の約7割まで回復していますが、第三セクターではコロナ禍による収入減に加え、光熱費高騰による管理経費の増加により厳しい経営状況が続いています。	
市西部エリアの観光拠点としてMTBコースや県営烏川溪谷緑地、国営アルプスあづみの公園等の周辺施設と連携したイベントや商品開発を指定管理者と協力して行います。	

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書 ページ	157

予算	款	6	農林水産業費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	林業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	1	林業振興費			
	事業	0106232	長峰山森林体験交流センター事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
50, 151, 000		48, 560, 349		0		1, 590, 651		96. 8%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
36, 100, 000			ふるさと寄附基金繰入金		12, 000, 000					
			長峰山施設改修事業（過疎債）		24, 100, 000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要			
長峰山森林体験交流センター（天平の森）の管理を指定管理し、効率的な管理と森林体験や天体観測等の体験の機会を増進し、地域や都市との交流の促進に努めました。			
また、老朽化したハンググライダーの発射台を更新し競技者はもとより、登山客をはじめ訪れる観光客が安心して絶景を楽しめるスポットとして整備しました。			
○長峰山森林体験交流センター			
指定管理者	穂高カントリー株式会社		
指定期間	令和元年4月1日 から 令和8年3月31日 まで		
指定管理料	14, 999, 167円	市への納付金	なし
利用者数	コテージ利用者数1, 542人（前年度比+71人） キャンプ場利用者数868人（前年度比-105人）		
主な修繕	ガスボイラー修繕	278, 300円	
	FF式暖房修繕	242, 000円	
	バンガロー修繕	704, 000円	
	男子トイレ修繕	266, 200円	
	浄化槽ポンプ修繕	221, 355円	
主な工事	ウッドデッキ撤去解体工事	187, 000円	
	キャンプ場水はけ改修工事	1, 265, 000円	
	配水池水位監視設備設置工事	4, 334, 000円	
	研修棟ウォッシュレット取替工事	325, 600円	
	ランチャー台整備工事	24, 585, 000円	
上記の評価と課題等			
長峰山森林体験交流センターは、施設及び設備の老朽化に伴う修繕が多く発生していますが、指定管理者の日々のメンテナンスや状況把握により事故等はなく、利用者への影響も最小限に抑えるよう適正に管理運営されています。			
公共施設再配置計画に基づく施設の譲渡に関しては、補助金の処分制限や老朽化した施設・設備の管理等の課題があります。今後「東部アウトドア拠点整備基本構想」の中で示される施設の位置づけを踏まえ、あり方の検討を進めます。			

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光促進担当

決算書 ページ	167

予算	款	7	商工費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	3	観光費		施策	地域独自の観光資源の活用
	事業	0107080	地域ブランド化構築事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
10,806,000	9,358,614		0		1,447,386	86.6%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
6,448		天蚕振興基金利子		6,448		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 安曇野ブランド創出事業の支援（758,400円）
観光地ブランドの要素となる地域資源を守り、育てる活動を続けている市民団体（屋敷林と歴史的まちなみプロジェクトほか全5プロジェクト）の活動支援を行いました。各団体の自主的運営が継続するよう、プロジェクトの方向性の見直しや補助金以外の自主財源確保等、自立に向けた取り組みを進めています。
- 安曇野の食の魅力を高める取り組み（200,000円）
○安曇野やさいスイーツフェアの開催
令和5年10月1日から10月31日まで開催。プレイベントは9月28日、29日に、会場を例年の市役所庁舎ではなく、大王わさび農場で初開催しました。
安曇野の豊かな自然が育んだ夏秋イチゴをテーマにスイーツを商品化し、期間限定で市内の菓子店等で販売しました。【参加店舗】14店舗
○「安曇野林檎ナポリタン」のPR（166,650円）
平成24年度に安曇野市のB級グルメとして商品開発された「安曇野林檎ナポリタン」への参加店舗は、13店舗（12業者）となりました。また、安曇野のご当地料理としてイベントや市内小中学校の給食でも提供されました。
PR用のチラシやポスター、のぼり旗を作成し、観光案内所、観光施設などに設置したほか「安曇野林檎ナポリタン」を提供している店舗を周遊してもらうため、割引チケットキャンペーンを実施しました。
- メディア・ロケ誘致推進事業
メディア関係者の取材や映画・テレビ番組等の撮影を誘致するため、ロケ支援専用ホームページなどによりロケ地情報の提供や、取材・撮影に同行し撮影の支援を行いました。ロケ支援作品やテレビ番組も複数放映され市のPRにつながりました。
【ロケ支援対応】TVドラマ：1件 ドラマ以外のTV：4件（海外TV1件） CMなど：2件
- 「朝が好きになる街」ブランドづくり事業（514,470円）
視覚的な統一を図ることにより市の存在感を高めるVI（ビジュアルアイデンティティ）構築に取り組みました。「朝が好きになる街 安曇野」とVIロゴマークが記載されたクリアファイルや観光PR用ウェア（包括連携協定を締結している（株）モンベル製）を作成し観光キャンペーン等で活用しました。
また、市内企業等のVIロゴマーク使用申請は5件ありました。

予算	款	7	商工費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		基本方針	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	3	観光費			
	事業	0107080	地域ブランド化構築事業		基本施策	地域独自の観光資源の活用

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

5 天蚕振興事業

- 安曇野市天蚕センターの指定管理（指定管理料 3,759,000円）
安曇野市天蚕振興会に指定管理し、天蚕に関する資料・機器具・工房等が広く一般に公開され、施設活性化のための創造事業として機織り体験等のワークショップも実施されました。

来場者数	令和5年度	2,881人	前年度比	12% 増
	令和4年度	2,583人	前年度比	27% 増
	令和3年度	2,036人	前年度比	65% 増

○天蚕飼育

長野県が所有する旧蚕業センター有明試験地を賃借し、天蚕の飼育を行いました。

面積 22,234.65㎡ 借地料 9,990円

○天蚕振興会運営支援（補助金 1,720,000円）

市内の天蚕飼育者等で組織されている安曇野市天蚕振興会へ運営支援のため、補助金を交付しました。天蚕振興会では、天蚕の飼育、繰糸、機織、製品づくり、後継者育成として研究事業等の一連の事業を行いました。

① 生産実績 収穫数：5,469粒、生糸繰糸量：0.85kg、紬糸：0.02kg

反物制作数：着尺3反、ストール・マフラー等19枚

② 後継者育成 繰糸部による繊維講習会等の開催

豊科東小学校、豊科南小学校、穂高北小学校、堀金小学校、豊科北中学校、穂高東中学校、明科中学校で出前授業等の実施

③ 研究事業 信州大学との包括連携事業として繊維学部との調査研究事業

○広域連携

市が加盟する各種協議会事業へ参加し、天蚕振興会と共に天蚕をPRしました。

・信州シルクロード連携協議会事業等への参加

上記の評価と課題等

地域ブランド構築化に向け、メディアへの安曇野の食や美しい景観・自然などの情報提供や、SNSを活用したVI事業などを通じ、市のイメージアップに取り組みました。貴重な地域資源の一つである天蚕については、中心となる安曇野市天蚕振興会への支援を通じ、後継者の育成と生産量の確保に取り組みました。

今後も、地域おこし協力隊員や市民の皆さんの力も活用しながら「わさび」「山岳観光」「天蚕」など、地域ブランドの差別化を明確に図りつつ、観光プロモーション事業と連携しWeb、SNS、メタバース空間など観光DXにつながる情報発信を図り、市民・来訪者に対する安曇野ブランドの認知度向上と観光誘客へとつなげていきます。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光促進担当

決算書 ページ	167

予算	款	7	商工費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	3	観光費			
	事業	0107090	観光イベント事業		施策	戦略的な観光プロモーション

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
11,898,000		11,597,660		0	300,340	97.5%
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,800,000			観光イベント事業（過疎債ソフト）	3,800,000		
					(入湯税)	(6,866,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

交流人口拡大、地域経済の活性化を図るため各実行委員会を支援しイベントを実施しました。新型コロナウイルス感染症が5類移行後は、イベントの規模をコロナ禍前程度に戻しイベントを開催しました。（各種イベントへの補助金 11,564,000円）

- 第40回早春賦まつり
4月29日（土・祝）新型コロナウイルス感染症の5類移行前のため規模を縮小して開催しました。
- 安曇野12時間ロゲイニング
5月13日（土）初めてとなる市内全域を競技エリアとした12時間の部と、参加しやすい3時間の部を設け、当日は県内外から171名が参加しました。
- 第16回安曇野花火
8月14日（月）4年ぶりにコロナ禍前と同規模での開催（打上数約4,200発）となりました。約20,000人の観覧者が訪れ、コロナ禍前の賑わいを取り戻し盛況となりました。
- 安曇野神竹灯
12月1日（金）～3日（日）、12月8日（金）～10日（日）の2週、計6日開催しました。神楽殿でのライブやキッチンカー、クラフトが出店する「あづみ野てらす」も同時開催し、会場となった穂高神社は6日で合計41,000人の来場がありました。

上記の評価と課題等

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、各イベントをコロナ禍前の規模で開催することができました。安曇野花火は4年ぶりに通常開催となり、県内外から多くの方に訪れていただき、安曇野を楽しんでもらえる機会を創出できました。
今後も、イベント参加者向けの特典を充実させる工夫や、各イベント実行委員会関係者と課題を共有し、交流人口拡大に繋がるイベントの開催に努めていきます。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光促進担当

決算書 ページ	169

予算	款	7	商工費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	3	観光費			
	事業	0107100	受入体制整備事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
97,032,000	94,859,895		0		2,172,105	97.8%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名		金 額	細 節 名	金 額
2,921,000		デジ田交付金（デジタル実装タイプ）		2,921,000		
				(入湯税)	(12,454,000)	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 安曇野市への来訪者の状況等

観光地利用者統計調査結果によると、令和5年の観光地延利用者数は前年比約109%増の約406万人となり、新型コロナ5類移行後の観光客が増加したことにより前年を上回りました。観光消費額も約120%増の約105億円となりました。新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年比では利用者数約81%、消費額約88%となっていますが、新型コロナ5類移行後の観光需要は復調してきています。

	年	観光地延利用者数（千人）				観光消費額 （百万円）
		合計	前年比 （%）	日帰り・宿泊別		
				日帰り	宿泊	
安曇野市	令和5年	4,059	108.8	2,967	1,092	10,506
	令和4年	3,731	119.5	2,784	947	9,387
	令和3年	3,121	107.3	2,492	629	7,215
	令和2年	2,908	58.2	2,310	598	6,693
	令和元年	4,993	96.0	3,796	1,197	11,975

県全体	令和5年	未発表(8月公表予定)				観光消費額 (百万円)
	令和4年	75,447	143.3	52,707	22,740	
	令和3年	52,589	102.2	36,676	15,913	
	令和2年	51,476	59.8	34,865	16,611	
	令和元年	86,011	98.7	57,704	28,307	

2 受入体制の充実

○安曇野市観光協会との連携

安曇野市観光協会への補助事業・委託事業により、着地側での観光情報の発信や着地型旅行商品の造成、周遊バスの運行やシェアサイクルの活用による二次交通の充実など、受入体制の充実を図りました。

① 運営補助金(14,145,400円)

事務所経費、周遊バス運行等経費、シェアサイクルの運営等に対する補助

② 観光案内・情報発信等業務委託(64,251,220円)

- ・観光案内業務(穂高駅前観光情報センター及び観光情報スペース)
- ・着地体験型旅行商品の造成・販売業務
- ・独自パンフレット作成(あづみ野ガイドマップ、あづみ野周遊バスルート・シェアサイクルサポートMAP、観光らくらくタクシーチラシなど)

予算	款	7	商工費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		基本方針	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	3	観光費			
	事業	0107100	受入体制整備事業		基本施策	地域独自の観光資源の活用

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○第2次安曇野市観光振興ビジョンの推進

令和5年度に策定した、第2次安曇野市観光振興ビジョンの各施策を進めています。また、持続可能な観光地づくりに向けた観光地経営については、長野県観光機構の助言を得ながらセミナー等の事業を実施しました。

○山岳観光の推進（4,300,000円）

安曇野市山岳観光推進実行委員会への補助事業を行い、ライトユーザーや若者層をターゲットに山岳・平地観光の魅力を発信しました。昨年に引き続き、首都圏でメディアエージェント懇談会を開催し北アルプスの魅力を発信しました。

- ① 北アルプスパノラマ銀座山小屋リピート企画
- ② 安曇野ひがし山写真教室
- ③ 安曇野ひがし山の魅力を伝えるガイド付きツアーの実施
- ④ メディア・エージェント懇談会の開催

○アドベンチャーツーリズムの推進（660,000円）

今後の観光需要を見据え、世界的な潮流であるアドベンチャーツーリズムに対応するため、北海道で開催された、アドベンチャートラベルワールドサミット2023に市観光協会職員と市職員を派遣し、国内先進地である北海道のアウトドアコンテンツや受入体制などを視察しました。

○地域おこし協力隊員の活動

2年目となる地域おこし協力隊員の活動として、飼育技術の習得のほか、市内の認定こども園や小学校などで天蚕の飼育技術などについて学習会を開催し、天蚕を次世代につなげる取り組みを行いました。

上記の評価と課題等

観光推進組織である安曇野市観光協会と連携し、観光情報センターや観光案内所での情報発信、地域資源を活用した、着地型旅行商品の造成・販売を行いました。また、二次交通の充実を図るためシェアサイクルの運営など、来訪者の受入体制を整えることができました。山岳観光では、北アルプスパノラマ銀座及び「ひがし山」の魅力発信を行い、誘客や受入体制の充実を図りました。

今後は、観光振興ビジョンの各施策を基にした事業を実施するとともに、観光地経営の視点や地域の事業者等が協力して活動する持続可能な組織づくりとして、DMO設立も視野に観光地経営組織の在り方について検討をしていきます。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光促進担当

決算書 ページ	169

予算	款	7	商工費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	3	観光費		施策	戦略的な観光プロモーション
	事業	0107110	安曇野ブランド情報発信事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
59,605,000	55,348,270		0	4,256,730	92.9%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
25,732,000		デジ田交付金（地方創生タイプ）	15,732,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	10,000,000		
				(入湯税)	(17,255,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 誘客宣伝の充実
交流人口の拡大を図るため、雑誌等への記事掲載や、動画作成、安曇野市観光協会と連携し誘客活動を実施しました。
○雑誌等への広告料（4,323,900円）
・雑誌等への広告掲載（るるぶ・ハイウェイマップ等）、高速バスラッピング（新宿－白馬線）都営浅草線車内ポスター、JR新宿駅サインボード広告掲載
○パンフレット・ポスター作成、WEBによるPR等の委託料（13,180,296円）
・安曇野ひがし山トレッキングガイド改訂 ・WEBを活用した観光PR情報発信
・安曇野インスタグラムフォトコンテスト ・FIELDSTYLE JAMBOREE出展
○首都圏コミュニティエフエム等での情報発信（エフエム江戸川）
- 地域資源を活用した観光担い手育成事業（13,579,998円）
国の「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用し、官民一体で満足度の高い旅を提案し、観光振興だけでなく、ガイド等の担い手の育成を通じた関係人口の拡大、移住定住促進など持続可能な地域につなげていくことを目的とした取り組みを進めました。
①英語での登山、まちあるきガイドの養成
・今後より多くの外国人観光者の来訪が見込まれる、北アルプスパノラマ銀座等の安全な観光と魅力を発信していくため、地域通訳案内士を養成し、受入体制の拡充を図りました。
(Cityコース：5名合格、Hikingコース：6名合格)
・安曇野市観光協会ホームページを改修し、地域通訳案内士紹介ページを作成しました
②天蚕業の振興とリブランディング
・穂高天蚕糸を国内外で広く認知してもらうことを目的に、将来の担い手となりうる服飾系専門学校と、安曇野市天蚕振興会との交流事業および天蚕糸を使用したビジネスプランの企画造成を行い、ビジネスプランコンテストを実施しました。
③「自転車を活用したまちづくり」の推進
・ガイド等の受入体制の充実を目的にサイクリング他アウトドアに特化したガイドを2名養成しました。
また、急速に増加しているインバウンド需要に対応するため、ウォーキング&サイクリングマップの英語版を増刷しました。

予算	款	7	商工費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		基本方針	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	3	観光費			
	事業	0107110	安曇野ブランド情報発信事業		基本施策	戦略的な観光プロモーション

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- ④「滞在型観光」への転換と関係人口の拡大
- ・訪日外国人向けに安曇野市の認知度向上を図り、インバウンドの増加に繋げると共に、満足度の高い滞在型観光に向けたツアープランの造成に取り組みました。（3年を目安としたロードマップとわさびをメインにしたツアー5本を作成）
- 3 観光デジタル化推進事業（10,880,625円）
- ・観光でのDX推進を図るため「デジタル田園都市国家構想交付金」を活用し、課題調査および市内へのデジタル技術普及を進めるための事業を実施しました。
- ①メタバースを活用した観光情報発信
- ・県内初の観光メタバースの環境構築に着手し、北アルプスからの眺望をはじめとしたインパクトのある風景をメタバース上に出現させ、本市の認知機会とデジタル関係人口の創出を図りました。
- ②観光地情報アプリの開発に向けた調査
- ・市や観光協会、商工会等を中心にCRMデータも含めたマーケティング活用の体制構築やアプリの環境構築に向け、観光アプリや地域通貨等のデジタル技術を導入している下呂市等の先進地視察等を実施しました。
- ③観光事業者を対象としたデジタル活用人材育成
- ・CRMデータを活用したマーケティング・マネジメント人材の育成や観光DX人材の育成、業務改革など地域一体での推進体制を整えるため観光協会・商工会と市内事業者向けの研修会等を実施しました。
- 4 関連団体との広域連携による観光振興の推進（負担金9,018,042円）
- 広域で組織された観光関連団体に参画するとともに、広域的な観光プロモーション事業の実施や、首都圏等での誘客活動等に参加し、安曇野の情報発信を行いました。
- 《主な団体》
- | | |
|--------------------|------------|
| ・信州まつもと空港地元利用促進協議会 | 4,610,000円 |
| ・大糸線ゆう浪漫委員会 | 1,218,000円 |
| ・日本アルプス観光連盟 | 1,100,000円 |
| ・安曇野アートライン推進協議会 | 300,000円 等 |
- 5 アフターコロナ対策事業（1,000,000円）
- 新たな旅行ニーズ等に合わせたコンテンツ造成等による消費喚起や誘客事業を講じ、高付加価値化などによる事業者支援策を行いました。
- ・健康増進等につながるウェルネスツアーを実施し、アフターコロナに対応した旅行商品を造成しました。

上記の評価と課題等

旅行雑誌やラッピングバスなど多方面で効果的な広告掲出を行い、市の情報接触者の獲得につなげることができました。また、Web、SNS、特に県内初となる観光メタバースの活用では、新たな年齢層に向けた観光プロモーションを図ることができました。

引き続き観光メタバースを活用しながら、インバウンド等の観光ニーズを捉え、訴求力のあるプロモーションや、アウトドアコンテンツの積極的な発信、観光DXの推進など他地域との差別化を図りリピーターの獲得につなげていきます。

予算	款	7	商工費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		基本方針	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	3	観光費			
	事業	0107140	温泉活用施設事業		基本施策	地域独自の観光資源の活用

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市民や来訪者が気軽に利用できる天然温泉を活用した無料の施設として、八面大王足湯・待合所の維持管理を行いました。

○八面大王足湯・待合所

受託者	シルバー人材センターほか	
主な業務	足湯・待合所清掃等管理業務	498,897円

上記の評価と課題等

湯多里山の神及びしゃくなげの湯について、それぞれの指定管理者により適正に管理運営がされました。湯多里山の神では、コロナ禍で減少した利用者数が回復しない状況です。今後集客に向けた取り組みが必要です。また、両施設とも設備修繕等が増加しており、計画的・予防的修繕が必要な状況です。八面大王足湯については、適正に維持管理を行い、多くの観光客等に利用いただいています。

令和6年度		決算書 ページ	171
部	商工観光スポーツ部		
課	観光課		
係等	観光施設担当		

予算	款	7	商工費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	3	観光費			
	事業	0107150	潮沢廃線敷整備事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円								
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
6,560,000		5,656,301		0		903,699	86.2%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名		金額
1,400,000			廃線敷維持点検管理事業（過疎債ソフト）		1,400,000			

主要な施策（事務事業）の成果の概要							
来訪者が、旧国鉄篠ノ井線廃線敷を安全にトレッキング等を楽しむことができるよう、三五山トンネル及び漆久保トンネルの安全確保のため、継続監視業務、公衆便所の清掃等管理業務を委託しました。							
○事業内容							
<table><tr><td>支 出 内 容</td><td>支 出 額</td></tr><tr><td>トイレ清掃、門扉開閉等管理委託</td><td>804,380円</td></tr><tr><td>トンネル継続監視等業務（点検等）</td><td>1,919,500円</td></tr></table>		支 出 内 容	支 出 額	トイレ清掃、門扉開閉等管理委託	804,380円	トンネル継続監視等業務（点検等）	1,919,500円
支 出 内 容	支 出 額						
トイレ清掃、門扉開閉等管理委託	804,380円						
トンネル継続監視等業務（点検等）	1,919,500円						
廃線敷施設、案内板の修繕を行いました。							
○事業内容							
<table><tr><td>支 出 内 容</td><td>支 出 額</td></tr><tr><td>排水側溝の修繕</td><td>938,300円</td></tr><tr><td>案内看板の修繕</td><td>14,080円</td></tr></table>		支 出 内 容	支 出 額	排水側溝の修繕	938,300円	案内看板の修繕	14,080円
支 出 内 容	支 出 額						
排水側溝の修繕	938,300円						
案内看板の修繕	14,080円						
地元有志の団体「ケヤキの道」に植樹・除草・倒木処理等の管理業務を行っていただきました。コロナウイルス感染症による自粛時に中止されていた「深緑ウォーキング」等のイベントについても、久しぶりに開催され、10月にはJRの「駅からハイキング」イベントに併せて三五山トンネル等を利用して「安曇野APPLE HALLOWEEN」が行われるなど、誘客イベントが実施されました。							
○事業内容							
<table><tr><td>支 出 内 容</td><td>支 出 額</td></tr><tr><td>廃線敷遊歩道整備謝礼</td><td>300,000円</td></tr></table>		支 出 内 容	支 出 額	廃線敷遊歩道整備謝礼	300,000円		
支 出 内 容	支 出 額						
廃線敷遊歩道整備謝礼	300,000円						

上記の評価と課題等
来訪者に廃線敷を楽しんでいただけるよう、地元ボランティア団体である「ケヤキの道」との連携により施設管理を行うことができました。廃線敷の管理には、観光課のほか、複数の課が関係しており、庁内連携による管理体制が必要となっています。
施設の安全性の確保や誘客の観点から、三五山・漆久保の両トンネルの継続監視を引き続き実施することに加え、必要な補修を実施するとともに趣を残した補修工法の選定や、施設の活用方法について東部アウトドア拠点整備基本構想の方針に基づき、地域を交えながら検討を行って行く必要があります。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書 ページ	171

予算	款	7	商工費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	3	観光費			
	事業	0107160	施設管理整備事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
184, 178, 000		144, 847, 436		31, 224, 000		8, 106, 564		78. 6%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
100, 246, 000			かじかの里公園改修事業（特例債）		94, 000, 000		指定寄附金		80, 000	
			山岳環境整備基金繰入金		4, 598, 000		山岳環境整備基金利子		66, 000	
			企業版ふるさと納税		800, 000		観光公園使用料		5, 000	
			観光施設駐車場負担金		697, 000		(入湯税)		(2, 746, 000)	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市への来訪者のみならず、市民も快適に観光施設（公園・公衆トイレ・駐車場等）が利用できるよう、既存施設の修繕、清掃等の維持管理を行いました。
また、観光客が利用する市所有トイレを改修し、利用者の満足度向上を図りました。

1 登山道等整備事業として、登山者用駐車場等の施設維持管理、中房線登山車両誘導業務、北アルプス南部地区登山道整備のために登山道等維持連絡協議会への負担金支出等、観光客用駐車場確保のため、補助金交付等を行いました。また、登山口駐車場における混雑を解消するため駐車場管理システムの構築に向け、実証事業を行いました。

2 観光施設公園管理事業として、公園・観光施設・公衆トイレ30箇所等の管理を行いました。また、安曇野アトララインの看板更新工事、光城山の登山口駐車場の整備、御宝田水のふるさと公園の護岸工事等を行いました。

○主な事業内容

支 出 内 容	支 出 額
報償費 ・登山道等整備謝礼	1,845,000円
施設修繕費 ・登山口施設修繕 ・トイレ施設修繕 ・公園施設修繕	2,365,028円
委託料（管理業務等） ・公園・トイレ管理業務 ・中房登山車両誘導業務 ・光城山登山口駐車場警備業務	7,892,432円
委託料（事務事業等） ・登山者カウンター保守管理 ・登山口駐車場管理システム実証事業業務 ほか	6,877,580円

予算	款	7	商工費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		基本方針	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	3	観光費		基本施策	地域独自の観光資源の活用
	事業	0107160	施設管理整備事業			

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○主な事業内容

支 出 内 容	支 出 額
委託料（設計監理等） ・かじかの里公園 トイレ改築工事設計業務 ・かじかの里公園 かじか橋改修工事監理業務 ・かじかの里公園 再整備基本計画策定業務 ほか	10,457,700円
借上料 ・仮設トイレ ・目隠しフェンス等	1,000,560円
借地料 ・市内観光施設借地 ・トイレ等借地	2,952,755円
工事請負費 ・燕岳テント場トイレ外構工事 4,598,000円 ・中房第3駐車場舗装工事 1,276,000円 ・アートライン案内看板更新工事 5,500,000円 ・かじかの里公園 かじか橋改修工事 46,530,000円 ・かじかの里公園 トイレ改築工事 18,920,000円 ほか	85,565,540円
公有財産購入費 ・光城山登山口駐車場用地	1,958,000円
負担金 ・北アルプス登山道等維持連絡協議会 5,000,000円 ・北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会 419,000円 ・国有林観光施設協議会 38,500円 ・北アルプス登山案内人組合連合会 50,000円	5,507,500円
補助金 ・穂高駐車場運営協議会補助金	2,690,000円

○かじかの里公園指定管理

指定管理者	静岡ビル保全株式会社		
指定期間	令和3年4月1日 から 令和8年3月31日 まで		
指定管理料	3,964,000円	市への納付金	なし
利用者数	かじかの里公園キャンプ場利用者数 6,253人（前年度比 -115人）		

上記の評価と課題等

公園・トイレ施設の維持管理を定期的に行い、来訪者に快適に使用いただくことができました。施設の維持管理については、必要に応じ修繕を行っていますが、老朽した施設も多く、計画的な改修等を行っていく必要があります。

かじかの里公園の改修については、遊具や駐車場を再整備することで、アウトドアの振興や地域の公園として利用者の満足度と利便性の向上を図ります。

山岳観光分野では、北アルプス登山道等維持連絡協議会に負担金を支出し、山小屋等による登山道の維持整備を支援しています。また、登山口における混雑を解消するため登山口駐車場管理システムの実証事業を行い、システムの構築により混雑の解消に取り組みます。山岳環境整備に関する課題は多く、引き続き関係省庁や山岳関係団体と協議しつつ課題を解決していく必要があります。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書 ページ	173

予算	款	7	商工費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	3	観光費			
	事業	0107170	自然交流センター		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
3,562,000	3,410,100		0	151,900	95.7%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書 ページ	83

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	6	企画費			
	事業	0102324	自転車活用推進事業		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
745, 000	312, 200		0		432, 800	41. 9%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名		金 額	細 節 名	金 額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 自転車活用推進事業

(1) 安曇野市自転車活用推進計画の事業展開

令和5年11月に安曇野市自転車活用推進協議会を開催し、本計画に基づく当年度の進捗状況について報告し、環境整備など他部局との連携の必要性や「安曇野で自転車に乗る」楽しさをインターネットを活用して伝えていくなど様々な意見が出ました。

(2) サイクリングコースマップの作成

令和4年度に作成したサイクリングコースマップA・Bに続き、Cコースのマップを作成しました。市内公民館・体育館等施設窓口に設置し、HP等でもPRを行いました。

(3) 安曇野市サイクリングコース通行実態予備調査

自転車通行に関わる課題や今後の施策に向けての提案を探るため、試験的な安曇野市サイクリングコース通行実態予備調査を松本大学の協力を得て実施しました。

(4) 安曇野環境フェアへの出展

令和5年10月に開催された「安曇野環境フェア」にE-bikeの試乗体験・サイクリングコースの紹介等のブース出展を行いました。

(5) 先進地視察

令和6年2月に静岡県伊豆市「自転車の国サイクルスポーツセンター」、伊豆の国市「伊豆城山マウンテンバイクコース」を訪問し現地視察を行いました。

上記の評価と課題等

自転車乗車率向上のため、実態調査の結果を検証するとともに、安全で快適に利用してもらうことができるよう、引き続きサイクリングコースの維持管理を行っていきます。
「安曇野市自転車活用推進協議会」を開催し、「安曇野市自転車活用推進計画」における進捗状況の検証や課題の洗い出し、今後の展開について協議していきます。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書 ページ	85

予算	款	2	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	総務管理費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	6	企画費			
	事業	0190310	【事故】自転車活用推進事業 (ハード)		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
26,059,000	26,059,000		0	0	100.0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 令和4年度マウンテンバイクコース付帯施設整備工事【決算額：26,059,000円】

利用者駐車場や自転車の洗車場を整備しました。令和4年11月30日から令和5年3月27日までの工事期間でしたが、資材の搬入遅延により令和5年5月15日まで工期延長となりました。

洗車場を駐車場に隣接して設置したことにより、自転車を洗車し自動車への収納を効率よく行えるようになりました。

(1) 改修工事等

- ・マウンテンバイクコース付帯施設整備工事 24,772,000円
- ・マウンテンバイクコース付帯施設整備工事監理業務委託 1,287,000円

上記の評価と課題等

利用者駐車場や自転車洗車場工事が完成し、利用者の利便性が向上しました。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書 ページ	167

予算	款	7	商工費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	3	観光費			
	事業	0107095	ハーフマラソン事業		施策	アウトドア・スポーツを核としたまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
31,356,000	31,306,652		0		49,348	99.8%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
30,400,000		スポーツ振興くじ助成金		6,400,000		
		ふるさと寄附基金繰入金		24,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

大会名：第9回信州安曇野ハーフマラソン
開催日：2023年6月4日(日)
コース：豊科南部総合公園(スタート・フィニッシュ)
種目：ハーフの部(21.0975km) ファミリーランの部(2km)

●ハーフの部集計

種目	申込者数	出走者数	出走率	完走者数	完走率
ハーフの部 男子	4,504	3,828	85.0%	3,735	97.6%
ハーフの部 女子	1,494	1,297	86.8%	1,207	93.1%
	5,998	5,125	85.4%	4,942	96.4%

●ファミリーランの部集計

種目	申込組数	出走組数	出走率	完走組数	完走率
ファミリーラン(2人)	291	247	84.9%	246	99.6%
ファミリーラン(3人)	60	55	91.7%	55	100.0%
	351	302	86.0%	301	99.7%
				合計人数	657

※出走者数、完走者数ともに例年並み。

上記の評価と課題等

気温上昇による体調不良者の対応策として救護体制の強化を図りました。(AED搭載の自転車救護隊に加え、医師乗車による自転車救護隊の設置)
また、ハーフマラソン参加と合わせて市内観光、宿泊など安曇野市に滞在する参加者を増やすことをねらい、前日イベント「安曇野スポーツフェスティバル2023」を開催しました。
今後は、気候変動(特に気温上昇)に向けた対策、安心・安全な大会となるよう引き続き救護体制の充実を図るとともに、今まで日帰り参加していたランナーが宿泊・滞在型へ移行し、市への経済効果が得られるよう検討していきます。
また、令和6年度は10回記念大会となるため、記念事業を計画していきます。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書 ページ	189

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	4	都市計画費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	3	公園事業費			
	事業	0108253	豊科南部総合公園管理運営事業		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
124,399,000	120,629,868		0		3,769,132	97.0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
17,000,000		ネーミングライツ料		1,000,000		
		スポーツ振興くじ助成金		16,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 豊科南部総合公園管理運営事業【決算額：74,469,728円】

（1）管理運営全般（市総合体育館、テニスコート、マレットゴルフ場を含む）

市総合体育館を含めた公園管理運営業務を一元化し指定管理者に委託しました。指定期間は、令和4年1月1日から令和9年3月31日までの5年3ヶ月となっています。

指定管理料：74,469,728円

指定管理者：ミズノ・安曇野市スポーツ協会・A&Sグループ

（2）施設の利用実績

利用実績 施設名	令和4年度		令和5年度	
	利用者数	施設利用料	利用者数	施設利用料
①メインアリーナ	41,132	3,766,200	46,924	3,627,800
②サブアリーナ	20,139	1,584,900	23,235	1,612,450
③柔剣道場	5,151	520,600	8,267	389,800
④ランニングコース	2,905	－	3,667	－
計	69,327	5,871,700	82,093	5,630,050
⑤会議室	6,459	546,800	7,266	577,100
⑥応接室	376	52,500	477	44,400
計	6,835	599,300	7,743	621,500
⑦テニスコート	20,237	2,697,430	17,755	2,081,250
総計	96,399	9,168,430	107,591	8,332,800

※施設利用料は、減免適用後の額

上記の評価と課題等

コロナウイルス感染症が5類に移行後、前年を上回る多くの方に利用していただきましたが、施設利用料は令和4年10月に照明料を施設使用料に含めるなど利用料改定があり、減額となりました。施設利用料の減額分は指定管理料精算時に支払いました。

定例会を毎月1回開催し、指定管理者や関係部局と情報共有しながら、利用者が安全かつ快適に利用してもらえるよう、引き続き安全管理や利用方法等の改善に努めていきます。

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	4	都市計画費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	3	公園事業費			
	事業	0108253	豊科南部総合公園管理運営事業		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 令和5年度 安曇野市豊科南部総合公園スケートパーク整備工事【決算額：45,333,640円】
更地であったスケートパークにバンク（障害物）を設置し、初級者から上級者まで楽しめる施設として整備しました。

（1）改修工事等

- ・安曇野市豊科南部総合公園スケートパーク整備工事 41,329,640円
- ・安曇野市豊科南部総合公園スケートパーク整備工事監理業務委託等 4,004,000円

上記の評価と課題等

平坦なスケートボードひろば敷地内に、バンク等の障害物を設置することで、初級者から上級者まで楽しむことのできる施設として整備しました。

利用者の増加に向けて、スケートボード教室の開催やSNS等によるPR活動を行っていきます。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書 ページ	243

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	6	保健体育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	1	保健体育総務費			
	事業	0110445	スポーツ推進事業費		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
11,086,000	8,655,812		0		2,430,188	78.1%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
712,900		スポーツ教室参加料		712,900		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 スポーツ教室の開催

（1）子どもや親子を対象とした教室（教室数：20教室 参加延べ数：6,556人）

教室名	区分	延べ参加者数	参加率
①親子ウキウキ体操教室（3教室）	2歳～3歳程度 3歳程度～未就園児	798人	76%
②わんぱくGYM教室（2教室）	年長児	509人	77%
	年中児		
③動きづくり運動教室	小学1～3年生	105人	70%
④サップ親子体験会	小学生とその保護者	6人	100%
⑤松本山雅親子ふれあい教室	小学生とその保護者	72人	80%
⑥ファミリースポーツカフェ（8回）	親子等	265人	100%
⑦COTキッズ教室（2教室）	小学1～2年生	232人	77%
	年長児		
⑧COT指導者派遣事業	市内幼保の園児	4,235人	100%
⑨ジュニアスポーツ選手育成事業	中学生	334人	80%

（2）18歳以上を対象とした教室（教室数：7教室 参加延べ数：580人）

①エクササイズ教室	18歳以上	187人	75%
②姿勢改善エクササイズ教室	18歳以上	95人	86%
③座って簡単トレーニング教室	18歳以上	109人	84%
④ピラティス教室	18歳以上	139人	63%
⑤ボールウォーキング体験会	18歳以上	16人	53%
⑥バランスボール体験会	18歳以上	5人	100%
⑦COT研修	18歳以上	29人	100%

2 市民スポーツ祭の開催

実行委員会を組織して企画・運営を行いました。種目別競技会は17種目中16種目（1,950人の参加）を実施しました。

上記の評価と課題等

スポーツ教室については、安曇野の自然を利用したアウトドアスポーツ体験会を開催し、アウトドアスポーツに親しむきっかけとすることができました。令和6年度はアウトドアスポーツ体験会の種類を増やし、また託児付き教室の開催など、気軽に参加できる事業を実施します。
市民スポーツ祭は、種目別競技会の周知・運営面に強化し、より多くの市民参加を図ります。

令和6年度				決算書 ページ	
部	商工観光スポーツ部			243	
課	スポーツ推進課				
係等	スポーツ推進担当				

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	6	保健体育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	2	保健体育施設費		施策	スポーツを楽しむ環境の充実
	事業	0110450	社会体育施設管理費			

単位：円					
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	
500,231,000		494,645,373		0	
				5,585,627	
				98.9%	
特定財源の決算額		左記の内訳		執行率 ②/①	
		細節名		金額	
		文化公園施設使用料		1,025,200	
		学校施設使用料		3,213,450	
		社会体育施設使用料		8,217,150	
		社会体育施設自動販売機電気料		261,803	
		社会体育施設公衆電話料		380	

主要な施策（事務事業）の成果の概要					
1 社会体育施設管理費 【決算額：96,823,332円】					
(1) 管理施設（46施設）					
施設分類	施設数	施設分類	施設数	施設分類	施設数
1 体育館	7 施設	5 マレットゴルフ場	7 施設	9 アーチェリー場	1 施設
2 屋内運動場	1 施設	6 ゲートボール場	4 施設	10 学校開放施設	各学校施設
3 屋外運動場	14 施設	7 柔剣道場	5 施設		
4 テニス場	5 施設	8 弓道場	1 施設		
(2) 主な維持管理費等					
・施設修繕費	5,658,598 円	(三郷文化公園テニスコート他)			
・光熱水費	23,072,189 円				
・管理委託料	31,153,604 円	(各施設受付業務、牧運動場芝管理業務委託他)			
・借地料	7,674,802 円	(権現宮マレットゴルフ場、明科農村広場他)			
(3) 指定管理者制度による施設管理					
	施設名	指定管理者	委託料		
1	豊科水辺公園マレットゴルフ場、 豊科水辺マレットノース18	豊科マレットゴルフ協会	1,370,000 円		
2	権現宮マレットゴルフ場	穂高マレットゴルフ協会	2,650,000 円		
3	穂高立足マレットゴルフ場	立足マレットゴルフ同好会	1,000,000 円		
4	三郷黒沢マレットゴルフ場	三郷マレットゴルフ協会	1,390,000 円		
上記の評価と課題等					
利用予約受付業務や社会体育施設の維持管理を適正に行うことができました。また、設備に不 具合や故障などが生じた場合は速やかに対応し、利用者が安全に施設を利用できるよう対応しま した。					
各マレットゴルフ場については、指定管理による管理運営とし、年度協定書を締結したうえで 日頃からのコース整備とともに、利用者の安全に配慮した維持管理の運営ができました。 コース内の倒木など突発的な場合は安全に使用できるよう対応し、枯木や枯れ枝の伐採を計画的 に行います。					

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	6	保健体育費		基本方針	学び合い人と文化を育むまち
	目	2	保健体育施設費			
	事業	0110450	社会体育施設管理費		基本施策	スポーツを楽しむ環境の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

2 社会体育施設等改修等工事及び設計業務 【決算額：373,819,160円】

公共施設長寿命化計画の年次計画に基づく設計業務及び改修工事を行いました。

- (1) 三郷体育館耐震補強工事監理業務委託料 6,710,000円
- (2) 三郷体育館耐震補強工事 224,400,000円
- (3) 豊科勤労者総合スポーツ施設体育館改修工事設計業務委託等 4,235,000円
- (4) 豊科勤労者総合スポーツ施設大規模改修工事等 138,474,160円

3 マウンテンバイクコース管理費 【決算額：24,002,881円】

令和4年4月からマウンテンバイクコースとして運用を開始し、令和5年度から指定管理による管理運営としました。年度協定を締結したうえで日頃からのコース整備とともに、レンタルバイク等の定期的なメンテナンスを行うことで、利用者の安全確保を優先しながら施設の維持管理を行いました。

(1) 利用実績

営業期間 4/20～11/30	令和4年度	令和5年度
営業日数	129 日	128 日
延べ施設利用者	1,623 人	1,801 人
レンタルバイク 延べ利用者	540 人	557 人

- (2) 指定管理料 18,630,000円
- (3) 施設修繕費 1,066,670円 (啼鳥山荘外流し台修繕432,300円他)
- (4) 工事費 3,995,783円 (駐車場電気設備工事1,265,000円、外トイレ洋式化改修工事867,460円他)
- (5) 借地料 300,000円

上記の評価と課題等

令和4年3月に策定した公共施設長寿命化計画に基づき、三郷体育館耐震化工事及び豊科勤労者総合スポーツ施設大規模改修工事を実施し、快適に市民の皆様が利用できる施設に整備しました。

令和5年度からマウンテンバイクコースを指定管理で運営し、コース整備や安全確保等に関しノウハウを生かして開場しました。

利用者の安全を最優先にした対応をしつつ、イベントや大会等の開催、インターネット等によるPR活動を積極的に行うことで、知名度の向上、利用者の増加につなげていきます。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書 ページ	245

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	6	保健体育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	2	保健体育施設費			
	事業	0110455	市民プール管理費		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
144,259,000		143,456,859		0		802,141		99.4%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
127,300,000			体育施設除却事業（特例債）		127,300,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 穂高プール跡地農地復旧造成工事【決算額：143,456,859円】

穂高プール跡地を農地に復旧するため、用水路及び道路等を整備して返還しました。

（1）改修工事等

- ・穂高プール跡地農地復旧造成工事 129,965,000円
- ・穂高プール跡地農地復旧造成工事監理業務委託等 4,510,000円
- ・借地料 8,722,259円

上記の評価と課題等

設計図書に基づき、地権者と協議しながら農地として、適正に返還するための復旧工事を行うことができました。

令和6年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書 ページ	245

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	6	保健体育費		目標	学び合い人と文化を育むまち
	目	2	保健体育施設費			
	事業	0110457	社会体育施設整備費		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

単位：円										
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
460,000		459,570		0		430		99.9%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
459,570			公式スポーツ施設整備基金利子		459,570					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 公式スポーツ施設整備基金積立金【決算額：459,570円】

(円)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
積立金	301,626,191	272,701,110	273,192,714	273,604,891
積立金利子	774,919	491,604	412,177	459,570
その他積立金	300,000	0	0	0
取崩金	30,000,000	0	0	0
計	272,701,110	273,192,714	273,604,891	274,064,461

※その他積立金は、2団体の寄付による。

※取崩金は、安曇野市総合体育館建設事業費に充当

上記の評価と課題等

公式スポーツ施設整備計画により基金の積立をしており、本年度はその利子分を積み立てました。今後、施設整備計画に伴う施設規模に応じて、財政課と協議しながら効率的に活用していきます。

都市建設部

令和6年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書 ページ	175

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	道路橋梁維持費			
	事業	0108040	道路橋梁総務費		施策	道路整備の推進

単位：円					
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	
994,000		613,090		0	
				380,910	
特定財源の決算額		執行率 ②/①		61.7%	
	左記の内訳	細節名		金額	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 道路関係同盟会事業 事業促進のため、各種同盟会に参画し、関係機関に対し事業促進の要望を行いました。 (1) 旅費（普通旅費）179,690円 ア 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路建設促進期成同盟会ほか中央要望 イ 中部縦貫自動車道建設促進長野・岐阜連絡協議会整備促進大会 外 (2) 負担金 432,500円 ア 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路建設促進期成同盟会 イ 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路長野県側ルート建設促進協議会 ウ 穂高・松川・大町間道路建設連絡協議会 エ 中部縦貫自動車道（松本～中ノ湯間道路）建設・国道158号整備促進期成同盟会 オ 長野県道路整備期成同盟会 外	
上記の評価と課題等	
令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症移行とななったことにより、関係機関に対して対面による要望が可能となりました。対面による要望活動により事業の一層の促進が図られました。引き続き、関係団体と連携し要望活動に努めます。	

令和6年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書 ページ	177

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108090	県営新設改良事業		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
285, 762, 000		285, 390, 724		0		371, 276		99. 9%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
253, 000, 000			社会資本整備総合交付金		126, 500, 000					
			国土強靱化債		126, 500, 000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 県営新設改良事業 県発注の事業に対し、負担割合による負担金を納めました。 (1) 負担金 市道三郷1級12号線赤沢橋架替工事に係る負担金 278, 300, 000円	
上記の評価と課題等	
黒沢川調節池設置に伴う赤沢橋架替工事及び、地域住民の要望に基づく各種県事業の促進が図られました。	

令和6年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書 ページ	177

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108100	市道新設改良事業		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
415,874,000		397,372,791		17,732,000		769,209		95.6%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
177,000,000			市道新設改良事業（特例債）		177,000,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要																																																											
1 市道新設改良事業（市単独） 各区からの改良要望に基づき事業を実施しました。 市道新設改良事業では19路線に着手し、市道穂高3013号線外4路線の工事が完了しました。 (1) 委託料 <table> <tr> <td>ア 測量設計委託費</td><td>16 件</td><td></td><td>59,418,700 円</td><td></td></tr> <tr> <td>イ 用地測量委託</td><td>5 件</td><td></td><td>1,552,607 円</td><td></td></tr> <tr> <td>ウ 補償調査委託</td><td>1 件</td><td></td><td>2,002,000 円</td><td></td></tr> </table> (2) 工事請負費 <table> <tr> <td>ア 改良舗装</td><td>10 件</td><td>L=913.2m</td><td>80,476,000 円</td><td></td></tr> <tr> <td>イ 側溝整備</td><td>1 件</td><td>L=34.4m</td><td>3,421,000 円</td><td></td></tr> <tr> <td>ウ 橋梁改修</td><td>1 件</td><td></td><td>9,559,000 円</td><td></td></tr> <tr> <td>エ グリーンベルト</td><td>2 件</td><td>L=698.0m</td><td>2,024,000 円</td><td></td></tr> <tr> <td>オ サイクリングコース整備</td><td>1 件</td><td></td><td>1,320,000 円</td><td></td></tr> <tr> <td>カ その他小規模工事</td><td>20 件</td><td>安全施設ほか</td><td>16,057,327 円</td><td></td></tr> </table> (3) 用地補償費 <table> <tr> <td>ア 公有財産購入費</td><td>17 件</td><td></td><td>9,888,938 円</td><td></td></tr> <tr> <td>イ 物件補償費</td><td>17 件</td><td>地権者8名ほか9件</td><td>20,283,194 円</td><td></td></tr> </table>					ア 測量設計委託費	16 件		59,418,700 円		イ 用地測量委託	5 件		1,552,607 円		ウ 補償調査委託	1 件		2,002,000 円		ア 改良舗装	10 件	L=913.2m	80,476,000 円		イ 側溝整備	1 件	L=34.4m	3,421,000 円		ウ 橋梁改修	1 件		9,559,000 円		エ グリーンベルト	2 件	L=698.0m	2,024,000 円		オ サイクリングコース整備	1 件		1,320,000 円		カ その他小規模工事	20 件	安全施設ほか	16,057,327 円		ア 公有財産購入費	17 件		9,888,938 円		イ 物件補償費	17 件	地権者8名ほか9件	20,283,194 円	
ア 測量設計委託費	16 件		59,418,700 円																																																								
イ 用地測量委託	5 件		1,552,607 円																																																								
ウ 補償調査委託	1 件		2,002,000 円																																																								
ア 改良舗装	10 件	L=913.2m	80,476,000 円																																																								
イ 側溝整備	1 件	L=34.4m	3,421,000 円																																																								
ウ 橋梁改修	1 件		9,559,000 円																																																								
エ グリーンベルト	2 件	L=698.0m	2,024,000 円																																																								
オ サイクリングコース整備	1 件		1,320,000 円																																																								
カ その他小規模工事	20 件	安全施設ほか	16,057,327 円																																																								
ア 公有財産購入費	17 件		9,888,938 円																																																								
イ 物件補償費	17 件	地権者8名ほか9件	20,283,194 円																																																								

予算	款	8	土木費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	道路橋梁費		基本方針	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108100	市道新設改良事業		基本施策	道路整備の推進

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

2 市道新設改良事業（合併特例債）

合併特例債対象の2路線の改良事業を実施しました。

（1）市道豊科2級3号線外（市総合体育館周辺、道路改良）

ア	測量設計・補償調査委託費	7 件		5,772,996 円
イ	工事請負費	3 件		150,513,000 円
ウ	公有財産購入費	1 件		121,956 円
エ	物件補償費	5 件	上下水道補償ほか	28,330,750 円

（2）市道豊科1級26号線（豊科吉野地籍、道路改良）

ア	補償調査委託費	1 件		1,650,000 円

上記の評価と課題等

令和5年度においては、拡幅改良2路線、道路舗装2路線と老朽化した橋梁1橋の改修工事が完了し、道路交通の安全・安心が図られました。

提出された要望に対し優先度の高い路線から順次整備を実施し、早期事業完成を目指していますが、限られた予算の中で目的を達成するためには、選択と集中で事業箇所の見極めが重要となります。

合併特例債事業については、道路整備推進計画に基づき幹線道路の整備を進めています。

未買収の地権者について、一定の理解が得られたことから買収契約締結の準備を進め、早期工事着手を目指します。

令和6年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書 ページ	179

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108110	社会資本整備総合交付金事業		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
285,842,000		164,109,235		121,000,000		732,765		57.4%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
277,902,000			道路改良費補助金		196,602,000					
			市道新設改良事業（特例債）		74,900,000					
			松糸アクセス道路事業（過疎債）		6,400,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 社会資本整備総合交付金事業（市道新設改良事業）

道路整備推進計画に基づく路線について、社会資本整備総合交付金及び交通安全対策補助を活用し、幹線道路整備を実施しました。

（1）市道穂高1級6号線（道路改良、穂高南小学校東） 全体計画L＝800m

ア 工事請負費 1 件 25,745,000 円

（2）市道豊科1級25号線（道路改良、県民豊科運動広場南） 全体計画L＝550m

ア 測量設計委託費 1 件 10,956,000 円

（3）市道豊科1級23号線（歩道設置、上沢霊園南東） 全体計画L＝80m

ア 測量設計委託費 1 件 5,709,000 円

（4）市道豊科1級29号線（歩道設置、梓橋駅入口交差点北） 全体計画L＝500m

ア 測量設計委託費 3 件 10,054,000 円

イ 補償調査委託費 4 件 9,627,200 円

ウ 工事請負費 1 件 11,401,000 円

エ 公有財産購入費 4 件 1,555,036 円

オ 物件補償費 8 件 13,808,588 円

（5）市道三郷1661号線（交差点改良、三郷小学校南） 全体計画L＝90m

ア 不動産鑑定 1 件 177,100 円

イ 測量設計委託費 1 件 3,861,000 円

ウ 補償調査委託費 1 件 495,000 円

エ 工事請負費 1 件 50,226,000 円

オ 公有財産購入費 4 件 1,532,416 円

カ 物件補償費 2 件 417,560 円

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108110	社会資本整備総合交付金事業		施策	道路整備の推進

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- （６）市道堀金１級１号線（歩道設置、堀金中学校西） 全体計画 L＝930m
ア 測量設計委託費 1 件 6,490,000 円
- （７）市道豊科１級７号線（歩道設置、豊科南部認定こども園北西） 全体計画 L＝620m
ア 不動産鑑定 1 件 165,000 円
イ 補償調査委託費 1 件 1,023,000 円
ウ 物件補償費 1 件 1,927,735 円
- （８）市道明科4036号線（道路改良、松本糸魚川連絡道路ICアクセス道路） 全体計画 L＝800m
ア 測量設計委託費 2 件 8,613,000 円

上記の評価と課題等

市道新設改良事業については、道路整備推進計画に基づき幹線道路の整備を進め、令和５年度事業においては、１箇所の交差点改良が完了し、道路交通等の安全・安心が図られました。
継続路線の中には、用地交渉が難航している路線があり、継続した交渉が必要となります。
なお、令和４年度から新設された交通安全対策補助制度の活用により、補助金の内示率が向上したことから、令和５年度に２路線の新規路線に着手し、事業規模の拡大を図りました。
また、松糸道路のアクセス道路は、説明会等の実施により計画に対し地元の理解を得ることが出来ました。

令和6年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書 ページ	181

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	河川費		目標	安全で安心して暮らせるまち
	目	1	河川費			
	事業	0108130	河川総務費		施策	砂防・治水事業の推進

単位：円					
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	
92, 553, 000		36, 093, 636		56, 170, 000	
				289, 364	
				39. 0%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名	金額	細節名
35, 006, 045			取水占用料	606, 045	
			内水対策事業 (緊急自然災害防止対策事業債)	34, 400, 000	

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 河川関係同盟会事業 事業促進のため、各種同盟会に参画し、関係機関に対し事業促進の要望を行いました。 (1) 旅費（普通旅費）60, 020円 ア 犀川直轄期成同盟会、中央要望 イ 長野県治水砂防協会通常総会 外 ウ 災害復旧促進全国大会、治水事業促進全国大会 エ 北陸直轄河川治水期成同盟会連合会要望会 (2) 負担金 1, 688, 500円 ア 長野県治水砂防協会 イ 大町ダム等再編事業促進期成同盟会 ウ 高瀬川高水敷整備促進期成同盟会 エ 長野県河川協会 外 2 内水対策事業 万水川下流域の内水対策により内水被害の最小化を図る安全安心な地域づくりを目指しています。令和5年度は、内水排水路の設計・用地測量を行い、一部工事に着手しました。 (1) 委託料 10, 230, 000円 ア 設計、用地測量、補償算定 (2) 工事請負費 24, 000, 000円 ア 排水路設置工事	
上記の評価と課題等	
令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類感染症移行とななったことにより、関係機関に対して対面による要望が可能となりました。対面による要望活動により事業の一層の促進が図られました。引き続き、関係団体と連携し要望活動に努めます。 内水対策事業については、一部工事に着手し事業の進捗が図られました。用地取得等を計画的に行い引き続き事業を推進します。	

令和6年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書 ページ	183

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	河川費		目標	安全で安心して暮らせるまち
	目	1	河川費			
	事業	0108150	河川改修事業		施策	砂防・治水事業の推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
11,300,000		10,923,000				377,000		96.7%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 河川改修事業 区からの要望に基づき事業化した、勝手沢、権田川の改修に伴う設計業務を実施しました。 (1) 勝手沢 ア 設計業務委託 2 件 5,258,000 円 (2) 権田川 ア 設計業務委託 1 件 5,665,000 円	
上記の評価と課題等	
安全・安心な河川環境を整えるため、洪水、氾濫の恐れのある箇所を早期改修を目指し、詳細設計を行いました。	

令和6年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書 ページ	179

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108230	国県事業推進費		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2, 671, 000		2, 185, 352		0	485, 648	81. 8%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 国県事業推進事業

松本糸魚川連絡道路 I Cアクセス道路「市道明科4036号線」及び、市道三郷1級12号線赤沢橋架替工事の事業促進を求める要望活動を対面にて実施しました。
地域特性に配慮した自主避難計画（1地区）の作成支援を行いました。

 - (1) 旅費（普通旅費） 131, 480円
 - ア 松本糸魚川連絡道路 I Cアクセス道路の要望
 - イ 市道三郷1級12号線赤沢橋架替工事の要望
 - (2) 需用費 46, 200円
 - ア 地域特性に配慮した自主避難計画の印刷（桜坂区）

上記の評価と課題等

松本糸魚川連絡道路 I Cアクセス道路「市道明科4036号線」及び、市道三郷1級12号線赤沢橋架替工事の事業促進を求める要望活動を行ったことにより、令和5年度補正予算及び、令和6年度当初予算が確保され、事業進捗が図られました。
土砂災害に対するソフト対策として、地域特性に配慮した自主避難計画の作成支援を行い、地域住民の防災意識向上が図られました。
引き続き、国・県と連携し事業促進を図っていきます。

令和6年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書 ページ	179

予算	款	08	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0190060	【明許】市道新設改良事業 (交付金)		施策	道路整備の推進

単位：円					
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③
118,054,000		118,050,000			4,000
特定財源の決算額		執行率 ②/①			
107,712,000	左記の内訳	金額		金額	
		【明許】道路改良補助金		64,112,000	
		【明許】市道新設改良事業		43,600,000	

主要な施策（事務事業）の成果の概要		
1 社会資本整備総合交付金事業（市道穂高1級6号線外） 沿線地権者との調整、コンクリート二次製品の納入の遅れ等の理由から、事業期間を延長する必要が生じた路線について、繰越明許により事業を執行しました。 (1) 市道穂高1級6号線 ア 工事請負費 2 件 16,000,000 円 (2) 市道豊科1級29号線 ア 工事請負費 1 件 19,894,000 円 イ 公有財産購入費 1 件 10,096,000 円 ウ 物件補償費 1 件 12,671,000 円 (3) 市道豊科1級24号線 ア 工事請負費 1 件 44,638,000 円 (4) 市道堀金1級1号線 ア 測量設計委託費 1 件 14,751,000 円		
上記の評価と課題等		
市道豊科1級24号線は、ラウンドアバウト交差点が完成し、事業が完了となり、安全な通行空間が確保されました。		

令和6年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書 ページ	181

予算	款	08	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0190330	【事故】市道新設改良事業 (合併特例債)		施策	道路整備の推進

単位：円					
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	
22, 276, 000		22, 274, 682		1, 318	
特定財源の決算額		執行率 ②/①			
43, 600, 000	左記の内訳	細節名		金額	金額
		【事故】市道新設改良事業（旧合併特例事業債）		43, 600, 000	

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 市道新設改良事業（合併特例債） 補償対象物件の移転が遅れたため、繰越により事業を執行しました。 (1) 市道豊科1級26号線 ア 公有財産購入費 1 件 6, 672, 644 円 イ 物件補償費 1 件 15, 602, 038 円	
上記の評価と課題等	
物件移転の完了により、事業用地が確保されました。	

令和6年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	管理登記担当

決算書 ページ	173

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	土木管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	土木管理費			
	事業	0108020	地籍管理費		施策	自然と発展が織りなすまちづくり

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
23,872,000		23,787,603		0		84,397		99.6%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
319,500			公図写等発行手数料		319,500					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1	土地台帳、公図管理事務
	国土調査法第21条では、国土調査の成果の写しの保管と閲覧が規定され、当市ではその成果である土地台帳・公図（地籍複図）を一体的にデジタル化した「安曇野市地籍管理システム」により、法務局から送られる土地登記済通知書により地図データ、台帳データ及び土地所在図のデータベースを更新しました。
	この事業により更新する地図情報は、本市GISシステムの基礎として利用されています。
	また、境界立会等で発見された公図錯誤や未登記事案の解消に向け、地図等作成業務を委託しました。
	(1) 委託料
	ア 地籍管理システム土地異動更新業務委託
	属性修正(所有者・地目・地積)土地台帳変換・図形修正 10,623件 16,104,000円
	イ 公図錯誤解消に伴う地図等作成委託
	地図訂正・地積更正及び未登記解消測量業務委託 16件 2,974,593円
2	官民境界確認立会事務
	道路・水路の管理者として、境界確認立会申請書に基づき官民境界の確認事務を行いました。
	官民境界確認実施件数 335件
3	公共用地登記事務
	安曇野市が取得及び用途廃止した用地の嘱託登記事務を行いました。
	所有権移転・地目変更地積更正・分筆登記等 638件

上記の評価と課題等

地図データ、台帳データ及び土地所在図のデータベースを年6回更新することで、タイムリーな土地情報の提供及び共有化と土地関係業務の効率化が図られました。有用な地籍管理システムの運用が図られるよう、法務局から提供される異動情報を的確に入力を行い、正確な情報提供を行いました。

令和6年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書 ページ	173

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	土木管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	土木管理費			
	事業	0108030	建設機械管理費		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①
2,398,000		2,137,632		0		260,368		89.1%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 道路維持作業車整備事業 市が保有する維持作業車11 台及び草刈機等作業機械の保守・管理を行いました。 (1) 消耗品費 作業車タイヤ、部品等 350,114円 (2) 燃料費 作業車燃料（軽油代） 266,841円 (3) 物品修繕費 作業車車検、点検に伴う修繕費 599,902円 (4) 手数料 作業車車検、定期点検手数料 280,095円 (5) 保険料 作業車自賠責保険料 47,980円 (6) 備品購入費 草刈機、チェーンソー 473,000円 (7) 自動車重量税 作業車自動車重量税 119,700円	
上記の評価と課題等	
引き続き維持作業車、作業機械の保守点検等を行い、良好な状態を保つよう管理に努めます。	

令和6年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	管理登記担当

決算書 ページ	175

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	道路橋梁維持費			
	事業	0108050	道路橋梁管理費		施策	自然と発展が織りなすまちづくり

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①	
20,467,000		20,255,305		0		211,695		99.0%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名		金額	
583,920			地図等交付代		26,920				
			道路占用料		557,000				

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 道路台帳加除事業 道路法第28条の規定に基づき整備している道路台帳の更新修正に伴う道路台帳図のデータ更新（L=7.47km）を行いました。 整備したデータは道路行政の基礎資料として使用し、道路台帳図は市のホームページで閲覧、印刷が可能です。 （1）委託料 ア 道路台帳補正業務委託 19,745,000円 新設・改良50メートル以上 5.88キロメートル 新設・改良50メートル未満 0.71キロメートル 舗装箇所 3箇所 延長換算 0.88キロメートル	
上記の評価と課題等	
道路台帳補正業務は引き続き的確なデータの更新を行い、良好な状態で維持し適正な利用が図られるよう台帳管理に努めます。	

令和6年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書 ページ	175

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	道路橋梁維持費			
	事業	0108070	道路橋梁維持費		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
309,255,000		308,303,408		0		951,592		99.7%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
80,000,000			道路復旧費原因者負担金		50,700,000					
			道路橋梁維持事業（緊自債）		16,100,000					
			道路橋梁維持事業（過疎債）		13,200,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 道路橋梁維持事業

道路維持作業員による日常的な巡視点検に加え、職員による定期的な道路パトロールを行いました。巡視時や市民からの通報及びLINEを活用した通報による道路情報を基に、欠損部の補修や除草等の道路管理を行いました。

併せて、区からの要望を含めた道路施設の補修及び幹線道路の路面補修、原因者負担による路面復旧受託などの維持工事を実施しました。

また、工事発注の平準化に向けた取組みとして、債務負担行為による生活道路の舗装工事等を実施しました。

(1) 委託料

ア 草刈り、側溝清掃作業ほか	72件	23,152,140円
イ 境界復元測量、設計業務ほか	2件	1,972,300円

(2) 工事請負費

ア 道路橋梁維持・補修工事	136件	203,551,150円
イ 道路占用路面復旧受託工事	4件	51,128,000円
ウ 緊急自然災害防止対策事業	1件	16,104,000円

(3) 原材料費

ア 道路補修用資材		
補修用アスファルト	1,080袋	1,907,950円
その他(L型側溝、補修資材ほか)		571,780円
イ 資材支給(コンクリート二次製品(側溝蓋など)・碎石)	7件	267,033円

上記の評価と課題等

道路施設の老朽化は年々進んでいるため、維持工事費を予算の範囲内で効率的・効果的に実施する必要があります。

道路パトロールの強化を図り、安全・安心な道路環境を提供できるよう維持管理に努めます。

令和6年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書 ページ	177

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	道路橋梁維持費			
	事業	0108080	除雪対策費		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
153, 270, 000		151, 410, 532		0		1, 859, 468		98. 8%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 除雪融雪業務

市道約1, 688kmのうち、除雪指定路線約874kmの除雪作業と凍結防止剤散布路線約105kmの融雪作業を市内72事業者に業務委託し、冬期の交通確保に努めました。

除雪用建設機械を保有することが困難となっている事業者等に対して、市が保有する機械21台と借上げ機械28台を貸与し、除雪体制を整えました。

(1) 消耗品費

ア 塩化カルシウム 145 t 14, 410, 000円

(2) 委託料

ア 除雪作業 延べ 1, 562 時間 37, 157, 800円
イ 凍結防止剤散布作業 延べ 293 時間 5, 810, 800円
ウ 除雪等機械管理費 69台 44, 665, 600円
エ 貸付機械保険加入費 54台 2, 430, 000円

2 除雪車両の整備

(1) 借上料

ア 除雪ドーザ（8 t 級） 9 台 14, 388, 000円
イ 除雪ドーザ（5 t 級） 1 台 1, 408, 000円
ウ 除雪ドーザ（3 t 級） 18台 17, 094, 000円

(2) 備品購入費

ア 歩行型小型除雪機 4 台 2, 504, 656円
イ 車載式小型凍結防止剤散布機 1 台 1, 930, 500円

上記の評価と課題等

不足する除雪機械やオペレーターの確保については、計画的な機械購入や借上げによって補うほか、除雪機械配置の見直しや新規受託者の確保に努めます。

広域農道やオリンピック道路などの管理者が混在している路線の除雪については、引き続き長野県安曇野建設事務所との連携強化に努めます。

除雪は、行政、市民、地域の企業などの協力によって行う必要があることから、除雪協力を引き続き要請し、広報紙、ホームページ、コミュニティFMなどを活用した情報発信に努めます。

令和6年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書 ページ	179

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108111	社会資本整備総合交付金事業(修繕)		施策	道路整備の推進

単位：円								
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
133, 298, 000		102, 355, 000		30, 000, 000		943, 000	76. 8%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名		金額
88, 257, 000			道路修繕費補助金		52, 357, 000			
			市道修繕事業（特例債）		35, 900, 000			

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 社会資本整備総合交付金事業（道路橋梁修繕事業（交付金）） 社会資本整備総合交付金・道路メンテナンス事業を活用し、舗装維持管理計画・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、舗装修繕・橋梁修繕を行いました。 (1) 舗装修繕 ア 工事請負費 24, 266, 000円 市道豊科1級23号線 L=238. 0m (2) 橋梁修繕 ア 委託料 32, 351, 000円 橋梁長寿命化修繕計画策定 n=756橋 詳細設計業務委託（中電2号橋、堂沢橋） n= 2 橋 イ 工事請負費 45, 738, 000円 市道穂高0035号線（穂高44号橋） 市道穂高0401号線（穂高125号橋） 市道豊科2級4号線（豊科中部24号橋） 市道豊科3173号線（寺村橋）	
上記の評価と課題等	
舗装維持管理計画・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化した舗装・橋梁の修繕を行います。	

令和6年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書 ページ	181

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	道路橋梁費		目標	安全で安心して暮らせるまち
	目	3	交通安全施設費			
	事業	0108120	交通安全施設整備費		施策	防犯・交通安全の推進

単位：円					
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	
30, 100, 000		30, 042, 980		0	
				57, 020	
特定財源の決算額		執行率 ②/①		99. 8%	
	左記の内訳	細節名		金額	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要		
1 交通安全施設整備費 第3次安曇野市交通安全計画、区やPTA等からの要望に基づき、道路区画線や道路反射鏡等の交通安全施設を設置するとともに、信号機や横断歩道の設置などの要望を取りまとめ、長野県公安委員会へ交通安全施設整備の要望を行いました。 (1) 工事請負費 ア 道路区画線設置 14, 185m 10, 134, 050円 イ 道路反射鏡設置・補修 72箇所 11, 189, 200円 ウ ガードレール、柵設置 113m 3, 111, 800円 エ 標識、看板、ポール設置・補修 39基 2, 840, 400円 オ その他（反射標、薄層カラー舗装等） 1 式 658, 850円		
上記の評価と課題等		
道路利用者に対し、安全・安心な道路環境の提供に努めました。 今後道路パトロールにより老朽化した交通安全施設を把握し、施設の更新を進め事故防止に努めるとともに、区やPTA等からの要望に基づき、施設の維持管理や整備を進めます。		

令和 6 年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	管理登記担当

決算書 ページ	181

予 算	款	8	土木費	総 合 計 画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	河川費		目 標	安全で安心して暮らせるまち
	目	1	河川費			
	事業	0108140	河川管理費			

単位：円								
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
17,125,000		16,468,078		0		656,922	96.2%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名		金額
606,045			取水占用料		606,045			

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 河川管理事務
- (1) 役務費 435,000 円
- 市内の普通河川等の除草清掃管理を地元区や河川愛護会の協力により、河川環境の保全を図りました。
- 赤川（狐島区）
権田川（株式会社 清澤）
富士尾沢川（NPO法人マイトリー虹）
穂高川（穂高河川愛護会）
- (2) 委託料 4,341,700円
- 桜並木等の剪定及び支障木等の伐採を行い維持管理に努めました。
- 実施箇所数 10箇所（拾ヶ堰・黒沢川沿いほか）
- (3) 工事請負費 451,000円
- 経年劣化により使用できない橋梁について住民要望により撤去しました。
- 明科東川手11652番先の橋梁（全長：約13m 幅：約1.0m）
- (4) 備品購入費
- 豪雨災害などによる内水氾濫に対処するため、排水用可搬ポンプ稼働用の発動発電機及び夜間作業用LEDバルーン投光機を購入しました。
- | | | |
|-----------|-----|------------|
| ア 発動発電機 | 2 台 | 5,720,000円 |
| イ バルーン投光機 | 2 台 | 2,420,000円 |

上記の評価と課題等

今後も河川環境の美化及び維持を目的に適正な河川管理に努めます。

令和6年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書 ページ	183

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	河川費		目標	安全で安心して暮らせるまち
	目	1	河川費			
	事業	0108160	河川維持費		施策	砂防・治水事業の推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①	
15,744,000		15,005,126		0		738,874		95.3%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 河川維持事業 市が管理する河川について、堤防の除草、河床整理及び施設の修繕を行いました。 また、災害時に使用する土のう袋、ブルーシート等を補充し災害に備えました。 (1) 委託料 堤防の除草、沈砂池の清掃等 6,092,959円 (2) 工事請負費 河床整理、沈砂池浚渫など 7,664,800円 2 水防倉庫施設管理事業 水防倉庫7棟の施設管理を行うとともに、災害用応急資材の補充を行いました。 (1) 消耗品（土のう袋、ブルーシートなど） 399,209円 (2) 施設修繕費（照明修繕） 198,000円 (3) 光熱水費 539,666円 (4) 物品修繕費（洗車機修繕） 30,800円	
上記の評価と課題等	
河川の環境保全、機能を維持するための維持管理に努めました。 河川及び施設のパトロールを実施し現状把握に努め、適時適切な維持補修を行うことで、出水時の被害防止に努めます。	

令和6年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書 ページ	177

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	道路橋梁維持費			
	事業	0190050	【明許】除雪融雪事業		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
23,760,000	23,760,000		0	0	100.0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
23,700,000		【明許】除雪融雪事業	23,700,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要					
1 緊急自然災害防止対策事業 冬期間前の令和5年9月26日に凍結防止剤散布車が納品され、安全・安心な道路管理に努めることができました。 (1) 備品購入費 凍結防止剤散布車（容量2.5m³） 1台 23,760,000円					
上記の評価と課題等					
冬期間前に凍結防止剤散布車が納品され、安全・安心な道路管理に努めました。					

令和6年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書 ページ	181

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	道路橋維持費			
	事業	0190070	【明許】道路橋梁修繕事業 (交付金)		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
52,500,000		51,953,000		0		547,000		99.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
50,475,000			【明許】道路修繕費補助金		26,675,000					
			【明許】道路整備事業（補正予算債 加速化対策分）（国土強靱化債）		23,800,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 社会資本整備総合交付金事業
社会資本整備総合交付金等の補正予算により明許繰越した事業について、工事が完了しました。
- (1) 舗装修繕
ア 工事請負費 22,330,000円
市道豊科1級1号線 L=300.0m
- (2) 橋梁修繕
ア 工事請負費 29,623,000円
市道穂高4280号線（荒神堂橋）
市道穂高0274号線（穂高115号橋）

上記の評価と課題等

舗装維持管理計画・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化した舗装・橋梁の修繕を行いました。

令和6年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	計画係

決算書 ページ	183

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	4	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	都市計画総務費			
	事業	0108180	都市計画総務費		施策	自然と発展が織りなすまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
189,257,000	185,080,362		0		4,176,638	97.8%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
3,323,000		都市計画調査委託金		3,312,000		
		都市計画図等交付代		11,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 都市計画総務費
 - 都市計画基礎調査業務 9,339,000 円
都市計画の策定・決定・変更の検討に際しての基礎資料とすることを目的として、人口・産業・土地利用・交通等の都市現況や将来予測について、都市計画法第6条に定める法定調査を実施しました。
 - 土地利用審議会（委員報酬等） 327,220 円
土地利用条例の規定に基づく市長の諮問に応じ、主に特定開発事業の認定について審議を行うために組織された審議会です。令和5年度は審議会を11回開催し、事業認定に関する審議を行いました。
 - 都市計画審議会（委員報酬等） 54,143 円
都市計画法の規定に基づき設置される付属機関で、主に市が定める都市計画について調査審議するために組織された審議会です。令和5年度は1回の審議会を開催し、市土地利用条例に定める地区土地利用計画の策定（三郷楡地区）について審議を行いました。
 - 制度評価委員会（委員報酬等） 110,790 円
平成23年度から運用している土地利用制度の評価検証のために組織された委員会です。令和5年度は1回の委員会を開催し、土地利用条例の運用状況の報告と今後の制度改定方針等について議論しました。
 - 安曇追分駅・有明駅駐輪場屋根整備 1,685,000 円
駅利用者の利便性向上のため、安曇追分駅・有明駅において屋根付き駐輪場の整備を進めています。令和5年度は安曇追分駅の工事に着手しました。

上記の評価と課題等

市では、都市計画マスタープラン、立地適正化計画、土地利用基本計画などの計画と安曇野市の適正な土地利用に関する条例等により、開発事業に対して適正な制度運用を行うことで、秩序ある土地利用に繋がっています。

都市計画審議会及び土地利用審議会は、都市計画決定や土地利用条例に基づく審議を行う重要な機関です。

今後も秩序ある土地利用が図られるよう、制度の適正な運用と評価検証を行ってまいります。

令和6年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	都市整備係

決算書 ページ	185

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	4	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	都市計画総務費			
	事業	0108213	明科駅前広場維持管理事業		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
3,885,000		2,684,268		0		1,200,732		69.1%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
2,513,600			明科駅前駐車場利用料		2,513,600					

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 明科駅前広場維持管理事業 平成30年度から都市再生整備計画事業（明科駅周辺）により、明科駅前広場整備工事を進めており、設置した広場の清掃やトイレ・駐車場の維持管理を行いました。 (1) 需用費 ア 消耗品（トイレトーパーパーほか） 88,148 円 イ 施設修繕（防犯カメラ修繕） 55,000 円 ウ 光熱水費（電気・水道） 623,265 円 (2) 委託料 ア 管理委託（シルバー人材センター） 435,775 円 2 駐車場維持管理 令和5年10月から12台分のコインパーキングの利用が開始されました。 (1) 役務費 ア 通信費（オートホン） 37,340 円 イ 手数料等（インボイス設定） 49,500 円 (2) 委託料 ア 精算機管理業務 1,293,600 円 イ 駐車管制機器点検業務 80,740 円 (3) 原材料費 ア 塩カル 20,900 円	
上記の評価と課題等	
安曇野市の東の玄関口として、また、交通の結節点として、快適な利用ができるよう年間を通して適切な維持管理を行いました。 明科駅周辺に民間駐車場は多数ありますが、駅に最も近い唯一のコインパーキング場であることもあり、多くの皆様にご利用いただいています。	

令和6年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	都市整備係

決算書 ページ	187

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	4	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	街路事業費			
	事業	0108211	都市再生整備計画事業（都市整備分）		施策	自然と発展が織りなすまちづくり

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
27,618,000		19,702,490		7,275,000		640,510		71.3%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
12,800,000			明科駅前周辺整備事業（過疎債）		12,800,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要			
1 都市再生整備計画事業 明科駅周辺 平成29年2月に策定した「明科駅周辺まちづくり計画」に基づき、平成30年度から国の補助金等を活用し、安曇野市の東の玄関口として、駅前広場・周辺道路・公園など一体的な整備を進めています。 令和5年度は、駅前広場や周辺道路、街路灯、情報案内板の整備工事を行ないました。 また、ご協力いただいた地権者の皆様をはじめ、関係の皆様にご臨席いただき、10月28日に竣工式を執り行いました。 (1) 需用費 ア 竣工記念リーフレット印刷 48,400 円 (2) 委託料 ア 竣工記念イベント業務 3件 767,800 円 イ 境界復元業務等 2件 312,400 円 (3) 工事請負費 ア 市道明科1級3号線 2件 4,092,000 円 イ 市道明科4145号線 2件 4,616,000 円 ウ 街路灯設置 2件 1,408,000 円 エ 駅前広場整備 3件 6,688,000 円 オ 情報案内板、サイン設置 2件 911,900 円 (4) 補償補填及び賠償金 ア 工作物移転補償 3件 857,990 円			
上記の評価と課題等			
明科地域の特性を活かした、安曇野市の東の玄関口にふさわしいまちの形成を目指し、事業進捗を図りました。 令和5年度は駅前工事が完了し、10月28日に竣工式を行いました。引き続き、過疎債を活用した周辺整備工事を行ないます。			

令和6年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	公園緑地担当

決算書 ページ	187

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	4	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	3	公園事業費			
	事業	0108220	都市公園等維持管理事業		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
210,696,000	204,368,698	0	6,327,302	97.0%
特定財源の決算額	左記の内訳		金額	
63,495,040	左記の内訳	金額	金額	金額
	礪山公園使用料	2,533,680	常念ふれあい公園太陽光発電売電	4,613
	室山アグリパーク施設使用料	90,180	講座参加料	39,000
	都市公園使用料	129,260	都市公園事業（特例債）	33,600,000
	都市公園占用料	598,307	都市公園事業（過疎債）	7,300,000
	社会資本整備総合交付金（公園分）	14,000,000	都市公園管理事業（過疎債77）	5,200,000

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 都市公園等維持管理事業

都市公園(44箇所：面積37ha)、その他公園(8箇所：37ha)、農村公園(10箇所：面積2.8ha)について、利用者が安全で快適に利用できるよう維持管理に努めました。

日常的な草刈りや清掃等の維持業務は、市内造園業者やシルバー人材センター等へ委託しました。

また、公園愛護会（区、ボランティア組織等）の協力により、各地区の公園の日常管理を行いました。

公園の遊具については月1回の日常点検、年1回の定期点検を実施しました。

公園施設の経年劣化に対応するため「公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的に施設の長寿命化を進めています。令和5年度は、国からの交付金を活用し「公園施設長寿命化対策支援事業」の工事を2件、起債事業を活用し「旧合併特例事業債」の工事を2件、「過疎対策事業債（ハード）」の委託を3件、工事を1件、「過疎対策事業債（ソフト）」の委託を2件、市単独事業により36件の修繕と32件の補修工事を行いました。

緑の基本計画を推進する取り組みとしては、市民や企業と協働で行う沿道緑化事業に28団体が取り組み、市内の道路沿いを花で彩りました。

(1) 需用費

ア 施設修繕費	36件（公園施設長寿命化計画による遊具等の修繕）	11,628,560 円
イ 光熱水費		7,918,381 円
ウ 消耗品費		
①沿道緑化苗代	28件	512,708 円
②公園掃除用品等		1,853,420 円
エ 燃料費、物品修繕費外		366,211 円

(2) 役務費

ア 通信運搬費		136,107 円
イ 手数料、保険料		193,250 円

(3) 委託料

ア 管理委託料	341件	74,051,393 円
イ 事務事業委託料	3件	20,614,000 円
ウ 設計監理委託料	8件	5,822,850 円

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	4	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	3	公園事業費			
	事業	0108220	都市公園等維持管理事業		施策	良質な住環境の整備

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
（４）使用料及び借地料	
ア 借地料	25件 5,741,945 円
イ 借上料	215,440 円
（５）工事請負費（公園施設長寿命化計画による）	
ア 工事請負費（補助）	
豊科南部総合公園ベンチ更新工事	19,976,000 円
三郷文化公園インターロッキング敷設工事	8,899,000 円
イ 工事請負費（単独）	
①旧合併特例事業債（起債）町尻公園トイレバリアフリー化工事	18,909,000 円
②あやめ公園物置設置工事外31件	24,060,300 円
（６）負担金補助及び交付金	
ア 負担金	
日本公園緑地協会外 4 件	89,054 円
イ 交付金	
安曇野市公園愛護会交付金 高家公園外28公園	2,911,000 円
（７）報償費	85,000 円
（８）旅費等	5,720 円
（９）原材料費	70,259 円
（10）備品購入費	309,100 円
上記の評価と課題等	
今後も定期的に公園パトロールを実施し、不具合箇所の把握に努め、市民が安全・安心に公園を利用できるように計画的な公園の施設整備と保全管理に努めます。 市民の緑化への意識の高揚を図るため「緑の基本計画」に基づく事業を行い、花や緑であふれる潤いのあるまちづくりを進めます。	

令和6年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	都市整備係

決算書 ページ	189

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	4	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	4	都市下水路事業費			
	事業	0108250	市街地排水路改修事業		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
7,600,000		7,571,058		0		28,942		99.6%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 市街地排水路改修事業 住環境整備のため、拠点市街区域内の水路改修や浚渫を実施しました。 （1）委託料 ア 清掃業務 3件 975,700 円 （2）工事請負費 ア 市街地排水路改修工事 9件 6,496,600 円 （3）原材料費 ア 防草シート、水中ボンド 1式 98,758 円	

上記の評価と課題等
要望のあった拠点市街区域内の水路を改修し、浸水被害等を未然に防ぐことができました。 水路老朽化による維持改修要望が増える中で、事業費の確保が課題です。 他部署との連携を図り、効率的な維持管理を行う必要があります。

令和6年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	都市整備係

決算書 ページ	187

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	4	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	2	街路事業費			
	事業	0190080	【明許】都市再生整備計画事業（明科駅周辺）		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
374,600,000		373,676,259		0		923,741		99.8%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
331,670,000			【明許】都市再生整備計画事業		141,270,000					
			【明許】都市再生整備計画事業		190,400,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 都市再生整備計画事業 令和4年度からの繰越により、駅前広場や周辺道路、駅前サイン、国道19号街路灯工事を行いました。 (1) 委託料 ア 工事監理業務 1,485,000 円 (令和4年度支出なし) (2) 工事請負費 ア 駅周辺道路整備ほか 14件 352,859,100 円 (令和4年度支出済額 5件 114,620,000 円) (3) 公有財産購入費 ア 道路用地取得 1,556,214 円 (令和4年度支出なし) (4) 補償費及び賠償金 ア 物件移転補償 15,027,135 円 (令和4年度支出済額 1件 10,010,000 円) イ 工作物移転補償 6件 2,748,810 円 (令和4年度支出なし)	
上記の評価と課題等	
明科地域の特性を活かした、安曇野市の東の玄関口にふさわしいまちの形成を目指し、事業進捗を図りました。	

令和6年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	公園緑地担当

決算書 ページ	189

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	4	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	3	公園事業費			
	事業	0190090	【明許】公園施設長寿命化事業		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,500,000	8,008,000		0	492,000	94.2%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
8,000,000		【明許】社会資本整備総合交付金（公園分）	4,000,000		
		【明許】都市公園事業（補正予算償加速化対策分）	4,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 公園施設長寿命化対策支援事業 令和4年度からの繰越により、公園施設の遊具の更新工事を行いました。 (1) 工事請負費 新田公園外2公園遊具更新工事 1件 8,008,000 円 【新田公園 シーズー更新 1基】 【たつみ原公園 造形遊具更新 1基】 【上川手公園 砂場更新 1基】	
上記の評価と課題等	
公園施設長寿命化計画に基づき、市内の公園遊具の更新を行い、市民が安全・安心に公園を利用できるよう計画的な公園の施設整備と保全管理に努めます。	

令和6年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	都市整備係

決算書 ページ	189

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	4	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	4	都市下水路事業費			
	事業	0190340	【事故】潮雨水ポンプ施設修繕事業		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
11,880,000		11,880,000		0	0	100.0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 潮雨水ポンプ施設修繕事業
令和4年度からの繰越により、潮ポンプ施設の修繕工事を行いました。
- (1) 工事請負費
ア 電気設備工事
- 11,880,000 円
(令和4年度支出済額 7,920,000 円)

上記の評価と課題等

潮雨水ポンプ場の修繕工事を行い、内水被害に備えることができました。

令和6年度	
部	都市建設部
課	建築住宅課
係等	建築景観係

決算書 ページ	185

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	4	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	都市計画総務費			
	事業	0108190	景観整備事業		施策	暮らしと調和する景観の保全

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
10,780,000	8,570,815		0		2,209,185	79.5%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
483,200		屋外広告物許可手数料		483,200		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 景観づくり住民協定活動補助金 2,413,264円
自主的に景観を守る取り組みを行っている景観づくり住民協定締結地区の活動に対し、補助金を交付して活動の支援を行いました。また、市連絡会においては伊那市を視察し、特徴的な取り組み等について研修を行いました。（補助団体：住民協定16団体、市連絡会1団体）
- 2 景観条例に基づく行為の届出
安曇野市景観条例で定める届出対象行為について、安曇野市景観計画の基準により審査を行い、写真等によって確認のうえ、行為制限短縮通知の交付を行いました。
【届出件数】839件（内訳：建築物738件、工作物1件、土地形質等100件）
- 3 屋外広告物条例に基づく許可及びパトロール
屋外広告物条例に基づき、広告物掲出に関する相談や指導、許可事務を行いました。また、許可手続き漏れがないように、制度の周知とパトロールを実施しました。
【許可件数】54件数130基（内訳：第1種地域 25基、第2種 44基、第3種 61基）
【許可更新件数】47件数156基（内訳：第1種地域 38基、第2種 52基、第3種 66基）
- 4 緑のまちづくり事業
緑に囲まれた安らぎを感じる環境づくりと、そのきっかけとして、記念樹の配布や生垣設置等への助成を行いました。
【実績】記念樹 申請件数 386件（重複32件）、配布本数511本 2,245,600円
生垣 申請件数 27件（内、ブロック塀撤去併用5件） 1,864,000円

上記の評価と課題等

自主的に景観を守る活動を実施している「景観づくり住民協定」の締結地区に対して、引き続き情報提供及び活動支援を行います。
景観条例及び屋外広告物条例について、適正に運用することができました。引き続き、良好な景観づくりのため、窓口や現場での指導・パトロールに努め、制度に関する周知を継続して行います。
緑のまちづくり事業については、住宅地等、緑化促進のため、広報誌やホームページ等、周知活動の充実を図り、利用拡大に努めます。

令和6年度	
部	都市建設部
課	建築住宅課
係等	開発調整係

決算書 ページ	185

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	4	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	1	都市計画総務費			
	事業	0108200	土地利用調整事業		施策	自然と発展が織りなすまちづくり

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
390,000		330,993		0		59,007		84.9%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細 節 名		金 額		細 節 名		金 額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 土地利用条例の運用

(1) 開発事業の承認（186件）

市内で行う開発事業として186件の提案がありました。関係部署との協議・調整を踏まえ審査を行ない、土地利用基本計画に整合すると認めたものを事業承認しています。

(2) 特定開発事業の認定（34件）

土地利用基本計画の基準に定めない開発事業として34件の提案がありました。関係部署との協議・調整、説明会及び土地利用審議会の意見を踏まえ審査を行い、特定開発事業の認定に関する指針等に照らして適正な開発事業として判断したものを事業認定しています。

【土地利用条例における開発事業の承認、特定開発事業の認定申請件数及び面積（区域別）】

区 域	拠点市街	準拠点市街	田園居住	田園環境	山麓保養	森林環境	合 計
	909.0ha	183.5ha	215.5ha	11,085.9ha	1,331.0ha	19,453.1ha	33,178.0ha
開発事業承認申請	22件	2件	12件	138件	11件	1件	186件
	4.1ha	0.2ha	1.2ha	11.5ha	1.8ha	0.0ha	18.8ha
特定開発認定申請	0件	0件	1件	32件	1件	0件	34件
	0.0ha	0.0ha	0.4ha	3.3ha	0.4ha	0.0ha	4.1ha

※ 開発事業承認の件数は、特定開発の認定後に承認申請へ移行したものを含みます。

上記の評価と課題等

土地利用条例の運用においては、窓口・電話相談等に対する丁寧な説明や、申請案件等の事務処理を適切に行うことができました。今後も適正かつ合理的な土地利用を推進するため、市民及び開発事業者の方に条例の趣旨をご理解いただくよう、引き続き丁寧な説明に努めます。

令和6年度	
部	都市建設部
課	建築住宅課
係等	住宅係

決算書 ページ	185

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす共生の街 安曇野
	項	4	都市計画費		目標	安全で安心して暮らせるまち
	目	1	都市計画総務費		施策	防災・減災対策の推進
	事業	0108205	耐震改修促進事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
20,911,000	20,871,777		0		39,223	99.8%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名		金 額	細 節 名	金 額
15,421,000		住宅・建築物安全ストック形成事業補助金		10,281,000		
		住宅・建築物耐震改修促進事業補助金		5,140,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 住宅・建築物耐震改修促進事業

（１）耐震診断業務委託

6,500,000円

昭和56年5月末日以前に着工された既存木造住宅の耐震診断業務を県建築士事務所協会へ委託し、100件実施しました。

（２）住宅耐震改修補助

14,062,000円

耐震診断を実施した住宅のうち、申請のあった15件に対して耐震改修・除却工事に係る費用を補助しました。

（３）耐震化促進に向けた取組み

国の総合支援メニューに基づいて事業を実施することにより、市費負担の軽減が図られるため、昨年度に引き続き、「安曇野市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム」を計画して取組みました。取組みの内容としては、住宅の耐震化に関する情報の市ホームページや広報紙への掲載、旧耐震基準で建築された住宅の所有者へのダイレクトメール（3,093通）の送付など、フォローアップに努めました。

上記の評価と課題等

耐震化を促進するため、耐震診断、耐震改修工事のPR活動を実施しました。
今後も補助制度の活用により耐震化が図られるよう、事業PRに努めます。

令和6年度	
部	都市建設部
課	建築住宅課
係等	住宅係

決算書 ページ	191

予算	款	8	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	住宅費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	住宅管理費			
	事業	0108290	住宅管理費		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①																										
283,192,000	278,974,731	0	4,217,269	98.5%																										
特定財源の決算額	<table> <tr> <th>左記の内訳</th><th>細節名</th><th>金額</th><th>細節名</th><th>金額</th></tr> <tr> <td rowspan="5">189,854,083</td><td>公営住宅使用料</td><td>51,456,200</td><td>公営住宅等整備事業補助金</td><td>39,037,000</td></tr> <tr> <td>公営住宅駐車場使用料</td><td>3,262,820</td><td>アルプス団地生活雑排水処理施設除却費負担金</td><td>1,100,000</td></tr> <tr> <td>公営住宅使用料滞納繰越分</td><td>321,242</td><td>太陽光発電売電等</td><td>32,711</td></tr> <tr> <td>公営住宅駐車場使用料滞納繰越分</td><td>14,110</td><td>住宅防火施設整備補助金</td><td>118,000</td></tr> <tr> <td>公営住宅等ストック総合改善事業補助金</td><td>54,712,000</td><td>公営住宅建設事業債</td><td>39,800,000</td></tr> </table>				左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額	189,854,083	公営住宅使用料	51,456,200	公営住宅等整備事業補助金	39,037,000	公営住宅駐車場使用料	3,262,820	アルプス団地生活雑排水処理施設除却費負担金	1,100,000	公営住宅使用料滞納繰越分	321,242	太陽光発電売電等	32,711	公営住宅駐車場使用料滞納繰越分	14,110	住宅防火施設整備補助金	118,000	公営住宅等ストック総合改善事業補助金	54,712,000	公営住宅建設事業債	39,800,000
左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額																										
189,854,083	公営住宅使用料	51,456,200	公営住宅等整備事業補助金	39,037,000																										
	公営住宅駐車場使用料	3,262,820	アルプス団地生活雑排水処理施設除却費負担金	1,100,000																										
	公営住宅使用料滞納繰越分	321,242	太陽光発電売電等	32,711																										
	公営住宅駐車場使用料滞納繰越分	14,110	住宅防火施設整備補助金	118,000																										
	公営住宅等ストック総合改善事業補助金	54,712,000	公営住宅建設事業債	39,800,000																										

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 公営住宅等維持管理事業

市営住宅14団地349戸、特定公共賃貸住宅2団地20戸の維持管理を行いました。

(1) 需用費（消耗品費、施設修繕費、外）	12,721,035円
(2) 役務費（手数料等、保険料）、委託料（管理委託料、外）	3,270,371円

2 公営住宅等長寿命化事業

安曇野市公営住宅等長寿命化計画に基づく予防保全型の維持管理（耐久性の向上等）を実施しました。

(1) 外壁・屋根改修 追分団地：C棟・集会所改修工事、D・F棟設計業務委託、外	34,030,700円

3 公営住宅整備事業

寿命化計画に基づく工事及び設計等を行い、施設の長寿命化と住環境整備等を進めました。

(1) 委託料	27,284,400円
○ 柏原団地：アスベスト調査	○ 柏原・穂高団地：耐震診断、耐震設計
○ 穂高団地：改修工事設計	○ アルプス団地：生活雑排水処理施設等撤去設計
(2) 工事請負費	173,107,000円
○ 穂高団地：改修工事 1棟	○ アルプス団地：解体工事 8棟
(3) 補償金	1,760,000円
○ 穂高団地：改修工事完了に伴う移転補償 8件	

上記の評価と課題等

市営住宅及び特定公共賃貸住宅の入居者が良好な住宅環境で居住できるよう、施設の点検・修繕等を行いました。また、長寿命化計画に基づく計画的な施設改修、維持管理に努めました。

上下水道部

令和6年度	
部	上下水道部
課	経営管理課
係等	庶務担当（上下水）

決算書 ページ	143

予算	款	04	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	03	上水道費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	上水道施設費			
	事業	0104300	水道事業		施策	上下水道の安定経営

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
59,666,000		59,665,011		0	989	100.0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

18節 負担金補助及び交付金

地方公営企業である、水道事業の安定化を図るため、合併前の旧豊科町において政策的に実施した水道施設の整備費用に対して一般会計から負担しました。

負担金

・光ニュータウン関連水道事業負担金	7,827,876円
・下水道工事関連水道事業負担金	51,533,276円
・能登半島地震給水応援に係る経費負担金	303,859円
決算額	59,665,011円

上記の評価と課題等

水道事業施設の整備費用の負担金として、光ニュータウン関連水道事業分は令和10年度まで、下水道工事関連水道事業分は令和16年度まで、一般会計から支出します。

また、令和6年1月1日に発生した能登半島地震において、給水応援に係る経費を負担しました。

令和6年度		決算書 ページ	189
部	上下水道部		
課	経営管理課		
係等	庶務担当（上下水）		

予算	款	08	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	下水道事業費			
	事業	0108270	下水道事業		施策	上下水道の安定経営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
1,967,232,000	1,856,571,211	108,700,000	1,960,789	94.4%	
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
14,700,000		一般会計出資債（旧合併特例事業債）	14,700,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
18節 負担金補助及び交付金	
能登半島地震下水道被害状況調査に係る経費負担金	73,761円
23節 投資及び出資金	
出資金 14,700,000円(接続管路実施設計業務委託、外)及び翌年度繰越額 108,700,000円(明科幹線管路工事、外)は、下水道施設統廃合事業に係る出資金です。	
27節 繰出金	
下水道事業経営の健全化を促進し、経営基盤の強化を図るため、一般会計から繰出しを行いました。	
下水道事業会計繰出金	
・基準内で繰出すもの	1,317,522,000円
・基準外で繰出すもの	522,340,000円
・生活保護受給者に対する下水道使用料の基本使用料減免分	1,935,450円
決算額	1,841,797,450円
上記の評価と課題等	
下水道事業は資産規模が大きいことから、企業債償還額の負担も大きく、住民生活に密着したサービス提供を行うためには、一般会計の繰出金が重要な財源です。	
一般会計からの繰出金については、総務省で定める下水道事業の繰出基準により繰出しを行うところですが、従来基準内でないものが一部含まれていたことから令和6年度予算から見直しました。	
また、令和6年1月1日に発生した能登半島地震において、下水道管被害調査派遣に係る経費を負担しました。	

令和6年度	
部	上下水道部
課	経営管理課
係等	庶務担当（上下水）

決算書 ページ	191

予算	款	08	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	下水道事業費			
	事業	0190100	【明許】下水道施設統廃合事業		施策	上下水道の安定経営

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
17,200,000		17,200,000		0		0		100.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
17,200,000			一般会計出資債（旧合併特例事業債）		17,200,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

23節 投資及び出資金

繰越明許額 17,200,000円は、下水道施設統廃合事業（接続管路実施設計業務委託、外）に係る出資金です。

上記の評価と課題等

旧合併特例事業債を活用して下水道事業会計に出資し、下水道施設統廃合事業を推進しました。

教育委員会 教育部

令和6年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育総務係

決算書 ページ	197

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	1	教育委員会費			
	事業	0110010	教育委員会費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
5,862,000		4,381,160		0		1,480,840		74.7%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 教育委員会
教育委員会は、教育長、教育長職務代理者、委員3名の計5名で構成されています。

	R2.11.9	R3.11.9	R5.11.9
教育長	橋渡 勝也	橋渡 勝也	橋渡 勝也
教育長職務代理者	唐木 博夫	須澤 真広	遠藤 正志
教育委員	須澤 真広	横内 理恵子	二村 美智子
	横内 理恵子	二村 美智子	羽田野 賢二
	二村 美智子	羽田野 賢二	川北 久美

(R6.3.31.現在)

教育委員会議
会議は、12回の定例会と1回の臨時会を開催し、教育委員会規則等の制定・改廃の審議その他の教育行政に係る案件についての審議を行いました。

(1) 定例会

No.	期 日	No.	期 日	No.	期 日	No.	期 日
1	R5.4.25	2	R5.5.30	3	R5.6.29	4	R5.7.27
5	R5.8.23	6	R5.9.29	7	R5.10.24	8	R5.11.27
9	R5.12.26	10	R6.1.26	11	R6.2.19	12	R6.3.26

(2) 臨時会 R5.4.3

2 総合教育会議

地方教育行政法に基づく「総合教育会議」を開催し、市長と教育委員会が本市の教育の課題及び目指す姿等について、認識の共有を図りました。

回数	期 日	主 な 議 題
第1回	R5.7.4	子どもの命を守る取組について
第2回	R6.2.13	安曇野市キャリアフェスティバルについて

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	1	教育委員会費			
	事業	0110010	教育委員会費		施策	学校教育の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3 「安曇野市教育振興基本計画」策定準備

教育基本法に規定されている教育振興基本計画の策定に向け、議会委員会への説明、「安曇野市教育振興基本計画策定検討委員会」「安曇野市教育振興基本計画庁内プロジェクト会議」の設置等を行いました。

上記の評価と課題等

事務局が提案した案件及び本市の教育を取り巻く諸問題について、教育委員会定例会で議論を深めるとともに、課題等の解決を図りました。

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	2	事務局費			
	事業	0110015	事務局費		施策	学校教育の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（5）各種大会等出場者補助金（交付先：各学校長）

各種大会等へ参加する際の費用負担軽減のため補助を行いました。（基本的に県大会以上）

区分	体育大会		合唱・吹奏楽コンクール等		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
小学校	10	115,750 円	10	1,336,250 円	20	1,452,000 円
中学校	63	2,478,000 円	12	322,580 円	75	2,800,580 円
合計	73	2,593,750 円	22	1,658,830 円	95	4,252,580 円

（6）私立高等学校運営費補助金 5,570,000円

対象校 7 校、補助対象生徒数 557人

2 学校システム管理事業

（1）教育用システム・サーバの借上げ

- ・センターサーバ（令和2年度、令和3年度 更新5年リース） 7,623,528円
教育委員会管理のセンターサーバを設け、学校との情報ネットワークの再構築と一元化、セキュリティの確保を行っています。
- ・学校図書館システム（令和元年度更新・5年リース） 4,507,800円
学校図書館の蔵書管理システムを構築することにより貸出・返却を効率的に管理します。

（2）主な委託事業

- ・センターサーバ管理保守、学校ネットワーク用機器管理保守 8,585,500円
- ・学校ネットワーク用機器設定変更業務委託 1,485,000円

（3）GIGAスクール構想の推進

- ・GIGAスクール運営支援センター業務委託 6,592,300円
- ・GIGAスクール端末フィルタリングサービス使用料 2,555,454円
- ・授業目的公衆送信補償金 1,014,849円

3 学校安全対策事業

事業名等	金額	備考
学校安全対策用品の購入（熊よけ鈴）	207,900円	購入数150個
通学路安全マップの作成	462,000円	関係者に配布
学校安全連絡メール配信システム使用料	1,065,900円	
通学路標識工事・修理の実施	1,288,100円	地域要望への対応
GIS通学路マップデータ更新委託	297,000円	

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	2	事務局費			
	事業	0110015	事務局費		施策	学校教育の充実

その3

主要な施策（事務事業）の成果の概要

4 入学準備金貸付事業

未来を担う人材の育成を図るため、高等学校又は大学等への入学に要する費用の支出が困難な保護者に対し、入学準備金を無利子で貸付ける「安曇野市入学準備金貸付制度」の運用を平成28年11月から行っています。

【R5年度利用実績】

公立高校	私立高校	国公立大学・短大・専修学校	私立大学・短大・専修学校	計
0 件	1 件	0 件	2 件	3 件
—	300,000円	—	1,200,000円	1,500,000円

上記の評価と課題等

就学相談は、幼児期からの早期支援により、公立認定こども園等だけでなく、私立保育園や認可外保育園、児童発達支援施設等との連携も推進しています。就学判断数は前年度と同程度ですが、年中児の参観・相談が増加傾向となっています。

学校システム管理事業については、学校のネットワーク環境の見直しをしたことで、ネットワークの高速化が実現しました。また、GIGAスクールサポーター事業を活用し、教員向けのICT活用研修や、ICT活用サポートを実施したことで、教員のICTスキルの向上につながりました。

学校安全対策事業では、通学路の安全確保を強化し、前年度よりも通学路標識の新設・修繕件数を増やして対応しました。

入学準備金貸付金事業については、より利用しやすい内容となるよう、制度のあり方について検討を行っています。

令和 6 年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育指導室

決算書 ページ	199

予 算	款	10	教育費	総 合 計 画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	教育総務費		目 標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	2	事務局費			
	事業	0110020	学校支援員配置事業			

單位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
159,970,000	157,193,913		0		2,776,087	98.3%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
3,104,000		小中学校看護師配置事業補助金		3,104,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 報酬・職員手当	148,341,160円
2 謝礼	5,314,795円
3 旅費	3,527,616円

(1) 学校支援員の配置

学校からの支援員配置要望に基づき、県教委による教職員等の配置や学校実情を勘案し、適正な人材配置に努めました。

職 種	人 数	備 考	職 種	人 数	備 考
医療支援員	4人		学力向上支援員	6人	(中学校)
登校支援員	17人		特別支援学級支援員	39人	
合 計				66人	

(2) スクールカウンセラー及び障がい児等指導相談員、放課後学習室支援員等の派遣

配慮を要する児童生徒への支援や学校職員による指導の相談対応のため、市費でスクールカウンセラー及び障がい児等指導相談員（学校心理士・作業療法士・言語聴覚士）を派遣しました。また、学習意欲の刺激や理解促進のため、放課後の学習支援を実施しました。

職 種	人 数	備 考	職 種	人 数	備 考
スクールカウンセラー	7人	(巡回型)	障がい児等指導相談員	3人	(巡回型)
放課後学習室支援員	54人		合 計	64人	

上記の評価と課題等

学校支援員の配置により、個に応じた支援が可能となり、子どもが安心して学校生活を送る環境を整えることができました。不登校（傾向）の児童生徒に対しては、登校支援員とスクールソーシャルワーカーや不登校支援コーディネーターが学校内外の支援者と連携を図りながら、多様な学びの場の保障に努めています。配慮を要する児童生徒は、家庭環境や社会状況の複合的な課題から年々増加しています。また、「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」に基づき、地域の学校でも医療的ケアを要する子どもの受け入れ体制の整備、医療支援員（看護師）の配置が求められる機会は増える可能性があります。学校支援員の配置要望は高まる可能性があるため、子どもの状況や学校の実情に配慮した適正人員の配置ができるようにする必要があります。

令和6年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校教育担当

決算書 ページ	199

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	2	事務局費			
	事業	0110025	コミュニティスクール事業		施策	学校教育の充実

単位：円							
予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
4,355,000		3,142,096		0	1,212,904	72.1%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
3,000,000			ふるさと寄附基金繰入金		3,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 学校運営協議会（コミュニティ・スクール） 地域住民、保護者、地域コーディネーター等が、学校運営に参画し、意見を反映させ、学校運営の強化を図ります。	
委員総数 146人	会議回数 51回 784,000円
2 地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター） 地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動の企画・立案や学校と地域の連絡・調整等を行う役割を担います。 ・連絡会議（事業確認・情報交換） 2回開催	
地域コーディネーター総数 32名	320,966円
3 学校運営協議会活動支援交付金 学校運営協議会の運営事業や地域と学校が連携・協働して実施する教育活動に必要な費用を支援します。	
申請校数 17校	1,257,000円
上記の評価と課題等	
コミュニティスクール事業が目指す「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の実現に向け、学校と地域における育てたい子ども像や目指す教育ビジョンの共有化を図っていきます。また、学校に地域の人が足を踏み入れやすい環境整備を図ることなどの調整を行っていきます。	

令和6年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校教育担当

決算書 ページ	199

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	2	事務局費			
	事業	0110027	外国語指導助手配置事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
56,356,000		55,572,302		0		783,698		98.6%		
特定財源の決算額		左記 の 内 訳	細節名		金額		細節名		金額	
50,000,000			ふるさと寄附基金繰入金		50,000,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 小学校外国語指導助手配置事業
市内小学校10校の児童数に応じて、外国語指導助手（ALT）を配置し、外国語活動の実施、外国語（英語）教育の推進を図っています。
また、海外講師とオンラインで交流する国際交流事業を市内小学校で実施し、英語学習への意欲を高めることや異なる文化への理解を深める機会の提供を図っています。

ALTの配置	4人	19,483,200円
オンライン国際交流事業	4校 10クラス	619,960円

- 2 中学校外国語指導助手配置事業
市内中学校7校に外国語指導助手（ALT）を配置するほか、各校で英会話の課外授業を実施することにより、外国語（英語）教育の推進を図っています。

ALTの配置	7人（各校1名）	34,095,600円
英語課外授業の実施	49人（各校参加生徒数合計）	1,332,980円

上記の評価と課題等

小学校においては、ALTが担任教諭等と連携した授業を実施することで、児童が楽しみながら英語に触れ、親しむ体験を通して、コミュニケーションを図る資質の育成機会を提供しています。
中学校では、通年で各校1名のALTを配置し、生徒の英語でのコミュニケーションを図る能力の育成や国際感覚の基盤を培う機会の確保を図っています。
令和5年度は試行的に小学校5年生を対象としたオンライン国際交流事業を4校10クラスで実施しました。好評だったことから次年度は対象を拡大して実施します。

令和6年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	201

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	2	事務局費			
	事業	0110035	学校バス運行事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
98,179,000		97,536,795		0		642,205		99.3%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 スクールバス運行事業			
市内小(中)学校遠距離通学児童の安全確保のため、スクールバス等の運行を委託しました。 なお、令和2年度より安曇野市タクシー運営協議会と市内全路線一括契約し、運行しています。			
【日数】 合計 3, 281日 (前年度3, 324日)			
地域	学校（路線）	基本運行時間	日数
豊科	豊科南小（たつみ原線）	登校2便 下校2便	206
	豊科南小（飯田・真々部線）	登校2便 下校2便	204
	豊科南小（臨時便）	下校1便	135
	豊科南小（応援車両：たつみ原線）	登校2便 下校2便	204
	豊科南小（応援車両：飯田・真々部線）	登校2便 下校1便	204
	豊科北中（大口沢線）	登校1便 下校1便	158
穂高	穂高北小（北穂高・有明線）	北穂高（狐島）登校1便 下校2便	204
		有明（豊里・小岩岳）登校2便 下校2便	206
		有明（宮城・立足）登校2便 下校2便	205
	穂高北小（臨時便）	下校1便	77
	穂高西小（牧線）	登校2便 下校2便	207
三郷	穂高西小（臨時便）	下校1便	133
	三郷小（小倉線）（通常2台運行）	登校2便 下校2便	205
	三郷小（臨時便）	下校1便	98
明科	明南小（大足線）	登校1便 下校2便	206
	明南小（押野線）	登校1便 下校2便	206
	明北小、明科中（潮沢線）	登校1便 下校2便	211
	明北小、明科中（犀川線）	登校2便 下校4便	212
市バスと業者バスを併用してスクールバスを運行しています。 利用基準は地域性、地形的なことを配慮し、距離を基準としている学校と、地区を基準としている学校があります。			

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	2	事務局費			
	事業	0110035	学校バス運行事業		施策	学校教育の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

2 学校行事バス運行事業

学校行事等における児童の送迎を、市所有バス・民間バス借り上げにより対応しました。

令和5年度から市バス台数が1台減少し、4台体制となったことから、市バスの利用台数は減少し、借り上げバスの利用台数が増加しました。

	市バスの運行(運転委託)		借り上げバス	
	台数	金額	台数	金額
令和5年度	203 台	3,113,140 円	55 台	4,357,890 円
令和4年度	234 台	3,792,250 円	40 台	3,107,970 円

上記の評価と課題等

<スクールバスの運行>

市内全路線を安曇野市タクシー運営協議会と一括契約を締結することで、配車できる車両規格を複数種類用意し、緊急時にも柔軟に対応できる体制を構築しています。

<学校行事バス>

令和5年度から市バス台数が4台体制となりましたが、配車調整の早期対応により、優先的に市バスを利用することができ、費用の削減につながりました。今後も効率的な配車を行います。

令和6年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	203

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	3	住宅管理費			
	事業	0110040	教職員住宅運営事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
4,236,000		3,314,841		0		921,159		78.3%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
3,085,294			住宅貸付料		3,072,550					
			その他雑収入		12,744					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市立学校に勤務する教職員の住環境等整備のために設置している教職員住宅を管理しました。

1 施設管理状況

管理戸数	63戸		
住宅貸付料	3,072,550円		
使用料の月額	5,550円～29,800円		
主な管理経費	施設修繕費	1,305,997円	給排水設備、内外装等の施設修繕
	事務事業委託料	322,798円	未利用用地の測量業務
	工事請負費	988,900円	壁紙、フローリング改修工事
入居状況	21戸（令和5年度末） 入居率 33.3%		

2 施設の整理

公共施設再配置計画に基づく教職員住宅の用途廃止を進めてきました。

令和5年度は、上原教職員住宅を財産管理課へ所管換えし、処分に向けた手続きを行いました。

上記の評価と課題等

自宅からの通勤、民間アパート等を活用する教員の増加、また、管理施設の多くが老朽化している状況があるため、教員住宅のあり方や必要性を検討していきます。

令和5年度末の入居率は33.3%と3分の1程度であり、今後も老朽化した住宅の用途廃止や、利用可能な住宅は他の用途への用途変更等、有効活用について関係部署と引き続き取り組みを進めます。

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	2	事務局費			
	事業	0110070	学校保健事業		施策	学校教育の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（４）飲料水・簡易水道の水質検査、教室内化学物質標準検査等

種 別	決算額		備 考
	小学校	中学校	
水質検査	705,100円	456,500円	飲料水、簡易水道、プール
揮発性有機化合物濃度測定	88,000円	61,600円	教室内化学物質標準検査

（５）健康診断用機器の点検、修繕

種 別	決算額		備 考
	小学校	中学校	
点検	298,100円	218,900円	オーディオメータ校正点検 小学校12台、中学校 8 台
修繕	—	—	

2 教職員健康推進事業

学校関係職員の健康維持のための健康診断、カウンセリング事業等

種 別	決算額	備 考
学校職員健康管理医謝礼	1,440,000円	健康管理医（産業医）2人を配置
教職員カウンセリング	93,000円	
教職員ストレスチェック	54,120円	
教職員健康診断	3,421,341円	

3 健康診断用機器の購入

種 別	決算額		備 考
	小学校	中学校	
微風速計	85,250円	—	学校薬剤師
オーディオメータ	210,320円	—	豊科北小学校
空気清浄機能付き消臭・除菌機	242,550円	242,550円	明北小学校、穂高西中学校

上記の評価と課題等

児童生徒の健康維持、疾病の早期発見のため、学校や関係団体と連携を取りながら実施しました。結果を基に、かかりつけ医等への受診を勧めるため、必要な児童生徒の保護者に「勧奨通知」を出しています。

令和6年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	207

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	小学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	1	学校管理費			
	事業	0110075	小学校総務管理費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
335,367,000		307,238,949		0		28,128,051		91.6%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
3,165,767			感染症流行下における学校教育活動体制整備事業		3,147,000					
			その他雑入（学校教育課）		12,395					
			公共施設目的外使用料（学校教育課）		6,372					

主要な施策(事務事業)の成果の概要

報償費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費等学校別に予算を編成した方が執行管理上効率的と思われる事業費については各学校別予算とし、一括管理した方が効率的と考えられる事業費について、総務管理費として管理しました。

- 1 小学校総務管理費
- (1) 学校事務員・学校庁務員・図書館司書の配置
- 小学校に市費職員として、事務員(7人)・庁務員(10人)・学校図書館司書(10人)(会計年度任用職員)を配置し、学校運営の円滑化を図っています。 66,486,331円
- 事務員・庁務員・学校図書館司書 報酬・職員手当・費用弁償(通勤費) 66,329,294円
- 事務員・庁務員・学校図書館司書・支援員 費用弁償(出張旅費) 157,037円

(2) 主な委託事業

業務名	決算額	内容等
学校施設保守業務等	13,689,940 円	警備業務、自家用電気工作物保安、プール施設点検、消防用設備点検、防火設備点検、地下タンク保守、エレベータ保守、FFストロブ等

- 2 市内10小学校の総務管理費
- (1) 市内小学校の児童数等(R5.5.1現在 クラス数には特別支援学級数を含む) ()内R4年度
- | 学校名 | 児童数 | クラス数 | 学校名 | 児童数 | クラス数 |
|--------|-----------|---------|--------|---------------|-----------|
| 豊科南小学校 | 734 (717) | 33 (30) | 穂高西小学校 | 394 (381) | 18 (16) |
| 豊科北小学校 | 561 (559) | 26 (26) | 三郷小学校 | 941 (936) | 38 (38) |
| 豊科東小学校 | 174 (175) | 10 (10) | 堀金小学校 | 436 (420) | 18 (18) |
| 穂高南小学校 | 625 (596) | 24 (24) | 明南小学校 | 209 (219) | 11 (11) |
| 穂高北小学校 | 631 (658) | 28 (30) | 明北小学校 | 91 (101) | 8 (8) |
| 合計 | | | | 4,796 (4,762) | 214 (211) |

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	小学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	1	学校管理費			
	事業	0110075	小学校総務管理費		施策	学校教育の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（2）各小学校には、実情に応じた予算を配当し、執行を行いました。

節名称	決算額	主な内容
07 報償費	1,891,843 円	講師謝礼他
10 需用費	117,650,329 円	学校管理用消耗品、燃料費、施設修繕、光熱水費、印刷製本、物品修繕外
11 役務費	11,603,942 円	通信運搬費、マット等のレンタル、楽器調整、庭木の剪定、クリーニング外
12 委託料	7,628,699 円	粗大ごみ処理、芝生管理
13 使用料及び賃借料	1,685,562 円	コピー機使用料、学校田等賃借料
17 備品購入費	10,525,833 円	児童用の机椅子、草刈り機外
18 負担金及び補助金	4,710 円	水利組合
合 計	150,990,918 円	※10小学校の総額

（3） 学校用地の賃借 4,574,499円

学校運営のために必要な学校用地及び駐車場・スクールバス停用地の借用

（4） 管理備品等の購入 9,788,581円

石油温風暖房機、消火栓ホース等の更新、新型コロナウイルス感染対策用備品購入

（5）災害共済給付掛金 4,339,500円

児童の「学校の管理下」（登下校を含む）における災害等の対策として、日本スポーツ振興センターの災害給付制度に加入しています。

加入者数	共済掛金	災害発生件数	給付件数	給付額
4,641人	4,339,500円	345件	521件	3,350,086円

3 小学校情報教育推進事業（学校ICT事業の推進）

- ・ 学校システム管理（委託料） 8,498,820円
- ・ 教育用（パソコン教室）及び校務用パソコン等のリース（借上料） 39,392,358円
- ※令和5年度に穂高地域の校務用パソコン、プリンタ等を更新
- ・ 校務支援システム負担金 4,746,000円

上記の評価と課題等

学校生活環境を快適なものとするため、市内10小学校の適正な管理運営を実施しました。
児童数は、R4年度は対前年微増(18人増)でしたが、R5年度は減少(R4：4,762人、R5：4,641 121人減)となり、学級数は3学級減りました。
GIGAスクール構想に基づいて整備したICT機器を活用し、引き続きICTを活用した教育の推進を図っていきます。
学校運営に必要な経費を計上支出することで学校生活や学習活動を支える条件整備など、きめ細やかな対応が行えました。

令和6年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	209

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	小学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	2	教育振興費			
	事業	0110130	小学校教育振興費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
126,233,000		124,724,190		0		1,508,810		98.8%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
4,590,000			理科教育設備整備費補助金		937,000					
			特別支援教育就学奨励費補助金		3,112,000					
			要保護児童生徒援助費補助金		22,000					
			指定寄附金		519,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 小学校就学援助事業

(1) 要保護・準要保護児童生徒就学援助費 39,536,728円
経済的理由によって就学が困難と認められる児童に対して就学援助費を支給しました。
対象経費:学用品費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費等
(支給実績)

要保護児童		準要保護児童		合 計	
2人	45,380円	506人	39,491,348円	508人	39,536,728円

※要保護児童の国庫補助対象経費：修学旅行費（国庫補助率：対象経費の1/2）
※要保護児童は修学旅行費のみが対象

(2) 特別支援教育就学援助費 対象児童数:178人 支給額:6,710,293円
特別支援学級に就学する児童の保護者に対して、就学援助費を支給しました。
対象経費:学用品費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費等
※国庫補助率：対象経費の1/2

2 小学校教科用指導書等購入事業

教科書改訂に伴う教師用教科書及び指導書の購入 39,889,294円
人権教育副読本「あけぼの」（児童用）の購入外 388,423円

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	小学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	2	教育振興費			
	事業	0110130	小学校教育振興費		施策	学校教育の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3 市内10小学校

学校で必要な教材用消耗品、教材備品、児童用図書を購入して学習環境の整備を進めました。

節名称	決算額	主な内容
10 需要費	17,204,719 円	教育事業を進めるために必要な消耗品
17 備品購入費（教材）	9,369,100 円	吹奏楽等楽器、理科振興備品、サッカーゴール、滅菌庫、体育用マット外
17 備品購入費（図書）	8,229,493 円	図書館配備図書 達成率120.01%
合計	34,803,312 円	

※達成率：国が目標と定めた蔵書数（学校図書館図書標準）に対しての達成率

上記の評価と課題等

児童が安心して教育を受け、学校生活を送れるよう、経済的支援や、学習面・生活面における支援を必要とする家庭について、学校長等と連携しながら対応していきます。

学校別の教育振興費消耗品及び備品購入費は、基本額・人数割・クラス割により予算額を算出し配当しています。また、図書購入費は達成率を基に予算額を算出して配当しています。

配当された予算内で必要な教材や備品等を購入していますが、高額な備品（楽器など）で老朽化が著しいものについては、一度に整備することが困難であるため、学校と協議・調整を行いながら計画的に購入しています。

令和6年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育指導室

決算書 ページ	209

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	小学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	2	教育振興費			
	事業	0110185	小学校通級指導教室事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
529, 000		425, 175		0		103, 825		80. 4%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 言語障がい通級指導教室「ことばの教室」、LD等通級指導教室「まなびの教室」の運営
※LDとは、Learning Disabilitiesの略、学習障がいを意味します。
(1) 言語障がい通級指導教室「ことばの教室」
設置校：穂高北小学校1教室
「ことばの教室」は、通常の学級に在籍している言語障がい等を有する児童に対し、各教科等の指導は主として通常の学級で行ないつつ、個々の障がいの状態に応じた特別の教育課程による指導を県費加配担当教員1人が実施しています。
(2) LD等通級指導教室「まなびの教室」
設置校：穂高北小学校2教室、三郷小学校2教室
サテライト校：豊科北小学校1教室、堀金小学校1教室
「まなびの教室」は、設置校2校の他にサテライト教室を開設しています。通常の学級に在籍する情緒障がいや学習障がい等を有する児童に対し、各教科等の指導は主として通常の学級で行ないつつ、個々の障がいの状態に応じた特別の教育課程による指導を県費加配担当教員4人が実施しています。また、グループソーシャルスキルトレーニングを行うために市費補助指導員1人を配置し、小集団での指導を行いました。

2 令和5年度通級及び相談支援実績

	通級人数	グループSST	教育相談
ことばの教室	24人		10人
まなびの教室	61人	3人	80人
小計	85人	3人	90人
合計			178人

上記の評価と課題等

通級指導教室が2校5教室となり、サテライト教室も開設していることから、支援件数と教育相談件数は増加しています。通級及び相談支援件数は延べ178人になり、通常学級での支援・家庭での関わり方についての助言や、通級指導教室での指導により児童の主訴改善を図ることができています。
令和6年度から、「ことばの教室」は2教室（穂高北小2）に増設となり、「まなびの教室」4教室と、そのサテライト教室2教室は継続します。言語や発達の障がいだけでなく、複合的な要因からコミュニケーションの課題や学びづらさを抱える児童の相談が増えています。在籍校や家庭と連携した指導・支援に努め、子どもたちが通級指導教室で学んだことを生活場面で活用できることを目指します。

令和6年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	211

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	小学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	3	学校施設整備費			
	事業	0110190	小学校施設維持修繕事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
39,782,000		36,742,184		0	3,039,816	92.4%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市内小学校10校について、児童の安全・安心の学校施設環境を維持するための修繕を実施しました。

1 施設修繕 16,300,871円（ガラス破損などの軽微なものは学校予算にて対応）

主な修繕	件数	決算額	実施校
照明修繕（蛍光灯からLED照明へ）	8件	1,524,341円	堀金小学校外
プール関連設備修繕	7件	1,719,373円	穂高北小学校外
給排水設備修繕	13件	732,314円	豊科北小学校外
その他修繕	110件	12,324,843円	

2 遊具点検業務の実施 484,000円

3 業務委託 5,256,163円

主な業務委託	件数	決算額	内容等
草刈・剪定作業	22件	1,699,753円	シルバー人材センター外
雨樋等清掃	2件	465,410円	穂高北小学校
建築物定期調査（法定点検）	1件	2,660,900円	全校
公立学校施設台帳作成	1件	430,100円	市内全小学校

4 工事請負費 12,606,543円

主な工事	件数	決算額	実施校
換気設備設置工事（網戸、換気扇）	4件	2,164,846円	穂高北小学校外
自動火災警報装置入替工事	1件	3,025,000円	豊科北小学校
給湯器設置工事	2件	554,147円	堀金小学校
その他工事	11件	6,862,550円	

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	小学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	3	学校施設整備費			
	事業	0110190	小学校施設維持修繕事業		施策	学校教育の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

5 学校施設の点検業務

項 目		頻 度
建築物定期調査	建築基準法12条に基づく、建築物及び建築設備の点検	3年に1度
防火設備点検	シャッターの動作及び動作制御盤やシャッターと連動している煙感知器の保守点検	毎年
消防用設備点検	消防法に規定される設備、機器（制御盤、感知器及び消火栓設備）等の保守点検	毎年
昇降機保守点検	常用エレベーターの保守点検	毎年
自家用電気工作物点検	自家用電気工作物の保安管理	毎年
プール設備点検	水泳プール循環機等の点検	毎年
高架水槽・受水槽清掃点検	学校の飲料水を清潔に保つための清掃・点検	毎年
遊具点検	小学校内の遊具の安全点検	毎年
空調機定期点検	フロン排出抑制法に基づく空調機定期点検	3年に1度

上記の評価と課題等

学校施設を常に健全な状態に保ち、安全安心で快適な教育環境を維持するためには、老朽化や機能の低下が生じる前に予防的な修繕を行う必要があります。従来の事後保全での整備と比較して施設を長く使用することができる「学校施設の長寿命化」を図るうえで「計画保全」の考え方が重要になります。

効率的、効果的な保全を行うためには、その判断材料となる施設の定期的な点検業務を確実に行っていくことが重要です。

本市の学校施設では点検業務を着実に実施し、活用していきます。また、施設の基礎情報や保守記録とあわせ、点検結果の情報を集積し、一元的に管理しています。

令和6年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	211

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	小学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	3	学校施設整備費			
	事業	0110195	小学校施設改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
188,060,000		45,962,400		138,749,000		3,348,600		24.4%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
29,700,000			学校施設整備事業（特例債・施設）		29,700,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要											
豊科南小学校：空气中総繊維数（アスベスト）調査を行いました。 穂高西小学校：トイレ改修工事における、アスベスト調査及び設計業務委託を行いました。 三郷小学校：長寿命化改良工事における、実施設計業務委託を行いました。またプールろ過機の改修工事を行いました。 【繰越明許事業】 学校施設環境改善交付金の前倒し交付により令和6年度に繰越 穂高西小学校：老朽化したトイレの改修及び和式トイレの洋式化工事を行います。											
1 業務委託	36,942,400円										
<table><tr><td>業務名</td><td>決算額</td></tr><tr><td>豊科南小学校空气中総繊維数調査業務委託</td><td>543,400円</td></tr><tr><td>穂高西小学校トイレ改修工事アスベスト調査業務委託、設計業務委託</td><td>4,367,000円</td></tr><tr><td>三郷小学校長寿命化改良工事設計業務委託</td><td>31,515,000円</td></tr><tr><td>堀金小学校井戸水中ポンプ改修工事設計・監理業務委託</td><td>517,000円</td></tr></table>		業務名	決算額	豊科南小学校空气中総繊維数調査業務委託	543,400円	穂高西小学校トイレ改修工事アスベスト調査業務委託、設計業務委託	4,367,000円	三郷小学校長寿命化改良工事設計業務委託	31,515,000円	堀金小学校井戸水中ポンプ改修工事設計・監理業務委託	517,000円
業務名	決算額										
豊科南小学校空气中総繊維数調査業務委託	543,400円										
穂高西小学校トイレ改修工事アスベスト調査業務委託、設計業務委託	4,367,000円										
三郷小学校長寿命化改良工事設計業務委託	31,515,000円										
堀金小学校井戸水中ポンプ改修工事設計・監理業務委託	517,000円										
2 工事請負費	9,020,000円										
<table><tr><td>主な工事</td><td>決算額</td></tr><tr><td>三郷小学校水泳プールろ過機改修工事</td><td>2,750,000円</td></tr><tr><td>堀金小学校井戸水中ポンプ改修工事</td><td>6,270,000円</td></tr></table>		主な工事	決算額	三郷小学校水泳プールろ過機改修工事	2,750,000円	堀金小学校井戸水中ポンプ改修工事	6,270,000円				
主な工事	決算額										
三郷小学校水泳プールろ過機改修工事	2,750,000円										
堀金小学校井戸水中ポンプ改修工事	6,270,000円										
上記の評価と課題等											
豊科南小学校アスベスト調査を実施しました。 三郷小学校は長寿命化改良工事に伴う実施設計を令和4年度からの債務負担行為により実施しました。これに基づき工事を行います。 三郷小学校の水泳プールろ過機内のろ過砂の入替え工事を行いプールの機能維持を図りました。 堀金小学校に設置されている深井戸の水中ポンプが動かなくなつたため新たな水中ポンプに改修を行い、児童の水辺環境の意識向上を図ることができました。											

令和6年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	213

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	中学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	1	学校管理費			
	事業	0110205	中学校総務管理費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
220,899,000		201,012,162		0		19,886,838		91.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
2,024,057			感染症流行下における学校教育活動体制整備事業		1,947,000					
			その他雑入（学校教育課）		3,465					
			中学校公衆電話料		67,220					
			公共施設目的外使用料（学校教育課）		6,372					

主要な施策(事務事業)の成果の概要

報償費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費等学校別に予算を編成した方が執行管理上効率的と思われる事業費については各学校別予算とし、一括管理した方が効率的と考えられる事業費について、総務管理費として管理しました。

1 中学校総務管理費(一括管理)

(1) 学校事務員・学校庁務員・図書館司書の配置・中学校部活動指導員

中学校に市費職員として、事務員(3人)・庁務員(7人)・学校図書館司書(7人)(会計年度任用職員)を配置し、学校運営の円滑化を図っています。

39,903,287円

事務員・庁務員・学校図書館司書 報酬・職員手当・費用弁償(通勤費) 39,349,443円
事務員・庁務員・学校図書館司書・支援員 費用弁償(出張旅費) 553,844円

(2) 主な委託事業

業務名	決算額	内容等
学校施設保守業務等	11,561,440 円	警備業務、自家用電気工作物保安、プール施設点検、消防用設備点検、防火設備点検、地下タンク保守、エレベータ保守、FFストーブ等

2 市内7中学校の総務管理費

(1) 市内中学校の生徒数等(R5.5.1現在 クラス数には特別支援学級数を含む) ()内R4年度

学校名	児童数	クラス数	学校名	児童数	クラス数
豊科南中学校	347 (300)	13 (13)	三郷中学校	505 (469)	22 (20)
豊科北中学校	420 (353)	17 (16)	堀金中学校	284 (276)	12 (12)
穂高東中学校	487 (459)	18 (19)	明科中学校	188 (163)	9 (8)
穂高西中学校	415 (371)	17 (16)			
			合計	2,646 (2,391)	108 (104)

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	中学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	1	学校管理費			
	事業	0110205	中学校総務管理費		施策	学校教育の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

(2) 各中学校には、実情に応じた予算を配当し、執行を行いました。

節名称	決算額	主な内容
07 報償費	794,200 円	講師謝礼他
10 需用費	78,120,806 円	学校管理用消耗品、燃料費、施設修繕、光熱水費、印刷製本、物品修繕外
11 役務費	7,315,316 円	通信運搬費、マット等のレンタル、楽器調整、庭木の剪定、クリーニング外
12 委託料	2,177,890 円	粗大ごみ処理、庭木の伐採
13 使用料及び賃借料	695,047 円	コピー機使用料、学校田等賃借料
17 備品購入費	6,813,973 円	生徒用の机椅子、拡大器外
合 計	95,917,232 円	※ 7 中学校の総額

(3) 学校用地の賃借 1,309,795円

学校運営のために必要な学校用地及び駐車場・スクールバス停用地の借用

(4) 管理備品等の購入 6,713,817円

石油温風暖房機、消火栓ホース等の更新、新型コロナウイルス感染対策用備品購入

(5) 災害共済給付掛金 2,265,780円

生徒の「学校の管理下」（登下校を含む）における災害等の対策として、日本スポーツ振興センターの災害給付制度に加入しています。

加入者数	共済掛金	災害発生件数	給付件数	給付額
2,428人	2,265,780円	202件	377件	2,621,380円

3 中学校情報教育推進事業（学校ICT事業の推進）

- ・学校システム管理（委託料） 5,100,150円
- ・教育用（パソコン教室）及び校務用パソコン等のリース（借上料） 27,542,886円
- ※令和5年度に穂高地域の校務用パソコン、プリンタ等を更新
- ・自動採点システム使用料 924,000円
- ・校務支援システム負担金 3,323,000円

上記の評価と課題等

学校生活環境を快適なものとするため、市内7中学校の適正な管理運営を実施しました。
 生徒数は、近年減少傾向ですが、R5年度は増加(R4：2,391人、R5：2,428 37人増)となり、学級数も3学級増えました。
 GIGAスクール構想に基づいて整備したICT機器を活用し、引き続きICTを活用した教育の推進を図っていきます。
 学校運営に必要な経費を計上支出することで学校生活や学習活動を支える条件整備など、きめ細やかな対応が行えました。

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	中学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	2	教育振興費			
	事業	0110245	中学校教育振興費		施策	学校教育の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3 市内7中学校

学校に必要な教材用消耗品、教材備品、児童用図書を購入して学習環境の整備を進めました。

節名称	決算額	主な内容
10 需要費	14,743,090 円	教育事業を進めるために必要な消耗品
17 備品購入費（教材）	8,267,357 円	吹奏楽等楽器、理科振興備品、卓球台、マシン、体育用マット、CDプレイヤー外
17 備品購入費（図書）	5,901,272 円	図書館配備図書 達成率106.27%
合計	28,911,719 円	

※達成率：国が目標と定めた蔵書数（学校図書館図書標準）に対しての達成率

4 部活動外部指導者派遣事業・朝の自主練習巡回員派遣事業

中学校教諭の部活動負担の軽減、部活動の地域移行の進展を目的として部活動指導員を雇用しました。小学校課外クラブ活動又は中学校部活動について、技術的指導者として学校外部の指導者を派遣します。また、朝の自主練習を実施した際に地域の見守りとして、巡回員を派遣します。

部活動指導員	8名	1,597,049円
部活動外部指導者総数	42名	1,068,200円
朝の自主練習巡回員総数	33名	180,600円

上記の評価と課題等

生徒が安心して教育を受け、学校生活を送れるよう、経済的支援や、学習面・生活面における支援を必要とする家庭について、学校長等と連携しながら対応していきます。

学校別の教育振興費消耗品及び備品購入費は、基本額・人数割・クラス割により予算額を算出し配当しています。また、図書購入費は達成率を基に予算額を算出して配当しています。

配当された予算内で必要な教材や備品等を購入していますが、楽器など高額な備品で老朽化が著しいものについては、一度に整備することが困難であるため、学校と協議・調整を行いながら計画的に購入しています。

令和6年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育指導室

決算書 ページ	215

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	中学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	2	教育振興費			
	事業	0110250	中学校通級指導教室事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
280,000		259,898		0	20,102	92.8%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 LD等通級指導教室「まなびの教室」の運営

※LDとは、Learning Disabilitiesの略、学習障がいを意味します。

設置校：穂高東中学校 1 教室、三郷中学校 1 教室

サテライト校：豊科北中学校 1 教室

「まなびの教室」は、通常の学級に在籍している情緒障がい・発達障がい・学習障がい等を有する生徒に対し、各教科等の指導は主として通常の学級で行ないつつ、個々の障がいの状態に応じた特別の指導を通級指導教室にて実施しています。

県から担当教員 2 人が配置され、通級指導や教育相談にあたりました。

2 令和5年度通級及び相談支援実績

	通級人数	教育相談
まなびの教室	40人	28人
合 計		68人

上記の評価と課題等

中学校では、通常学級の授業や部活動を大切にしている生徒もいるため、学校生活に配慮しながら通級による指導を実施しています。サテライト教室の開設により、通級指導や教育相談の依頼数も増えました。令和6年度からは、「まなびの教室」が3教室（穂高東中2、三郷中1）に増設され、サテライト教室も3教室（豊科北中1、穂高西中1、堀金中1）とします。通級指導教室での学びは、在籍校（担任や学級）、家庭等と連携し、継続的に指導・支援することで、その子どもの日常生活におけるコミュニケーションをはじめとした力に繋がります。進路等を含め、本人の願いを軸にしながら、支援者間で連携を図るよう努めます。

令和6年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	215

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	中学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	3	学校施設整備費			
	事業	0110285	中学校施設維持修繕事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
27,775,000		26,091,279		0		1,683,721		93.9%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市内中学校7校について、生徒の安全・安心の学校施設環境を維持するための修繕を実施しました。

1 施設修繕 15,546,691円（ガラス破損などの軽微なものは学校予算にて対応）

主な修繕	件数	決算額	実施校
照明修繕（蛍光灯からLED照明へ）	3件	1,001,000円	豊科北中学校外
放送設備修繕（体育館含む）	4件	3,416,527円	穂高西中学校外
給排水設備修繕	9件	2,189,990円	明科中学校外
その他修繕	45件	8,939,174円	

2 業務委託 4,157,355円

主な業務委託	件数	決算額	内容等
草刈・剪定作業	15件	1,284,045円	シルバー人材センター外
設計監理業務委託	2件	517,000円	三郷中学校トイレ改修
建築物定期調査（法定点検）	1件	1,942,710円	全校
その他業務委託	2件	413,600円	

3 工事請負費 4,822,400円

主な工事	件数	決算額	実施校
空調機改修工事	3件	2,530,000円	豊科北中学校外
教室仕切り壁設置工事	1件	550,000円	明科中学校
特別支援教室黒板設置工事	1件	277,200円	豊科南中学校
その他工事	4件	1,465,200円	

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	中学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	3	学校施設整備費			
	事業	0110285	中学校施設維持修繕事業		施策	学校教育の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

4 学校施設の点検業務

項 目		頻 度
建築物定期調査	建築基準法12条に基づく、建築物及び建築設備の点検	3年に1度
防火設備点検	シャッターの動作及び動作制御盤やシャッターと連動している煙感知器の保守点検	毎年
消防用設備点検	消防法に規定される設備、機器（制御盤、感知器及び消火栓設備）等の保守点検	毎年
昇降機保守点検	常用エレベーターの保守点検	毎年
自家用電気工作物点検	自家用電気工作物の保安管理	毎年
プール設備点検	水泳プール循環機等の点検	毎年
高架水槽・受水槽清掃点検	学校の飲料水を清潔に保つための清掃・点検	毎年
空調機定期点検	フロン排出抑制法に基づく空調機定期点検	3年に1度

上記の評価と課題等

学校施設を常に健全な状態に保ち、安全安心で快適な教育環境を維持するためには、老朽化や機能の低下が生じる前に予防的な修繕を行う必要があります。従来 of 事後保全での整備と比較して施設を長く使用することができる「学校施設の長寿命化」を図るうえで「計画保全」の考え方が重要になります。

効率的、効果的な保全を行うためには、その判断材料となる施設の定期的な点検業務を確実に行っていくことが重要です。

本市の学校施設では、点検業務を着実に実施し活用していきます。また、施設の基礎情報や保守記録とあわせ、点検結果の情報を集積し、一元的に管理しています。

令和6年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	215

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	3	中学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	3	学校施設整備費			
	事業	0110290	中学校施設改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
129, 250, 000		11, 957, 000		0	117, 293, 000	9. 3%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

豊科南中学校、穂高東中学校：非構造部材であるコンクリートブロック改修工事を行い、災害時における倒壊等の防止対策を行いました。

三郷中学校：令和6年度に実施するトイレ改修工事に伴う、アスベスト調査及び実施設計を行いました。

【繰越明許事業】 学校施設環境改善交付金の前倒し交付により令和6年度に繰越
三郷中学校、堀金中学校：老朽化したトイレの改修及び和式トイレの洋式化工事を行います。

1 業務委託 3, 762, 000円

業務名	決算額
豊科南中学校：コンクリートブロック改修工事監理業務委託他	396, 000円
穂高東中学校：コンクリートブロック改修工事監理業務委託他	374, 000円
三郷中学校：トイレ改修工事、アスベスト調査・実施設計業務委託	2, 992, 000円

2 工事請負費 8, 195, 000円

工事名	決算額
豊科南中学校：コンクリートブロック改修工事	4, 455, 000円
穂高東中学校：コンクリートブロック改修工事	3, 740, 000円

上記の評価と課題等

豊科南中学校、穂高東中学校の渡り廊下に設置されていたコンクリートブロックは地震等の発生時に倒壊の恐れがあることから、撤去しアルミパネルに改修し、災害時の避難経路を確保することができました。

トイレ改修工事については、トイレの洋式化を進めるとともに老朽化した設備を全面改修し、学校環境の改善及び機能向上を図ることができました。

令和6年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	211

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0190110	【明許】豊科南小学校施設改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
32,156,000		20,064,000		0		12,092,000		62.4%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
17,718,000			学校施設環境改善交付金		3,618,000					
			学校施設整備事業 (特例債・施設)		8,700,000					
			学校施設改修事業		5,400,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

豊科南小学校南校舎のトイレは6か所あるが、すべて男女共用となっていたため、男性用3か所、女性用3か所に改修し利用しやすいトイレ環境を整備することができました。（第Ⅱ期工事）

1 設計監理委託 825,000円

2 工事請負費 19,239,000円

上記の評価と課題等

これまで、豊科南小学校の普通教室棟では、男女共用トイレを使用していましたが、公共施設整備の観点から男女別の整備を行いました。

また、トイレの洋式化を進めるとともに、老朽化した設備を全面改修し、学校環境の改善及び機能向上を図ることができました。

令和6年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	211

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0190120	【明許】三郷小学校施設改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
888, 829, 000		665, 544, 169		125, 862, 000		223, 284, 831		74. 9%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
543, 573, 000			学校施設環境改善交付金		773, 000		学校施設整備事業（特例債・施設）		446, 500, 000	
			学校施設改修事業 （防災・減災国土強靱化緊急事業債）		1, 300, 000					
					学校施設改修事業		95, 000, 000			

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市学校施設長寿命化計画で定めた実施計画により、建設から50年以上が経過した三郷小学校校舎の耐用年数を延長させるため、長寿命化改良工事を実施します。工事実施にあたり、工事期間中であっても授業を続けられるよう、仮設校舎を借上げました。本体工事については建築主体工事と電気設備工事については工事契約を締結することができましたが、機械設備工事は入札不調により契約を締結することができなかったため令和6年度へ事故繰越とします。

特別支援教室として使用している教室にエアコンが設置されていないため、エアコンを導入することで、学習環境の改善を図ることができました。

1 委託料	引越し・粗大ごみ収集他	869,169円
2 賃借料	仮設校舎借上げ	95,590,000円
3 工事請負費	569,085,000円	

主な工事		決算額
北校舎2階特別支援教室エアコン設置工事		4,125,000円
長寿命化改良工事 建築主体工事		506,000,000円
長寿命化改良工事 電気設備工事		58,960,000円

上記の評価と課題等

長寿命化改良工事は、建築主体工事と電気設備工事については契約を締結することができましたが、機械設備工事においては入札不調により契約締結ができなかったため工事が開始できませんでした。

エアコンについては、令和元年の空調機導入事業において空き教室等の事情で設置が見送られた教室が、特別支援教室の増級により設置の必要が生じたため、設置を行いました。

令和6年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	211

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0190130	【明許】堀金小学校施設改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
9,894,000		6,985,000		0		2,909,000		70.6%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
6,771,000			学校施設環境改善交付金（明許分）		1,071,000		学校施設整備事業（特例債・施設）		3,800,000	
			学校施設改修事業（防災・減災国土強靱化緊急事業債）		1,900,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
特別支援教室として使用している教室にエアコンが設置されていないため、エアコンを導入することで、学習環境の改善を図ることができました。	
1 設計監理委託	198,000円
2 工事請負費	6,787,000円
上記の評価と課題等	
令和元年の空調機導入事業において、空き教室等の理由により、エアコン設置が見送られた教室が、特別支援教室の増級により設置の必要が生じたことから、エアコンを設置し、児童・生徒の学習環境の改善を図ることができました。	

令和6年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	215

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	03	中学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0190140	【明許】豊科南中学校施設改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
7,062,000		5,896,000		0		1,166,000		83.5%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
5,752,000			学校施設環境改善交付金		1,352,000		学校施設整備事業 (特例債・施設)		2,000,000	
			学校施設改修事業 (防災・減災国土強靱化緊急事業債)		2,400,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
特別支援教室として使用している教室にエアコンが設置されていないため、エアコンを導入することで、学習環境の改善を図ることができました。 1 設計監理委託 198,000円 2 工事請負費 5,698,000円	
上記の評価と課題等	
令和元年の空調機導入事業において、空き教室等の理由により、エアコン設置が見送られた教室が、特別支援教室の増級により設置の必要が生じたことから、エアコンを設置し、児童・生徒の学習環境の改善を図ることができました。	

令和6年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書 ページ	215

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	03	中学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0190150	【明許】堀金中学校施設改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①	
68,307,000		49,269,000		0		19,038,000		72.1%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名		金額	
43,840,000			学校施設環境改善交付金		8,140,000				
			学校施設整備事業 (特例債・施設)		23,600,000				
			学校施設改修事業		12,100,000				

主要な施策（事務事業）の成果の概要

建設工事から改修が行われていない堀金中学校のトイレを令和4年度から令和6年度にかけ、全面改修します。令和5年度は第Ⅱ期工事として北校舎2階・3階の改修を行い、タイル張りの湿式トイレをビニールクロス張りの乾式トイレへ改修するとともに、和式トイレの洋式化を行い、施設の環境改善を図ることができました。

1 設計監理委託	1,540,000円
2 工事請負費	47,729,000円

上記の評価と課題等

タイル張りのトイレを改修することで、トイレの臭気や湿気の解消につながることで、また、トイレの洋式化も図られることから積極的に整備を進めていきます。
工事期間中はトイレの使用ができず、複数年の工事が必要となることから、学校と調整しながら生徒への影響を最小限にして進める必要があります。

令和6年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書 ページ	203

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	4	給食センター費			
	事業	0110045	給食センター総務費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
666,767,000		665,403,215		0		1,363,785		99.8%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
479,602,300			学校給食費（現年度分）		440,765,630					
			学校給食費（滞納繰越分）		889,670					
			新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		37,947,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 市内4学校給食センターの運営体制
4学校給食センターの運営に係る人件費等の適正な執行により円滑な給食運営が行えました。

	正規職員等	会計年度任用職員	県栄養士	合計
北部学校給食センター	1人	23人	2人	26人
堀金学校給食センター	1人	13人	1人	15人
中部学校給食センター	2人	20人	2人	24人
南部学校給食センター	1人	23人	2人	26人
合 計	4人	80人	7人	91人

2 地産地消の推進

- (1) 地産地消の推進を図るため、月1回「安曇野の日」を設定し、わさびコロッケやりんごナポリタンなどの地元産食材を使用した献立、また、郷土食や行事食を取入れた献立を提供できました。
安曇野市に縁のある有名店「新宿中村屋」の中村屋カレーを年2回学校給食で提供しました。
地元食材で作る「わさびコロッケ」の6代目キャラクター募集を市内小中学校に行い、1,793点の応募がある等地元食材への関心を高めることができました。
- (2) 生産者団体等（農業者）やJ Aと地域食材について情報交換を行い、給食で季節を感じることができる地元産農作物の活用にも努めることができました。

3 安全な食材への取り組み

児童・生徒に安心・安全でおいしい給食を提供するため、各給食センターで生産地の確認や成分表による含有物質の確認を行うなど、給食として提供する食材の安全性を確認しました。

4 学校給食費の徴収

給食費会計の公会計化による、管理システムにより口座振替や督促状の発送の手続きなど、一元化した事務により行いました。

上記の評価と課題等

職員の健康管理、保菌検査、衛生管理指導、異物混入等防止の徹底を図り、安全・安心でおいしい給食の提供ができました。また、季節を感じる地元産農産物等をできるだけ使用し給食を提供するなど地産地消や食育を進めることができました。

公費（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用等）を投入し、食材費高騰による児童生徒の給食費増額補助（保護者の負担軽減）と、給食の質の確保ができました。また給食費の値上げを検討し実態にあった給食費の設定ができました。

令和6年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書 ページ	203

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	4	給食センター費			
	事業	0110050	北部給食センター費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
58,486,000	56,861,573		0		1,624,427	97.2%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
16,005		食用廃油売渡し収入		16,005		

主要な施策（事務事業）の成果の概要
1 施設管理、衛生管理の取り組み (1) 施設管理 北部給食センターは平成24年に稼働し、排水処理装置及び厨房機器の老朽化による故障が増えてきておりますが、保守点検業務を実施し、不具合等を早期に発見し修繕等の対応をしています。 (2) 衛生管理 食中毒対策と感染症対策として、職員の日々の健康確認はもとより、来所者にも7日前までの健康チェックを求めるなど予防対策を実施すると共に調理前食品の衛生管理を徹底しました。 2 食育に関する取り組み (1) 給食だよりの発行、地産地消の推進 その日の食材の特徴、豆知識「きゅうしょくひとくちメモ」を掲載した献立表を各家庭へ提供し、児童・生徒が食について興味を持つための一助となりました。 栄養士による学校訪問を行い、児童・生徒への食育・給食指導を行いました。 地産地消を念頭に、お米は地元穂高産を使用、地元野菜の購入等、安心・安全な食材を給食に提供しました。また、有機米等の提供を1学期に1回（年3回）実施しました。 (2) 給食センター視察・試食・体験学習の受け入れ 穂高北小、南小、西小の保護者による施設見学会の受け入れを行いました。また、職場体験で穂高東中学校の生徒2名の受け入れを行いました。 3 アレルギー対応 食物アレルギー性疾患の児童・生徒9名へのアレルギー対応食（対象食材の完全除去食、あるいは代替食）の提供を行いました。また、アレルギー室、一般の調理室とも連携を図り、調理過程でのアレルギー食材混入防止対策が定着できました。 学校協力のもと中途からの児童、生徒にも三者協議を経てスムーズに対応食の提供ができました。
上記の評価と課題等
コロナ感染予防対策も含めた職員の健康管理はもとより、保菌検査、衛生管理指導、異物混入等防止の徹底を図り、安全・安心でおいしい給食の提供に心がけていきます。 季節を感じる地元産農産物等をできるだけ使用した給食を提供するなど地産地消や食育を進めます。

令和6年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書 ページ	205

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	4	給食センター費			
	事業	0110055	堀金給食センター費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
28,653,000		25,713,193		0		2,939,807		89.7%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
3,960			食用廃油売渡し収入		3,960					

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 施設経営、衛生管理の取り組み (1) 施設管理 堀金学校給食センターは、平成17年に稼働し、施設及び設備等にも老朽化による不具合・故障等が発生しましたが、R5年度末より始まる厨房機器等更新工事の準備、計画検討を重ねました。 (2) 衛生管理 食中毒対策と感染症対策として、職員の日々の健康確認はもとより、来所者にも7日前までの健康チェックを求めるなど予防対策を実施すると共に、調理前食品の衛生管理を徹底しました。 2 食育・地産地消の取組み及び推進 (1) 食育の推進 毎月の献立表に給食だよりを掲載し、給食に関する情報を各家庭に発信すると共に、各クラスに「安曇野の日」給食の特色情報等を提供するお便り（ハッピーキッチン）を随時発行しました。 (2) 地産地消の推進 地元農家より出荷された農産物を給食として提供しました。Instagram等を活用し農家さんの紹介などを行いました。 (3) 給食センター視察・試食・体験学習の受け入れ 給食に対する理解を深めていただくことを目的として毎年実施している小・中学校の保護者の試食会を行いました。視察のできない代わりに調理室内を撮影した動画を見ていただきました。 中学2年生のキャリアフェス、職場体験を行い交流しました。 3 アレルギー対応 食物アレルギー性疾患のある児童・生徒3名へのアレルギー対応食（対象食材の完全除去食、あるいは代替食）の提供を行うと共に、アレルギー室のみならず一般調理室とも連携を取り、調理過程でのアレルギー物質混入防止対策が定着できました。	
上記の評価と課題等	
地元の直売所より季節食材（農産物等）の納入を受け、給食として提供しました。また、児童生徒と給食センター職員と一緒に給食を食べる場（交流給食会）を開催し、食育を推進することができました。今後も地元生産者と連携する等、地産地消と食育を進めます。 給食センター内の調理等の動画を保護者試食会にて見ていただき、衛生面を守る様子等、安全・安心の給食作りの理解が進みました。 令和6年度の厨房機器等更新工事期間中の給食提供に向けて、準備、引越などを行いました。	

令和6年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書 ページ	205

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	4	給食センター費			
	事業	0110060	中部給食センター費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
63,417,000	61,519,793		0		1,897,207	97.0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額	
95,386		太陽光発電売電収入	79,051			
		食用廃油売渡し収入	16,335			

主要な施策（事務事業）の成果の概要
1 施設管理、衛生管理の取り組み (1) 施設管理 中部学校給食センターは、平成19年8月に稼働し、施設及び設備等にも老朽化による不具合・故障等が発生しましたが、施設及び厨房機器等保守点検業務を委託する中で、修繕等の初期対応を行いました。 (2) 衛生管理 食中毒対策と感染症対策として、職員の日々の健康確認はもとより、来所者にも7日前までの健康チェックを求めるなど予防対策を実施すると共に調理前食品の衛生管理を徹底しました。 2 食育に関する取り組み (1) 給食だよりの発行、地産地消の推進 週1回発行する「きゅうしょくものしりだよりに給食に関する特色ある情報を掲載し、児童・生徒が食について興味を持つための一助となりました。また、地元農家より出荷された農産物を使用した安心・安全な給食を提供できました。 有機米等の提供を1学期に1回（年3回）実施しました。 6月より栄養士が学校訪問を実施し、児童・生徒へ食育・給食指導を行いました。 (2) 給食センター視察・試食・体験学習の受け入れ 職場体験で中学生1名の受け入れをしました。また給食食材生産者と豊科北小学校、豊科東小学校との交流給食を実施し食育を推進しました。 3 アレルギー対応 食物アレルギー性疾患のある児童・生徒8人へのアレルギー対応食（対象食材の完全除去食、あるいは、代替食）の提供を行うと共に、アレルギー調理室のみならず一般調理室とも連携を取り、調理過程でのアレルギー食材混入防止策を徹底しました。 年度中途からの児童・生徒へのアレルギー対応食の提供は、学校協力のもと三者協議を経て、スムーズな対応食への移行ができました。
上記の評価と課題等
職員の健康管理はもとより、保菌検査、衛生管理指導、異物混入防止等の徹底を図り、引き続き安全・安心でおいしい給食の提供に心がけていきます。 季節を感じる地元産農産物等をできるだけ使用した給食を提供するなど地産地消や食育を進めます。

令和6年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書 ページ	207

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	4	給食センター費			
	事業	0110065	南部給食センター費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
68,126,000	66,449,456		0		1,676,544	97.5%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
156,487		太陽光発電売電収入		145,845		
		食用廃油売渡し収入		10,642		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 施設管理、衛生管理の取り組み
 - 施設管理

南部給食センターは平成19年8月に稼働しており、施設及び厨房機器の老朽化による不具合、故障等が発生してきています。そのような状況の中、年1回の保守点検業務を実施し、不具合等を早期に発見し、修繕等の対応が出来ました。
 - 衛生管理

食中毒対策と感染症対策として、日々の健康確認はもとより、来所者にも過去7日間の健康チェックを求めるなど予防対策を実施するとともに、調理前食品の衛生管理を徹底しました。
- 食育に関する取り組み
 - 給食だよりの発行、地産地消の推進

食材の特徴、調理する過程及び食材クイズ等を記載した「きゅうしょくゆうびん」を毎日発行しました。

J Aを通して市内の野菜生産農家より安心・安全な野菜を購入し、給食用食材として利用し提供できました。特に主食の米は全量安曇野産を使用しています。なお、感染症対策の観点から実施できなかった栄養士の学校訪問を実施することができました。
 - 給食センター視察・試食・体験学習の受け入れ

給食に対する理解を深めていただくことを目的として小学校の保護者等の視察・試食会にPTAの皆様のお受け入れをし、また、職場体験で中学生1名の受け入れをしました。
- アレルギー対応

食物アレルギー性疾患の児童18名へのアレルギー対応食（対象食材の完全除去食、あるいは代替食）の提供を行いました。また、アレルギー室のみならず一般の調理室とも連携が取れ、調理過程でのアレルギー食材の混入防止策が定着できました。

上記の評価と課題等

感染症対策も含めた職員の健康管理はもとより、保菌検査、衛生管理指導、異物混入等防止の徹底を図り、安全・安心でおいしい給食の提供に心がけていきます。

季節を感じる地元産農産物等をできるだけ使用した給食を提供するなど地産地消や食育を進めます。

令和6年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書 ページ	207

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	4	給食センター費			
	事業	0110067	給食センター改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
143, 223, 000		143, 155, 370		0		67, 630		100. 0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
132, 900, 000			旧合併特例事業債		132, 900, 000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 事業概要	「小中一貫教育」の趣旨を踏まえ、稼働後１８年（平成１７年４月稼働）を経過し、４センターの内、最も老朽化した、堀金学校給食センターについて、児童生徒に安全・安心な給食を提供をする事を目的に、設備更新事業に着手しました。
2 取り組み状況	令和５年 7月 設備更新事業厨房機器等改修更新工事 設計業務完了 3, 850千円 9月 設備更新事業厨房機器等改修更新工事 契約締結 339, 570千円 12月 設備更新事業厨房機器等改修更新工事 契約変更 空調設備の改修追加 461, 450千円 令和６年 3月 堀金給食センター更新工事開始
上記の評価と課題等	
令和6年度からの、更新工事期間中の給食提供について、提供予定の中部学校給食センター、北部給食センターと綿密に打合せを行い準備を進めました。堀金給食センターの設備更新厨房機器等更新事業により、今後小中一貫教育の元、児童生徒に安全・安心でおいしい給食を安定的に提供することが出来ます。	

令和6年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	社会教育係

決算書 ページ	217

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	1	社会教育総務費			
	事業	0110305	社会教育総務費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
247,396,000		244,021,314		0	3,374,686	98.6%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

社会教育の推進を図り、活力ある人づくり地域づくりに資するため、次の事業を行いました。

- 1 社会教育委員の会議（決算額：178,500円）
社会教育法に基づき、社会教育に関する助言等をいただくため、社会教育委員12名を置き、各種事業について協議しました。
- | 事業名 | 内容 | 時期 |
|--------------------------------|---------------------------|-----|
| (1) 安曇野市社会教育委員の会議 | 社会教育に関する事業計画及び事業報告等について協議 | 6月 |
| | | 11月 |
| | | 3月 |
| (2) 中信地区社会教育委員連絡協議会 安曇野市ブロック研修 | 「塩尻市市民交流センター」視察研修 | 11月 |
- 2 生涯学習推進計画
第2次安曇野市生涯学習推進計画後期計画（令和5年度～令和9年度）は、「ふるさと安曇野をまるごと学びの場にして生きる」を基本理念に、学習機会の充実と学習成果の活用に関する62の施策項目が掲げられています。
計画の推進にあたり、社会教育委員会において進捗状況を確認し、評価及び検証を行いました。
また、令和5年度の施策指標及び成果指標を設定し、各施策の推進に取り組みました。

上記の評価と課題等

社会教育委員の会議において、生涯学習課事業の計画や実績について協議し、各種事業の改善につなげることができました。
第2次安曇野市生涯学習推進計画後期計画に基づき、生涯学習の推進を図ります。

令和6年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	社会教育係

決算書 ページ	219

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	1	社会教育総務費			
	事業	0110308	生涯学習推進費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
4, 011, 000		2, 676, 780		0		1, 334, 220		66. 7%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市生涯学習推進計画に基づき、健康で豊かな生涯学習社会の実現に向け各種事業に取り組みました。

- 生涯学習講座実施事業（決算額：1,287,871円）
 - 市民大学講座 信州大学編（全5回）
信州大学との包括的連携事業として同大学の協力をいただき、講座を開催しました。
受講者数：延べ194人
 - 安曇野アカデミー（全5回）
「長編大河小説『安曇野』」をテーマに、講演（4回）とフィールドワークを実施しました。
受講者数：延べ359人
 - 学校開放講座（13講座45回）
市内の小中学校、高等学校の協力により、学校施設を会場に教員等が講師となり開催しました。
受講者数：延べ271人
 - 日本語教室（毎週1回、豊科・穂高・三郷・明科地域で実施）
市内在住の外国人を対象とした日本語教室を市民ボランティアの協力により実施しました。
開催数：延べ176回 受講者数：延べ1,179人
 - 日本語教室ボランティア講習会・日本語ボランティアきっかけ講座（各2回）
日本語指導スキルの講習会と、日本語ボランティアに興味のある方向けの講座を開催しました。
受講者数 ボランティア講習：延べ16人、きっかけ講座：延べ27人
 - オンラインモデル日本語教室（全15回）
県モデル事業として、オンラインでの日本語教室を開催しました。
受講者数：延べ91人
- 社会教育団体支援事業（決算額：1,388,909円）
各地域芸術文化協会等社会教育団体の運営支援として、8団体に補助金を交付しました。

上記の評価と課題等

市民ニーズや時代の潮流に即した講座を開催することで多くの参加をいただき、受講者アンケートでは高い満足度を得られました。
市民がより参加しやすい講座づくりを進めるために、ICTの一層の活用を進めます。

令和6年度		決算書 ページ	229
部	教育部		
課	生涯学習課		
係等	社会教育係		

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	みんなでもにつくるまち
	目	3	人権教育推進費			
	事業	0110365	人権教育推進事業		施策	共生社会の実現

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
3,064,000		2,197,096		0		866,904		71.7%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
77,000			人権教育促進事業補助金（県）		77,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
安曇野市人権教育・啓発推進計画に基づき、人権教育の推進に向けて全市的に啓発事業に取り組むとともに、各地域の人権教育推進協議会等と地区公民館での取り組みを推進しました。	
1 人権教育推進事業	
(1) 人権教育推進委員及び人権教育指導員（決算額：1,713,500円）	
①合同委員会；2回開催（参加者：延べ238人）	
②小委員会；2回開催（参加者延べ22人）	
③5地域人権教育推進協議会：各地域2回開催（参加者：延べ270人）	
(2) 企業人権教育推進協議会（決算額：30,000円）	
38企業69事業所が加入。	
①総会及び研修会（参加者：23人）	
講師：土田 英文さん	
演題：「怒りの感情と上手に付き合うための心理トレーニング アンガーマネジメント」	
②企業人権啓発講演会（参加者：140人）	
講師：湯本 晴彦さん	
演題：人間尊重経営と人材育成のしかた～不登校・引きこもりの若者を支援して学んだこと～	
(3) 人権教育集会所管理（決算額：328,678円）	
市内2か所の集会所の管理を行うとともに、用途廃止に向けて関係団体と協議しました。	
上記の評価と課題等	
講演会や研修会を開催し、多くの方に人権意識を高めていただく機会となりました。	
市民一人ひとりが様々な人権問題について正しい理解と認識を深めていただくため、地域公民館主催・地区公民館主催の人権学習会などを通じ、地域に密着した人権教育活動を推進していきます。	

令和6年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	社会教育係

決算書 ページ	231

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	5	公民館費			
	事業	0110380	中央公民館事業費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
56,078,000		53,545,088		0		2,532,912		95.5%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
30,700,000			地域振興基金繰入金		30,700,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市公民館の理念の下、5地域の公民館と連携を取りながら、全市的な事業展開を図りました。

- 1 公民館運営審議会（決算額：119,000円）
公民館運営審議会（委員12人）を3回開催し、公民館事業の計画・実績に意見を頂きました。
- 2 第17回安曇野市公民館大会（決算額：144,622円）
5月21日（日）に開催し、功労者・公民館報表彰、事例発表及び講演会を行いました。
参加者：206人
- 3 公民館報（決算額：1,914,474円）
年4回発行し、地域のグループ、地域公民館・地区公民館の活動などを掲載しました。
- 4 第13回安曇野市総合芸術展（決算額：309,519円）
3月7日（木）～15日（金）に、各地域文化祭の出展作品から選考された123点を展示しました。
入場者：606人
- 5 生涯学習情報誌（決算額：740,740円）
秋・冬号（11月発行）にて大幅なりニューアルを行いました。講座情報、サークルやリーダーバンク等の人財情報、施設情報のほか、おすすめ講座の体験レポートを新規に掲載しました。
発行部数：春号600部・施設情報版650部、秋・冬号1,000部。
- 6 地区公民館支援（決算額：39,082,419円）
地区公民館活動補助金として98地区公民館に30,740,008円の補助を行い、活動を支援しました。
また、地区公民館建設補助金として5地区公民館（6事業）に8,342,411円の補助を行いました。
- 7 公民館講座（決算額：1,248,000円）
5地域の公民館が、地域の文化・歴史・特性を生かした講座を開催しました。
講座数：延べ156回、受講者数：延べ3,828人
- 8 明科地域木戸公民館測量調査設計及び補償調査（決算額：8,947,400円）
令和6年度実施の木戸公民館擁壁補強工事に伴い、調査設計及び補償調査を行いました。

上記の評価と課題等

新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行したことに伴い、地区公民館事業が再開されてきました。
一層の地区公民館活動の活性化に向け、支援を続けていきます。

令和6年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	豊科生涯学習係

決算書 ページ	233

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	5	公民館費			
	事業	0110385	豊科公民館管理費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
27, 185, 000	25, 361, 021		0	1, 823, 979	93. 3%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名	金 額	細 節 名	金 額
2, 955, 598		豊科公民館使用料	2, 927, 970		
		豊科公民館雑入（コピー代）	27, 628		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 概要

施設を快適に利用していただけるよう、日常清掃、設備の保守点検、修繕等を行い、適正な維持管理に努めました。

2 主な経費

（1）光熱水費（電気料・上下水道料）（単位：円）

令和3年度	令和4年度	令和5年度
2,604,345	3,969,250	3,240,037

（2）管理委託料（警備業務・エレベーター保守・空調設備保守・施設管理ほか）（単位：円）

令和3年度	令和4年度	令和5年度
10,052,967	9,667,741	10,149,431

3 施設利用者数の推移（単位：人）

令和3年度	令和4年度	令和5年度
13,067	27,871	32,388

上記の評価と課題等

利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう維持管理に努めていきます。

令和6年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	豊科生涯学習係

決算書 ページ	235

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	5	公民館費			
	事業	0110390	豊科公民館事業		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,392,000	3,863,805		0		528,195	88.0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名		金 額	細 節 名	金 額
38,600		豊科公民館雑入（講座受講料）		38,600		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 概要

市民の主体的な「学び」と「実践」を支援するとともに、地区公民館や団体等と連携・協働を深め、地域づくりを推進しました。

市民参加型のピアノリレーコンサートなどを開催し、ホールの利活用推進に努めました。

2 主な事業

（1）第19回豊科地域文化祭（10月26日～11月19日） 出展・出演者数：506人

- ・菊花展
- ・短歌大会
- ・芸能発表会
- ・華道、書道展
- ・俳句大会
- ・一般作品展

（2）主な開設講座

講座名	開催数（回）	参加人数（人）
第60回童謡祭り・第43回作詞作曲コンクール	1	40
出合い・ふれあい・生きがいセミナー	3	54
ふるさと探訪講座	4	61
豊科の宝講座	4	48
ICT講座	4	72

（3）地区公民館支援 役員研修会 開催回数：1回 参加者数：85人

（4）体育事業

- ・球技大会(代替事業として「ボッチャ大会」を開催。冬季は中止。)
- ・第18回豊科地域さわやか市民運動会(代替事業として「とよしな de ロゲイニング」を開催)

3 主な事業経費

- ・公民館事業報償費（サポート委員謝礼・文化祭等記念品）：521,710円
- ・公民館総合補償制度加入掛金：194,000円

上記の評価と課題等

事業の継続性を大事にしながら、フレイル対策など時代に即したもののへと展開し、地域づくりと人づくりを進めます。

令和6年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	穂高生涯学習係

決算書 ページ	235

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	5	公民館費			
	事業	0110395	穂高公民館管理費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
29,171,000		27,690,051		0		1,480,949		94.9%		
特定財源の決算額		左記 の 内 訳	細節名		金額		細節名		金額	
1,162,405			穂高公民館使用料		964,280					
			穂高公民館雑入（自販機・印刷機）		198,125					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1

概要

施設を快適にご利用していただけるよう、日常清掃、設備の保守点検、修繕等を行い、適正な維持管理に努めました。

2

主な経費

(1) 光熱水費(電気料・上下水道料・ガス料)

(単位：円)

令和3年度	令和4年度	令和5年度
5,864,846	8,769,074	7,619,286

(2) 管理委託料(床清掃・エレベーター保守・警備業務・施設管理ほか)

(単位：円)

令和3年度	令和4年度	令和5年度
9,418,706	9,684,555	10,177,701

3

施設利用者数の推移

(単位：人)

令和3年度	令和4年度	令和5年度
23,156	28,471	28,977

上記の評価と課題等

利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう維持管理に努めていきます。

令和6年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	三郷生涯学習係

決算書 ページ	237

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	5	公民館費			
	事業	0110405	三郷公民館管理費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
16,050,000	15,714,029		0		335,971	97.9%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
6,158,788		三郷公民館使用料		1,063,420		
		三郷公民館雑入（コピー・自販機等）		395,368		
		公民館等長寿命化事業（特例債）		4,700,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1

概要

施設の管理運営事業として、公民館を快適に利用していただけるよう、貸館業務と維持管理を行いました。

2

主な経費

(1) 施設修繕費、光熱水費(講堂マイク接続口修繕・ガス料)

(単位：円)

令和3年度	令和4年度	令和5年度
93,383	253,976	33,630

(2) 管理委託料(清掃及び施設管理・エレベーター保守)

(単位：円)

令和3年度	令和4年度	令和5年度
4,121,515	4,376,464	5,075,686

(3) 三郷公民館借地料

2,673,936円

(4) 三郷公民館長寿命化事業

アスベスト調査業務委託

1,210,000円

設計業務委託

4,981,900円

3

施設利用者数の推移

(単位：人)

令和3年度	令和4年度	令和5年度
39,597	38,849	47,751

上記の評価と課題等

利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう維持管理に努めていきます。
公共施設再配置計画10年計画に基づき、令和6年度に三郷公民館（三郷保健センター）の長寿命化工事を実施します。

令和6年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	三郷生涯学習係

決算書 ページ	237

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	5	公民館費			
	事業	0110410	三郷公民館事業		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
5,417,000		4,356,314		0		1,060,686		80.4%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
73,200			三郷公民館雑入（講座受講料）		73,200					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 概要

地域が抱える様々な課題への対応などについて、学習機会を企画、提供し事業を行ってきました。
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じつつ公民館事業を実施しました。

2 主な事業

（1）三郷祭（10月13日～11月6日）

・文化産業展	来場者数	： 1,138 人
・市民運動会	来場者数	： 1,200 人
・ふれあいコンサート	来場者数	： 331 人
・菊花展	来場者数	： 680 人
・芸能発表会	来場者数	： 420 人
	来場者合計	： 3,769 人

（2）主な開設講座

講座名	開催数（回）	参加人数（人）
生きがい講座	16	248
親子支援講座	8	69
健康長寿講座	9	177
教養講座	8	273
I C T 講座	4	58

（3）地区公民館活動支援

役員研修会

- ①生涯学習推進センターと共催で地区公民館活動・地域のつながりについて、交流・グループ討議を実施
 - ②地区公民館活動への参考とするため、スポーツ推進委員の指導の下、ニュースポーツの体験研修を実施
- 普通救命講習会

3 主な事業経費

- ・公民館事業報償費（三郷祭等協力者謝礼・三郷祭等記念品）：802,400円
- ・公民館総合補償制度加入掛金：194,000円

上記の評価と課題等

事業の継続性を大事にしながら、フレイル対策など時代に即したものと展開し、地域づくりと人づくりを進めます。

令和6年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	堀金生涯学習係

決算書 ページ	239

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	5	公民館費			
	事業	0110415	堀金公民館管理費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
4,607,000		4,161,734		0		445,266		90.3%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
2,104,260			堀金公民館使用料		2,037,610					
			堀金公民館雑入（コピー）		66,650					

主要な施策(事務事業)の成果の概要

1 概要

公民館を快適に利用できるよう、運営・維持管理を行いました。

2 主な経費

(1) 光熱水費(上下水道料・ガス料) (単位：円)

令和3年度	令和4年度	令和5年度
89,049	93,564	99,161

(2) 管理委託料(清掃及び施設管理ほか) (単位：円)

令和3年度	令和4年度	令和5年度
2,797,462	2,806,924	2,927,897

3 施設利用者数の推移 (単位：人)

令和3年度	令和4年度	令和5年度
29,407	37,105	40,331

上記の評価と課題等

利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう維持管理に努めていきます。

令和6年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	堀金生涯学習係

決算書 ページ	239

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	5	公民館費			
	事業	0110420	堀金公民館事業		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
4,404,000		3,930,207		0		473,793		89.2%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
126,800			堀金公民館雑入（講座受講料）		126,800					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1概要

地域の学習や交流の場であるとともに、地域づくりの拠点としての役割を果たすため、多様化する市民ニーズに対応する各種の事業の企画や実施及び地区公民館の支援を行いました。

2主な事業

(1)堀金地域文化祭（10月27日～29日）

・芸能発表会（21団体/計222人）

・作品展（34団体計1,200人）

来場者数：1,100人

(2)開設講座

講座名	開催数（回）	参加人数（人）
地域文化・歴史講座	18	477
趣味の講座	38	419
健康づくり講座	12	50
子ども公民館講座	3	99

(3)公民館報「常念の里」発行

12回

(4)地区公民館支援 公民館関係者研修会研修会

1回

参加者数：54人

3主な体育事業

・スポーツ大会（みんなでスポーツin常念・駅伝大会・冬季スポーツ大会）

4主な事業経費

・公民館事業報償費（サポート委員謝礼・文化祭等記念品）

906,862円

・公民館総合補償制度加入掛金：194,000円

上記の評価と課題等

事業の継続性を大事にしながら、フレイル対策など時代に即したものと展開し、地域づくりと人づくりを進めます。

令和6年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	明科生涯学習係

決算書 ページ	239

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	5	公民館費			
	事業	0110425	明科公民館管理費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
4,299,000		3,946,189		0		352,811		91.8%		
特定財源の決算額		左記 の内 訳	細節名		金額		細節名		金額	
1,085,369			明科公民館使用料		913,740					
			明科公民館雑入（コピー等）		171,629					

主要な施策(事務事業)の成果の概要

1 概要	施設利用方法を周知、徹底し、安全な施設管理を図ります。 施設、備品等の点検や修理を行い、安心して利用できる環境を整備します。 施設利用システムにより適正な受付と事務の効率化を図ります。 利用者の要望や意向に添えるよう、施設案内及び情報提供を行います。 利用者の使用日誌を活用し、光熱水費の節減に努めます。		
2 主な経費	(1) 光熱水費(ガス料) (単位：円)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	15,995	17,587	15,440
	(2) 管理委託料(清掃及び施設管理ほか) (単位：円)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	2,520,025	2,589,497	2,719,747
3 施設利用者数の推移	(単位：人)		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	17,847	19,557	14,977

上記の評価と課題等

利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう維持管理に努めていきます。

令和6年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	明科生涯学習係

決算書 ページ	241

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	5	公民館費		施策	生涯を通じた学びの創出
	事業	0110430	明科公民館事業			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
3,927,000	3,445,214		0		481,786	87.7%
特定財源の決算額	左記の内訳	細 節 名		金 額	細 節 名	金 額
24,600		明科公民館雑入（講座受講料）		24,600		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 概要

地区公民館役員を対象に、定期会議を開催し地域づくりの向上を図ります。
 市民主体の地域づくり団体等との協働により、地域課題に目を向けた講座や学習会を企画、運営します。
 スポーツ大会等の企画、運営に市民主体の実行委員会を組織し、長期的視野に立った事業運営を目指します。

2 主な事業

（1）明科地域文化祭（11月3日～11月5日）

- ・展示発表（11団体・7個人） 出展者数：606人
- ・お楽しみサロン（参加団体：6団体） 出場者数：35人
- ・芸能発表会（参加団体：22団体） 出演者数：150人

（2）開設講座

講座名	開催数（回）	参加人数（人）
地域文化・歴史講座	11	241
ゆとりと生きがい講座	8	259
地域食材活用講座・ICT講座など	25	388

3 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止した主な事業

あやめスポーツ大会、明科地域市民運動会、区長、地区公民館役員研修会

4 主な事業経費

- ・文化祭報償費：207,299円
- ・公民館総合補償制度加入掛金：194,000円

上記の評価と課題等

事業の継続性を大事にしながら、フレイル対策など時代に即したものと展開し、地域づくりと人づくりを進めます。

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	1	社会教育総務費			
	事業	0110310	文化振興費		施策	文化・芸術活動の推進

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- ア ワークショップ 参加者59人
 豊科北中学校 8月28日・8月30日・9月15日・9月21日 陶芸ワークショップ
 南安曇農業高校 8月25日 陶芸作家による講義
 穂高商業高校 10月4日 木工ワークショップと高校生へのアドバイス
 一般市民対象 9月16日 木工ワークショップ、10月8日 ガラスワークショップ
- イ 展覧会 10月7日～19日、ギャラリートーク 10月7日 参加者18人
- (10) 京都芸術大学連携アートプロジェクト
 京都芸術大学と安曇野市の連携に基づき同大大学院生12人が市内でアートプロジェクトを実施しました。
- ア 市内中高生との共同制作等 参加者52人
 豊科北中学校 8月5日～7日 ファッション・音など5つのプログラムで共同制作
 穂高商業高校 1月10日・15日・17日・22日 絵画・書など3つのプログラムで作品制作
- イ 展覧会 前期：9月17日～24日、スライドトーク 9月17日 参加者52人
 後期：1月21日～2月4日
- 芸術教育普及事業決算額（10,307,018円）
- 2 諸団体との協働事業
- (1) 第19回あづみの公園早春賦音楽祭 5月14日 入場者2,825人 補助金1,200,000円
 (2) 第32回信州安曇野薪能 8月19日 入場者491人 補助金8,000,000円
 (3) 『安曇野文化』刊行 47～50号 補助金1,930,000円
 (4) 第60回童謡祭り 5月27日 補助金230,000円
 (5) ミュージアム活性化事業（文化庁補助金活用） 市内公立・私立の博物館・美術館で実行委員会を組織し以下の事業を行いました。
- ア ギャラリートークリレー 15館において来館者への解説を実施しました。
 10月21日～11月5日 参加者1,281人
- イ 学校ミュージアム 収蔵資料を市内の学校に持ち込んで鑑賞事業を実施しました。参加者821人
 豊科北中学校3年生 10月6～24日、豊科南中学校1年生 10月18日、
 豊科東小学校全学年 11月28日、三郷中学校2年生 11月30日、穂高幼稚園 12月18日、
 穂高東中学校1年生 1月18日
- ウ 学芸員研修会 参加者41人
 10月11日 対話型鑑賞研修、12月13日 作品修復技術研修
- エ 信州大学と連携し、学生による市内美術館の見学・意見交換会、資料の調査・研究・大学内での展示に協力しました。参加者14人
 美術館見学・意見交換会 1月7日、大学内での展示 1月23日～2月5日
- オ オンラインギャラリートーク YouTubeで13館のギャラリートークを公開しました。
- 3 財政支援団体への補助金交付
- (1) 公益財団法人安曇野文化財団運営補助 補助金7,258,000円
 (2) 一般財団法人井口喜源治記念館運営補助 補助金1,400,000円
- 4 資料受納・収集・整理事務
 美術資料等選定委員会の審査を経た美術作品の収集を行いました。
- 5 ちくにしきものみらい基金充当事業 実施件数23件 参加者数1,328人 バス委託料840,400円
 学級単位等で行う自然観察会用のバス代の支出、講師の手配、併せて博物館等の利用促進も図りました。
- 6 博物館・美術館等の管理運営
- (1) 博物館協議会 第1回：5月23日 第2回：10月12日 第3回：3月5日
 登録博物館4館及び類似施設5館の管理運営状況等について協議を行いました。
- (2) 美術資料等選定委員会 第1回：5月23日 第2回：3月15日
 豊科近代美術館・安曇野高橋節郎記念美術館の資料収集について協議しました。
- 7 文化振興基金積立 将来の文化振興事業の実施、博物館の修繕に備え積み立てを行いました。
 14,000,000円

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	1	社会教育総務費			
	事業	0110310	文化振興費		施策	文化・芸術活動の推進

その3

主要な施策（事務事業）の成果の概要

8 指定管理委託料

施設名	指定管理者	指定管理委託料（円）
豊科近代美術館	公益財団法人安曇野文化財団	37,500,000
田淵行男記念館		14,095,000
飯沼飛行士記念館		2,193,000
穂高陶芸会館		7,300,000
高橋節郎記念美術館		24,000,000

9 施設修繕等

経年劣化が認められた施設の修繕等を行いました。主な内容は以下のとおりです。

施設名	修繕等内容	修繕費（円）
高橋節郎記念美術館	高圧開閉器更新	1,053,800
高橋節郎記念美術館	床暖房用ヘッダー改修	1,049,070
豊科近代美術館	除加湿ユニット交換修繕	660,000
穂高陶芸会館	多目的・男子トイレ便座交換	261,800
田淵行男記念館	男子トイレ便座交換修繕	115,500

10 文化施設長寿命化

公共施設長寿命化計画に基づき、文化施設の改修工事設計業務を実施しました。

- (1) 豊科近代美術館大規模改修工事 実施設計業務委託16,720,000円
- (2) 高橋節郎記念美術館空調設備等改修工事 設計業務委託1,963,500円

上記の評価と課題等

「第2次文化振興計画」に基づき、諸事業を行い、市民が多様な文化芸術に親しむ機会を創出することができました。京都芸術大学との連携事業を新規に行い、また、外部の文化団体の舞台公演事業の招致、音楽家による学校へのアウトリーチなどの芸術教育普及事業、公共施設長寿命化計画に基づく文化施設の改修工事の設計業務なども行いました。今後、芸術家や芸術系大学の学生等と市民との交流機会を創出できる体制や拠点の整備を進めていきます。文化振興の担い手である市民の自主的活動や文化的暮らしの実現に向けた様々な取組みを支援し、連携と参画を促進していきます。

令和6年度	
部	教育部
課	文化課
係等	博物館担当

決算書 ページ	221

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	1	社会教育総務費			
	事業	0110320	郷土博物館費		施策	歴史・文化遺産の継承

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
40,646,000		36,757,397		0		3,888,603		90.4%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
5,976,612			郷土博物館等使用料		198,800		旧合併特例事業債		4,800,000	
			郷土博物館刊行物頒布代		208,300		企業版ふるさと納税		500,000	
			郷土博物館雑入		98,512					
			ちくに生きものみらい基金繰入金		171,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

年間の総利用者数は、豊科郷土博物館8,367人、穂高郷土資料館858人でした。

夏季企画展「古代・中世の墓をの覗（のぞ）く」では、古代から現代までの墓制の移り変わりをテーマにしました。春季企画展「はくせい動物園」では、豊科郷土博物館で所蔵する剥製を活用した展示を行いました。

豊科郷土博物館の企画展に合わせて展示内容の解説を兼ねた「ふるさと安曇野きのうきょうあした No. 28」、博物館の活動記録を掲載した「年報令和4年度版」、博物館の調査研究成果をまとめた『紀要第10号』及び『博物館ブックレット5 絵地図から安曇野の江戸時代をみる』を発行しました。

平成27年度に策定した「安曇野市新市立博物館構想」を見直し、新市立博物館の整備に向けた方針を検討するため、「安曇野市新市立博物館整備方針検討委員会」を発足させました。

コンパクト展示は全9回、延べ417日間実施しました。パネル等が傷んできた古いものを整理しつつ、掛軸状のバナーに作り変えており、現在39のテーマが展示可能となっています。

令和元年度以来、市内5地域の歴史文化遺産を取り上げた書籍「宝シリーズ」を刊行してきました。令和5年度は最終巻の『堀金の宝』を刊行し、市民に配布しました。

これまで老朽化が進み、現行の耐震基準を満たしていなかった穂高鐘の鳴る丘集会所について、今後アーティストインレジデンスの拠点としての活用を図るため、令和6年度の改修に向けた設計業務を委託しました。

上記の評価と課題等

豊科郷土博物館及び穂高郷土資料館では、子ども向けの取組みにも力を入れています。

豊科郷土博物館の春季企画展「はくせい動物園」は小中学生だけでなく未就学児にも人気で、令和5年度中の32日間に1,376人の来館者がありました（企画展は令和6年5月19日まで開催）。同時期に行った「昔の暮らしin博物館」も子どもたちに好評で、4日間の期間中に175人の参加がありました。

また豊科北中学校をはじめとする市内小中学校及び高校への出前講座も22回実施しました。

令和6年度	
部	教育部
課	文化課
係等	文化財保護係

決算書 ページ	223

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	1	社会教育総務費			
	事業	0110325	文化財資料センター費		施策	歴史・文化遺産の継承

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
5,309,000		4,757,481		0		551,519		89.6%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
0										

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市文化財資料センターでは、市が所有する考古資料、歴史資料の整理を行うとともに適正な収蔵に努めています。これらの整理作業は、埋蔵文化財報告書の刊行や博物館事業につながり、豊科郷土博物館等で開催する企画展や、コンパクト展示などで市民の皆さんへ還元されます。

また、発掘調査時は出土遺物、図面の整理を行う前線基地として当センターは機能します。

令和5年度事業 -考古・歴史資料の整理-

発掘・試掘調査等で出土した遺物の洗浄、注記、復元、図化等整理作業を行いました。

また、歴史資料・書籍等の目録作成を行いました。

上記の評価と課題等

昭和58年に建設された穂高町給食センターを平成24年度に改修工事を行い、収蔵庫として活用しています。年々増加する埋蔵文化財の出土遺物を効率よく整理し収納していきます。

令和6年度	
部	教育部
課	文化課
係等	博物館担当

決算書 ページ	223

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	1	社会教育総務費			
	事業	0110335	貞享義民記念館事業		施策	歴史・文化遺産の継承

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①	
19,012,000		16,730,822		0		2,281,178		88.0%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名		金額	
384,834			貞享義民記念館使用料		261,294				
			義民館刊行物等頒布代		54,800				
			義民館雑入		68,740				

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
令和5年度の総利用者数は、4,342人でした。 自主企画展では、「人権ポスターパネル展」、「安曇野から考える人権展」、「加助伝説—その男怨霊か、英雄か—」を開催しました。 他団体の出展者と貞享義民記念館が共同して行う企画公募展は、全10回開催しました。 講座は、臨地講座を「水野氏と松本城下ウォーク」と「貞享騒動旧跡巡り」の2回、座学では「古文書講座『赤蓑談』を読もう」のほか、館長が貞享騒動について語る基礎講座を2回実施し、夏休み親子対象講座として「消しゴムスタンプをつくろう」を行いました。 貞享騒動をよりわかりやすく伝えるため、森のおうちお話の会の協力を得て、朗読会「おしゅん」を開催し、2回の開催で計74人の参加がありました。	
上記の評価と課題等	
自主企画展「加助伝説—その男怨霊か、英雄か—」では、松本平で伝承された加助伝説に焦点を当てました。関連講演会「加助が傾けた松本城」とともに、近年の研究成果を取り入れた新しい視点が注目されました。 森のおうちお話の会の皆さんの協力を得て毎年開催してきた「おしゅん」朗読会は、10周年を区切りを迎えたため、今回が最終回となりました。貞享騒動の顛末をわかりやすく伝える企画で毎年好評を得ていました。今後も貞享騒動をわかりやすく伝えていく企画を検討していきます。	

令和6年度	
部	教育部
課	文化課
係等	文化振興担当

決算書 ページ	225

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	1	社会教育総務費			
	事業	0110340	交流学习センター等管理費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
97,403,000	94,087,296	0	3,315,704	96.6%	
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
13,978,363		穂高交流学习センター使用料	2,613,675	明科子どもと大人の交流学习施設利用料	1,435,004
		三郷交流学习センター使用料	69,150	豊科交流学习センター施設利用料	6,576,641
		学習館使用料	488,290	明科交流学习施設事業（過疎債）	2,700,000
		その他教育費雑入（交流学习センター等）	95,603		

主要な施策（事務事業）の成果の概要					
施設の定期点検や修繕を行い、利用しやすい環境づくりをしました。					
1 交流学习センター及び学習施設利用状況					
(1) 総入館者数（人）					
施設名		令和4年度	令和5年度	比較	割合（%）
穂高交流学习センター		215,267	228,010	12,743	105.9
三郷交流学习センター		61,267	66,439	5,172	108.4
明科子どもと大人の交流学习施設		52,690	57,024	4,334	108.2
(2) 稼働率（%） 稼働率＝年間利用時間／年間利用可能時間					
施設名		令和4年度	令和5年度	比較	割合（%）
穂高交流学习センター		39.82	38.87	-0.95	97.6
三郷交流学习センター		22.52	19.46	-3.06	86.4
明科子どもと大人の交流学习施設		52.17	52.03	-0.14	99.7
2 主な管理内容・経費					
施設修繕費 8,297,498円（空調屋外機、自動ドア装置、防火設備等の部品交換）					
光熱水費 27,658,131円					
管理委託料 26,950,513円（清掃業務、窓口業務、消防用設備等点検業等）					
3 明科子どもと大人の交流学习施設空調機器更新事業					
実施設計業務 2,750,000円					
4 指定管理委託料					
施設名		指定管理者		指定管理委託料（円）	
豊科交流学习センター		公益財団法人安曇野文化財団		10,000,000	

上記の評価と課題等	
令和3年度より指定管理者制度を導入した豊科交流学习センターは、円滑に運営されています。今後も学習の拠点として、芸術文化の発展に向けた市民の自発的な活動の場を提供するとともに、市民が情報と知識を入手し、利用することが出来る施設として適切かつ円滑な管理運営に努めます。	

令和6年度	
部	教育部
課	文化課
係等	文化財保護係

決算書 ページ	225

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	2	文化財保護費			
	事業	0110355	文化財保護費		施策	歴史・文化遺産の継承

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①	
10,442,000		7,707,369		0		2,734,631		73.8%	
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額	細節名		金額	
1,163,000			文化芸術振興費補助金		1,163,000				

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
●文化財保全事業（4,731,565円） 1 文化財保護審議会（2回開催） 諮問に係る審議の外、事業の進捗状況等を報告し、文化財保護事業の方向性について審議しました。 2 安曇野市文化財保存活用地域計画の策定 地域に伝わる伝統行事や、文化財などの今後の保存活用に関する具体的方策を定める計画策定に着手しました。令和7年8月素案完成（12月文化庁認定）予定。 3 指定文化財保護のための補助事業（1,234,153円） （1）無形民俗文化財保存伝承事業…お船祭り、道祖神祭りほか計11件（999,622円） （2）文化財防災設備設置及び維持管理ほか計7件（154,016円） （3）修理及び復旧、附帯物修理ほか計2件（80,515円） 4 史跡等の維持管理 上原古墳、前の髪古墳、穂高古墳群B4号墳他の除草作業等を、市民団体・地区の皆さんの協力をいただきながら実施しました。 ●地域史研究と文化財保存・活用（684,000円） 市内の建造物調査委託業務（496,925円） 信州大学との包括的連携協定に基づき、信州大学工学部建築学科梅干野研究室に依頼して、市内の神社本殿24棟の建築調査をしました。	
上記の評価と課題等	
今後も指定文化財への支援を続けるとともに、地域史研究の成果を市民へ還元し、文化財の保存・継承・保護意識の醸成へつなげていきます。また、少子高齢化に起因する文化財の管理者、所有者等の担い手不足などの課題に対して、具体的な対処法等を検討しながら安曇野市文化財保存活用地域計画を策定します。	

令和6年度	
部	教育部
課	文化課
係等	博物館担当

決算書 ページ	227

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	2	文化財保護費			
	事業	0110357	文書館費		施策	歴史・文化遺産の継承

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
29,395,000	25,492,521		0		3,902,479	86.7%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額	
247,930		文書館刊行物頒布代	244,440			
		文書館雑入	3,490			

主要な施策（事務事業）の成果の概要

文書館の年間利用者数は、1,951人（閲覧・講座・講演会・電話での相談・視察研修等を含む）、臼井吉見文学館の総利用者数は1,615人でした。

文書館の公開点数は、令和5年度末日現在で、公文書51,487点（年間2,436点の増加）、地域資料52,365点（年間3,110点の増加）、合計103,852点（年間5,546点の増加）となっています。

文書館は、平成30年の開館から5年の節目にあたったため、前期・後期の企画展では、5年間を振り返る企画を行っています。前期企画展「残した 伝えた この5年」、後期企画展「受け継がれる地域資料」、「『三郷の宝』刊行記念展」を開催しました。

臼井吉見文学館では、年2回の講演会を実施しています。7月12日の吉見の命日「れんげ忌」に合わせて開催する講演会には、筑摩書房社長の喜入冬子氏、3月の講演会には伊那弥生ヶ丘高校教諭の小川幸司氏を講師に迎え、それぞれ100人前後の参加者がありました。

『安曇野市誌』編さん事業では、専門調査会（民俗部会）を8回開催し、巡見や聞き取り等の調査とともに、民俗資料編（豊科地域）の執筆を行いつつ、内容を検討しました。

また専門調査会（考古部会）も2回開催し、考古資料編の執筆に向けた調査計画の検討等を行いました。

上記の評価と課題等

文書館では、市内の古文書等の地域資料の収集を行っています。特に令和5年度は、1万点以上を数える堀金の山口家文書の整理を行い、公開に向けた準備を進めました。また市民に古文書への関心を持ってもらうため、古文書を扱った講座や修復した絵図の公開等も行いました。

市内には散逸が懸念される地域資料も多く、市内の旧家や各行政区に働きかけて、古文書や区有文書の散逸防止に努めています。

『安曇野市誌』の編さんでは、民俗資料編から進めています。今後、自然・近現代・中近世の各編にも取り組むため、調査・執筆を行う専門調査員や、事務局側の体制を整えていきます。

令和6年度	
部	教育部
課	文化課
係等	文化財保護係

決算書 ページ	227

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	2	文化財保護費			
	事業	0110360	埋蔵文化財発掘調査事業		施策	歴史・文化遺産の継承

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
14,814,000		12,405,689		0		2,408,311		83.7%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
2,574,235			市内遺跡補助金（国庫）		566,000					
			埋蔵文化財発掘調査委託料		2,008,235					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 発掘調査の報告書を刊行しました（1,902,450円）
「令和4年度安曇野市埋蔵文化財調査報告書 第29集」
「明科遺跡群明科廃寺第5次発掘調査報告書 第30集」
- 文化財保護法に基づき、周知の埋蔵文化財包蔵地内での土木工事等に関し、発掘・試掘調査、工事立会い等を実施しました。（掘削重機借上料403,150円）
（1）公共・民間の事業開発に伴う発掘調査、試掘調査
・発掘調査1件（明科遺跡群古殿屋敷）、試掘調査8件
（2）文化財保護法に基づく事務手続き
・第94条関係（公共事業）…48件 ・第93条関係（民間事業）…108件
（3）埋蔵文化財包蔵地の照会…584件
- 明科遺跡群古殿屋敷の第4次調査を実施しました（2,008,235円）
犀川砂防事務所耐震化ほか工事に伴い、古殿屋敷遺跡の発掘調査をしました。
8月28日から9月29日までの約1ヶ月間調査を実施し、古墳時代中期及び奈良時代の竪穴住居址各1軒などを発見しました。
住居址からは多数の土器が出土しました。
- 遺物整理及び保存処理分析（保存処理等業務委託 690,800円）
発掘調査等により出土した遺物の保存・活用を図るため、遺物整理作業及び保存処理・分析を行いました。また、市教育会から寄贈された金属製品等の保存処理（専門機関へ委託）を行いました。

上記の評価と課題等

文化財保護法に基づく届出・通知も適正に処理することができましたが、今後も引き続き開発側に対し、埋蔵文化財の保護についての研修会等を行うなど、無届工事などで遺跡等の破壊が行われないよう啓発活動を推進していきます。

令和6年度	
部	教育部
課	文化課
係等	図書館係

決算書 ページ	241

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	6	図書館費			
	事業	0110435	図書館費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
159,447,000	155,093,341		0	4,353,659	97.3%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
27,017,249		指定寄付金	200,000		
		市町村振興協会交付金	26,700,169		
		図書カード再発行手数料	17,400		
		図書館コピー使用料等	99,680		

主要な施策（事務事業）の成果の概要								
1 令和5年度図書館利用状況								
	中央	豊科	三郷	堀金	明科	合計	R4実績	比較
所蔵冊数*	225,655	84,767	53,081	46,286	49,094	458,883	452,466	6,417
登録者数*（人）	21,867	9,943	4,148	1,915	2,503	40,376	38,533	1,843
開館日（日）	289	288	288	288	288			
利用者数*（人）	104,649	32,589	23,963	11,660	7,069	179,930	176,220	3,710
貸出点数（点）	409,921	121,507	106,289	50,794	24,840	713,351	707,356	5,995
*所蔵冊数：視聴覚資料を除く								
*登録者数：個人登録者数 利用者数：利用者カードで本を借りた延べ人数								
2 主な事業								
(1) 図書館資料収集事業 備品購入費：19,253,956円 購入点数（視聴覚資料含む）：9,538点								
〈内訳〉○通常図書購入等 18,009,942円								
○三郷図書館用図書購入(整備最終年) 948,312円								
○学校図書館調べ学習用図書の購入 295,702円								
(2) 市町村と県による協働電子図書館「デジとしょ信州」への登録推進 負担金：343,524円								
安曇野市 R5登録者数239人（全登録者数640人） 貸出件数 2,933冊								
(3) 各種おはなし会、図書館講座、上映会等の開催 報償費・需用費：162,520円								
読書推進のための講座など、各種イベントを開催しました。 延べ参加人数 3,981人								
(4) 明科図書館開館20周年記念イベント「音楽と本のハーモニー」 報償費：40,000円								
開館当初から尽力いただているボランティアの皆様にもご出演いただき、音楽や紙芝居を楽しんでいただくことができました。 参加人数 53人								
(5) 市内小中学校、施設等との連携事業								
①小中学校との連携 ・調べ学習用図書の整備 専用図書として 1,370冊								
・学校配本 調べ学習に必要な資料の選書及び配本 1,822冊								
・穂高東中学校美術部連携展示 読書感想画を館内に展示								

予算	款	10	教育費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		基本方針	学び合い 人と文化を育むまち
	目	6	図書館費		基本施策	生涯を通じた学びの創出
	事業	0110435	図書館費			

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要						
②おでかけ図書館 参加イベント数 10件 利用者総数（イベント参加者数）512人 環境課、耕地林務課、公民館、文書館、博物館など市内で開催されるイベントに参加し、関連書籍の展示や貸出を行いました。 ③図書展示 ④3市（安曇野市・松本市・塩尻市）連携展示 「小説『安曇野』をとりまく人々」						
(6) ブックスタート・セカンドブック事業（絵本のプレゼント）					報償費：1,438,016円	
①ブックスタート事業（4カ月健診時）					実施回数：25回	530人
②セカンドブック事業（2歳児健康相談時）					実施回数：24回	588人
(7) 読書支援サービス 朗読協力者（有償ボランティア）17人 報償費：177,500円 DAISY録音図書広報「あづみの」の製作 研修会 年12回開催						
(8) 図書館フェスタの開催 報償費・需用費：309,272円 期間：9月2日（土）・3日（日）（リサイクルフェア中央館のみ9日まで）						
①講演会 黒川みつひろ講演会 参加人数 173人						
②各種イベント おはなし会、ビブリオトーク、ワークショップなど 参加人数 135人						
③リサイクルフェア 来場者数 約4,000人 リユース数 8,420冊						
(9) 図書館配本事業 年間306日運行 委託料：3,493,908円 団体貸出として、認定こども園、児童館、デイサービス施設等へ配本 計20,542冊						
(10) 図書館協議会の開催 年3回 報酬：91,000円						
(11) データベースの提供 使用料：607,200円 有料データベース（信濃毎日新聞・官報等）を利用者に無料で提供しています。						
(12) タブレット及びWiFi環境整備 委託料：528,000円 カウンター業務において、インターネットからの情報をスムーズに利用者へ提供するために使用する、タブレット及びWiFi環境を整備しました。						
(13) レファレンスサービスの充実 年間総数 5,799件						
(14) 図書館の利用促進 ○図書館だよりや子ども向け、YA（中高生）世代向けの図書館だよりの発行 ○読書通帳の配布 配布数 1,417冊 100冊到達者 102人 等						
上記の評価と課題等						
蔵書については、開館から年数が経過し、買い替えの必要な資料が多くあるため、計画的に購入しています。市町村と県による協働電子図書館「デジとしょ信州」も読書や情報を得るための選択肢の一つとして活用していただけるよう、登録を進めていきます。 市民のニーズを把握し、イベントやサービス、レファレンスの充実に努めます。また、読書をするのに障害のある方にも利用しやすいよう、環境を整備していきます。 また、学校や博物館、文書館など様々な部署と連携し、学びの機会を広げていきます。						

令和6年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども家庭相談担当

決算書 ページ	103

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費			
	事業	0103060	児童発達支援事業		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
18,942,000		17,765,929		0		1,176,071		93.8%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

子ども発達支援相談室では、0歳～18歳までの発達等に心配のある子ども及び保護者に対し、子どもの最善の利益を考慮しながら、健やかな発達を支援しています。関係機関との連携により、育ちの躓きを早期発見し相談や検査などを行い、必要に応じて療育支援を行うとともに、切れ目のない支援を目指します。さらに、18歳以降の次のライフステージに繋げ、安心して生活できるよう、主に専門職の職員が相談事業、療育支援事業、地域のネットワークの構築を行っています。

1 主な事務費

- (1) 相談事業等 13,942,159円 会計年度任用職員報酬（作業療法士等）
(2) 療育支援事業 2,449,458円 遊びの教室・学習会等報償費

2 相談事業

令和5年度より職員の配置転換による公認心理師の増員もあり、相談実人数は584人、延べ件数は1,733件と増加し、特に小中学生が多くなっています。内容は発達だけでなく育児の悩みや家庭環境など複合した課題も多くなっています。保護者や関係者の発達障がいに対する認識も高まっており、来所や電話相談が増加しています。また、就学以降は、発達以外にも不登校傾向や集団不適応の相談があり、関係機関と連携して継続的な支援を進めています。

(1) 相談実人数

令和3年度		令和4年度		令和5年度	
実人数	(内) 新規	実人数	(内) 新規	実人数	(内) 新規
510人	248人 (48.6%)	416人	165人 (39.7%)	584人	329人 (56.3%)

(2) 年代別相談延べ件数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
未就園児	103	128	118
就園児	711	570	582
小学生	214	305	678
中学生	140	102	225
高校生	79	97	123
その他	20	17	7
計	1,267	1,219	1,733

(3) 相談内容別延べ件数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
発達	1,179	1,074	1,557
身体	13	2	12
知的	7	17	40
精神	16	5	16
重度心身障害	2	0	0
その他	50	121	108
計	1,267	1,219	1,733

予算	款	3	民生費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費		基本施策	子どもを育む環境の充実
	事業	0103060	児童発達支援事業			

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（４）方法別相談延べ件数

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
家庭訪問	8	0.6%	24	2.0%	25	1.4%
関係機関訪問	309	24.4%	219	18.0%	248	14.3%
来所相談	470	37.1%	614	50.4%	753	43.5%
電話相談	82	6.5%	48	3.9%	123	7.1%
支援会議	89	7.0%	88	7.2%	125	7.2%
発達検査（含報告）	291	22.9%	210	17.2%	454	26.2%
その他	18	1.5%	16	1.3%	5	0.3%
計	1,267		1,219		1,733	

（５）発達検査件数

	対象	令和3年度	令和4年度	令和5年度
WISC-IV	5歳以上	40件	36件	196件
新版K式	主に5歳未満	104件	72件	63件

3 療育支援事業

支援対象者が増加し参加希望者も増えているため、新たな事業を実施したり、回数を増やしたりしました。教室は1人当たりの参加回数の上限を決めるなどにより、新規希望者も参加できるよう対応しています。

事業名	内容	対象	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
			回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数
遊びの教室	発達等での小集団体験	1歳児	43	197人	28	248人	36	277人
		2歳児	22	168人	30	202人	36	308人
運動発達相談日	運動発達面の個別相談	0～2歳	21	98人	23	117人	23	126人
ことばの相談日 （令和3年度より）	言語面での個別相談	2歳～	17	29人	13	21人	21	36人
発達相談日 （令和4年度より）	発達全般での個別相談	0～3歳			44	109人	45	109人
親子で遊ぼう教室 （令和5年度より）	親子の遊び体験・講話・相談	7～8ヵ月児					8	108組
保護者向け学習会	子育て・発達についての講話	主に就学前の保護者等	11	193人	11	252人	19	410人
ペアレントトレーニング （令和3年度より）	個別・小集団での子育ての学び	年中～小6の保護者	5	8	21	24	37	53

上記の評価と課題等

事業を通じて、子どもや保護者に寄り添い支援を続けるとともに、関係機関との連携に努めました。発達に心配があったり、医療や療育につなげることが望ましい子どもが増え、保護者や関係機関のニーズもあるため、各事業の希望者が増加しています。

困り事があった時に、適時に個々の状況に応じた支援をすることにより、二次的な問題の予防にもつながるため、今後も事業を検討・実施する必要があります。また子どもの成長とともに、多くの関係機関が関わる事が多いため、切れ目ない支援を目指して、関係部署や関係機関との連携強化に努める必要があります。

令和6年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども家庭相談担当

決算書 ページ	105

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費			
	事業	0103085	ひきこもり対応推進事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,888,000	6,455,244		0	432,756	93.7%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,303,000		ひきこもり対策推進事業補助金	4,303,000		

令和6年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども家庭相談担当

決算書 ページ	107

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	社会福祉総務費			
	事業	0103100	母子福祉事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,722,000	5,892,198		0		829,802	87.7%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
2,283,000		児童入所施設措置費等国庫負担金		880,000		
		困難な問題を抱える女性支援推進事業費国庫補助金		1,403,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 女性保護事業

女性保護事業について、相談事業を実施し、離婚や配偶者間暴力についての相談を多く受け付けました。相談者の安全が危惧される場合は、警察等とも連携し、相談支援を行いました。

(1) 女性相談件数

(単位：件)

相談方法	年度	人間関係				経済関係	医療関係	その他	合計
		夫等	子ども	親族	交際相手・その他				
訪問面談 (実人数)	R 5	7	0	0	1	0	0	0	8
来所面談 (実人数)		119	5	30	5	3	0	1	163
電話相談 (延人数)		144	5	19	27	4	1	4	204

(2) 配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数 延べ210件

2 母子福祉事業

母子福祉事業については、ひとり親家庭への相談事業を実施しました。相談内容としては、就労や経済的支援に関する相談を多く受け付けました。必要に応じて関係機関と連携し支援を行いました。

(1) ひとり親相談件数

(単位：延べ件数)

内容 年度	生活一般					児童	経済 関係	その他	合計
	住宅	医療	家庭紛争	就労	養育費他				
R 5	2	11	10	17	94	4	89	0	227

上記の評価と課題等

担当相談員及び担当職員を配置し、相談者に寄り添った支援が行えたと考えます。複数の課題を抱える相談者が多く、支援に際しては地区担当保健師や社会福祉協議会など関係する部局と連携しながら支援を行いました。効果的な支援を行うため、今後とも担当職員の資質向上に努めます。

令和6年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども子育て政策係・子育て給付係・子ども家庭相談担当

決算書 ページ	113

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	児童福祉総務費			
	事業	0103230	児童福祉総務費		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
1,831,117,000		1,826,169,129		0		4,947,871		99.7%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
1,231,572,156			児童扶養手当国庫負担金		86,239,712		長野県安心子ども基金事業（子育て世帯訪問支援臨時特例事業）補助金		93,000	
			児童扶養手当国庫負担金前年度精算分		142,849		子ども・子育て支援交付金（県費）		3,480,000	
			児童手当国庫負担金		905,577,332		児童福祉施設入所負担金判定委託金		15,580	
			児童手当国庫負担金前年度精算分		273,332		指定寄附		1,000,000	
			母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金		3,671,000		ふるさと寄付基金繰入金		24,000,000	
			子ども・子育て支援交付金（国庫）		3,480,000		児童手当過年度返還金		70,000	
			児童虐待防止対策等総合支援事業国庫補助金		3,058,000		児童扶養手当過年度返還金		403,520	
			児童手当県費負担金		200,067,831		（地方消費税交付金（社会保障財源化分））		（113,000,000）	

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 家庭児童相談事業

支援が必要な子どもの把握や支援体制の確立の際は要保護児童地域対策協議会の枠組みを活用し、家庭児童相談室を調整役として円滑な支援を行いました。深刻な事案があった際は、児童相談所や警察署と連携し対応を行いました。

（1）新規児童相談件数 （単位：件）

年度	児童虐待	養育不安等	育児	不登校	非行	障がい	その他	合計
R 5	92	174	24	5	6	4	12	317
R 4	64	201	12	6	3	3	7	296

（2）児童相談所と連携した対応 （単位：件）

年度	保護者同意の上での一時保護対応	児童福祉司指導	児童相談所から市への協力要請	訓告・誓約
R 5	55	9	50	2
R 4	50	5	35	4

2 児童手当給付事業

家庭の生活安定、児童の健全育成を図ることを目的に、中学生以下の児童を養育する保護者に対して、児童手当法に基づき年3回（6月・10月・2月）児童手当を支給しました。

○実績 （単位：円）

年度	延児童数	支給額	国庫負担金	県費負担金	一般財源
R 5	119,660人	1,305,190,000	905,577,332	200,067,831	199,544,837
R 4	123,143人	1,345,205,000	932,599,333	206,121,166	206,484,501

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	児童福祉総務費			
	事業	0103230	児童福祉総務費		施策	子どもを育む環境の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3 児童扶養手当給付事業

ひとり親家庭等の生活安定と自立促進・児童福祉の増進を図ることを目的に、児童扶養手当法に基づき、年6回（5月・7月・9月・11月・1月・3月）児童扶養手当を支給しました。

○実績

（単位：円）

年度	延児童数	支給額	国庫負担金	一般財源
R 5	9,171人	258,091,350	86,239,712	171,851,638
R 4	9,345人	258,174,390	85,534,737	172,639,653

4 母子家庭等対策総合支援事業

ひとり親家庭の経済的安定を図るため、就業に有利な資格・技術を身につけるための養成機関での修業を支援する取組みを行いました。

○実績

（単位：円）

事業名	利用者数	総事業費	国庫補助金	一般財源
高等職業訓練促進給付金事業	3人	4,021,000	3,045,000	976,000
自立支援教育訓練給付金事業	1人	800,000	626,000	174,000

5 子育て応援手当給付事業（市独自事業）

教育・保育施設等を利用せず、第2子以降の就学前児童を家庭で保育する養育者に対して、児童1人あたり月額3,000円を支給し、子育て家庭への経済的負担の軽減を図りました。

○実績

（単位：円）

年度	延受給者数	延児童数	支給額
R 5	1,442人	7,965人	23,895,000
R 4	1,488人	8,200人	24,600,000

6 ファミリー・サポート・センター事業

相互の信頼関係を構築し地域主体で子育て世代を支える援助活動として、児童の援助を行いたい者と援助を受けたい者を組織化し、登録会員間の調整役として運営しました。

（1）支援件数 会員1,264人（協力134人・依頼1,100人・両方30人）（単位：件）

年度	通常	病児・病後児	当日緊急	計
R 5	1,473	16	9	1,498
R 4	1,189	11	6	1,206

（2）子ども子育て支援交付金（子育て援助活動支援事業）（単位：円）

総事業費	国庫補助金	県費補助金	一般財源
9,706,270	3,114,000	3,114,000	3,478,270

上記の評価と課題等

家庭児童相談事業については、新規の相談件数は増加傾向にあります。対応件数の増加に対処できるよう、家庭児童相談室の体制強化を図る必要があります。

子育て家庭への各種手当の支給事業を実施することにより、子育て家庭の生活安定、児童の健全育成を図ることができました。

ファミリー・サポート・センター事業は、1,000件を超える支援実績となっており、地域力を活かした子育て支援サービスの提供ができています。子育て家庭を取り巻く課題が多様化しており、利用者の積極的な利用を促進するため、委託事業者と協力しながら事業強化を図っていきます。

令和6年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子育て給付係

決算書 ページ	115

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	児童福祉総務費			
	事業	0103242	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
169,298,000		169,283,685		0		14,315		100.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
156,436,000			子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親世帯分）国庫補助金		45,972,000		新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		11,313,000	
			子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（その他世帯分）国庫補助金		52,878,000					
			長野県子育て世帯生活支援特別給付金（低所得世帯分）給付事業補助金		9,633,000					
			新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		36,640,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 令和5年度 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親世帯分） 食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯を支援する取組の一つとして、児童扶養手当を受給している世帯等に対し、対象児童一人あたり50,000円の給付金を支給し、経済的負担の軽減を図りました。 【実績】 （1）受給者 594人（対象児童 870人） （2）支給額 43,500,000円 （3）事業費 45,172,518円 【内訳】 給付金：43,500,000円 報酬：218,624円 超過勤務手当：326,807円 通勤手当：10,816円 消耗品：29,382円 郵送料：81,049円 手数料：65,340円 システム対応業務委託：940,500円 2 令和5年度 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（その他世帯分） 食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯を支援する取組の一つとして、児童手当及び特別児童扶養手当を受給する世帯及び高校生世代のみ養育する世帯で、住民税が非課税の世帯等に対し、対象児童一人あたり50,000円の給付金を支給し、経済的負担の軽減を図りました。 【実績】 （1）受給者 552人（対象児童 925人） （2）支給額 46,250,000円 （3）事業費 47,448,662円 【内訳】 給付金：46,250,000円 報酬：166,896円 超過勤務手当：298,132円 通勤手当：9,466円 消耗品：24,585円 郵送料：66,643円 手数料：60,940円 システム対応業務委託：572,000円

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	児童福祉総務費			
	事業	0103242	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業		施策	子どもを育む環境の充実

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3 令和5年度 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（市独自分）

食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯を支援する取組の一つとして、国の給付金「令和5年度 子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）」又は「令和5年度 子育て世帯生活支援特別給付金（その他世帯分）」を受給する世帯に対し、市独自分として対象児童一人あたり20,000円の給付金を支給し、経済的負担の軽減を図りました。

【実績】

（1）受給者 1,146人（対象児童 1,795人）

（2）支給額 35,990,000円

（3）事業費 36,731,907円

【内訳】 給付金：35,990,000円 報酬：191,296円

超過勤務手当：91,213円 通勤手当：9,464円

消耗品：21,490円 印刷製本費：39,600円 郵送料：43,114円

手数料：125,730円 システム対応業務委託：220,000円

4 令和5年度 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（低所得世帯分）

食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯を支援する取組の一つとして、児童手当及び特別児童扶養手当を受給する世帯及び高校生世代のみ養育する世帯で、住民税が均等割のみ課税の世帯に対し、対象児童一人あたり30,000円の給付金を支給し、経済的負担の軽減を図りました。

【実績】

（1）受給者 161人（対象児童 278人）

（2）支給額 8,340,000円

（3）事業費 9,634,642円

【内訳】 給付金：8,340,000円 報酬：177,632円

超過勤務手当：97,062円 通勤手当：8,788円

消耗品：29,452円 郵送料：11,398円

手数料：17,710円 システム対応業務委託：952,600円

5 令和5年度 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（低所得世帯分・市独自分）

食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯を支援する取組の一つとして、県の給付金「令和5年度 子育て世帯生活支援特別給付金（低所得世帯分）」を受給する世帯に対し、市独自分として対象児童一人あたり40,000円の給付金を支給し、経済的負担の軽減を図りました。

【実績】

（1）受給者 161人（対象児童 278人）

（2）支給額 11,120,000円

（3）事業費 11,313,956円

【内訳】 給付金：11,120,000円 報酬：191,296円

通勤手当：2,660円

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	児童福祉総務費			
	事業	0103242	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業		施策	子どもを育む環境の充実

その3

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
6	令和4年度 子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）給付事業 国庫補助金 返還金 8,463,000円 令和4年度子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親世帯分）国庫補助金の確定により、受入済額と確定額の差額分を返還しました。
7	令和4年度 子育て世帯生活支援特別給付金（その他世帯分）給付事業 国庫補助金 返還金 10,519,000円 令和4年度子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（その他世帯分）国庫補助金の確定により、受入済額と確定額の差額分を返還しました。
上記の評価と課題等	
食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対し、特別給付金を支給することで、経済的負担の軽減を図ることができました。	

令和6年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子育て給付係

決算書 ページ	115

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	児童福祉総務費			
	事業	0103243	物価高騰家計支援給付金給付事業（子育て世帯分）		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
98,405,000		252,912		98,151,000		1,088		0.3%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
98,403,000			物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（給付金・定額減税一体支援）		98,403,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要	
1 物価高騰家計支援給付金(子育て世帯分)給付事業 食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯を支援する取組の一つとして、福祉部所管の給付金「安曇野市物価高騰家計支援追加給付金（住民税均等割非課税世帯・7万円）」又は「安曇野市物価高騰対策支援金（住民税均等割のみ課税世帯・10万円）」を受給する世帯に対し、「こども加算分」として対象児童一人あたり50,000円の給付金支給事務に着手し、事務費の一部を支出しました。 当事業は、令和6年度に繰越し、令和6年4月以降に給付を実施しています。（明許繰越） 令和5年度の執行は、電算システムの改修に係る委託料と事務消耗品購入の一部です。	
【実績】 （1）事業費 252,912円 【内訳】 消耗品：19,712円 システム対応業務委託：233,200円	
上記の評価と課題等	
食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対し、経済的負担の軽減を図るための給付金を速やかに支給するための準備ができました。	

令和6年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	児童青少年係

決算書 ページ	115

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	2	児童館費			
	事業	0103260	児童館運営費		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
329,756,000	329,284,945		0		471,055	99.9%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額	
123,294,570		児童クラブ負担金	32,645,050	子ども・子育て支援交付金（県費）	45,303,000	
		過誤納金還付未済額	3,000			
		児童クラブ負担金滞納繰越分	40,520			
		子ども・子育て支援交付金（国庫）	45,303,000			

主要な施策（事務事業）の成果の概要

社会福祉法人 安曇野市社会福祉協議会に指定管理委託を行い、市内9児童館における子育て支援事業、子育て相談事業、地域ふれあい事業、青少年育成事業など、各児童館の特色を生かした事業および児童クラブ事業を実施しました。

- 指定管理委託料 9児童館計 307,299,000円
- 児童館事業
来館者数 82,020人（児童クラブ利用者を除く。R4実績は69,989人）
（1）子育て支援事業 キッズパーク、みんなあつまれ、おさがり会
（2）子育て相談事業 育児相談、みんなで学ぼう
（3）地域ふれあい事業 ふれあい農園、地域ボランティア事業、移動児童館、児童館祭り
地域の方の知恵袋
（4）青少年育成事業 チャレンジタイム、お楽しみ企画、9館合同企画
- 児童クラブ事業
放課後や土曜日、休校日に、就労等の事情で保護者が家庭にいない小学生児童の保護及び健全育成を図るために設置するものです。
（1）設置数 15か所
（2）児童クラブ登録数（令和5年4月時点）
放課後の利用者 877人
長期休業中のみの利用者 331人
（3）年間延べ利用者数 146,675人（令和4年度実績124,344人）

上記の評価と課題等

児童館の来館者数はコロナの影響があった前年と比較して大幅に増加しました。地域の方と交流する事業も徐々に再開できてきて、各事業への参加者も多くなりました。事業参加を通じて仲間づくりができたり相談できる場所となるなど、子育て中の保護者が孤立することのないよう、また、子どもたちがいつでも訪れることができるよう、地域の子育て支援の拠点とすることができました。
児童クラブは年々利用希望者が増えており、受入場所整備や体制の確保などが課題です。

令和6年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	児童青少年係

決算書 ページ	117

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	2	児童館費			
	事業	0103270	児童館整備事業		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
26,734,000	23,810,600		0		2,923,400	89.1%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
20,700,000		児童館建設事業（特例債）		11,700,000		
		ふるさと寄付基金繰入金		9,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 豊科児童館整備事業

（1）安曇野市児童館建設検討会（豊科地域）

豊科地域の豊科中央児童館と高家児童館の整備について、令和4年度に引き続き安曇野市児童館建設検討会を開催しました。全5回の会議での検討結果を報告書として教育委員会へ提出しました。

建設検討会の開催 … 令和5年度 4回開催

教育委員会への報告書提出 … 令和5年12月

（2）豊科中央児童館整備

豊科中央児童館建て替えのため、用地測量・地質調査・アスベスト調査を行いました。また、解体設計、基本・実施設計業務委託を行いました。設計事業者には建設検討会の会議へ出席してもらい、委員の意見や児童館利用者アンケートの結果を反映できるよう努めました。

2 南穂高児童館エアコン更新事業

令和6年度に行う更新工事に備え仮設エアコンを設置し、工事完了までの間も児童館来館者の不便を最小限にできるようにしました。また、エアコン更新工事の設計業務委託を行いました。

上記の評価と課題等

児童館建設検討会のなかで出された意見をできるだけ設計に反映できるよう努めました。会議を重ねるなかで求められた児童館や他施設の利用者アンケートについて、直ちに手配して結果を会議に示し、市民の声としてとりあげることができました。

豊科中央児童館工事も南穂高児童館のエアコン更新工事も、今後工事に入っていくなかで、児童館利用者の安全を第一に考え、地域の方に親しんでもらえる場所であるよう、情報発信に努めます。

令和6年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども子育て政策係

決算書 ページ	115

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	児童福祉総務費			
	事業	0103280	児童クラブ整備事業		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
203,954,000	203,948,986		0		5,014	100.0%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額
170,664,000		子ども・子育て支援整備交付金（国庫）		10,432,000	児童クラブ整備事業（特例債）	76,900,000
		子ども・子育て支援整備交付金（県費）		10,432,000	児童クラブ整備事業（過疎債）	27,300,000
		指定寄附金		600,000		
		ふるさと寄附基金繰入金		45,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 1 放課後児童クラブの受け入れを6年生まで拡充するため、各小学校の教室等を児童クラブへ改修しました。
- （1）豊科北小児童クラブ：豊科北小学校PC教室の改修
・PC教室等の改修設計、監理委託、改修工事（エアコン交換、水廻り・仕切り扉の設置等）
 - （2）穂高南小児童クラブ：穂高南小学校児童会室の改修
・児童会室等の改修設計、監理委託、改修工事（エアコン・照明器具の設置等）
 - （3）穂高西小児童クラブ：穂高西小学校被服室の改修
・被服室等の改修設計、監理委託、改修工事（エアコン・水廻り・仕切り扉の設置等）
 - （4）明科児童クラブ：明北小学校PC教室の改修
・PC教室等の改修設計、監理委託、改修工事（トイレ改修、水廻り・仕切り扉の設置等）
- 2 子育て中の親子が安心して児童館を利用できるように、児童館機能の回復を目指し、放課後児童クラブ専用のスペースを確保しました。
- （1）堀金小児童クラブ：堀金児童館別棟プレハブ倉庫改修
・プレハブ倉庫の改修設計、監理委託、改修工事（エアコン・トイレ・水廻り・キュービクル等の設置、内外壁・屋根・天井等の改修等）

上記の評価と課題等

市内10児童クラブ中、7つの児童クラブで6年生まで受け入れを拡充しました。

残り3児童クラブのうち、豊科東小児童クラブは令和7年4月までの受け入れを目指し、小学校の教室改修を行います。豊科南小児童クラブ、三郷小児童クラブについては、小学校の校舎改修計画と関わりがあるため、動向を注視し計画していきます。

児童数は減少傾向にあるものの、共働き世帯の増加などにより利用ニーズは高い傾向にあります。将来的な利用ニーズを見込み、必要に応じた受け入れ体制等の検討を続けていきます。

令和6年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども子育て政策係

決算書 ページ	115

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	児童福祉総務費			
	事業	0103285	地域子育て支援拠点事業		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
500,000		500,000		0	0	100.0%
特定財源の決算額 0	左記の内訳	細節名		金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

子育て家庭を地域で支えるため、身近な場所に子育て中の親子が気軽に集え、相互交流や子育ての不安や悩みを安心して相談できる拠点施設を運営する団体を支援し、居場所づくりの場を提供する体制を確保しました。

令和5年度 交付実績 1件 500,000円

上記の評価と課題等

年度途中からの制度開始となり、補助金の申請条件を具備する準備期間が少なかったこともあり、1団体のみの採択となったが、各種団体からの相談もあり、今後の需要が見込まれます。
支援期間終了後の継続した運営について、対象団体には具体的なビジョンのもと運営できるよう情報共有に努めます。

令和6年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども子育て政策係

決算書 ページ	119

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	3	保育所費			
	事業	0103305	保育政策費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
35,648,000		35,027,864		0		620,136		98.3%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
17,472,000			保育対策総合支援事業費補助金		17,472,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 小規模保育施設整備事業

0-2歳未満の未就園児の計画的な受け入れ態勢を整えるため、豊科地域で定員19人の「小規模保育施設」を建設する事業者に対して選定委員会の決定を経て補助金を交付し、令和6年4月に開園しました。

- ・対象者：株式会社パワーネット・フィールド
- ・事業区分：小規模保育事業（利用定員19人）
- ・対象施設：ハートフルキッズ安曇野豊科園（令和6年4月開園）

2 あづみの自然保育ブランディング事業

庁内の横断的な連携と地域おこし協力隊により、安曇野の象徴である田園風景への理解を深め自然保育の取り組みを推進するため、穂高有明あおぞら認定こども園の園庭にミニ田んぼを設置したほか、その他9園では、タライを使用したプチ田んぼを設置しました。

【園庭ミニ田んぼ・プチ田んぼ事業】

- ・園庭ミニ田んぼ 1園（穂高有明あおぞら認定こども園）
- ・園庭プチ田んぼ 9園（豊科南認定こども園、穂高幼稚園ほか）

【自然保育の情報発信】

- SNSを活用した情報発信（開設時よりR6.6まで）
 - ・Instagram 311投稿 フォロワー数 600人
 - ・フェイスブック 290投稿 フォロワー数 120人
 - ・X（旧ツイッター） 175投稿 フォロワー数 151人
 - ・youtube 19本 1,664回視聴
- 自然保育紹介セミナーの開催
 - ・2月4日（土）銀座NAGANO
 - ・3月9日（土）ウィンク愛知

上記の評価と課題等

小規模保育施設の開園により、利用ニーズが増えている未就園児の保育の受け皿を確保することができました。

園児や保護者が自然に触れ、郷土愛を育む機会を創出し、安曇野ならではの自然保育の取り組みを市内外に向けて効果的に情報発信ができました。今後も各園の特色を活かし、継続的な取り組みとなるよう体制を整えていきます。

令和6年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども家庭相談担当

決算書 ページ	201

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	1	教育総務費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	2	事務局費			
	事業	0110031	教育相談事業		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,330,000	3,917,283		0	412,717	90.5%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 教育相談事業

教育相談室に教育相談員を配置しました。主に学校生活に関連する相談を受け、必要な助言等を行いました。

(1) 教育相談室 相談件数

不登校	友人関係	その他人間関係	家庭環境	学業・進路・その他	合計
43	4	2	2	101	152

上記の評価と課題等

教育相談員が面談や電話により、不登校や人間関係など学校生活に関する相談を中心に相談業務を実施しました。必要に応じて、学校や中間教室等の関係機関とも連携し支援を行いました。

令和6年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども子育て政策係・児童青少年係

決算書 ページ	229

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	4	青少年健全育成費			
	事業	0110370	青少年健全育成費		施策	家庭・地域との連携の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
61,079,000	58,295,371		0		2,783,629	95.4%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額	
28,605,712		青少年育成基金利子	62			
		参加者負担金	405,650			
		洞合公園整備事業（特例債）	28,200,000			

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 青少年育成環境整備事務

- （１）街頭巡回 3回（夏休み7/25、冬休み12/26・27、春休み3/21）
- （２）街頭啓発 2回（7/3 市内7中学校、11/1 JR駅前）
- （３）青少年センターだより 3回（6月、10月、2月）
- （４）青少年センター講演会 7/22（土）50名参加
「子どものサインが見えますか？」
講師 信州大学教育学部准教授 茅野理恵さん

2 青少年体験事業

- （１）子ども体験ラボ 3講座 計44人参加
(8/1ミニたたみづくり、8/3ペットボトルロケット、8/17飾れる書道作品)
- （２）親子体験ラボ 2講座 計20人参加（12/3ヘアアレンジ、2/17手作り麺ラーメン）
- （３）親子プログラミング教室 8回 計210人参加（10/21・22、10/28・29 各日2回）
- （４）ジュニアリーダー養成講座 2回 計104人参加（6/11、12/9）
- （５）子ども文化祭 出演・出展者187人（ステージ発表11/18、作品展示11/11～18）
- （６）友好都市交流 江戸川区花火大会 8/5～6 親子13組参加
真鶴町交流事業（受入）8/9～10 小学生14名参加
武蔵野市交流事業（受入）2/3～4 昨年度参加の親子6組参加

3 子ども会育成会支援事務

地域における子どもたちの自主的な活動を推進し、地区子ども会育成会活動の活発化を目的に補助金の交付を行いました。

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	4	青少年健全育成費			
	事業	0110370	青少年健全育成費		施策	家庭・地域との連携の推進

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

4 黒沢洞合自然公園整備事業

安曇野市黒沢洞合自然公園整備検討委員会で決定された基本構想（コンセプト）を基に、検討委員会や南安曇農業高等学校との協議を重ね、2度の市民説明会を経て「基本計画・基本設計」をまとめ、実施設計に着手し、公園用地を取得しました。

（1）安曇野市黒沢洞合自然公園整備検討委員会

整備検討委員会の開催・・・年7回

（2）南安曇農業高等学校との協議

基本設計の検討・・・年6回

（3）市民説明会の開催

年2回（令和5年10月1日及び令和6年1月30日） 三郷公民館講堂

（4）基本設計・基本計画の完成

策定支援委託：株式会社 KRC あづみの事務所 令和5年7月14日～令和6年2月28日

（5）公園用地の取得

三郷小倉2922番1 他20筆 約13,978㎡の土地購入（権利者：安曇野市土地開発公社）

上記の評価と課題等

ジュニアリーダー養成講座は、地区子ども会などでリーダーとして活動できるための内容で開催し、子どもだけでなく育成者や保護者などの参加もあり、お楽しみ会や三九郎などの地区活動につながる形がとれました。

黒沢洞合自然公園整備事業では、若者の意見をはじめ多くの市民の意見を取り入れた公園の設計ができました。今後は、希少種の保全を目的とした維持管理方法や体制について、市民と行政がそれぞれの役割による管理体制を他の自然公園等を参考に検討していきます。

令和6年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	児童青少年係

決算書 ページ	231

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	5	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	4	青少年健全育成費			
	事業	0110375	放課後・家庭教育推進費		施策	家庭・地域との連携の推進

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
7,887,000		7,330,529		0		556,471		92.9%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
2,850,000			放課後こどもプラン補助金		2,850,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 放課後子ども教室

放課後の児童の安全安心な居場所として、また、異年齢異世代間交流を図り様々な体験や遊びを通じ、地域の大人の見守りのなかで思い切り遊ぶ機会を確保するため、10小学校の施設を利用して放課後子ども教室「わいわいランド」を開催しました。

学校名 (小学校)	登録児童数 (人、当初)	開催日数 (日)	参加延べ児童数 (人)	コーディネーター (人)	サポーター (人)
豊科南	100	20	1,625	2	9
豊科北	103	18	1,517	3	11
豊科東	47	22	1,019	1	5
穂高南	174	30	4,419	2	16
穂高北	147	25	3,011	2	20
穂高西	141	30	3,256	2	11
三郷	122	33	3,033	2	22
堀金	120	27	2,749	3	17
明南	63	29	1,467	2	12
明北	52	30	1,250	2	13
合計	1,069	264	23,346	21	136

※「コーディネーター」放課後子ども教室の調整役として各教室の実質的な運営を行います。
「サポーター」教育活動サポーター。子ども10人位に対して1人を目安に配置します。

上記の評価と課題等

前年と比べると開催日数、参加児童数ともに増加しています。児童がスタッフの見守りのなかでのびのびと遊ぶことができました。スタッフの多くは高齢者の方であり世代間交流の貴重な機会となっていますが、諸事情でスタッフを退く方も毎年いることから、今後も保護者世代を含めてスタッフ登録を促進していきます。

令和6年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども子育て政策係

決算書 ページ	123

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	3	保育所費			
	事業	0190020	【明許】小規模保育施設整備事業		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
11,173,000		11,172,000		0		1,000		100.0%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
10,375,000			【明許】保育所等整備交付金		6,375,000					
			【明許】子育て支援総合助成金		4,000,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和4年度に、穂高地域で未満児を対象とした定員19人の「小規模保育施設」を設置・運営する予定の事業者に対し、国・県の交付金を活用し、市が補助金を交付する予定の事業が、工事期間の延長となったため令和5年度に事業が完了しました。

- ・対象者：（一財）信州子育てみらいネット
- ・事業区分：小規模保育事業（利用定員19人）
- ・対象施設：穂高みらいく保育園

上記の評価と課題等

事業完成が令和5年5月となったものの、支障なく運営され未満児保育の受け皿が確保ができました。

令和6年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園担当

決算書 ページ	117

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	3	保育所費			
	事業	0103290	公立認定こども園整備費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
1,638,880,000		1,632,512,682		0		6,367,318		99.6%		
特定財源の決算額		左記 の 内 訳	細節名		金額		細節名		金額	
1,523,900,000			保育所建設事業（特例債）		854,900,000					
			保育所建設事業（施設整備事業債）		669,000,000					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

実施計画に沿って、園舎の建替えや改修に向けた調査・設計、工事等を実施し、安定的な保育サービスを提供するための施設整備を推進しました。

- 1 主な委託業務
- (1) 令和4年度債務負担行為 三郷西部認定こども園建設事業施工監理業務委託 5,940,000円
 - (2) 令和4年度 三郷東部認定こども園建設事業園舎実施設計業務委託 19,108,100円
 - (3) 令和5年度 上川手認定こども園改修事業大規模改修工事監理業務委託 2,860,000円
 - (4) 令和5年度 西穂高認定こども園改修事業大規模改修工事監理業務委託 6,380,000円
- 2 主な工事
- (1) 令和4年度債務負担行為 三郷西部認定こども園建設事業建築主体工事 310,200,000円
 - (2) 令和5年度債務負担行為 三郷東部認定こども園建設事業建築主体工事 374,000,000円
 - (3) 令和5年度 上川手認定こども園改修事業大規模改修工事 113,740,000円
 - (4) 令和5年度 西穂高認定こども園改修事業大規模改修工事 423,500,000円

上記の評価と課題等

令和5年6月に三郷西部認定こども園建設事業の第一期工事である新園舎が完成し、令和5年7月から保育を開始しました。引き続き第二期工事として旧園舎解体とプール、外構工事を行います。

また、三郷東部認定こども園建設事業として、令和5年12月に建築主体工事、電気設備工事、令和6年2月に機械設備工事に着手しました。令和7年5月に園舎本体工事を完成させ、令和7年8月の開園を目指して整備を進めていきます。

今後も子育て支援の拠点となる認定こども園の施設整備を計画的に進めていきます。

令和6年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園担当

決算書 ページ	117

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	3	保育所費			
	事業	0103300	保育企画費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円				
予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
757,914,000	753,373,717	0	4,540,283	99.4%
特定財源の決算額	左記の内訳			
525,278,882	細節名	金額	細節名	金額
	保育児童保育料	2,510,300	子どものための教育保育給付費地方単独費用補助金	3,894,000
	子どものための教育保育給付費負担金(国・県)	461,732,835	第3子以降の保育料減免事業補助金	66,000
	子育てのための施設等利用給付費負担金(国・県)	10,404,000	長野県安心こども基金事業補助金	473,000
	子どものための教育保育給付費負担金前年度精算分(国・県)	10,148,397	一時的保育料	6,655,400
	保育対策総合支援事業補助金(国・県)	584,000	病児・病後児保育利用料	11,450
	子育て支援総合助成金	996,000	一時的保育料滞納繰越金	39,500
	保育士加配支援事業補助金	6,528,000	子ども子育て支援交付金(国・県)	21,236,000

主要な施策（事務事業）の成果の概要			
1 私立の教育・保育施設等（保育所、幼稚園、認定こども園、地域型保育事業）に施設型給付費又は地域型保育給付費を支給しました。			
対象施設	区分	給付費	利用児童数 ※利用最終月
細萱保育園	保育所	55,411,080円	60人
認定やまぶきこども園	認定こども園	93,498,670円	75人
花園認定こども園	認定こども園	68,729,960円	58人
あづみ野おとぎ保育園	地域型保育（小規模保育事業）	37,740,270円	17人
あづみ野第2おとぎ保育園	地域型保育（小規模保育事業）	30,408,820円	19人
あづみ野第3おとぎ保育園	地域型保育（小規模保育事業）	42,100,490円	19人
ニチイキッズ安曇野保育園	地域型保育（小規模保育事業）	47,133,870円	22人
ニチイキッズ穂高保育園	地域型保育（小規模保育事業）	44,824,190円	22人
サンライズキッズ保育園安曇野園	地域型保育（小規模保育事業）	46,597,420円	22人
サンライズキッズ保育園豊科園	地域型保育（小規模保育事業）	34,738,080円	20人
穂高みらいく保育園	地域型保育（小規模保育事業）	28,278,220円	19人
スクルドエンジェル保育園安曇野豊科園	地域型保育（小規模保育事業）	31,027,050円	18人
きらり穂高病院保育園	地域型保育（事業所内保育事業）	39,186,870円	20人
保育室モモ	地域型保育（家庭的保育事業）	15,098,930円	5人
松本短大幼稚園	認定こども園	845,980円	1人
松本シュタイナー認定こども園ひなたぼっこ	認定こども園	3,876,820円	2人
ISN島内キャンパス	認定こども園	3,751,380円	9人
ささべ認定こども園	認定こども園	789,570円	1人
松本光明幼稚園	認定こども園	652,100円	1人
松本中央幼稚園	認定こども園	271,760円	1人
松代幼稚園	認定こども園	59,210円	1人
川中島こども園	認定こども園	140,060円	1人
伊那緑ヶ丘幼稚園	認定こども園	213,830円	1人
さくら保育園	保育所	216,830円	1人
八重のさくら保育園	地域型保育（事業所内保育事業）	435,740円	1人
計		626,027,200円	416人

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	3	保育所費			
	事業	0103300	保育企画費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

2 幼児教育・保育の無償化に伴い、子育てのための施設等利用給付を行いました。

- (1) 一時預かり事業 481,500円
- (2) 認可外保育施設等 12,837,050円
- (3) 新制度未移行園 4,735,500円
- (4) ファミリー・サポートセンター事業 45,350円
- (5) 国立大学付属幼稚園 177,600円
- (6) 1号認定預かり保育料 281,500円

3 広域保育の状況

区分	児童数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
市外への委託	16人			3人	5人	3人	5人

4 一時預かり事業の利用状況

登録者数	月平均利用者数	延べ利用者数
160人	56人	675人

5 病児・病後児保育事業の利用状況

登録者数	月平均利用者数	延べ利用者数
75人	5.4人	65人

6 認可外保育施設等に補助金を交付しました。

(単位：円)

対象施設	児童処遇向上 (保育分)	児童処遇向上 (施設整備分)	衛生・安全対策	信州やまほいく 保育料負担軽減	補助金合計
保育室モモ	172,210	165,548	15,000		352,758
野外保育森の子	2,186,576	0	0	982,550	3,169,126
自由保育所ひかりの子	1,470,930	242,000	0	1,873,700	3,586,630
安曇野シュタイナーこども園おひさま	1,412,024	893,591	1,000	91,400	2,398,015
託児所アップarelはうす	617,974	9,666	5,000		632,640
計	5,859,714	1,310,805	21,000	2,947,650	10,139,169

7 私立園のICT環境の整備に対して、補助金を交付しました。

保育所等業務効率化推進事業補助金 781,374円

上記の評価と課題等

子ども・子育て支援法に基づき、子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう、保育施設及び子育て家庭への支援を行いました。

また、認可外保育施設には、補助金を交付することで多様な保育の提供並びに利用児童の処遇向上が図られました。

令和6年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園担当

決算書 ページ	119

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	3	保育所費			
	事業	0103310	認定こども園管理費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,663,278,000	1,639,715,796		0	23,562,204	98.6%
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
212,066,039		保育児童保育料	188,096,110	保育対策総合支援事業補助金	2,385,000
		突発長時間保育料	937,200	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業補助金	224,000
		保育児童保育料滞納繰越金	506,040	第3子以降の保育料減免事業補助金	3,243,000
		突発長時間保育料滞納繰越金	22,800	西穂高認定こども園太陽光発電売電	119
		他市町村保育児童保育料	2,928,270	保育所建設事業（特例債）	2,800,000
		保育料督促手数料	22,500	電源立地地域対策交付金	10,901,000

主要な施策（事務事業）の成果の概要									
1 公立認定こども園（18園）で教育・保育を実施しました。									
(1) 利用状況 (単位：人)									
施設名	定員	利用児童数	年齢別内訳 ※令和6年3月1日時点						
			0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
豊科認定こども園	150	131	4	9	12	44	28	34	
豊科南部認定こども園	160	141	2	10	11	40	37	41	
南穂高認定こども園	190	172	3	11	24	40	50	44	
たつみ認定こども園	105	118	2	9	11	40	27	29	
アルプス認定こども園	100	106	2	13	10	29	26	26	
上川手認定こども園	80	48	3	3	5	10	12	15	
有明の森認定こども園	160	111	1	9	11	28	24	38	
有明あおぞら認定こども園	160	121	6	6	12	33	30	34	
西穂高認定こども園	220	245	6	9	36	52	67	75	
北穂高認定こども園	90	73	3	6	15	19	14	16	
穂高認定こども園	200	200	5	12	11	56	57	59	
三郷北部認定こども園	150	132	3	11	14	34	27	43	
三郷南部認定こども園	160	144	4	11	17	39	40	33	
三郷東部認定こども園	170	139	1	12	12	37	38	39	
三郷西部認定こども園	70	47	0	6	4	10	13	14	
堀金認定こども園	250	215	3	15	23	56	59	59	
明科北認定こども園	90	30	2	4	5	8	5	6	
明科南認定こども園	130	116	3	9	18	28	22	36	
計	2,635	2,289	53	165	251	603	576	641	

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	3	保育所費			
	事業	0103310	認定こども園管理費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

その2

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（2）保育方針等

ア 職員体制

園長17人、主任保育士17人、保育士61人

会計年度任用職員292人（保育士235人、保育補助37人、看護師2人、事務補助18人）
計387人

イ 保育理念

一人ひとりの子どもを大切にしながら、子どもにとって最もふさわしい生活の場を保障し、家庭や地域から信頼される認定こども園を目指しています。

ウ 保育目標

- 命（自分・人・生物）や物を大切にする子ども
- あいさつができる子ども
- 元気に遊ぶ子ども
- 意欲的に取り組み、やりぬこうとする子ども
- 友だちと力を合わせ、認め合える子ども
- 人の話を聴き、自分の気持ちを伝えたり、表現できる子ども
- 自然の中で豊かな感性を育み、表現できる子ども

2 広域保育の状況

区分	児童数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
市外からの受け入れ	5人		1人		2人	1人	1人

3 公立認定こども園（18園）の施設管理

施設修繕、物品修繕、各種器具点検調整、緊急非常通報警備、消防設備点検、電気工作物点検、除雪、必要工事等を実施しました。

（1）主な修繕

非常用電源蓄電池設備修繕（穂高認定こども園） 396,000円

複合遊具の修繕（豊科南部認定こども園） 690,800円

ろ過機制御盤取替修繕（西穂高認定こども園ほか14園） 995,500円

（2）主な委託業務

建築物定期調査業務委託（全17園） 1,633,500円

保育業務支援システム運用保守業務委託 5,346,000円

明科北認定こども園保育業務委託料 49,128,645円

三郷北部・三郷南部認定こども園園庭芝生化事業設計業務委託 2,520,760円

（3）主な工事

遊具更新工事（有明の森認定こども園） 2,838,000円

排煙窓オペレーター更新工事（明科北認定こども園） 3,333,000円

軒樋改修工事（有明の森認定こども園） 2,915,000円

予算	款	3	民生費	総合計画	基本目標	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	児童福祉費		基本方針	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	3	保育所費			
	事業	0103310	認定こども園管理費		基本施策	質の高い保育・幼児教育の実現

その3

主要な施策（事務事業）の成果の概要

4 認定こども園（18園）の運営管理

認定こども園の運営に必要な保育用品等を購入するとともに、施設の適切な維持管理を行うことができました。

（単位：円）

施設名	報償費	需用費	役務費	委託料	使用料 及び 賃料	備品購入費
豊科認定こども園	30,000	5,659,326	294,727	124,476	13,315	515,600
豊科南部認定こども園	30,000	5,423,834	275,175	68,013	11,886	348,000
南穂高認定こども園	30,000	7,065,929	221,763	24,651	21,782	318,040
たつみ認定こども園	25,000	3,906,463	337,846	56,727	26,400	319,000
アルプス認定こども園	30,000	3,518,446	203,242	65,637	14,771	147,400
上川手認定こども園	20,150	3,969,122	109,751	27,324	27,870	425,469
有明の森認定こども園	30,000	5,411,313	207,021	73,920	29,760	124,003
有明あおぞら認定こども園	0	5,337,648	260,503	55,440	92,136	137,500
西穂高認定こども園	30,000	9,368,730	811,586	73,920	14,047	2,866,236
北穂高認定こども園	0	4,017,709	158,200	18,480	39,600	105,500
穂高認定こども園	30,000	7,316,167	378,781	29,990	42,871	192,142
三郷北部認定こども園	30,000	5,509,342	402,450	88,440	18,593	129,360
三郷南部認定こども園	30,000	5,292,488	182,843	88,440	52,015	73,200
三郷東部認定こども園	30,000	6,911,562	144,975	58,150	39,600	184,580
三郷西部認定こども園	36,000	3,487,434	92,385	64,680	22,725	0
堀金認定こども園	30,000	9,486,919	528,571	95,700	73,207	935,060
明科北認定こども園	27,630	3,445,926	317,744	65,340	28,670	89,401
明科南認定こども園	30,000	4,688,933	249,398	67,419	18,576	201,080
計	468,780	99,817,291	5,176,961	1,146,747	587,824	7,111,571

上記の評価と課題等

児童福祉法並びに子ども・子育て支援法に基づき、公立認定こども園の適正な管理運営に努め、幼児期の教育・保育を一体的に提供しました。

子どもたちが安心して快適な生活を送れる保育環境の整備に努め、保育担当と各園が連携して事業を実施することで、施設の維持・保全に安全かつ迅速に対応できました。

公立認定こども園の民営化について、三郷西部認定こども園では、民営化に向けた引継ぎ保育を実施し、既に民営化している明科北認定こども園では、保護者を交えた保育業務の検証を行いました。

令和6年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園担当

決算書 ページ	121

予算	款	3	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	2	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	3	保育所費			
	事業	0103320	認定こども園給食運営費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①		決算額(支出済額) ②		翌年度繰越額 ③		不用額 ①－②－③		執行率 ②/①		
403,892,000		401,193,991		0		2,698,009		99.3%		
特定財源の決算額		左記の内訳	細節名		金額		細節名		金額	
43,559,012			認定こども園職員給食代		24,286,460					
			認定こども園廃油売却代金		15,405					
			物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金		19,257,147					

主要な施策（事務事業）の成果の概要

業務の安全面・衛生面に留意し、民間活力を生かした効率的な給食調理業務の運営及び食育の推進を図るため、公立認定こども園18園の給食調理業務を民間委託しました。また、私立認定こども園等で提供する給食の材料費高騰に伴う増額分の負担事業として補助金を交付しました。

1 主な委託業務

- (1) 給食調理等業務委託（Aグループ） 35,204,400円
穂高、西穂高、北穂高
- (2) 給食調理等業務委託（Bグループ） 38,471,400円
有明の森、有明あおぞら、堀金
- (3) 給食調理等業務委託（Cグループ） 35,944,700円
三郷北部、三郷南部・三郷東部・三郷西部
- (4) 給食調理等業務委託（Dグループ） 36,709,200円
豊科、豊科南部、つつみ、アルプス
- (5) 給食調理等業務委託（Eグループ） 31,900,000円
南穂高、上川手、明科北、明科南

2 主な補助金

- (1) 給食材料費補助金（私立認定こども園等） 3,194,783円
- (2) 給食材料費補助金（認可外保育施設） 59,745円

上記の評価と課題等

市と給食調理業務委託業者との連携により、日常的な衛生管理と点検を実施することで、安全・安心でおいしい給食作りに努めました。

今後も子どもたちの健やかな発育・発達を目指し、栄養バランスに配慮した給食を提供していきます。

私立認定こども園等に給食材料費補助金を交付したことで、給食費の値上げをせずに、園児にこれまでどおりの栄養バランスを保った給食を提供することができました。

令和6年度		決算書 ページ	215
部	教育部		
課	こども園幼稚園課		
係等	保育幼稚園担当		

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野
	項	4	幼稚園費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	1	幼稚園費			
	事業	0110295	穂高幼稚園運営費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①	
62,747,000	58,974,565	0	3,772,435	94.0%	
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
52,800		幼稚園預かり保育料	51,400		
		幼稚園預かり保育料滞納繰越金	1,400		

主要な施策（事務事業）の成果の概要														
1 公立幼稚園で教育・保育を実施しました。 ア 職員体制 園長1人、主任教諭1人、教諭2人 会計年度任用職員7人（教諭4人、看護師1人、保育補助1人、事務補助1人） 計11人 イ 教育目標 『たくましく しなやかな 心と体を育む』 ウ 教育重点 ○安心した環境の中で、一人ひとりが輝いて過ごす ○幼児期の「学び」は「環境を通した遊び」であること ○様々な事物や人との関わりの中で、豊かな人間性を育む														
2 入園児数等 (令和6年3月1日現在) <table><tr><td></td><td>3歳児</td><td>4歳児</td><td>5歳児</td><td>合計</td></tr><tr><td>園児数</td><td>31人</td><td>14人</td><td>31人</td><td>76人</td></tr></table>						3歳児	4歳児	5歳児	合計	園児数	31人	14人	31人	76人
	3歳児	4歳児	5歳児	合計										
園児数	31人	14人	31人	76人										
3 施設の維持管理、修繕・工事 (1) 主な修繕 園庭遊具塗替え修繕 92,664円 (2) 主な工事 遊具庫建設工事 990,000円														
上記の評価と課題等														
幼児期の遊びや豊かな経験がその後の人生の基盤を作るため、地域の方や専門分野の方を招き総合的な幼児教育・保育に取り組みました。 また、環境を通した保育として、自然と触れ合い、命の大切さを学ぶ機会を積極的に取り入れました。 今後は多様性の尊重やインクルーシブ保育を推進し、子どもたちが対等な関係性を保ちながら助けあえるクラスづくりを行っていきます。														

